

習志野市 健康意識調査
報告書

平成31年3月

習志野市

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査実施の目的	3
2 調査の種類・対象者	3
3 調査方法と回収状況	3
4 調査項目	4
5 報告書の見方	4
第2章 調査結果の詳細	7
一 一般	9
1 基本属性	11
（1）性別・年齢	11
（2）職業	12
（3）加入している医療保険	12
（4）居住地区	13
（5）家族構成	14
（6）世帯人数	14
（7）現在の暮らし向き	15
（8）最終学歴	15
（9）世帯年収	16
（10）身長・体重・BMI	17
（11）適正体重	18
2 からだの健康に関する意識	19
（1）日常生活に影響のある健康上の問題の有無	19
（1-1）影響があるもの	19
（2）現在の健康状態	20
（3）健診等の受診状況	20
（3-1）受診している健康診断	21
（3-2）健診結果の活用状況	21
（3-3）健診等を受けていない理由	22
（4）がん検診の受診状況・受診した機会	23
（4-1）がん検診の受診状況・受診した機会（女性のみ）	25
（5）かかりつけ医の有無	26
（6）かかりつけ薬局の有無	26
（7）CKD（慢性腎臓病）の認知度	27
（8）メタボリックシンドロームの認知度	27
（9）健康に関する行動	28
（10）日頃の身体活動	30
（10-1）身体活動の内容	33
（10-2）身体活動ができる条件	34
（11）ロコモティブシンドロームの理解度	35
（12）「てんとうむし（転倒無視）体操」の認知度	36
（13）食育の関心度	37

(14)	「食事バランスガイド」「三食食品群」等の参考程度	37
(15)	外食や食品購入時、「栄養成分表示」の参考程度	38
(16)	朝食の摂取状況	38
(17)	バランスのとれた食事の1日2回以上の摂取状況	39
(18)	受動喫煙の頻度	42
(19)	喫煙経験	44
(19-1)	現在の喫煙状況	44
(19-2)	禁煙意向	45
(19-3)	禁煙指導希望	45
(20)	習慣的な喫煙率	46
(21)	COPDの認知度	49
(22)	受動喫煙の影響	50
(23)	分煙についての考え	50
(24)	分煙化の進行状況	51
(25)	飲酒頻度	52
(25-1)	1日の飲酒量	52
(26)	生活習慣病のリスクを高める飲酒	53
3	歯の健康に関する意識	56
(1)	この1年間での歯科医院受診の有無	56
(1-1)	受診目的	57
(1-2)	受診しなかった理由	57
(2)	咀嚼機能	58
(2-1)	噛んで食べる早さ	58
(3)	かかりつけ歯科医院の有無	59
(4)	歯間ブラシやデンタルフロスの使用頻度	59
4	心の健康に関する意識	60
(1)	日本の自殺率が高い状況が続いていることの認知度	60
(2)	自殺予防習慣の認知度	60
(3)	ゲートキーパーの認知度	61
(4)	自殺は社会的な取組で防ぐことができるという考えへの意識	61
(5)	自殺は追い込まれた末の死であるという考えへの意識	62
(6)	自殺対策基本法の認知度	62
(7)	習志野市が自殺対策に取り組んでいることの認知度	63
(8)	市に生活に関する様々な相談窓口があることの認知度	63
(9)	市の相談窓口の利用経験	64
(9-1)	利用した窓口	64
(9-2)	市の相談窓口を利用したことがない理由	65
(10)	自殺対策に関する啓発物で見たことのあるもの	65
(11)	自殺対策に関する講演会や講習会の参加経験	66
(12)	自殺対策に関するPR活動の必要性	66
(13)	うつ病は誰もがかかる可能性のある病気ということの認知度	66
(14)	うつ病は、生活苦や失業、人間関係、病気など、様々なストレスと関係あることの認知	67
(15)	うつ病は、生活苦や失業、人間関係、病気など、様々なストレスと関係あることの認知度	67
(16)	身近な人へうつ病のサインに気づいた時の医療機関への受診勧奨	68

(16-1) 医療機関を勧めない理由	68
(17) 自分がうつ病のサインに気づいた時の医療機関への相談	69
(17-1) 医療機関へ相談に行かない理由	69
(18) 身近な人から「死にたい」と打ち明けられたときに良いと思う対応	70
(19) 日常生活の悩みやストレスの有無	70
(19-1) 悩みやストレスの対象となるもの	71
(19-2) ストレスの解消状況	72
(20) 睡眠状況	72
(21) 生きがい・やりがいの有無	73
(22) 住まいの地域の人たちとのつながり	73
(23) 今まで死にたいと追いつめるほど悩んだことの有無	74
(24) 悩みやストレスを相談することに対するためらいの有無	74
(25) 悩みごとや困ったことがあったときの相談相手の有無	75
(25-1) 相談相手	75
(26) 1か月間のこころの状態	76
5 健康なまちづくりにつながる社会環境の整備	78
(1) 「健康」についての考え方	78
(1-1) 「健康」に対して最も近い考え	79
(2) 「健康なまち習志野」の認知度	80
(3) (通称) 健康なまちづくり条例の認知度	80
(4) 様々な分野の施策が健康なまちづくりにも影響していることの認知	81
(5) 「健康格差」の認知度	81
(6) 周辺地域の人たちとのつながり	82
(7) 周辺地域に関する現状の満足度	85
(8) 健康に関する情報の入手先	87
親 子	89
1 妊娠・出産・産後について	91
(1) 健診を受けた子ども	91
(2) 妊娠中の定期的な健診受診の有無	91
(2-1) 妊婦健診を受けなかった理由	91
(3) 妊婦健診時、医師や助産師などからの日常生活の指導を受けた経験	92
(4) 妊娠中、特に気をつけたこと	92
(5) 妊娠中の朝食摂取状況	93
(6) 妊娠がわかったときの気持ち	93
(7) マタニティマークの利用	94
(8) 妊娠中の悩みや不安の有無	94
(8-1) 悩みや不安を相談する人や手段の有無	94
(8-2) 悩みや不安の相談先	95
(9) 子どもとはじめて対面したときの気持ち	96
(10) 今回の妊娠・出産についての満足	96
(11) 産後1か月までの時期に協力してくれた人の有無	97
(11-1) 協力してくれた人	97
(12) 妊娠中から産後3か月間の気分の変化	98
(12-1) 気分の変化があった時期	98

(13) 習志野市からの母子健康手帳交付の有無	99
(13-1) 転入した時期	99
2 事故防止について	100
(1) チャイルドシート使用の有無	100
(2) 風呂場のドアを子どもが自分で開けることができないような工夫状況	100
3 育児に関することについて	101
(1) 育児についての相談相手の有無	101
(1-1) 相談する人や手段	102
(2) 夫やパートナーの家事や育児のかかわりかた	103
(2-1) 夫やパートナーの協力の仕方への満足度	104
(3) 現在の気持ち	105
4 医療機関について	107
(1) 小児科のかかりつけの有無	107
(1-1) かかりつけ医のいる医療機関の場所	107
(1-2) 悩みや不安の解消	108
(1-3) 小児科のかかりつけ医を持っていない理由	108
(2) かかりつけ薬局の有無	109
(3) 習志野市急病診療所の認知度	109
(4) 休日や夜間の受診経験の有無	110
(4-1) 休日や夜間に一番最近に受診した医療機関	110
5 市のサービスについて	111
(1) 市のサービスの利用状況	111
(2) 市のサービスについての情報媒体	113
(3) 市の保健師、栄養士、歯科衛生士等への個別相談ができることの認知度	113
6 基本的属性など	114
(1) 年齢	114
(2) 職業	114
(3) 居住地区	115
(4) 世帯人数	116
(5) 家族構成	116
(6) 世帯年収	117
(7) 現在の暮らし向き	117
(8) 現在の健康状態	118
(9) 食育の関心度	118
(10) 「食事バランスガイド」「三食食品群」等の参考程度	119
(11) 外食や食品を購入する際の栄養成分表示参考程度	119
(12) 朝食の摂取状況	120
(13) バランスがとれた食事の1日2回以上の摂取状況	120
(14) 日頃の身体活動	121
(15) 家庭内の喫煙状況	121
(16) 1年間の歯科医院での受診状況	122
(16-1) 受診した目的	122
(16-2) 受診しなかった理由	122
(17) 咀嚼機能	123

(17-1) 噛んで食べる早さ	123
(18) かかりつけ歯科医院の有無	124
(19) 歯間ブラシやデンタルフロスの使用頻度	124
(20) 健康に関する行動	125
7 健康なまちづくりにつながる社会環境の整備について	127
(1) 「健康」についての考え方	127
(1-1) 「健康」について最も近い考え方	128
(2) 「健康なまち習志野」の認知度	129
(3) (通称) 健康なまちづくり条例の認知度	129
(4) 様々な分野の施策が健康なまちづくりにも影響していることの認知度	130
(5) 「健康格差」の認知度	130
(6) 周辺地域の人たちとのつながり	131
(7) 趣味や楽しみにしていることの有無	131
(8) 周辺地域に関する現状の満足度	132
事業者	135
1 事業者について	137
(1) 業種	137
(2) 従業員の人数	137
(3) 従業員の平均年齢	138
(4) 最近1年間の業況	138
(5) 主な販売先	139
(6) 所在地	140
2 「健康なまち習志野」計画、(通称) 健康なまちづくり条例等の認知度	141
(1) 「健康なまち習志野」の認知度	141
(2) (通称) 健康なまちづくり条例の認知度	141
3 からだの健康に関する意識	142
(1) 従業員の健康についての考え	142
(2) 従業員のからだの健康状態	144
(3) 従業員のからだの健康づくりを貴事業者が進めていく上での課題	145
4 心の健康に関する意識	146
(1) 従業員の心の健康についての考え	146
(2) 従業員の心の健康状態	149
(3) 従業員の心の健康づくりを進めていく上での課題	149
5 健康づくりへの取組	150
(1) 健康対策を行うスタッフ配置の有無	150
(1-1) 健康対策を行うスタッフの職種	150
(2) 従業員の健康づくりへの取組み状況	151
6 健康なまちづくりの推進に関する地域社会との協働	154
(1) 社是・社訓・経営理念の有無	154
(1-1) 社是・社訓・経営理念の経営への反映状況	154
(1-2) 社是・社訓・経営理念に含まれる項目	155
(2) 「企業の社会的責任 (CSR)」という用語の認知度	156
(3) 「企業の社会的責任 (CSR)」に含まれると考えられる項目	157
(4) 地域社会への参画、発展のための取り組み	158

(4-1)	地域社会への参画、発展のために行っていること	159
(4-2)	地域社会への参画、発展のために取り組む目的	162
(4-3)	「地域社会への参画、発展のための取り組み」を行っていない理由	163
(5)	「地域社会への参画、発展のための取り組み」を推進する上での必要度	164
(6)	関係者との連携・協働の必要性と状況	166
(7)	事業者以外の関係者が、健康なまちづくりに向けた取り組みを希望した場合にできること	168
(8)	地域や市が実施する健康づくりのイベントで、貴事業者が協力できるもの	169
7	健康づくりにつながる社会環境の整備	170
(1)	「健康」についての考え方	170
(1-1)	「健康」について最も近い考え方	171
(2)	様々な分野の施策が健康なまちづくりに影響していることの認知度	172
(3)	「健康格差」の認知度	172
(4)	地域周辺に関する現状の満足度	173
8	これからの市の取組	175
(1)	従業員の健康づくりの推進に関して知りたい情報	175
(2)	健康なまちづくりに関するPR・啓発について、伝わりやすい情報提供の方法	176
(3)	健康なまちづくりへ取り組みやすくなる市の支援	177
(4)	健康づくり推進に向けたポイント制度導入の協力意識	178
市民活動団体		179
1	団体について	181
(1)	主たる活動分野	181
(2)	会員数	182
(3)	最も多い年代	182
(4)	活動拠点	183
2	「健康なまち習志野」計画、(通称)健康なまちづくり条例等の認知度	184
(1)	「健康なまち習志野」の認知度	184
(2)	(通称)健康なまちづくり条例の認知度	184
3	健康づくりにつながる社会環境の整備	185
(1)	「健康」についての考え方	185
(2)	「健康」について最も近い考え方	186
(3)	様々な分野の施策が健康なまちづくりに影響していることの認知度	187
(4)	「健康格差」の認知度	187
(5)	団体活動と自分の健康づくりとのつながり	188
(6)	団体参加者増加を目指した声掛けなどの頻度	188
(7)	活動を継続していく上での課題	189
(8)	地域周辺に関する現状の満足度	190
(9)	地域や市が実施する健康なまちづくりのイベントで協力できるもの	192
(10)	会員の健康状態	192
4	これから市の取組み	193
(1)	健康づくりの推進に関して知りたい情報	193
(2)	健康づくりに関するPR・啓発について、伝わりやすい情報提供の方法	194
(3)	健康づくり推進に向けたポイント制度実施による活動継続の動機付け	194
5	回答者属性	195
(1)	性別・年齢	195

(2) 団体での活動年数	196
(3) 活動の目的	196
(4) 現在の健康状態	197
第3章 自由回答	199
付 録	217

第1章 調査の概要

1 調査実施の目的

本調査は、市民、市民活動団体、事業者の健康意識と健康づくりの実態を把握し、次期「健康なまちづくりの推進に関する基本的な計画」の基礎資料とすることを目的に実施した。

2 調査の種類・対象者

調査名	調査対象
1 一般調査	20歳以上の市民から2,000名を無作為抽出
2 親子調査	平成30年11月に1歳6か月児、及び3歳児健康診査を受診する児の保護者239名
3 事業所調査	習志野商工会議所の会員事業者から500社を無作為抽出
4 市民活動団体調査	市民活動ハンドブックで紹介されている市民活動団体等の中から100団体を無作為抽出

3 調査方法と回収状況

調査地域：習志野市全域

調査方法：郵送配布一郵送回収

調査期間：平成30年11月9日（金）～11月27日（火）

〈回収状況〉

調査名	発送数	回収数	回収率
1 一般調査	2,000件	925件	46.3%
2 親子調査	239件	159件	66.5%
3 事業者調査	500件	156件	31.2%
4 市民活動団体調査	100件	73件	73.0%

4 調査項目

調査名	調査項目
1. 一般調査	①回答者属性 ②からだの健康に関する意識 ③歯の健康に関する意識 ④心の健康に関する意識 ⑤健康なまちづくりにつながる社会環境の整備 ⑥保健サービス等に関する意見や要望（自由記入）
2. 親子調査	①妊娠・出産・産後 ②事故防止 ③育児に関すること ④医療機関等 ⑤市のサービス ⑥回答者属性 ⑦健康なまちづくりにつながる社会環境の整備 ⑧保健サービス等に関する意見や要望（自由記入）
3. 事業者調査	①事業者について ②「健康なまち習志野」計画、(通称)健康なまちづくり条例等の認知度 ③からだの健康に関する意識 ④心の健康に関する意識 ⑤健康づくりへの取り組み ⑥健康なまちづくりの推進に関する地域社会との協働 ⑦健康づくりにつながる社会環境の整備 ⑧これからの市の取組み ⑨意見・要望（自由記入）
4. 市民活動団体調査	①団体について ②「健康なまち習志野」計画、(通称)健康なまちづくり条例等の認知度 ③健康づくりにつながる社会環境の整備 ④これからの市の取組み ⑤回答者属性 ⑥意見・要望（自由記入）

5 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、数値の合計が 100.0%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数（n：number of case の略）は、設問に対する回答者数である。
- (3) 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の質問は全ての比率を合計すると 100.0%を超えることがある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によって語句を短縮・簡略化している。
- (5) 図表中では、“—” を用いていることがある。それは回答者がいないことを表している。
- (6) クロス集計の図表では、分析の軸（＝表側、性別や年齢などの回答者の基本属性等）に無回答を表示していない。そのため、回答者の基本属性の合計が全体のnとあわない場合がある。
- (7) クロス集計の図表では、分析の軸（＝表側）でnが少ないもの（25人未満を目安）は、誤差が大きくなるため、参考として図示し、分析の対象からは除いている。
- (8) 過去の調査結果との比較や、分析の軸（＝表側）が対になっている項目（例 性別など）の比較では、比率の差を中心に記述している。その表現は%ではなく、ポイントで表すこととし、小数点以下第2位を四捨五入している。
- (9) 統計数値を記述するにあたり、ある群とある群をまとめて表現する際などで、割での表記を用いている場合がある。その際の目安は、おおむね以下のとおりとしている。また、群同士の比率の状況に応じて、○割台、○割以上、○割前後などと表現することもある。

例	表現
17.0～19.9%	約2割
20.0～20.9%	2割
21.0～22.9%	2割を超える
23.0～26.9%	2割台半ば
27.0～29.9%	約3割

[本アンケートにおける標本誤差]

アンケートにおいて、調査の該当者数に対して回答者数が少なくなると、その調査がどの程度の精度を持った回答結果であるのかを示す指標として「標本誤差」がある。

以下は一般調査における標本誤差である。

この表の見方は、例えば調査において「ある設問中の回答者数が925人あり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±3.22%以内（56.78%～60.22%）である」となります。

回答比率 回答者数	90% (又は10%)	80% (又は20%)	70% (又は30%)	60% (又は40%)	50%
925	±1.97%	±2.63%	±3.01%	±3.22%	±3.29%
600	±2.45%	±3.27%	±3.74%	±4.00%	±4.08%
400	±3.00%	±4.00%	±4.58%	±4.90%	±5.00%
200	±4.24%	±5.66%	±6.48%	±6.93%	±7.07%
100	±6.00%	±8.00%	±9.17%	±9.80%	±10.00%

・標本誤差は下式により求められる。

次式から、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

$\left\{ \begin{array}{l} N = \text{母集団サイズ (習志野市の20歳以上人口)} \\ n = \text{比率算出の基数 (回答者数)} \\ p = \text{回答の比率 (\%)} \end{array} \right.$

※ 上表は $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ として算出している。この表の信頼度は95%である

※ なお誤差率は市の母集団（全人口）と回答との関係を示すものであることから、ここでは一般調査の数字を掲載しています。

第2章 調査結果の詳細

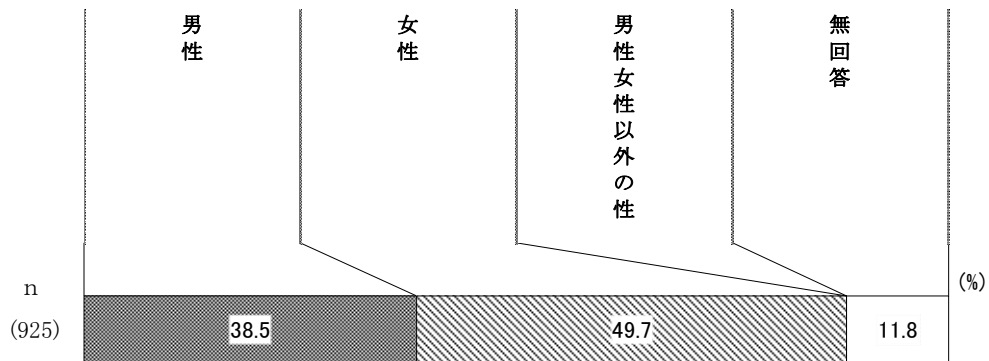
一 般

1 基本属性

(1) 性別・年齢

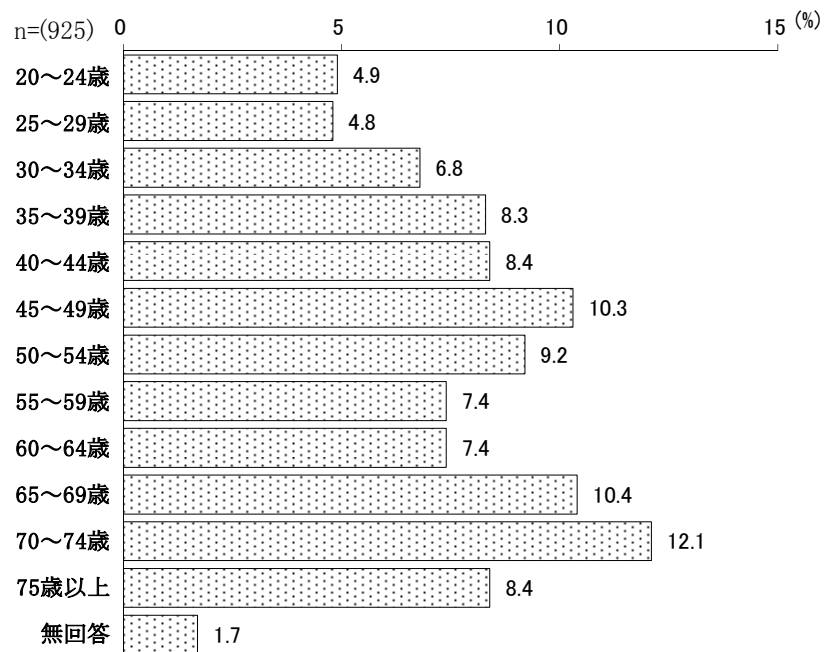
問1. あなたの性別と年齢について、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○をつけてください。

【性別】



性別は、「男性」が38.5%、「女性」が49.7%となっている。

【年齢】 (単数回答)

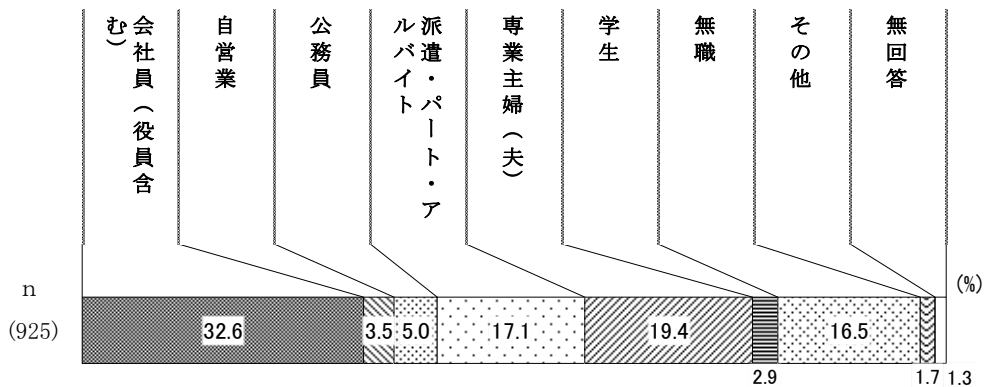


年齢は、「70～74歳」が12.1%で最も高く、次いで「65～69歳」が10.4%、「45～49歳」が10.3%となっている。

「65～69歳」、「70～74歳」、「75歳以上」(8.4%)を合わせると、「65歳以上」は30.9%である。

(2) 職業

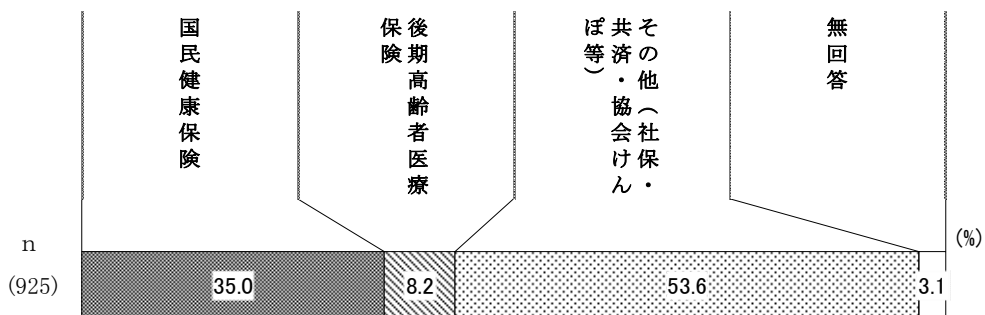
問2. あなたの職業について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



職業は、「会社員 (役員含む)」が32.6%で最も高く、次いで「専業主婦 (夫)」が19.4%、「派遣・パート・アルバイト」が17.1%、「無職」が16.5%となっている。

(3) 加入している医療保険

問3. あなたが加入している医療保険について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

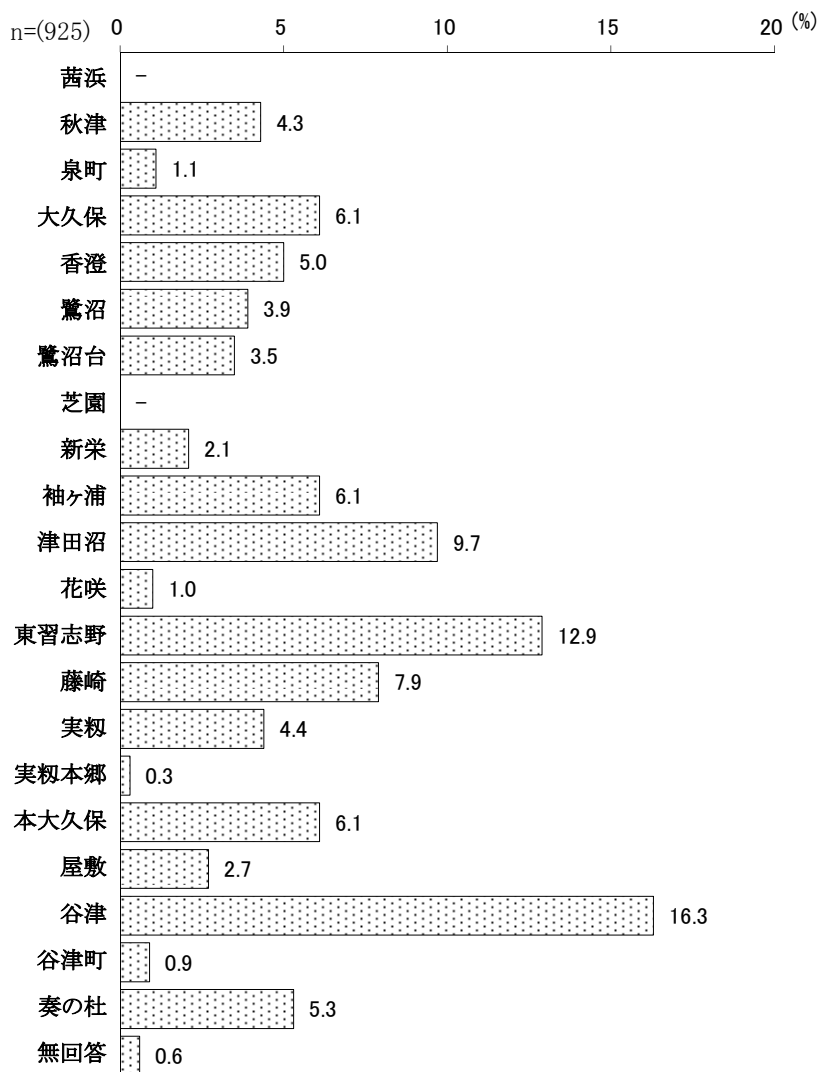


加入している医療保険は、「その他 (社保・共済・協会けんぽ等)」が53.6%で最も高く、次いで「国民健康保険」が35.0%となっている。

(4) 居住地区

問4. 現在お住まいの地区名について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

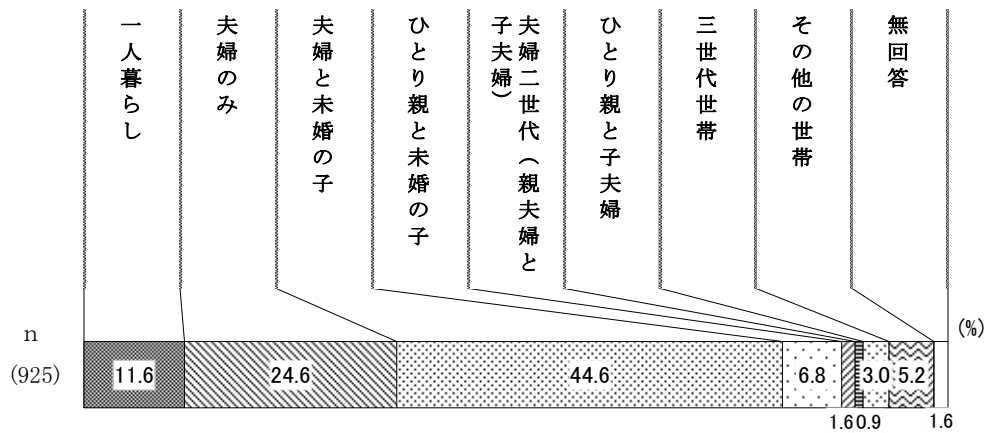
(単数回答)



居住地区は、「谷津」が16.3%で最も高く、次いで「東習志野」が12.9%、「津田沼」が9.7%となっている。

(5) 家族構成

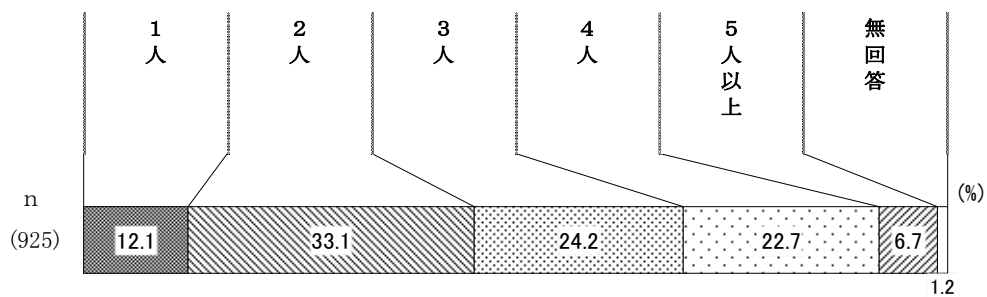
問5. あなたを中心として見た時、現在一緒に住んでいる(生活している)家族構成は、どのようになっていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



家族構成は、「夫婦と未婚の子」が 44.6%で最も高く、次いで「夫婦のみ」が 24.6%、「一人暮らし」が 11.6%となっている。

(6) 世帯人数

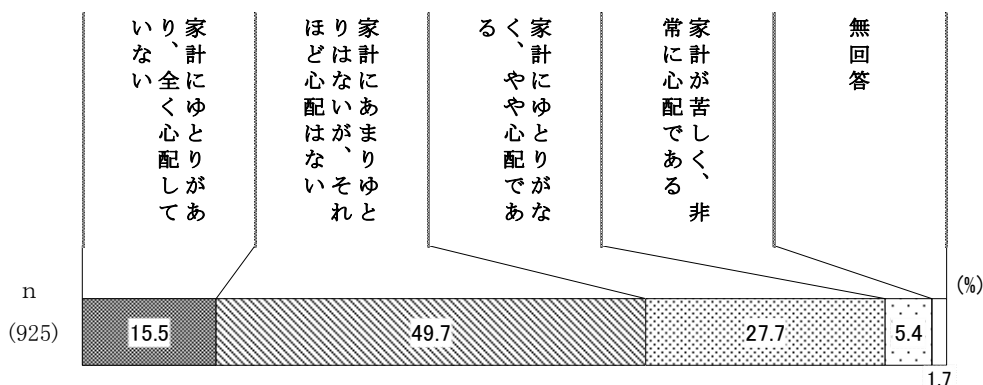
問6. あなたと生計を共にしている世帯の人数は、何人ですか。



世帯人数は、「2人」が 33.1%で最も高く、次いで「3人」が 24.2%、「4人」が 22.7%となっている。

(7) 現在の暮らし向き

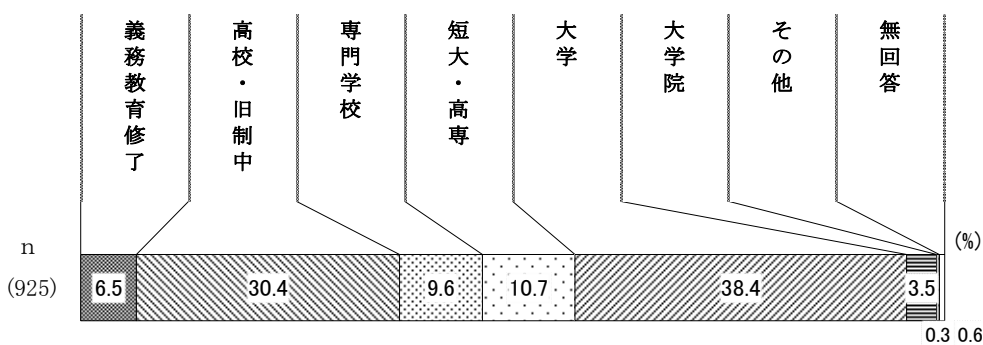
問7. 現在の暮らし向きについて、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



現在の暮らし向きは、「家計にあまりゆとりはないが、それほど心配はない」が 49.7%で最も高く、次いで「家計にゆとりがなく、やや心配である」が 27.7%となっている。

(8) 最終学歴

問8. あなたの最終卒業学校(中途退学の場合は、その前の学校)について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

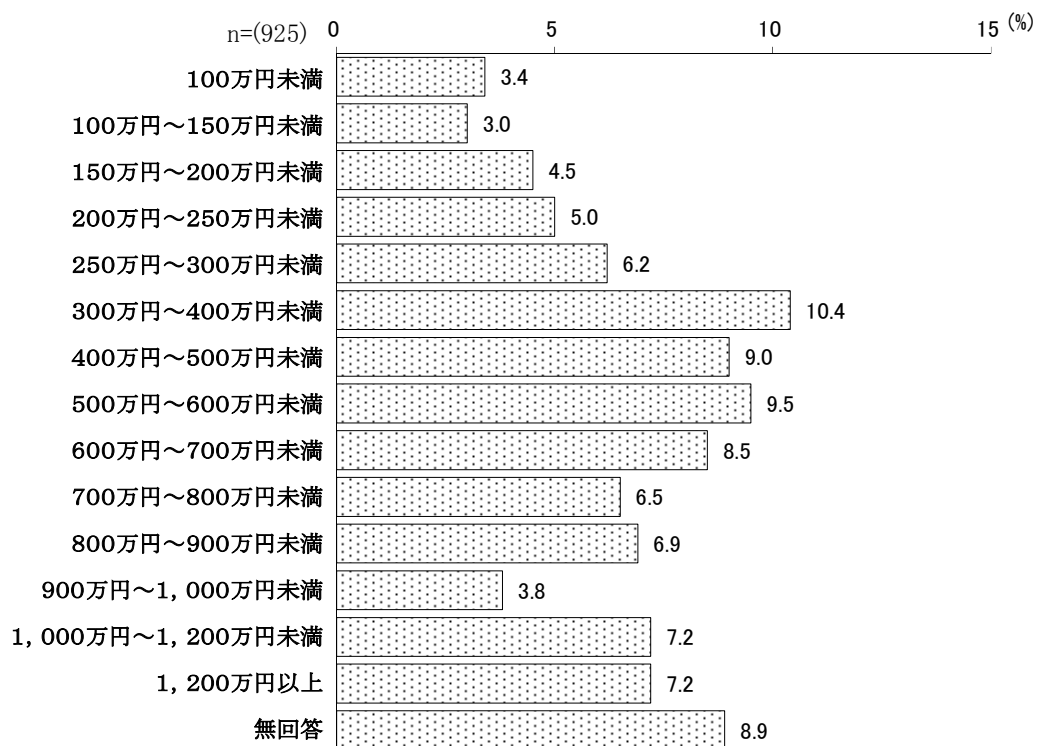


最終学歴は、「大学」が 38.4%で最も高く、次いで「高校・旧制中」が 30.4%となっている。

(9) 世帯年収

問9. 問6の世帯全員の昨年1年間の税引前の合計収入額(年金・手当等を含みます)について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

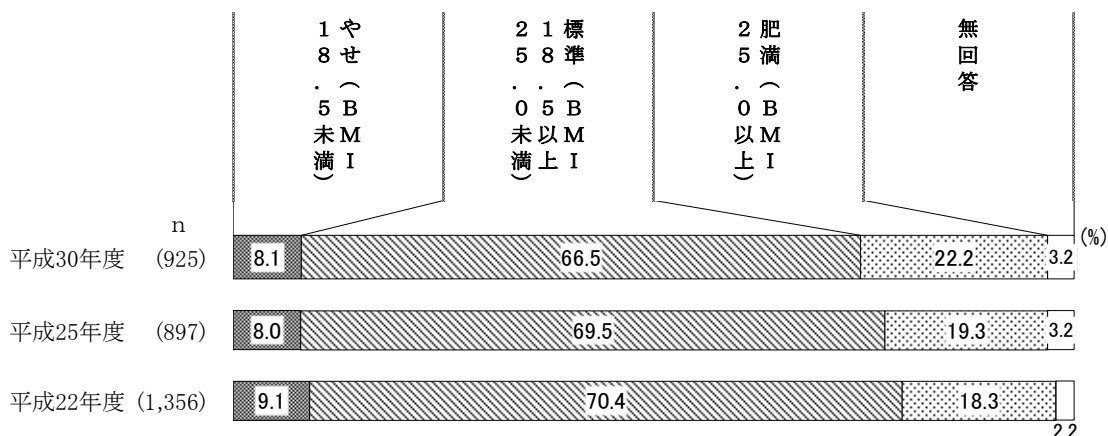
(単数回答)



世帯年収は、「300万円～400万円未満」が10.4%で最も高く、次いで「500万円～600万円未満」が9.5%、「400万円～500万円未満」が9.0%、「600万円～700万円未満」が8.5%となっている。

(10) 身長・体重・BMI

問10. あなたの身長・体重はどのくらいですか。(数字を記入してください)



※「身長」・「体重」の回答はBMIを求めるためにたずねたものであり、個々の回答は非掲載としている。

身長と体重の結果をもとに算出したBMIは、「やせ (BMI 18.5未満)」が8.1%、「標準 (BMI 18.5以上25.0未満)」が66.5%、「肥満 (BMI 25.0以上)」が22.2%となっている。

過去の調査結果と比較すると、「標準 (BMI 18.5以上25.0未満)」で減少傾向がみられる一方、「肥満 (BMI 25.0以上)」で増加傾向がみられる。

健康日本21 (第二次)

【「低栄養傾向 (BMI 20以下) の高齢者の割合の抑制」現状と目標】

習志野市		国の現状と目標		
前回	今回	策定時	直近	目標
20.7% (平成25年度)	15.7% (平成30年度)	17.4% (平成22年)	17.9% (平成28年)	22% (平成34年度)

※国の現状と目標は、『健康日本21 (第二次) 中間評価報告書』(平成30年9月 厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会) による。

本市の65歳以上でBMIが20以下の割合は15.7%で、国の直近の現状より低くなっている。

【適正体重を維持している者の増加、(肥満BMI25以上、やせBMI18.5未満の減少) 現状と目標】

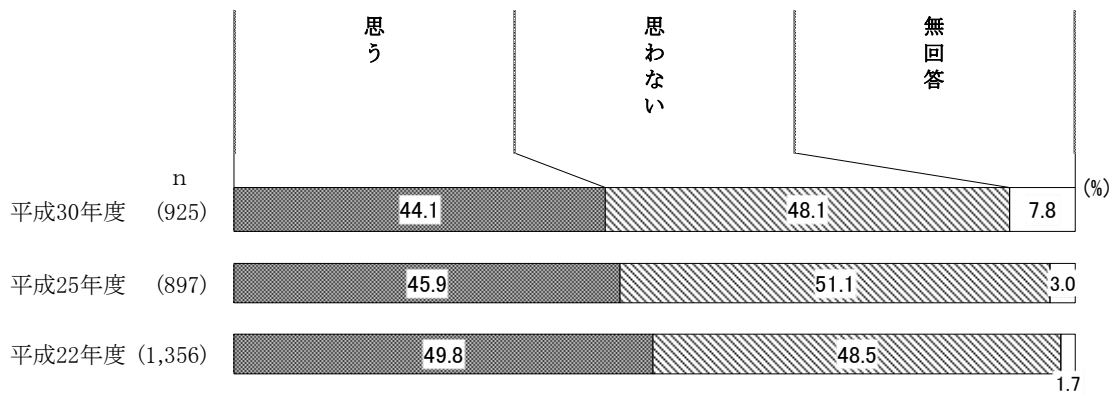
	習志野市		国の現状と目標		
	前回	今回	策定時	直近	目標
20~60 歳代男性の肥満者の割合	24.9% (平成25年度)	31.5% (平成30年度)	31.2% (平成22年)	32.7% (平成28年)	28% (平成34年度)
40~60 歳代女性の肥満者の割合	16.3% (平成25年度)	19.3% (平成30年度)	22.2% (平成22年)	21.6% (平成28年)	19% (平成34年度)
20 歳代女性のやせの者の割合	30.6% (平成25年度)	16.7% (平成30年度)	29.0% (平成22年)	20.7% (平成28年)	20% (平成34年度)

※国の現状と目標は、『健康日本21 (第二次) 中間評価報告書』(平成30年9月 厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会) による。

本市の各年齢層の肥満ややせの割合は、国の直近の現状より低くなっている。

(11) 適正体重

問11. あなたの体重は、適正体重だと思いますか。

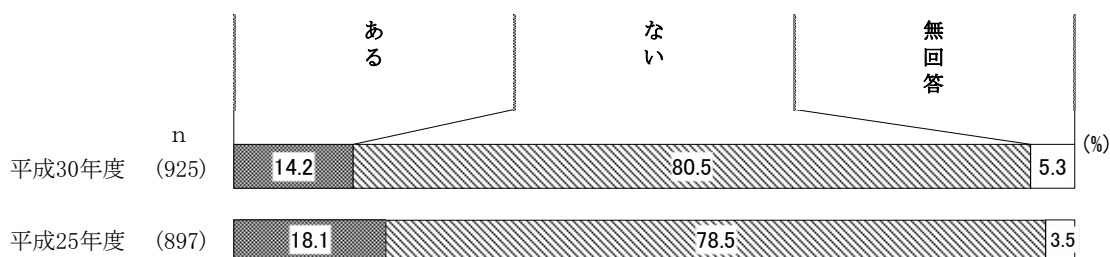


適正体重だと思うかたずねたところ、「思う」が44.1%で、「思わない」が48.1%と高くなっている。過去の調査結果と比較すると、「思う」で減少傾向がみられる。

2 からだの健康に関する意識

(1) 日常生活に影響のある健康上の問題の有無

問12. 現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。

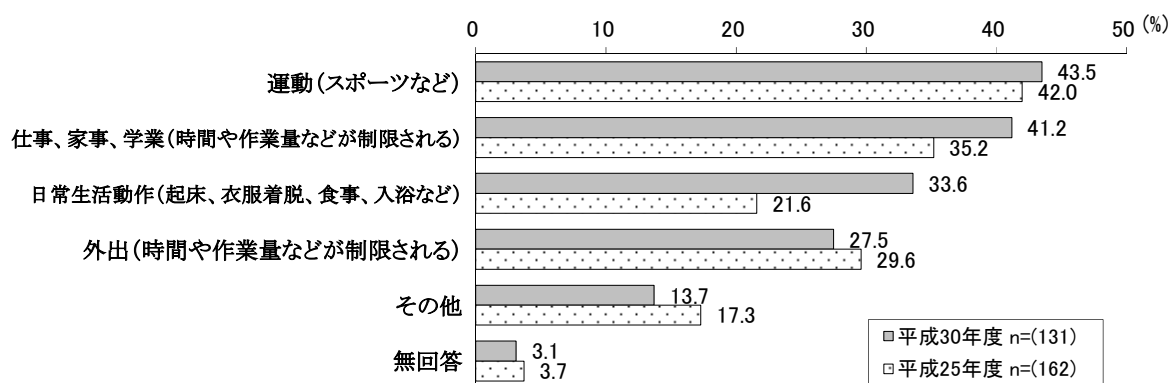


健康上の問題で日常生活に何か影響がたずねたところ、「ある」が14.2%で、「ない」が80.5%と高くなっている。

平成25年度と比較すると、「ある」が3.9ポイント減少している。

(1-1) 影響があるもの

問12-1. 問12. で「1.」を選んだ方におききします。影響があるものとしてあてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

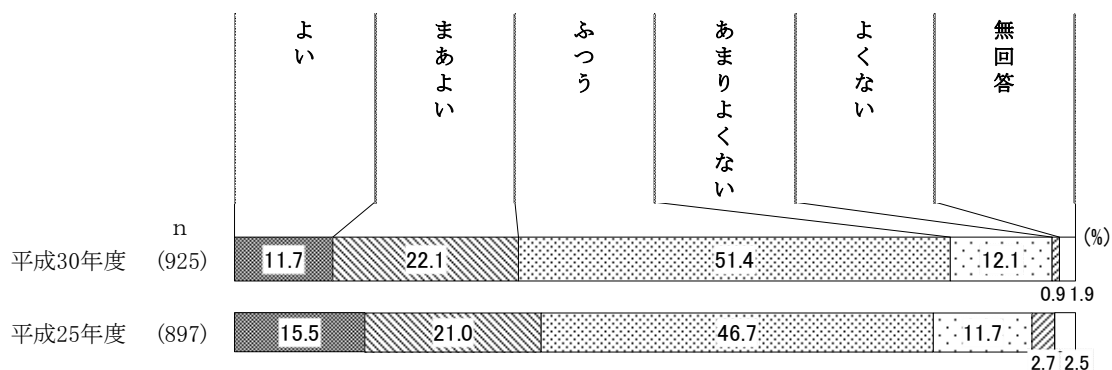


問12で健康上の問題で日常生活に何か影響が「ある」と回答した方に、影響があるものをたずねたところ、「運動(スポーツなど)」が43.5%で最も高く、次いで「仕事、家事、学業(時間や作業量などが制限される)」が41.2%となっている。

平成25年度と比較すると、「日常生活動作(起床、衣服着脱、食事、入浴など)」が12.0ポイント、「仕事、家事、学業(時間や作業量などが制限される)」が6.0ポイント増加している。

(2) 現在の健康状態

問13. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

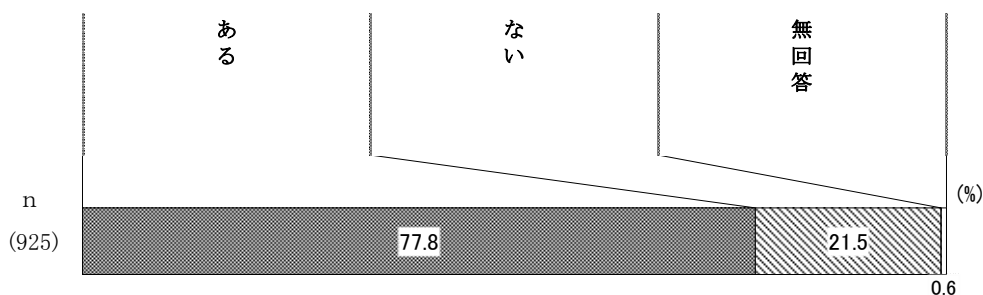


現在の健康状態は、「よい」(11.7%)と「まあよい」(22.1%)を合わせて、《よい》が33.8%となっている。「ふつう」が51.4%で最も高く、「あまりよくない」(12.1%)と「よくない」(0.9%)を合わせた《よくない》は13.0%である。

平成25年度と比較すると、「よい」が3.8ポイント減少し、「ふつう」が4.7ポイント増加している。

(3) 健診等の受診状況

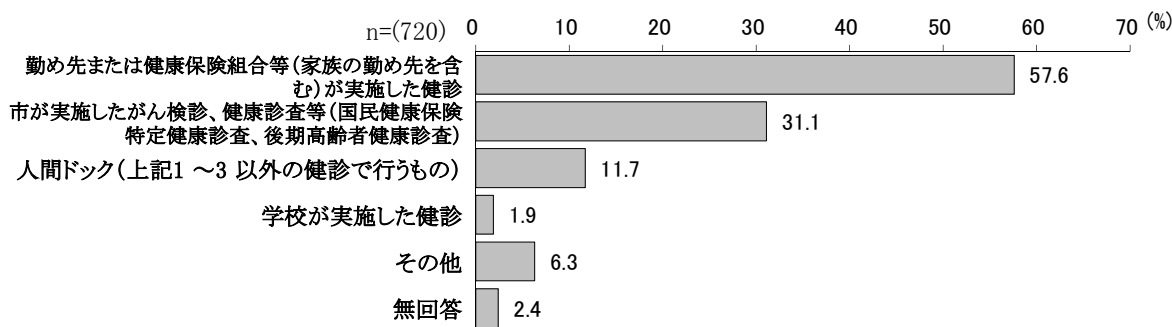
問14. あなたは過去1年間に、健診等(健康診査、がん検診及び人間ドック)を受けたことがありますか。



健診等の受診状況は、「ある」が77.8%で、「ない」(21.5%)よりも高くなっている。

(3-1) 受診している健康診断

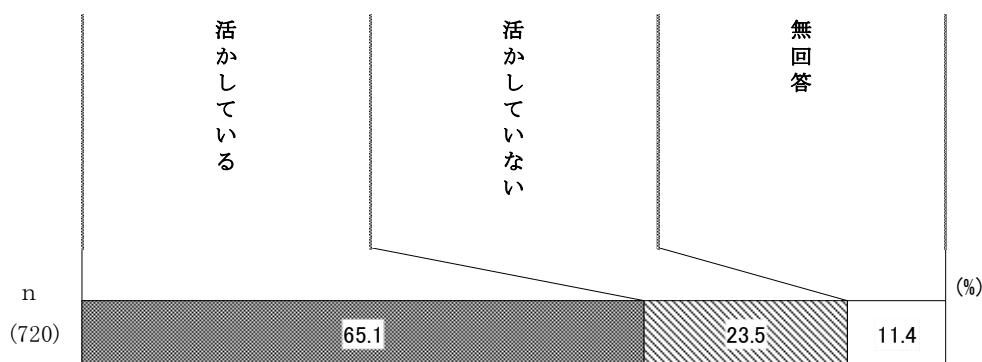
問14-1. 問14で「1.」を選んだ方におききます。どのような機会に健診等を受けましたか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。



問14で健診等を受けたことが「ある」と回答した方に、受診した健康診断をたずねたところ、「勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した健診」が57.6%で最も高く、次いで「市が実施したがん検診、健康診査等(国民健康保険特定健康診査、後期高齢者健康診査)」が31.1%となっている。

(3-2) 健診結果の活用状況

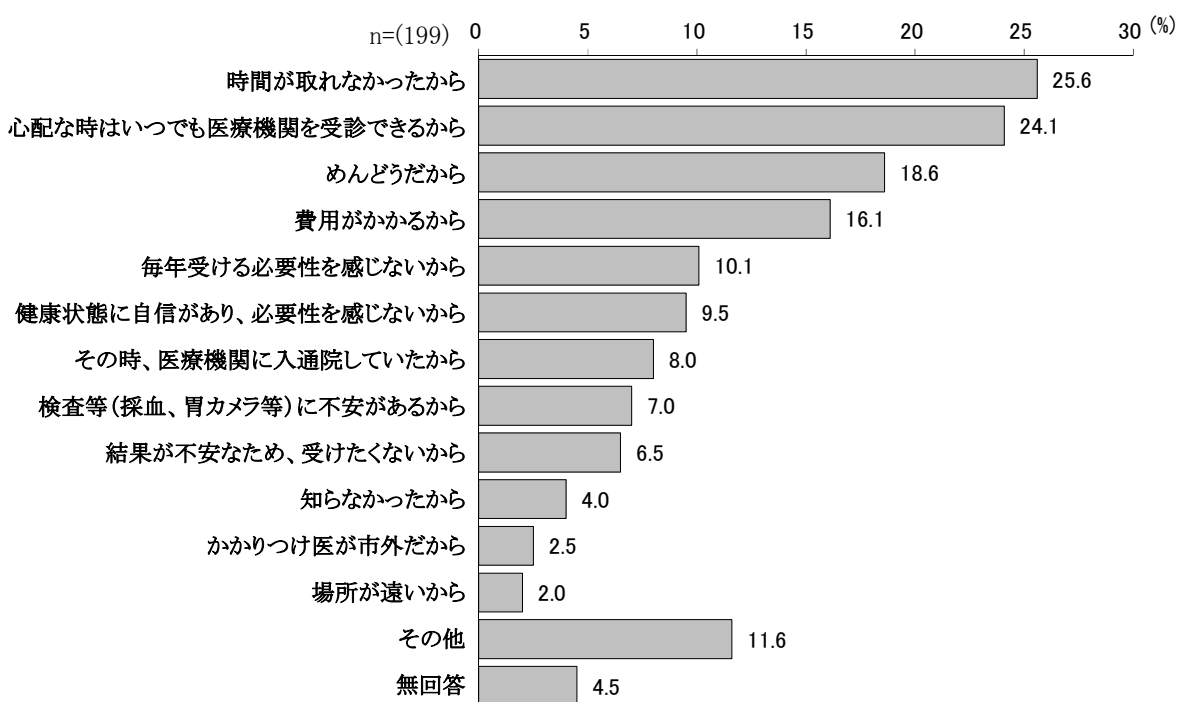
問14-2. 問14で「1.」を選んだ方におききます。健診等の結果をその後の生活に活かしていますか。(例: 食事に気を付ける・歩くようにする等)



問14で健診等を受けたことが「ある」と回答した方に、その結果の活用状況をたずねたところ、「活かしている」が65.1%で、「活かしていない」(23.5%)よりも高くなっている。

(3-3) 健診等を受けていない理由

問14-3. 問14で「2.」を選んだ方におききます。健診等を受けていない理由について、あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。



問14で健診等を受けたことが「ない」と回答した方に、その理由をたずねたところ、「時間が取れなかったから」が25.6%で最も高く、次いで「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」が24.1%、「めんどうだから」が18.6%、「費用がかかるから」が16.1%となっている。

<健診等を受けるための条件>

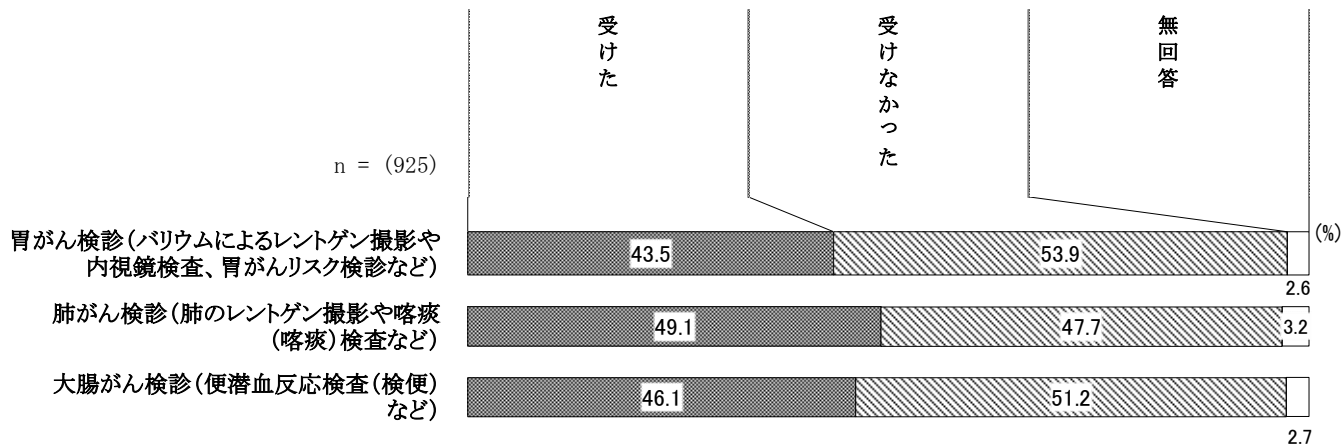
また、どのような条件がそろえばあなたは健診等を受けるか、自由に記述いただいたところ、62名より合計75件の具体的な回答をいただいた。

・費用の負担や軽減化	20件
・近くの場所や病院を選ぶことが出来ればよい	12件
・自分自身の体調や心境に変化があったら	10件
・事前の予約が取りにくい(仕事や家族の介護)のでいつでも予約が取れるなら	9件
・時間や曜日が合わない	7件
・検査項目が多ければよい	3件
・託児所や介添人があれば	3件
・その他(強制してもらえれば、信用できる先生なら等)	11件

(4) がん検診の受診状況・受診した機会

問15. あなたは、過去1年間に、下記の5つのがん検診を受けましたか。それぞれの検診についてお答えください。また、受診した検診ごとに、どのような機会に受診したのかお答えください。

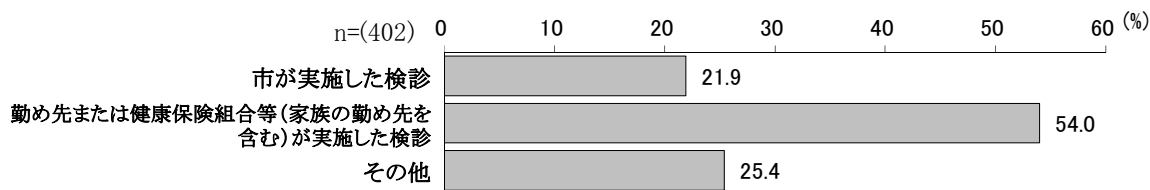
【検診の受診状況】



がん検診の受診状況は、「受けた」が、「肺がん検診」で49.1%、「大腸がん検診」で46.1%、「胃がん検診」で43.5%と続いている。

【受診した機会】

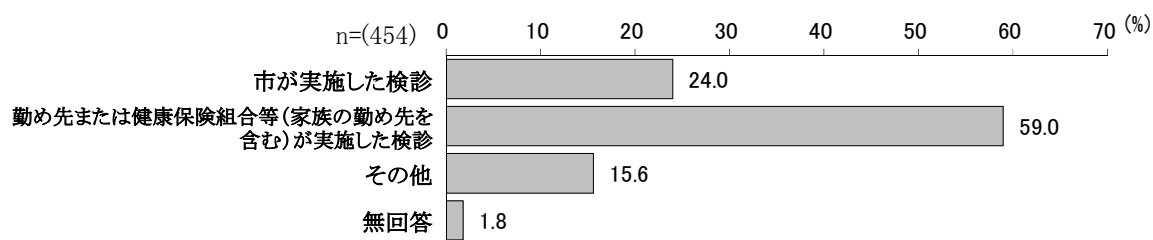
■胃がん検診



各がん検診を「受けた」と回答した方に、受診した機会をたずねた。

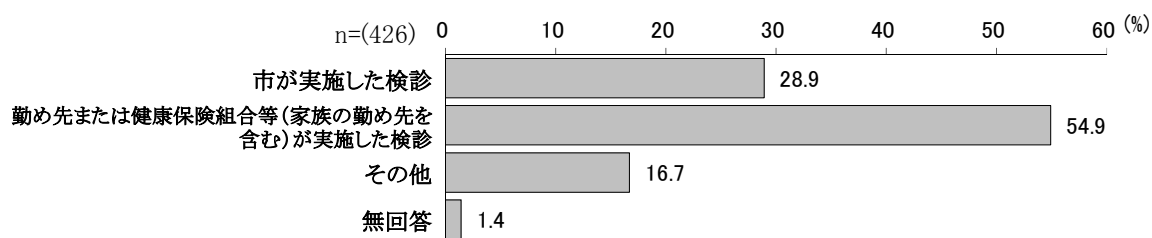
“胃がん検診”を受診した機会は、「勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診」が54.0%で最も高く、次いで「その他」が25.4%となっている。

■肺がん検診



“肺がん検診”を受診した機会は、「勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診」が59.0%で最も高く、次いで「市が実施した検診」が24.0%となっている。

■大腸がん検診

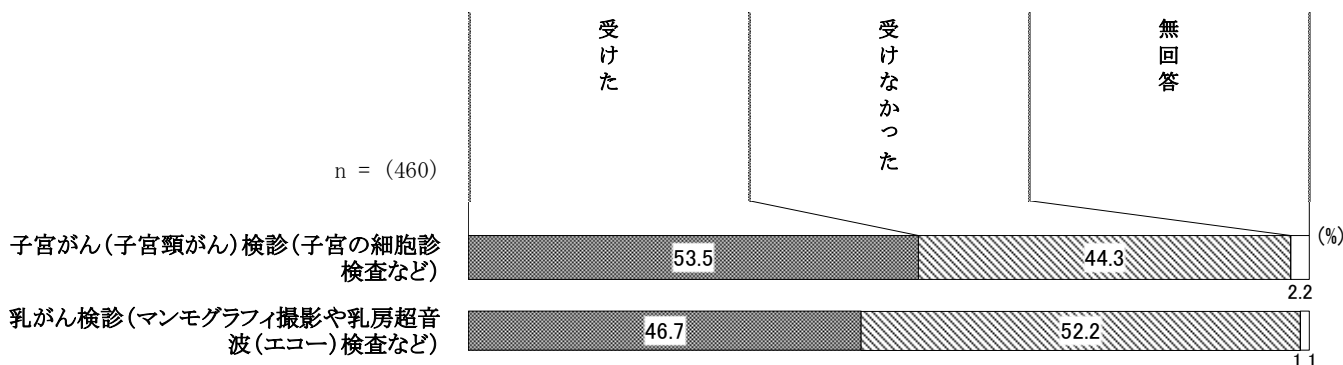


“大腸がん検診”を受診した機会は、「勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診」が54.9%で最も高く、次いで「市が実施した検診」が28.9%となっている。

(4-1) がん検診の受診状況・受診した機会（女性のみ）

問15-1. あなたは過去2年間に、下記のがん検診を受けましたか。それぞれの検診についてお答えください。また、受診した検診ごとに、どのような機会に受診したのかお答えください。

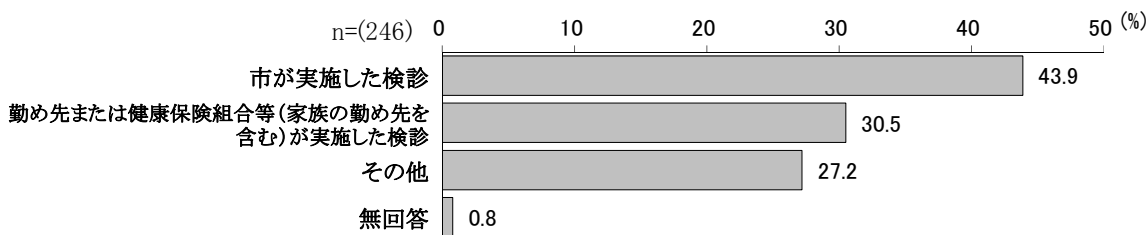
【がん検診の受診状況】



女性にたずねた、“子宮がん検診”と“乳がん検診”の受診状況は、「受けた」が、“子宮がん検診”で53.5%、“乳がん検診”で46.7%となっている。

【受診した機会】

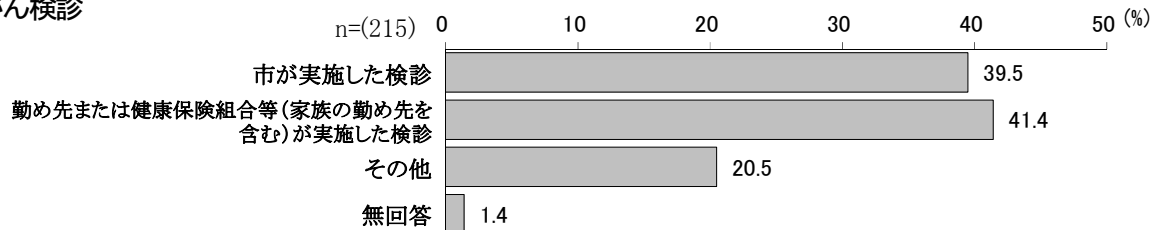
■子宮がん検診



“子宮がん検診”を「受けた」と回答した方に、受診した機会をたずねた。

“子宮がん検診”を受診した機会は、「市が実施した検診」が43.9%で最も高く、次いで「勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診」が30.5%となっている。

■乳がん検診

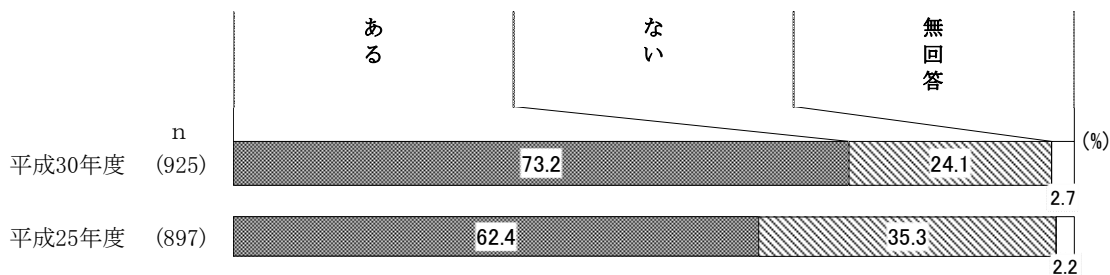


“乳がん検診”を「受けた」と回答した方に、受診した機会をたずねた。

“乳がん検診”を受診した機会は、「勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診」が41.4%で、「市が実施した検診」が39.5%と僅差で続く。

(5) かかりつけ医の有無

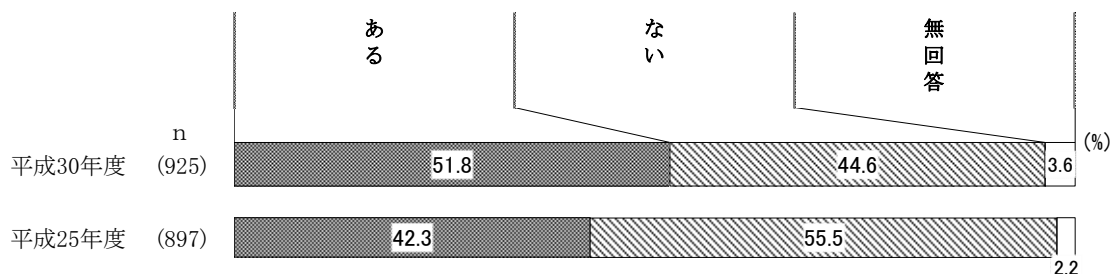
問16. 体調が悪い時、通える距離に受診・相談ができる、かかりつけ医がありますか。



かかりつけ医の有無は、「ある」が73.2%で、「ない」(24.1%)よりも高くなっている。平成25年度と比較すると、「ある」が10.8ポイント増加し、「ない」が11.2ポイント減少している。

(6) かかりつけ薬局の有無

問17. 薬に関する相談ができる、かかりつけ薬局がありますか。

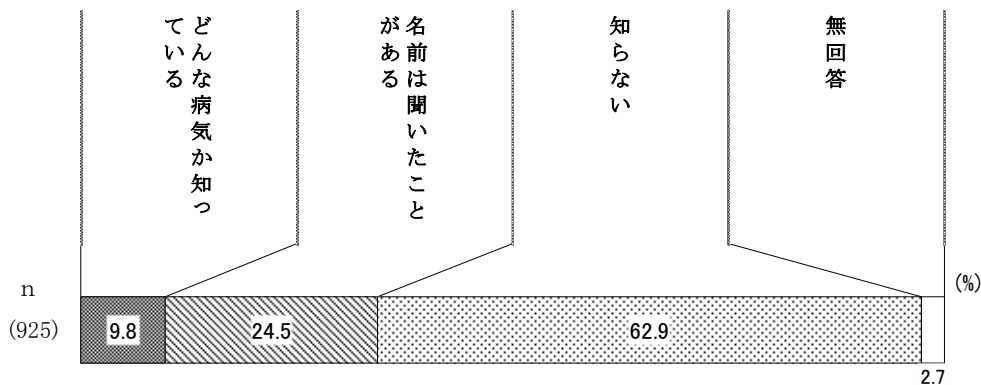


かかりつけ薬局の有無は、「ある」が51.8%で、「ない」(44.6%)よりも高くなっている。平成25年度と比較すると、「ある」が9.5ポイント増加し、「ない」が10.9ポイント減少している。

(7) CKD (慢性腎臓病) の認知度

問18. CKD(慢性腎臓病)という病気を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

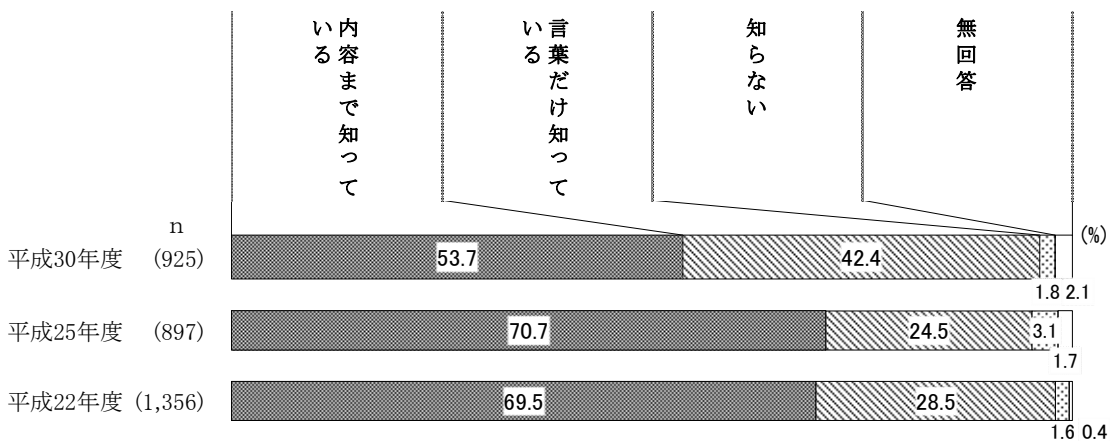
CKD(慢性腎臓病)とは、慢性的に経過する腎臓の病気のことをいいます。腎炎、糖尿病性腎症、慢性糸球体腎炎、腎硬化症などが含まれます。



CKD (慢性腎臓病) の認知度は、「知らない」が62.9%で最も高くなっている。

(8) メタボリックシンドロームの認知度

問19. メタボリックシンドロームを知っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

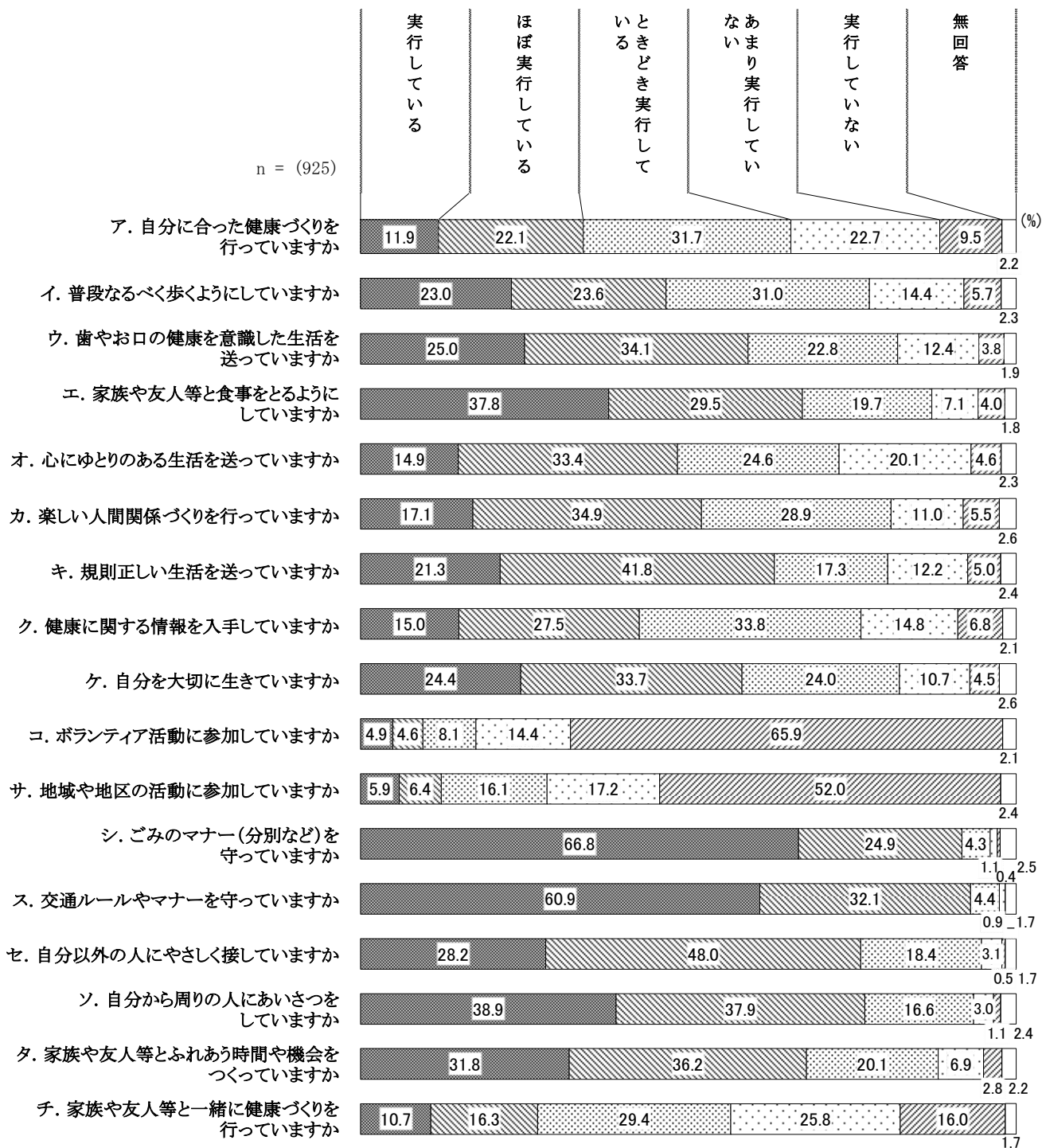


メタボリックシンドロームの認知度は、「内容まで知っている」が53.7%で最も高く、次いで「言葉だけ知っている」が42.4%となっている。

過去の調査結果と比較すると、平成25年度から今回の調査にかけて「内容まで知っている」が17.0ポイント減少し、「言葉だけ知っている」が17.9ポイント増加している。

(9) 健康に関する行動

問20. 普段のあなたの健康に関する行動について、次のア～への項目であてはまるものを、それぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。



健康に関する行動について、「実行している」、「ほぼ実行している」、「ときどき実行している」を合わせて、「実行している」、「あまり実行していない」と「実行していない」を合わせて《実行していない》とし、それぞれ上位5項目を整理すると、次のようになっている。

《実行している》

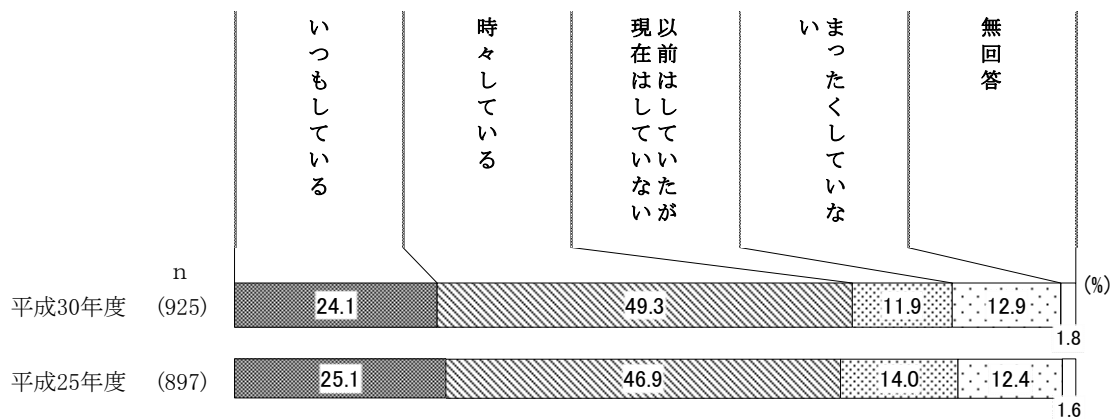
- | | |
|--------------------------------|-------|
| ① ス. 交通ルールやマナーを守っていますか | 97.4% |
| ② シ. ごみのマナー（分別など）を守っていますか | 96.0% |
| ③ セ. 自分以外の人にやさしく接していますか | 94.6% |
| ④ ソ. 自分から周りの人にあいさつをしていますか | 93.4% |
| ⑤ タ. 家族や友人等とふれあう時間や機会をつくっていますか | 88.1% |

《実行していない》

- | | |
|------------------------------|-------|
| ① コ. ボランティア活動に参加していますか | 80.3% |
| ② サ. 地域や地区の活動に参加していますか | 69.2% |
| ③ チ. 家族や友人等と一緒に健康づくりを行っていますか | 41.8% |
| ④ ア. 自分に合った健康づくりを行っていますか | 32.2% |
| ⑤ オ. 心にゆとりのある生活を送っていますか | 24.7% |

(10) 日頃の身体活動

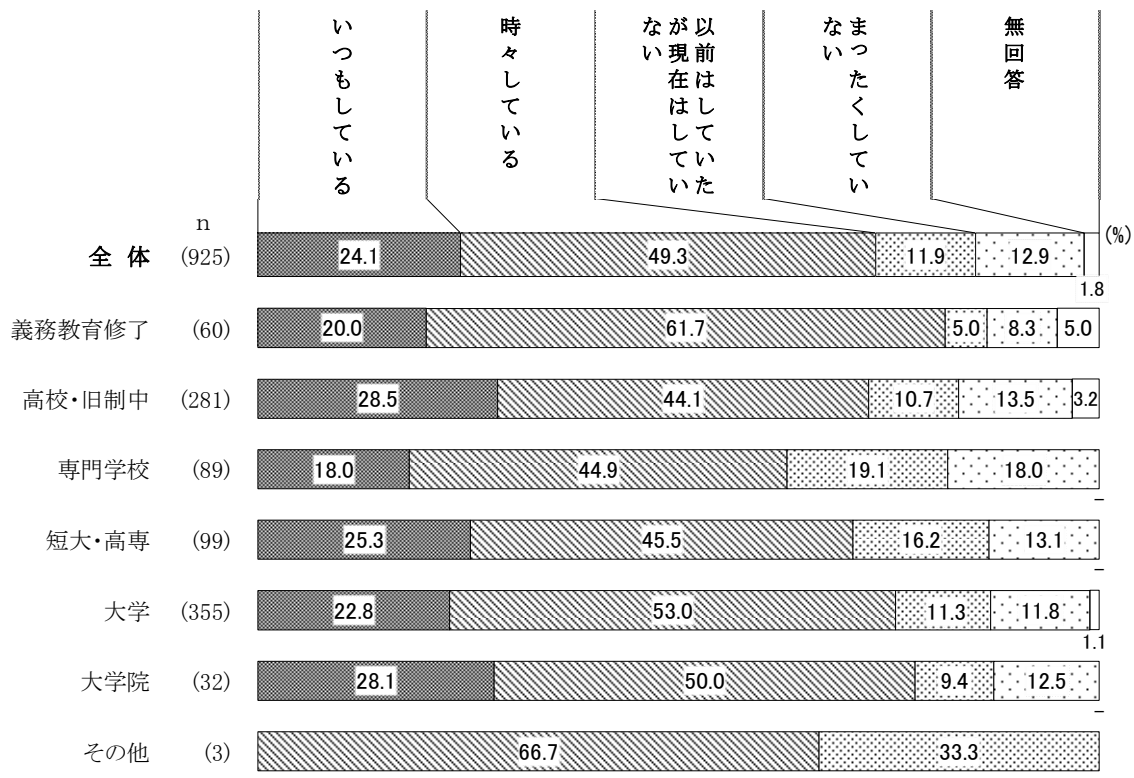
問21. 日頃から日常生活の中で、健康の維持・増進のために、意識的に身体を動かしていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



日頃の身体活動は、「いつもしている」(24.1%)と「時々している」(49.3%)を合わせて、《している》が73.4%となっている。一方、「以前はしていたが現在はしていない」(11.9%)と「まったくしていない」(12.9%)を合わせた《していない》は24.8%である。

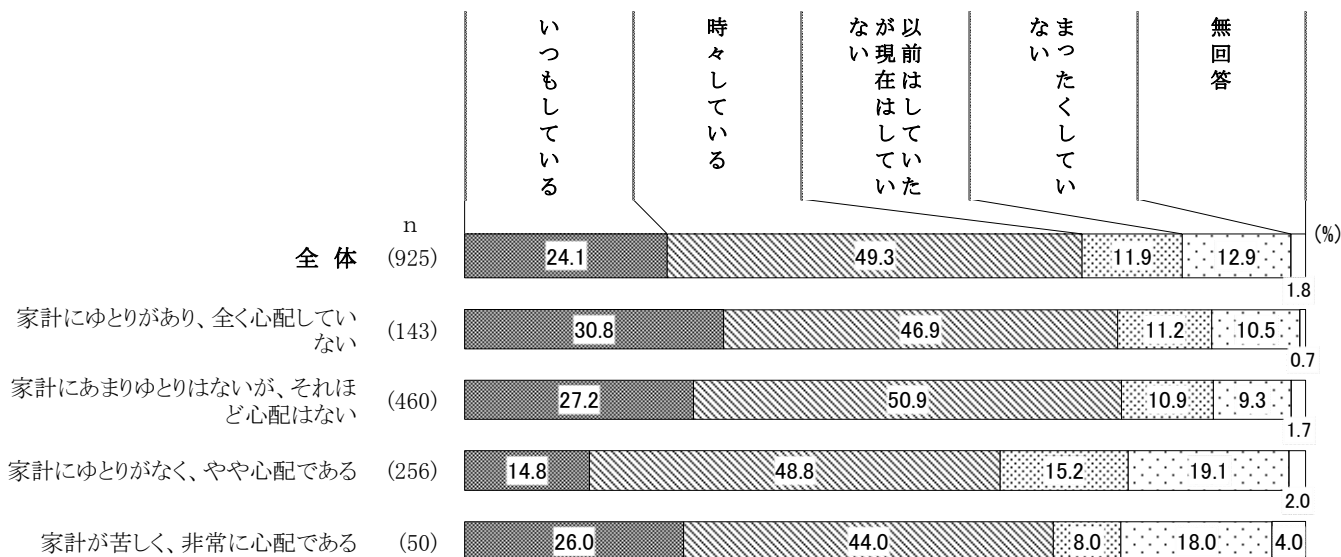
平成25年度と比較すると、特に大きな違いはみられない。

<最終学歴別／日頃の身体活動>



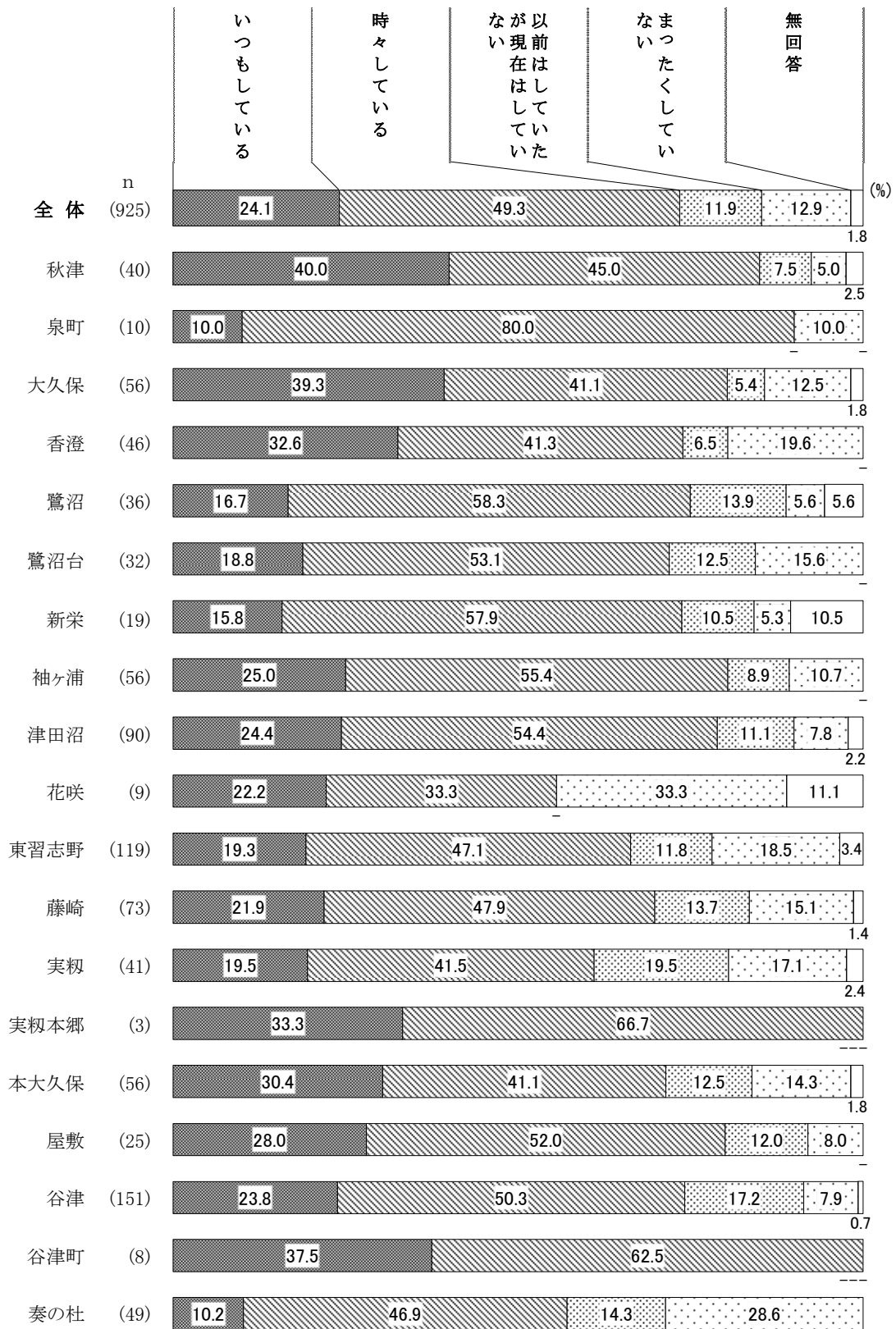
最終学歴別でみると、《している》は義務教育修了と大学院で8割前後と高くなっている。一方、《していない》は専門学校で37.1%と最も高い。

<現在の暮らし向き別／日頃の身体活動>



現在の暮らし向き別でみると、《している》は家計にゆとりがあり、全く心配していない人と家計にあまりゆとりはないが、それほど心配はないで約8割と高くなっている。一方、《していない》は家計にゆとりがなく、やや心配である人で34.3%と最も高い。

<居住地区別／日頃の身体活動>

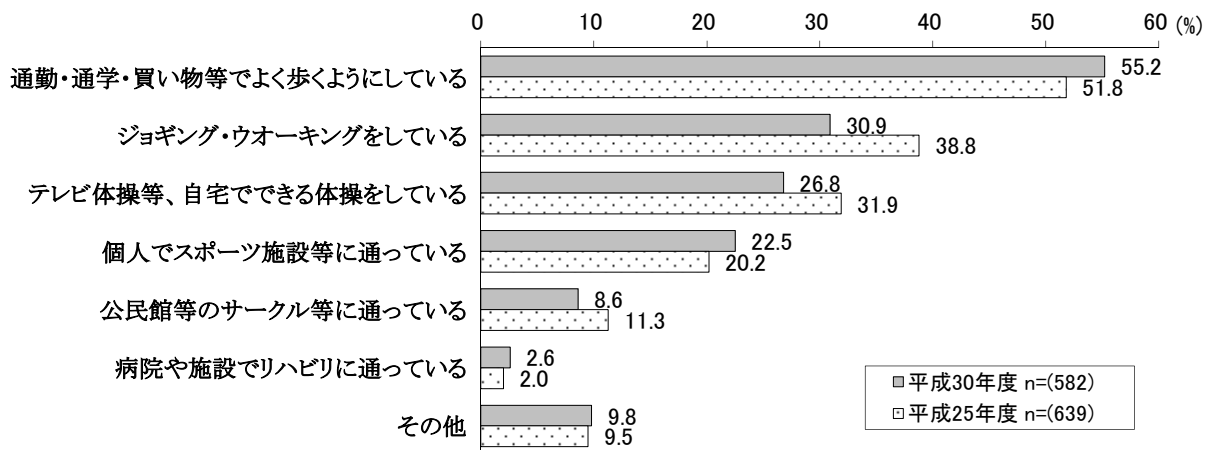


※nが25人未満の層は、人数が少ないので参考として図示し、文中では触れていない。

居住地区別でみると、《している》は秋津で85.0%と最も高く、次いで大久保と袖ヶ浦で80.4%と並んでいる。一方、《していない》は奏の杜で42.9%と最も高く、次いで実籾、東習志野で3割台となっている。

(10-1) 身体活動の内容

問21-1. 問21で「1. または2.」を選んだ方におききます。では、どのように身体を動かしていますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。



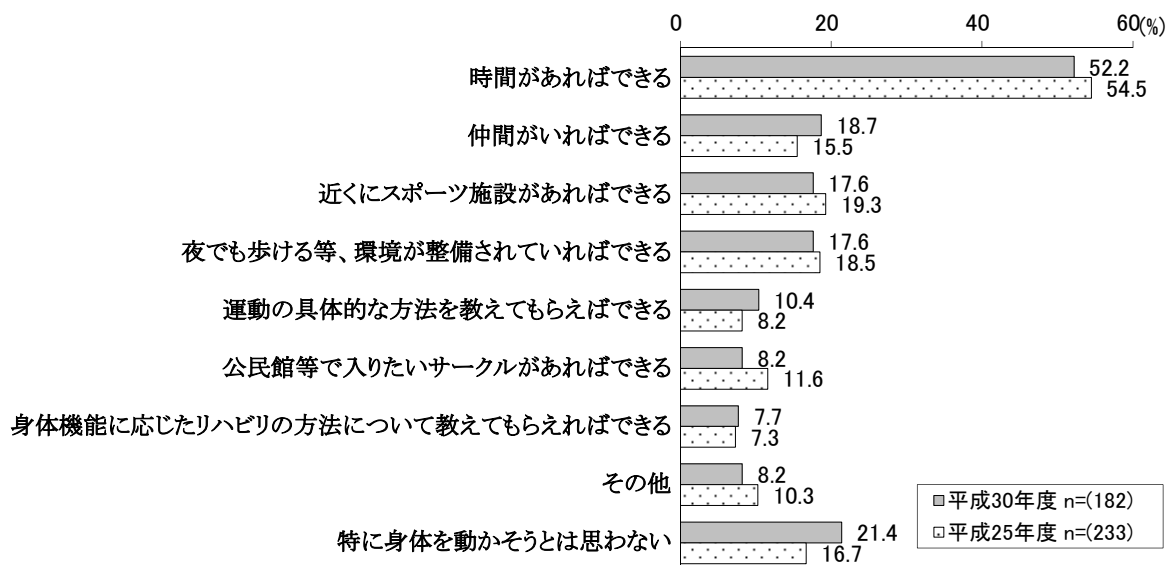
※この設問は無回答の人数を除いて算出している。

問21で日頃の身体活動を《している》と回答した方に、その内容をたずねたところ、「通勤・通学・買い物等でよく歩くようにしている」が55.2%で最も高く、次いで「ジョギング・ウォーキングをしている」が30.9%、「テレビ体操等、自宅でできる体操をしている」が26.8%、「個人でスポーツ施設等に通っている」が22.5%となっている。

平成25年度と比較すると、「通勤・通学・買い物等でよく歩くようにしている」が3.4ポイント増加している。逆に、「ジョギング・ウォーキングをしている」が7.9ポイント、「テレビ体操等、自宅でできる体操をしている」が5.1ポイント減少している。

(10-2) 身体活動ができる条件

問21-2. 問21で「3. または4.」を選んだ方におききます。身体を動かすことができる条件として、あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。



※前々回は選択肢に「その他」なし。

※この設問は無回答の人数を除いて算出している。

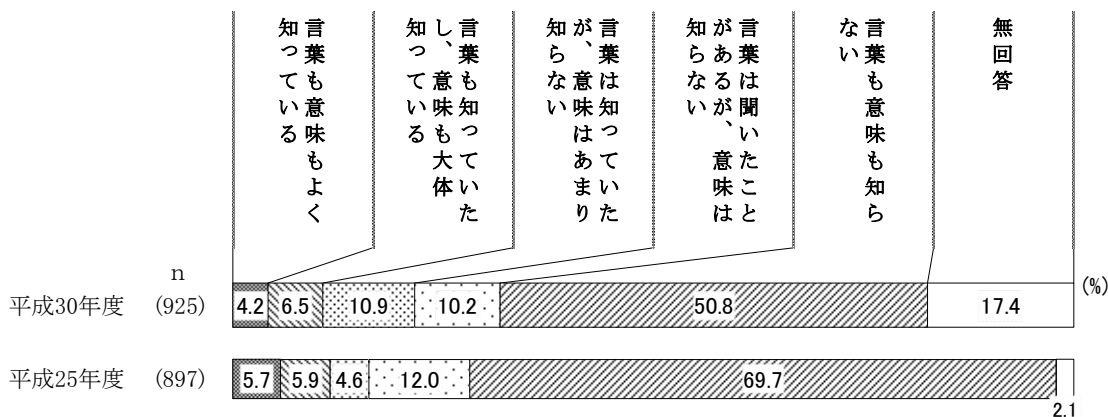
問21で日頃の身体活動を《していない》と回答した方に、身体活動ができる条件をたずねたところ、「時間があればできる」が52.2%で最も高くなっている。次いで「仲間がいればできる」が18.7%、「近くにスポーツ施設があればできる」と「夜でも歩ける等、環境が整備されていればできる」が17.6%である。

平成25年度と比較すると、「特に身体を動かそうとは思わない」が4.7ポイント、「仲間がいればできる」が3.2ポイント増加し、「公民館等で入りたいサークルがあればできる」が3.4ポイント減少している。

(11) ロコモティブシンドロームの理解度

問22. ロコモティブシンドロームという言葉と、その意味を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

ロコモティブシンドロームとは、運動器の障害による要介護の状態や要介護リスクの高い状態を表す新しい言葉で、「運動器症候群」ともいいます。



ロコモティブシンドロームの理解度は、「言葉も意味もよく知っている」(4.2%)、「言葉も知っているし、意味も大体知っている」(6.5%)、「言葉は知っているが、意味はあまり知らない」(10.9%)、「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」(10.2%)までを合わせて、「言葉を聞いたことがある」が31.8%である。一方、「言葉も意味も知らない」が50.8%で最も高くなっている。

平成25年度と比較すると、「言葉を聞いたことがある」は3.6ポイント増加している。

健康日本21 (第二次)

【「ロコモティブシンドロームを認知している国民の割合の増加」現状と目標】

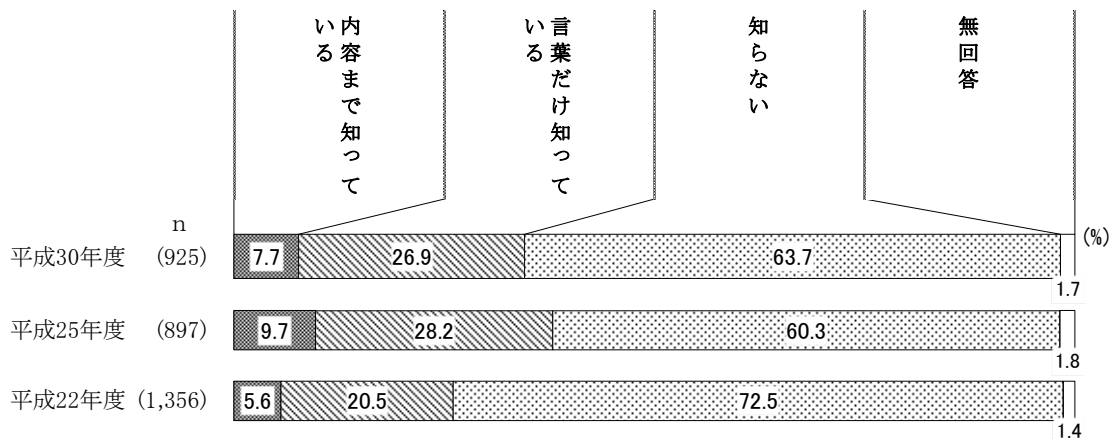
習志野市		国の現状と目標		
前回	今回	策定時	直近	目標
28.2% (平成25年度)	31.8% (平成30年度)	(参考値) 17.3% (平成24年) (変更後) 44.4% (平成27年)	46.8% (平成29年)	80% (平成34年度)

※国の現状と目標は、『「健康日本21 (第二次)」中間評価報告書』(平成30年9月 厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会)による。

ロコモティブシンドロームの《言葉を聞いたことがある》、つまり「認知度」は、本市は31.8%と国の直近の現状より低い値となっている。

(12) 「てんとうむし(転倒無視)体操」の認知度

問23. 習志野市オリジナルの「てんとうむし(転倒無視)体操」を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



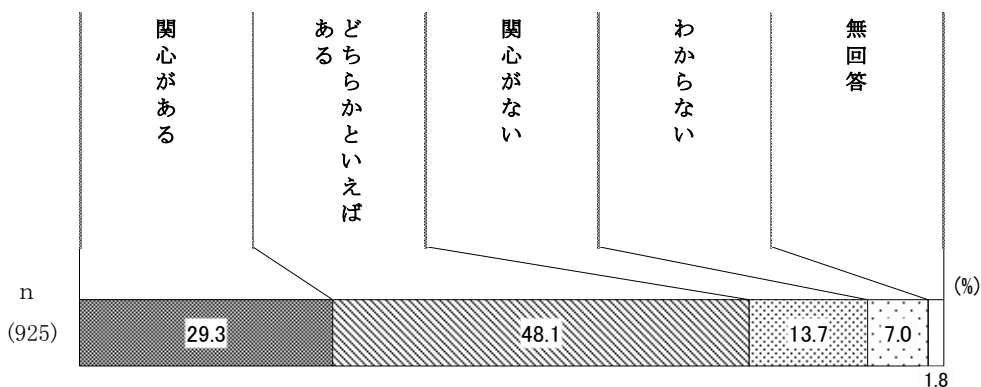
「てんとうむし(転倒無視)体操」の認知度は、「内容まで知っている」が7.7%、「言葉だけ知っている」が26.9%で、「知らない」が63.7%と最も高くなっている。

過去の調査結果と比較すると、平成25年度から今回の調査にかけて「知らない」が3.4ポイント増加している。

(13) 食育の関心度

問24. あなたは食育に関心がありますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

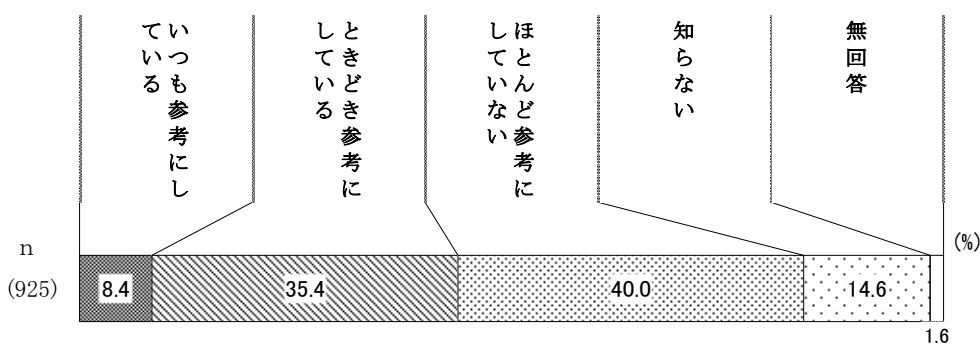
食育とは、心身の健康と豊かな人間形成のために食に関する知識や食を選択する力を身につけ、健全な食生活を実践することができる人間を育てる事です。



食育の関心度は、「関心がある」(29.3%)と「どちらかといえばある」(48.1%)を合わせて、《ある》が77.4%となっている。一方、「関心がない」は13.7%である。

(14) 「食事バランスガイド」「三食食品群」等の参考程度

問25. 「食事バランスガイド」「三食食品群」等何かを参考にして食生活を送っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

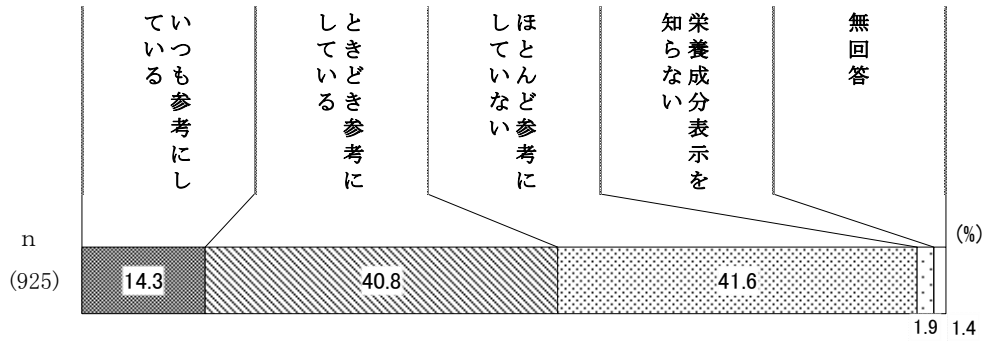


「食事バランスガイド」「三食食品群」等の参考程度は、「いつも参考にしている」(8.4%)と「ときどき参考にしている」(35.4%)を合わせて、《参考にしている》が43.8%となっている。一方、「ほとんど参考にしていない」は40.0%であり、「知らない」が14.6%みられる。

(15) 外食や食品購入時、「栄養成分表示」の参考程度

問26. 外食や食品を購入する時に「栄養成分表示」を参考にしていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

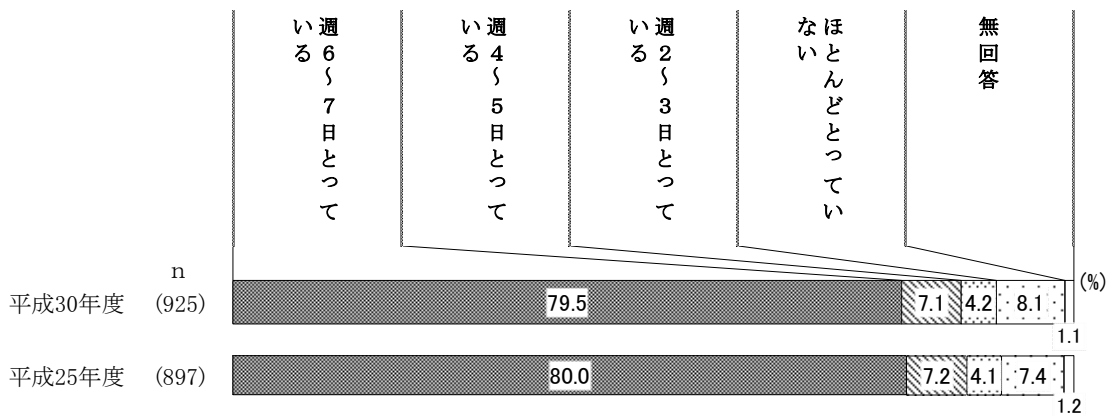
栄養成分表示とは、エネルギー、たんぱく質、脂質、炭水化物、塩分などの表示です。



「栄養成分表示」の参考程度は、「いつでも参考にしている」(14.3%)と「ときどき参考にしている」(40.8%)を合わせて、「参考にしている」が55.1%となっている。一方、「ほとんど参考にしていない」が41.6%である。

(16) 朝食の摂取状況

問27. 普段、朝食をとっていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



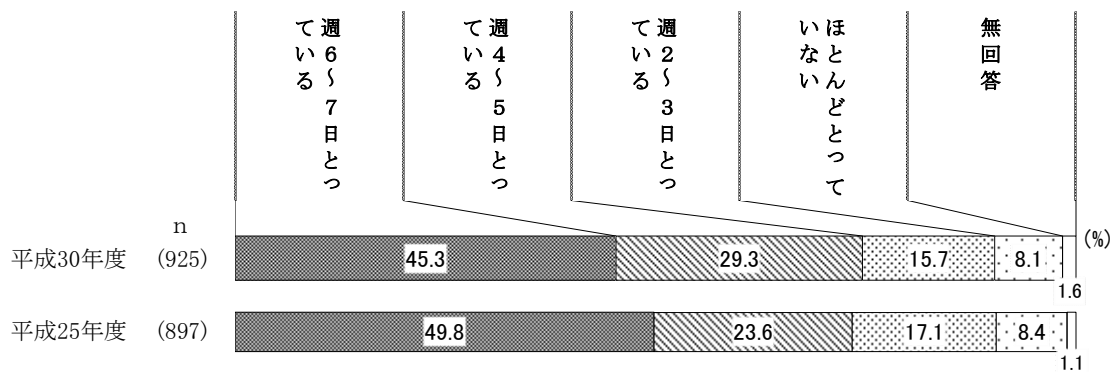
朝食の摂取状況は、「週6〜7日とっている」が79.5%で最も高くなっている。一方、「ほとんどとっていない」が8.1%みられる。

平成25年度と比較すると、特に大きな違いはみられない。

(17) バランスのとれた食事の1日2回以上の摂取状況

問28. バランスのとれた食事(主食・主菜・副菜を組み合わせた食事)を、1日2回以上とっていますか。
あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 主食:米、パン、めん類などの穀類
- 副菜:野菜、きのこ、いも、海藻料理など
- 主菜:魚、肉、卵、大豆料理など



バランスのとれた食事の1日2回以上の摂取状況は、「週6～7日とっている」が45.3%で最も高く、次いで「週4～5日とっている」が29.3%となっている。一方、「ほとんどとっていない」が8.1%みられる。平成25年度と比較すると、「週6～7日とっている」が4.5ポイント減少し、「週4～5日とっている」が5.7ポイント増加している。

健康日本21 (第二次)

【「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加」現状と目標】

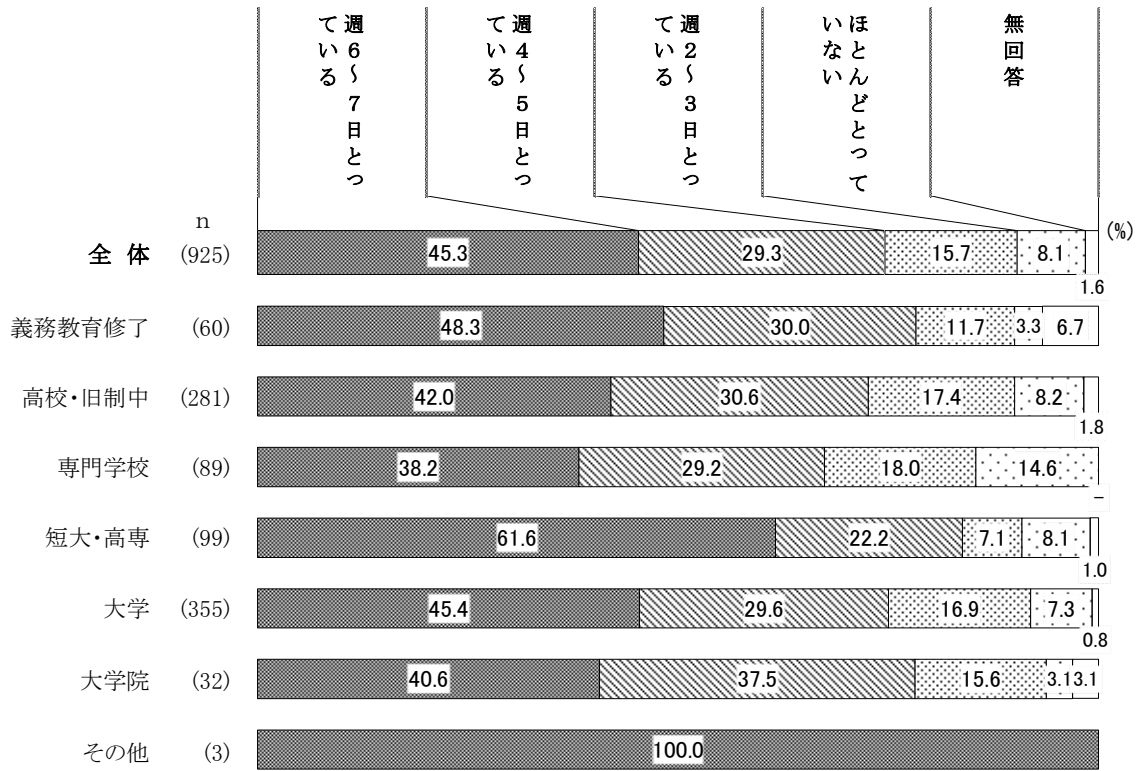
習志野市		国の現状と目標		
前回	今回	策定時	直近	目標
49.8% (平成25年度)	45.3% (平成30年度)	68.1% (平成23年)	59.7% (平成28年)	80% (平成34年度)

※国の現状と目標は、『「健康日本21 (第二次)」中間評価報告書』(平成30年9月 厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会)による。

「週6～7日とっている」は、本市は45.3%と国の直近の現状を下回っている。

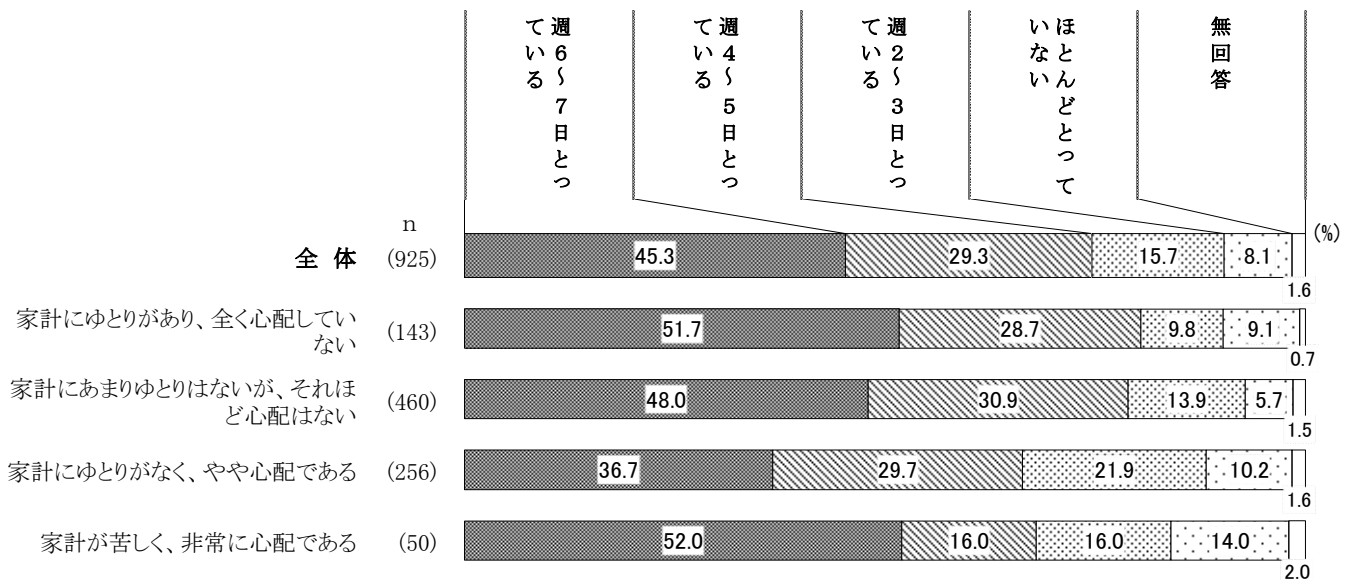
第2章 調査結果の詳細

<最終学歴別／バランスのとれた食事の1日2回以上の摂取状況>



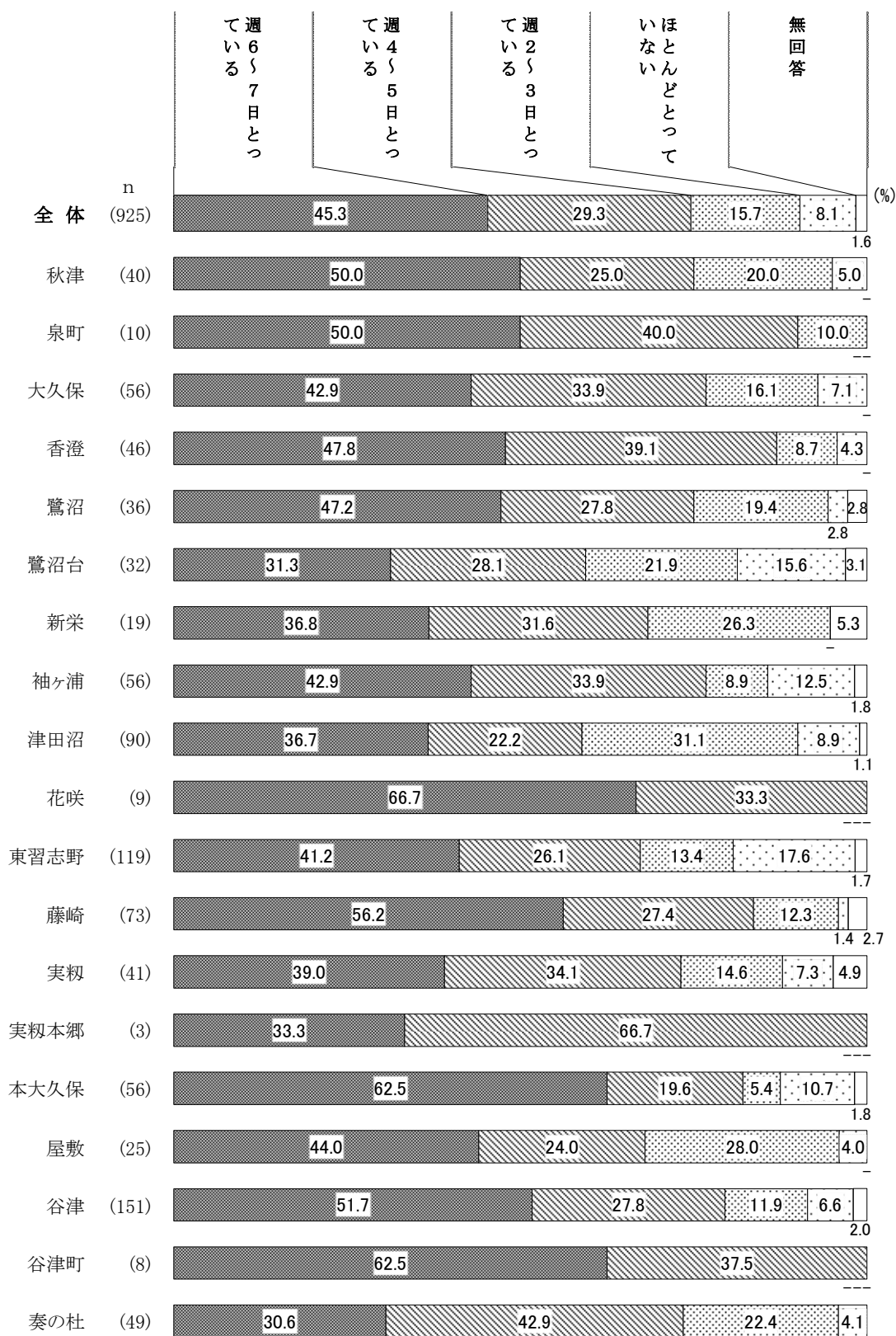
最終学歴別でみると、「週6～7日とっている」は短大・高専で61.6%と最も高くなっている。一方、「ほとんどとっていない」は専門学校で14.6%みられる。

<現在の暮らし向き別／バランスのとれた食事の1日2回以上の摂取状況>



現在の暮らし向き別でみると、「週6～7日とっている」は家計にゆとりがあり、全く心配していない人と家計が苦しく、非常に心配である人で、それぞれ5割を超え高くなっている。

<居住地区別／バランスのとれた食事の1日2回以上の摂取状況>

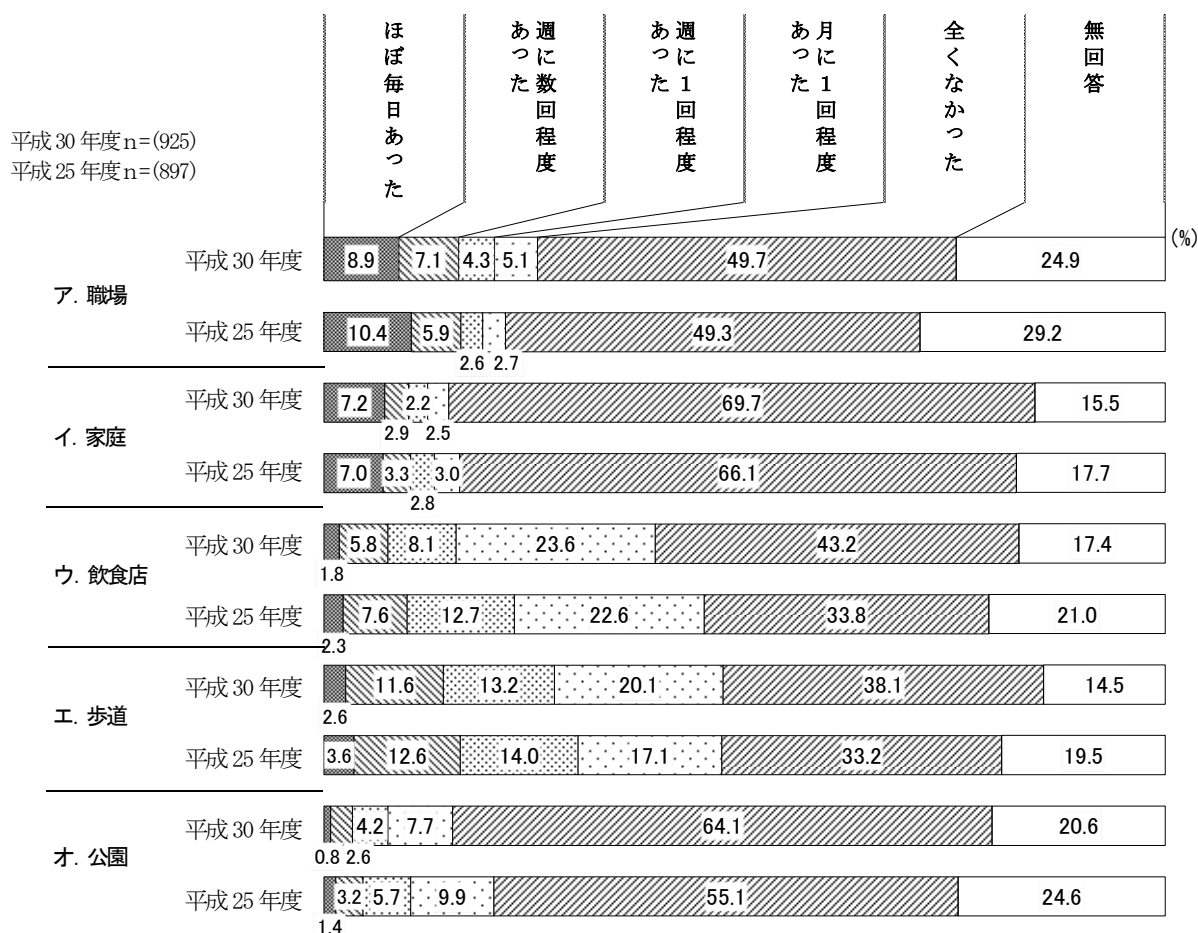


※nが25人未満の層は、人数が少ないので参考として図示し、文中では触れていない。

居住地区別でみると、「週6〜7日とっている」は本大久保で62.5%と最も高く、次いで藤崎、谷津、秋津で5割台となっている。一方、「ほとんどとっていない」は東習志野で17.6%と最も高く、次いで鷺沼台で15.6%である。

(18) 受動喫煙の頻度

問29. この1か月間に自分以外の人が吸っていたタバコの煙に接した経験(受動喫煙)がありましたか。
 次のア～オの場所について、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。



受動喫煙の頻度としては、「ほぼ毎日あった」は、「ア. 職場」(8.9%)と「イ. 家庭」(7.2%)で約1割となっている。「エ. 歩道」では、「週に数回程度あった」(11.6%)と「週に1回程度あった」(13.2%)が、それぞれ1割以上である。また、「月に1回程度あった」が、「ウ. 飲食店」(23.6%)、「エ. 歩道」(20.1%)で2割以上となっている。

平成25年度と比較すると、いずれの場所で「全くなかった」は増加しており、特に、「ウ. 飲食店」は9.4ポイント、「オ. 公園」は9.0ポイント増加している。

健康日本21（第二次）

【「受動喫煙の機会を有する者の割合の減少」現状と目標】

習志野市		国の現状と目標		
前回	今回	策定時	直近	目標
職場 17.3%	職場 21.3%	行政機関 16.9% (平成20年)	行政機関 8.0% (平成28年)	望まない受動喫煙 のない社会の実現 (平成34年度)
家庭 5.1%	家庭 5.6%	医療機関 13.3% (平成20年)	医療機関 6.2% (平成28年)	
飲食店 46.1% (平成25年度)	飲食店 39.0% (平成30年度)	職場 64% (平成23年)	職場 65.4% (平成28年)	
		家庭 10.7% (平成22年)	家庭 7.7% (平成28年)	
		飲食店 50.1% (平成22年)	飲食店 42.2% (平成28年)	

※国の現状と目標は、『「健康日本21（第二次）」中間評価報告書』（平成30年9月 厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会）による。

※国の目標については、中間評価において、策定時の目標から変更が行われている。

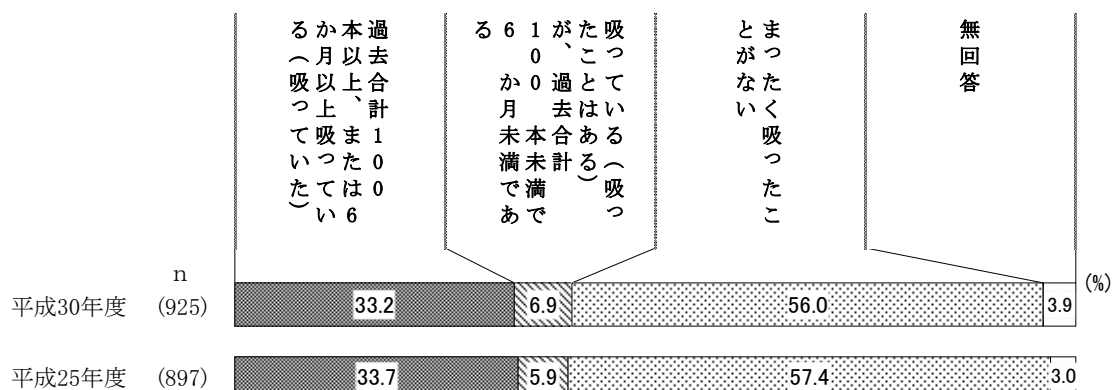
※受動喫煙の機会を有する者の対象は、「現在習慣的に喫煙している者（p46参照）以外の者。

※国の現状と目標の受動喫煙の機会は、「行政機関」「医療機関」「職場（市の現状）」は月1回以上、「家庭」はほぼ毎日
で算出。「職場（国の現状）」の値は全面禁煙又は空間分煙を講じている職場の場合。

受動喫煙の機会を有する者の割合を国の現状と比べると、「職場」は算出方法が異なることより参考ではあるが、本市は国の直近の現状より、「家庭」と「飲食店」とも低くなっている。

(19) 喫煙経験

問30. これまでにたばこを吸ったことがありますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

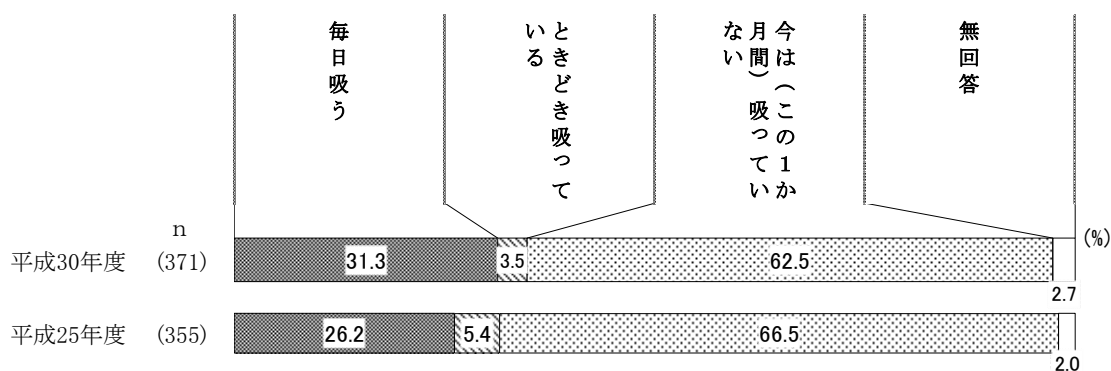


喫煙経験は、「過去合計100本以上、または6か月以上吸っている(吸っていた)」が33.2%で、「吸っている(吸ったことはある)が、過去合計100本未満で6か月未満である」(6.9%)と合わせると、「喫煙経験がある」は40.1%となっている。一方、「まったく吸ったことがない」が56.0%と最も高い。

平成25年度と比較すると、特に大きな違いはみられない。

(19-1) 現在の喫煙状況

問30-1. 問30で「1. または2.」を選んだ方におききます。現在(この1か月間)、たばこを吸っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

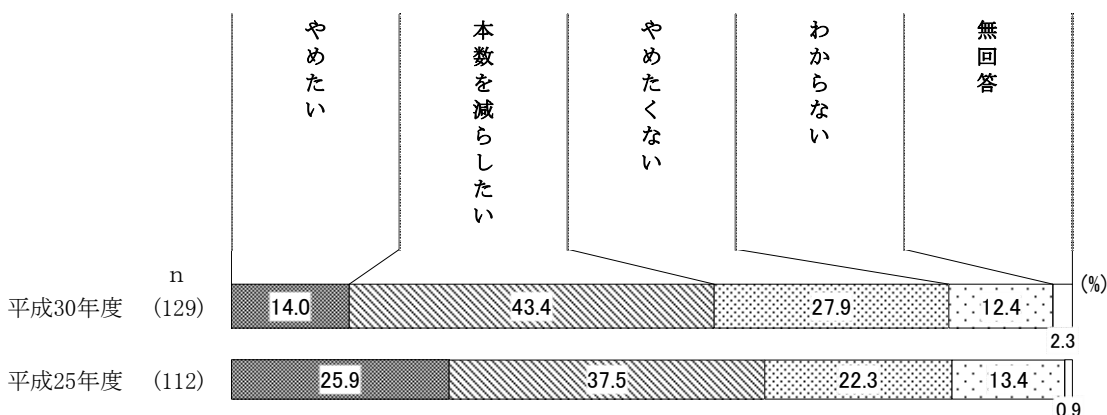


問30で「喫煙経験がある」と回答した方に、この1か月間の喫煙状況をたずねたところ、「毎日吸う」が31.3%で、「ときどき吸っている」が3.5%となっている。一方、「今は(この1か月間)吸っていない」が62.5%で最も高くなっている。

平成25年度と比較すると、「毎日吸う」が5.1ポイント増加し、「今は(この1か月間)吸っていない」が4.0ポイント減少している。

(19-2) 禁煙意向

問30-2. 問30-1 で「1. または2.」を選んだ方におききます。たばこをやめたいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

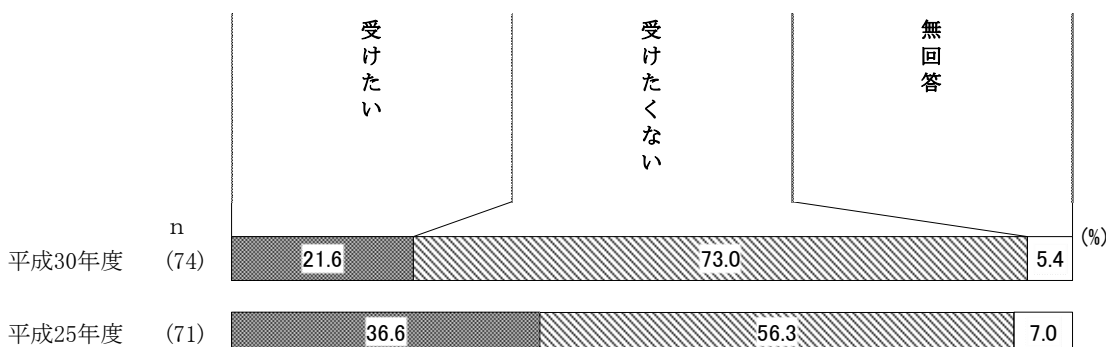


問30で《喫煙経験がある》と回答した方に、たばこをやめたいと思うかたずねたところ、「やめたい」が14.0%で、「本数を減らしたい」が43.4%となっているが、「やめたくない」が27.9%みられる。

平成25年度と比較すると、「やめたい」が11.9ポイント減少している。一方、「本数を減らしたい」が5.9ポイント、「やめたくない」が5.6ポイント増加している。

(19-3) 禁煙指導希望

問30-3. 問30-2で「1. または2.」を選んだ方におききます。禁煙指導を受けたいと思いますか。

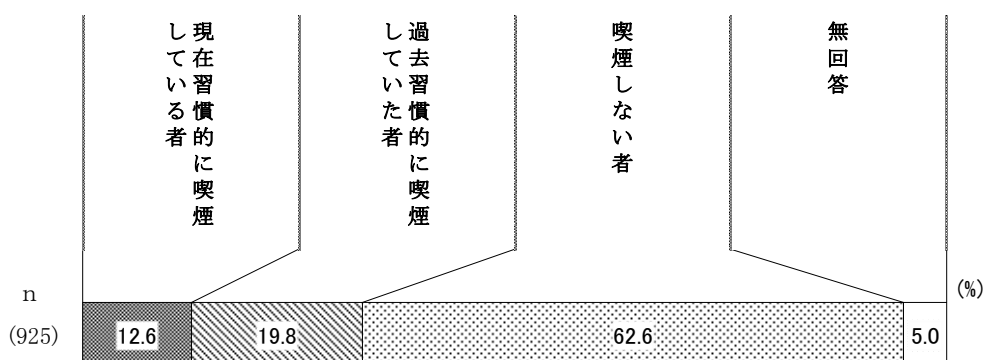


問30-2でたばこを「やめたい」か「本数を減らしたい」と回答した方に、禁煙指導を受けたいかたずねたところ、「受けたい」が21.6%で、「受けたくない」が73.0%と高くなっている。

平成25年度と比較すると、「受けたい」が15.0ポイント減少し、「受けたくない」が16.7ポイント増加している。

(20) 習慣的な喫煙率

前述している問30と問30-1の回答状況を整理し、回答者全員を分母とした、習慣的な喫煙率を算出した。



※現在習慣的に喫煙している者：問30で、「過去100本以上、または6か月以上たばこを吸っている（吸っていた）」と回答した方のうち、問30-1で「毎日吸う」又は「ときどき吸っている」と回答した方

※過去習慣的に喫煙していた者：問30で、「過去100本以上、または6か月以上たばこを吸っている（吸っていた）」と回答した方のうち、問30-1で「今は（この1か月間）吸っていない」と回答した方

※喫煙しない者：問30で、「吸っている（吸ったことはある）」が、過去合計100本未満で6か月未満である」または「まったく吸ったことがない」と回答した方

「現在習慣的に喫煙している者」は12.6%、「過去習慣的に喫煙していた者」が19.8%となっている。また、「喫煙しない者」が62.6%である。

健康日本21（第二次）

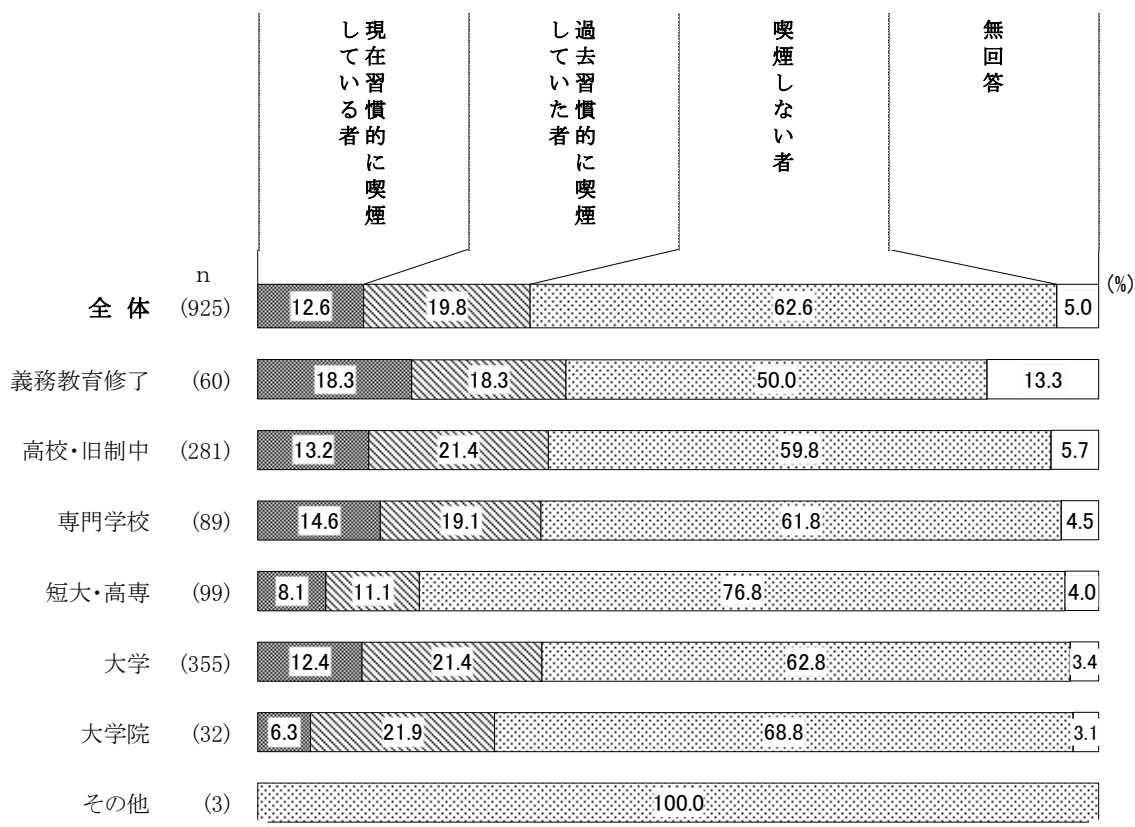
【「成人の喫煙率の減少（喫煙をやめたい人がやめる）」現状と目標】

習志野市		国の現状と目標		
前回	今回	策定時	直近	目標
11.3% (平成25年度)	12.6% (平成30年度)	19.5% (平成22年)	18.3% (平成28年)	12% (平成34年度)

※国の現状と目標は、『「健康日本21（第二次）」中間評価報告書』（平成30年9月 厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会）による。

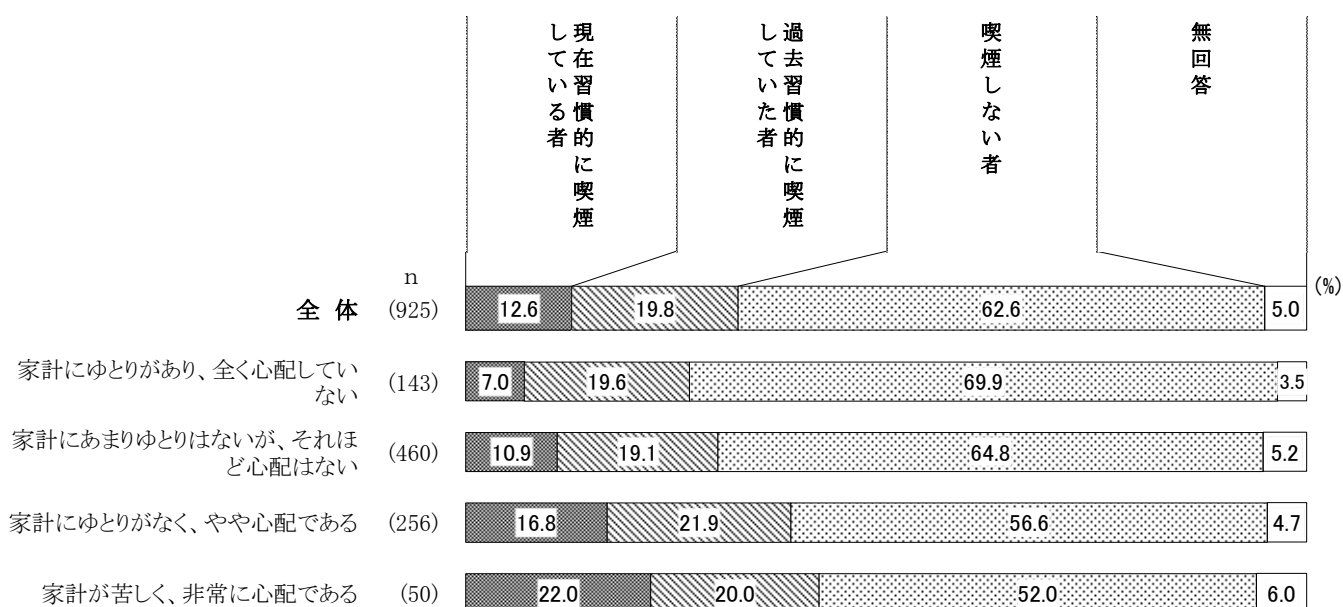
「現在習慣的に喫煙している者」は12.6%であり、国の直近の現状に比べて低くなっている。

<最終学歴別／喫煙習慣>



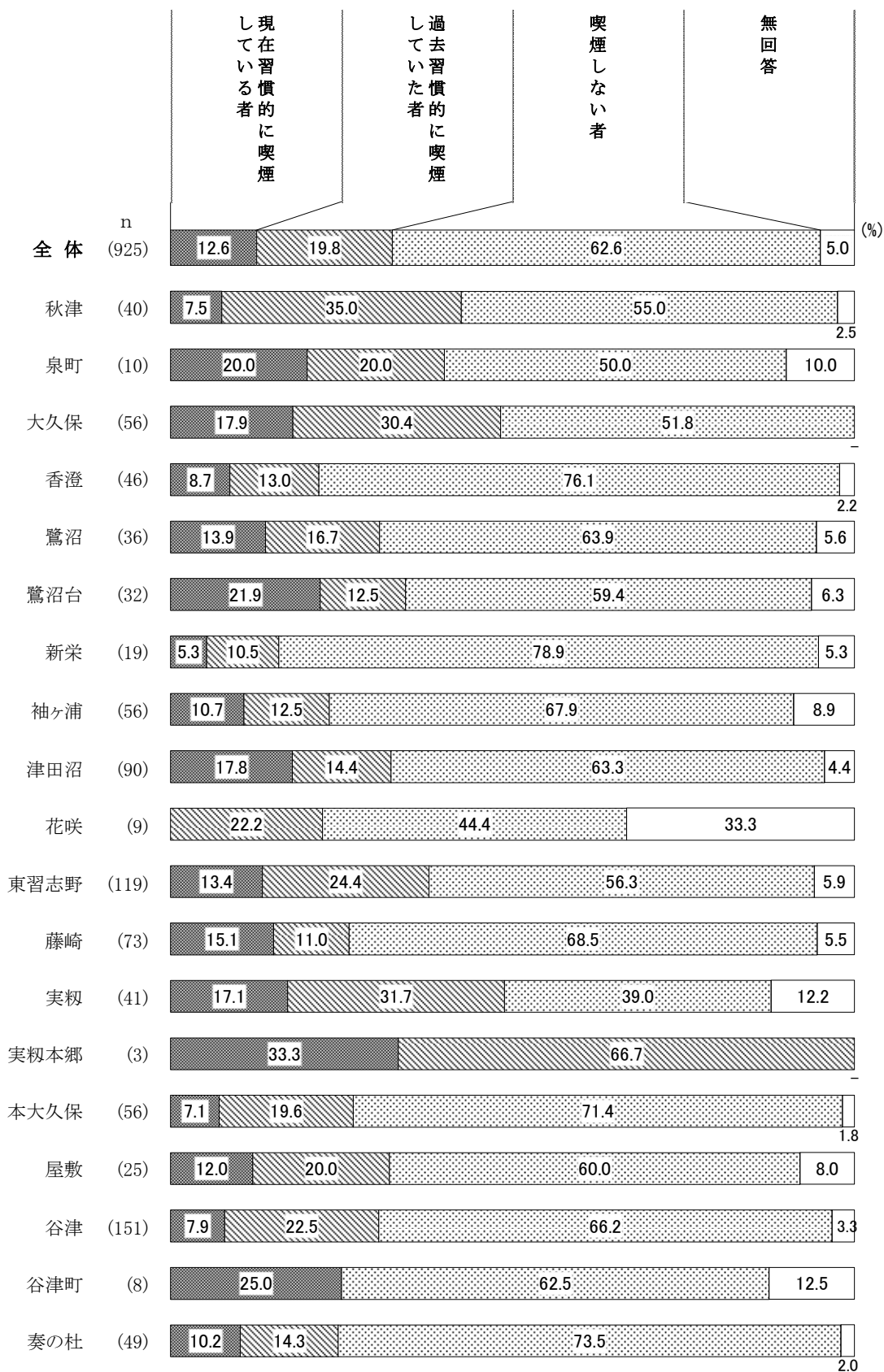
最終学歴別で見ると、「現在習慣的に喫煙している者」は義務教育修了で18.3%と最も高くなっている。一方、「喫煙しない者」は短大・高専で76.8%と最も高い。

<現在の暮らし向き別／喫煙習慣>



現在の暮らし向き別で見ると、「現在習慣的に喫煙している者」は家計にゆとりがないほど高く、家計が苦しく、非常に心配である人で22.0%となっている。

<居住地区別／喫煙習慣>



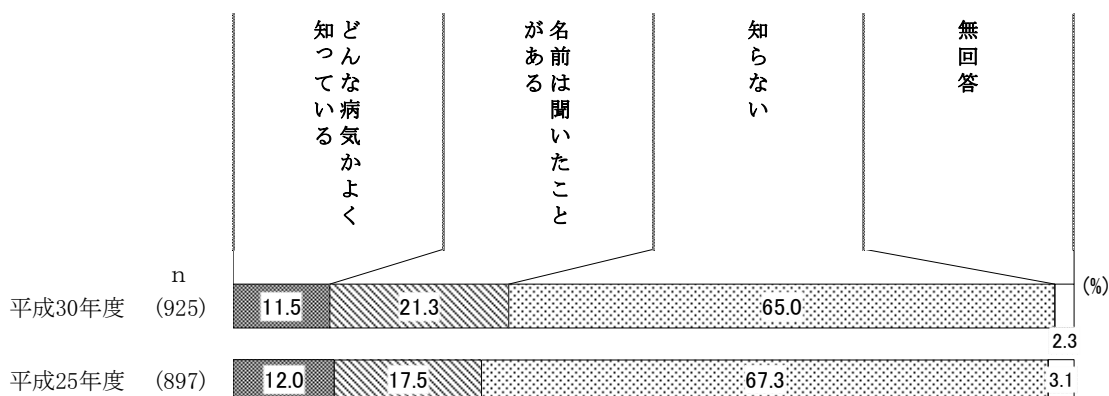
※nが25人未満の層は、人数が少ないので参考として図示し、文中では触れていない。

居住地区別でみると、「現在習慣的に喫煙している者」は鷺沼台で21.9%と最も高くなっている。

(21) COPDの認知度

問31. COPD(シー・オー・ピー・ディー)という病気を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

COPD とは、セキやタン、息切れが主な症状で、「慢性気管支炎」と「肺気腫」のどちらか、または両方によって肺への空気の流れが悪くなる病気で、慢性閉塞性肺疾患ともいいます。



COPDの認知度は、「どんな病気がよく知っている」が11.5%、「名前は聞いたことがある」が21.3%で、《聞いたことがある》は32.8%である。一方、「知らない」が65.0%と最も高くなっている。平成25年度と比較すると、「名前は聞いたことがある」が3.8ポイント増加し、《聞いたことがある》としてみると、3.3ポイント増加している。

健康日本21 (第二次)

【「COPDの認知度の向上」現状と目標】

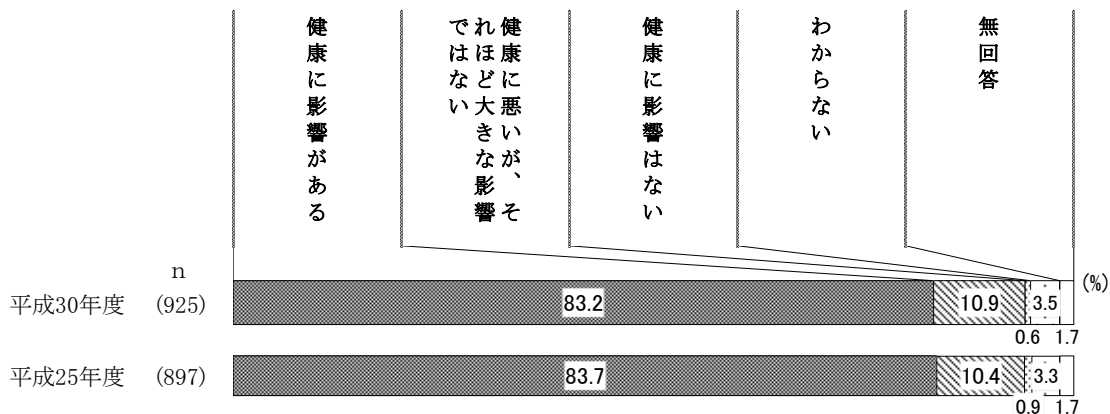
習志野市		国の現状と目標		
前回	今回	策定時	直近	目標
29.5% (平成25年度)	32.8% (平成30年度)	25.0% (平成23年)	25.5% (平成29年)	80% (平成34年度)

※国の現状と目標は、『健康日本21 (第二次) 中間評価報告書』(平成30年9月 厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会) による。

《聞いたことがある》が32.8%と、本市は国の直近の現状を上回っている。

(22) 受動喫煙の影響

問32. 他人の吸うたばこの煙が、たばこを吸わない人の身体に与える影響についてどう思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

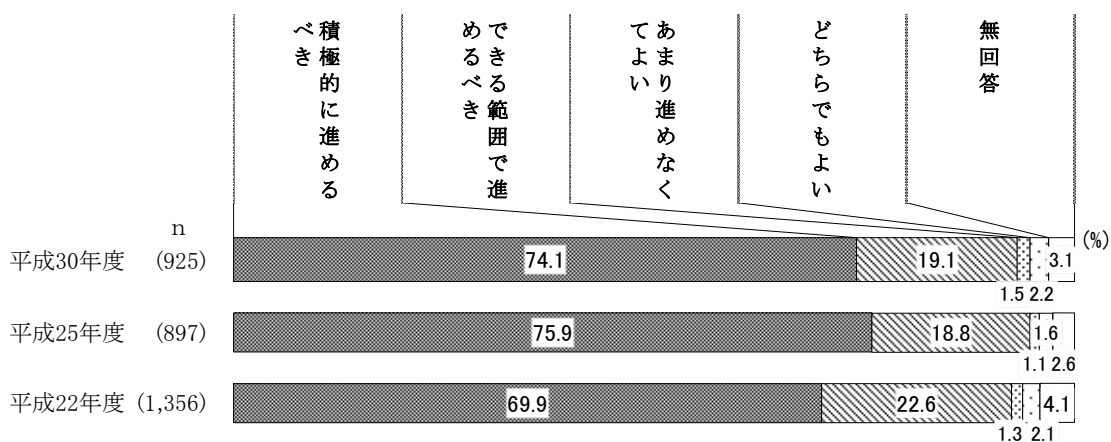


受動喫煙の影響は、「健康に影響がある」が83.2%で最も高くなっている。平成25年度と比較すると、特に大きな違いはみられない。

(23) 分煙についての考え

問33. 分煙について、どう思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

分煙とは、たばこを吸う場所をしっかりと分け、たばこを吸わない人が煙を吸い込むことがないようにすることです。

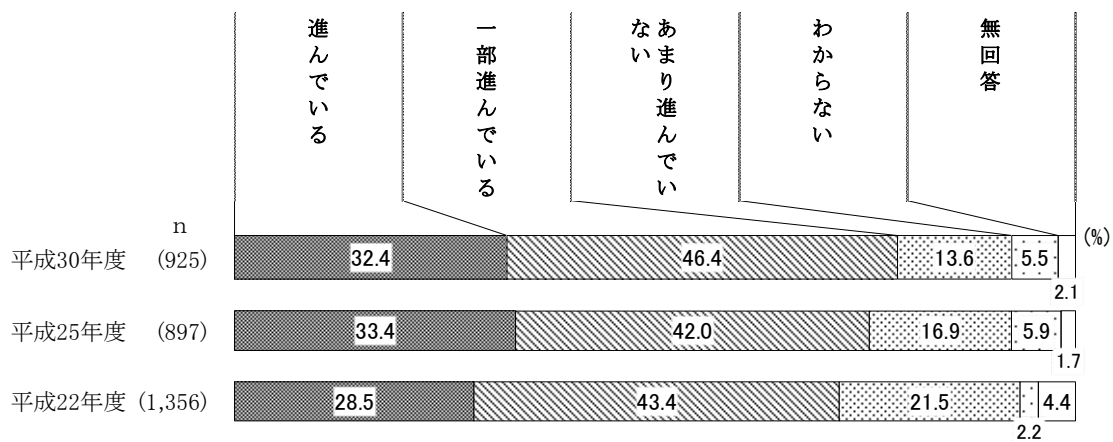


分煙についての考えは、「積極的に進めるべき」が74.1%で最も高く、次いで「できる範囲で進めるべき」が19.1%となっている。

平成25年度と比較すると、特に大きな違いはみられない。

(24) 分煙化の進行状況

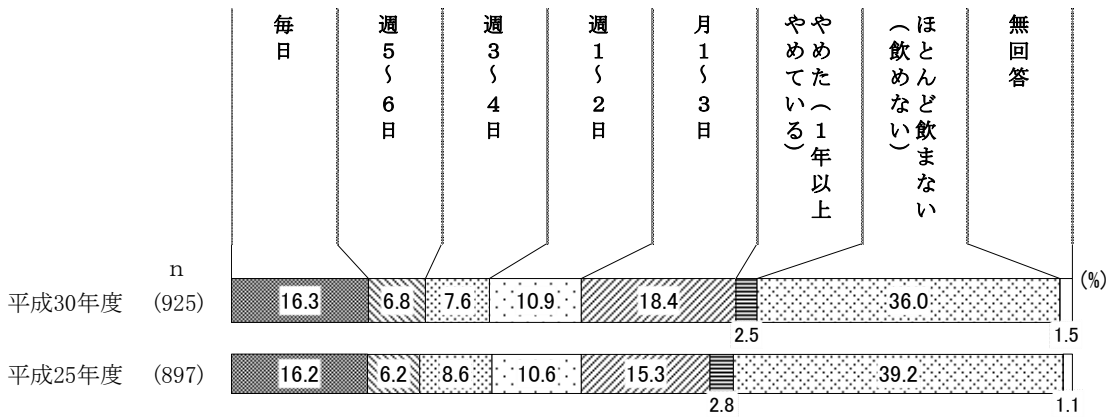
問34. あなたの周囲では分煙が進んでいると思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



分煙化の進行状況は、「進んでいる」が32.4%で、「一部進んでいる」が46.4%と最も高くなっている。これらを合わせると、「進んでいる」は78.8%となっている。一方、「あまり進んでいない」が13.6%である。過去の調査結果と比較すると、「進んでいる」は増加傾向がみられる。

(25) 飲酒頻度

問35. どのくらいの頻度でお酒(清酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲みますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



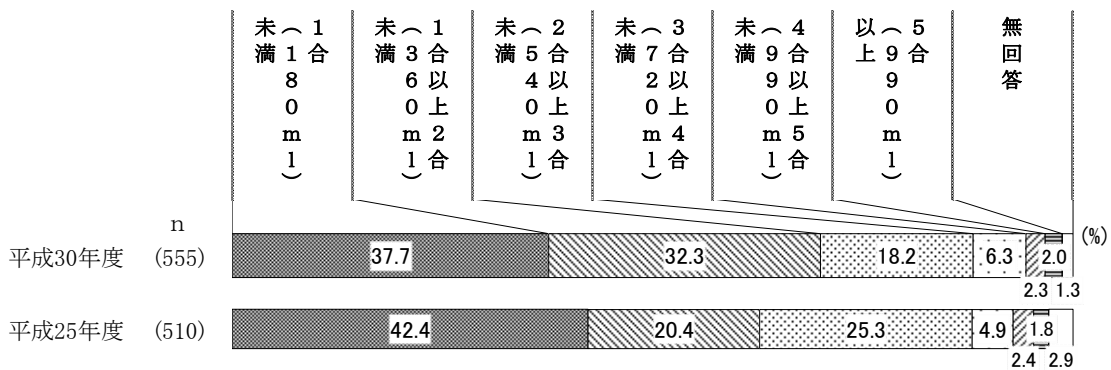
飲酒頻度は、「毎日」が16.3%で、「週5~6日」(6.8%)、「週3~4日」(7.6%)を合わせた《週に3日以上》は30.7%となっている。一方、「ほとんど飲まない(飲めない)」が36.0%で高くなっている。

平成25年度と比較すると、「月1~3日」が3.1ポイント増加し、「ほとんど飲まない(飲めない)」が3.2ポイント減少している。

(25-1) 1日の飲酒量

問35-1. 問35で「1. から5.」を選んだ方におきします。お酒を飲む時は1日あたり、清酒に換算してどれくらいの量を飲みますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

清酒1合(180ml)は、次の量にほぼ相当します。
ビール・発泡酒中瓶1本(約500ml)、焼酎20度(135ml)、焼酎25度(110ml)、焼酎35度(80ml)、
酎ハイ7度(350ml)、ウイスキーダブル1杯(60ml)、ワイン2杯(240ml)



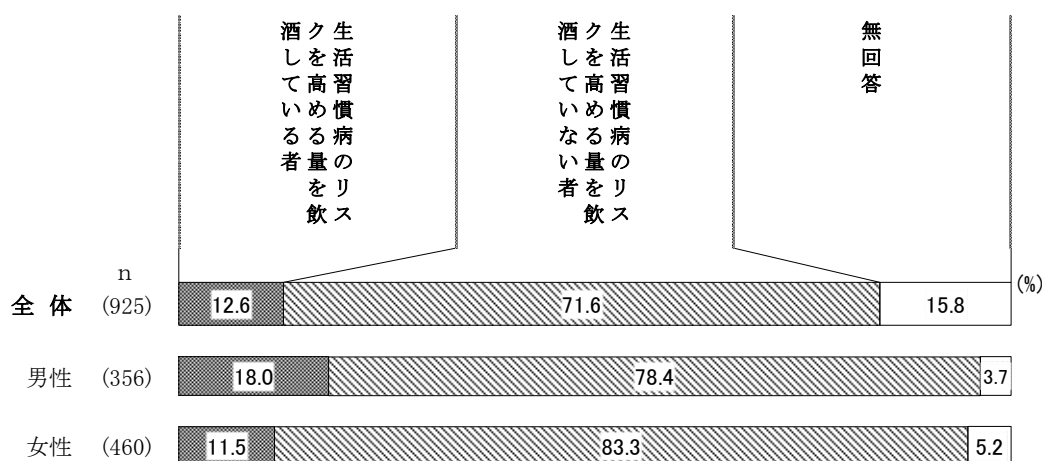
問35で「毎日」から「月1~3日」のいずれかを回答した方に、1日の飲酒量をたずねたところ、「1合(180ml)未満」が37.7%で最も高く、次いで「1合以上2合(360ml)未満」が32.3%、「2合以上3合(540ml)未満」が18.2%となっている。

(26) 生活習慣病のリスクを高める飲酒

前述している問35と問35-1の回答状況を整理し、「国民健康・栄養調査」の考え方（健康日本21（第二次）における目標項目値の出典でもある）に合わせて、「1日当たりの純アルコール摂取量が男性で40g（清酒換算でおよそ2合）以上、女性で20g（清酒換算でおよそ1合）以上飲酒している」ことを生活習慣病のリスクを高める飲酒と定義して再集計を行った。

なお、生活習慣病のリスクを高める飲酒の算出は、性別により算定式が異なる。詳細は、以下のとおりである。

- ①男性：「毎日×2合以上」＋「週5～6日×2合以上」＋「週3～4日×3合以上」＋「週1～2日×5合以上」＋「月1～3日×5合以上」
- ②女性：「毎日×1合以上」＋「週5～6日×1合以上」＋「週3～4日×1合以上」＋「週1～2日×3合以上」＋「月1～3日×5合以上」



性別での結果を合計し、全体として算出した結果、「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者」が12.6%で、「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒していない者」が71.6%となっている。

性別でみると、「生活習慣病リスクを高める量を飲酒している者」（男性：18.0% 女性：11.5%）は、男性の方が女性よりも6.5ポイント高くなっている。

健康日本21（第二次）

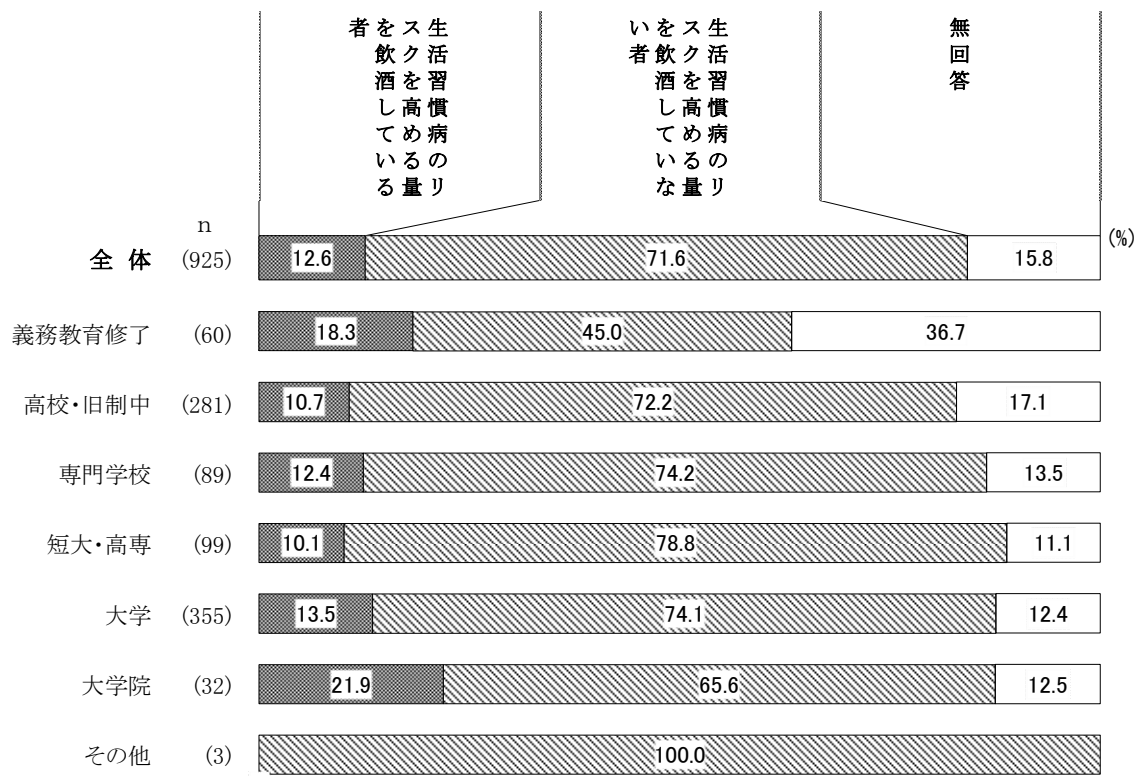
【「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少」現状と目標】

習志野市		国の現状と目標		
前回	今回	策定時	直近	目標
男性 17.6%	男性 18.0%	男性 15.3%	男性 14.6%	男性 13%
女性 9.2%	女性 11.5%	女性 7.5%	女性 9.1%	女性 6.4%
(平成25年度)	(平成30年度)	(平成22年)	(平成28年)	(平成34年度)

※国の現状と目標は、『健康日本21（第二次）中間評価報告書』（平成30年9月 厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会）による。

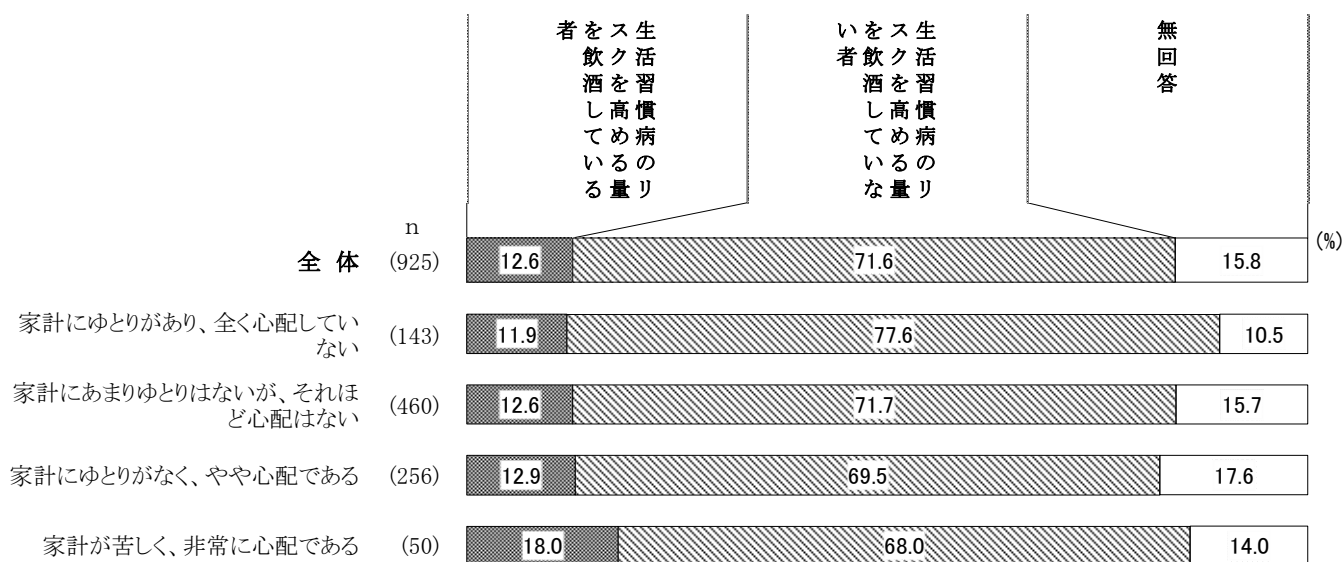
本市の男性は18.0%、女性は11.5%であり、国の直近の現状よりも男性で3.4ポイント、女性で2.4ポイント高くなっている。

<最終学歴別／生活習慣病のリスクを高める飲酒>



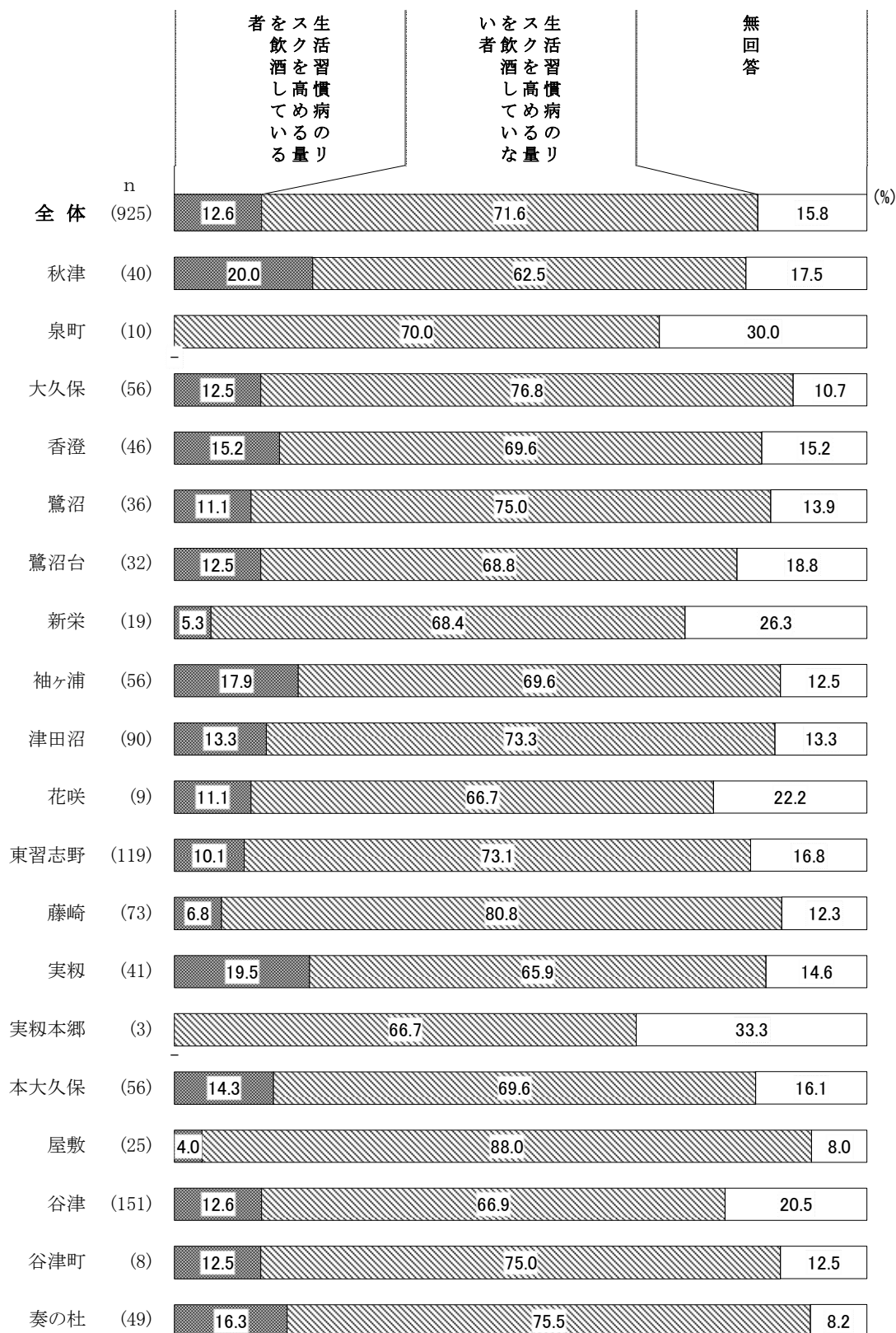
最終学歴別でみると、「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者」は大学院で21.9%と最も高く、次いで義務教育修了で18.3%となっている。

<現在の暮らし向き別／生活習慣病のリスクを高める飲酒>



現在の暮らし向き別でみると、「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者」は家計が苦しく、非常に心配である人で18.0%と最も高くなっている。

<居住地区別／生活習慣病のリスクを高める飲酒>



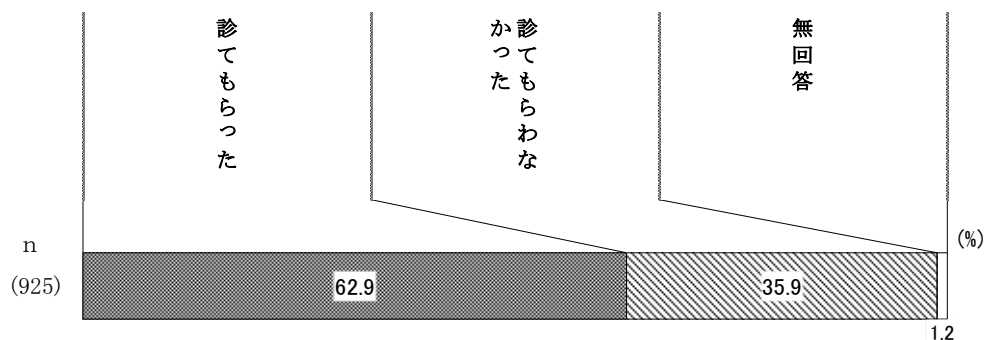
※nが25人未満の層は、人数が少ないので参考として図示し、文中では触れていない。

居住地区別でみると、「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者」は秋津で20.0%、実柵で19.5%とおおむね並んで高くなっている。

3 歯の健康に関する意識

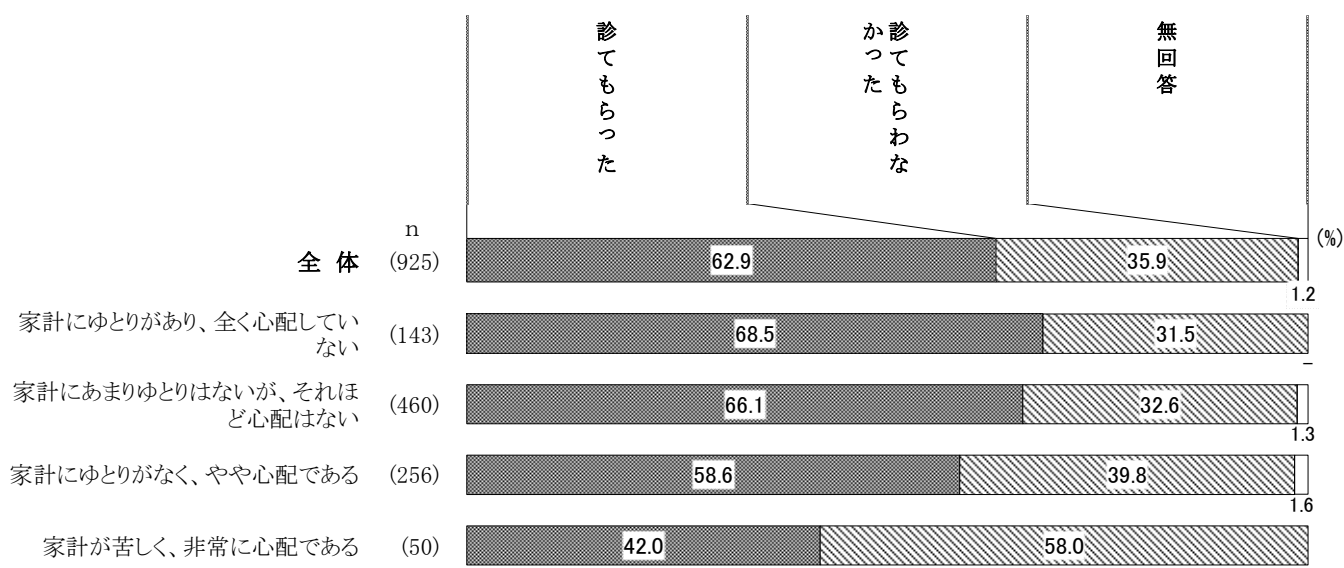
(1) この1年間での歯科医院受診の有無

問36. この1年間に歯科医院等で、歯科医に診てもらったことはありますか。



歯科医院受診の有無は、「診てもらった」が 62.9%で、「診てもらわなかった」(35.9%) よりも高くなっている。

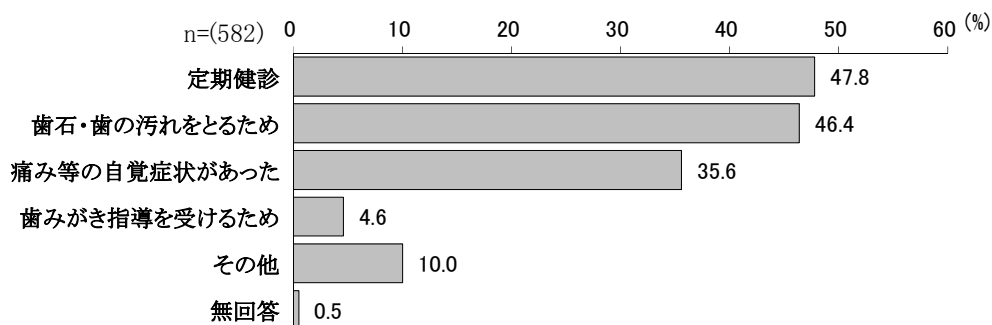
<現在の暮らし向き別／この1年間での歯科医院受診の有無>



現在の暮らし向きでみると、「診てもらった」は家計にゆとりがあるほど高くなっている。家計が苦しく、非常に心配である人のみ、「診てもらわなかった」が「診てもらった」を上回っている。

(1-1) 受診目的

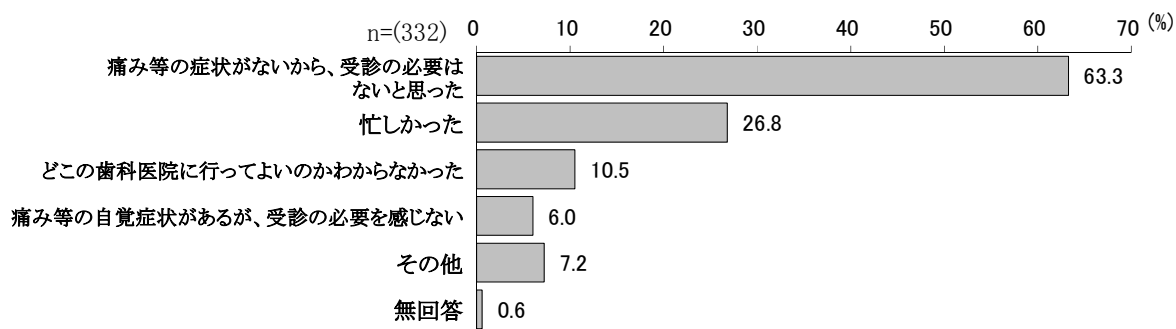
問36—1. 問36で「1.」を選んだ方におききます。診てもらった目的は何ですか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。



問36で歯科医に「診てもらった」と回答した方に、その目的をたずねたところ、「定期健診」が47.8%で最も高く、次いで「歯石・歯の汚れをとるため」が46.4%、「痛み等の自覚症状があった」が35.6%となっている。

(1-2) 受診しなかった理由

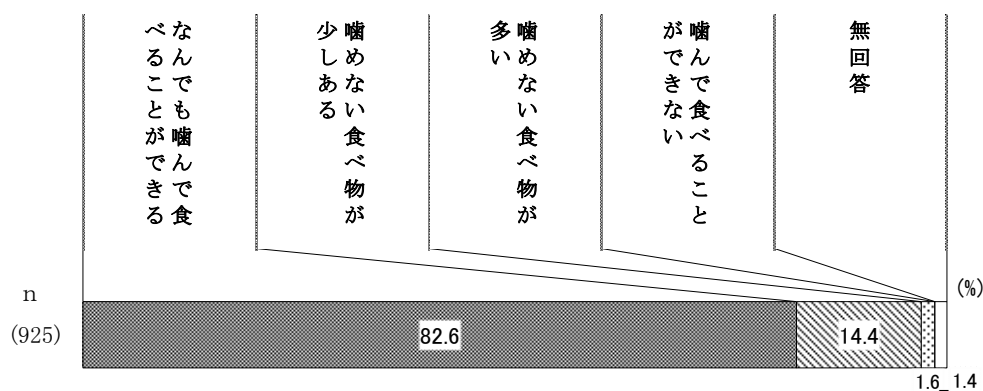
問36—2. 問36で「2.」を選んだ方におききます。診てもらわなかった理由は何ですか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。



問36で「診てもらわなかった」と回答した方に、その理由をたずねたところ、「痛み等の症状がないから、受診の必要はないと思った」が63.3%で最も高く、次いで「忙しかった」が26.8%となっている。

(2) 咀嚼機能

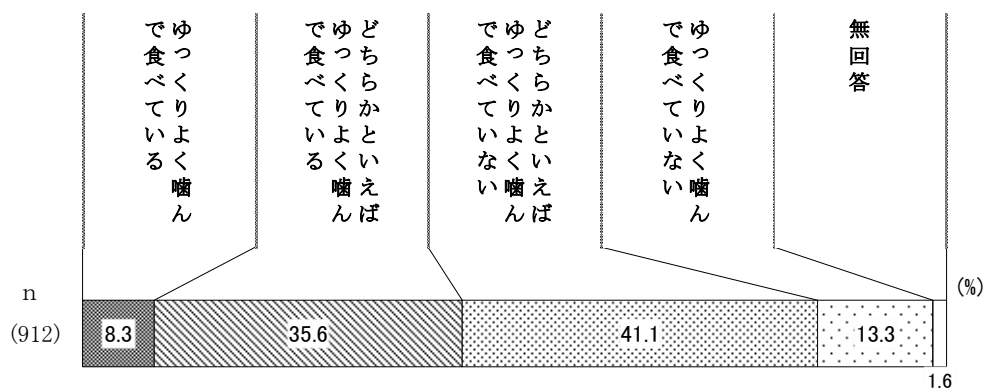
問37. あなたは、ものを噛んで食べる時、どのような状態ですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



咀嚼機能は、「なんでも噛んで食べることができる」が82.6%で最も高くなっている。

(2-1) 噛んで食べる早さ

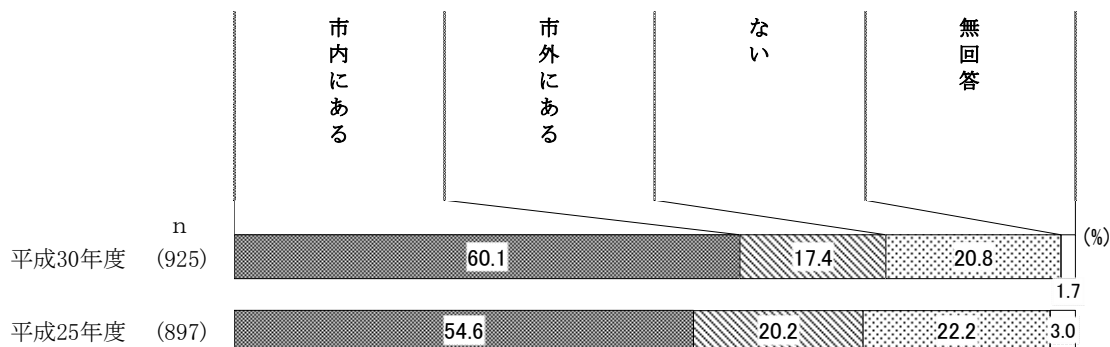
問37-1. 問37で「1. から3.」を選んだ方におききます。あなたは、ふだんゆっくりよく噛んで食べていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



問37で「なんでも噛んで食べることができる」、「噛めない食べ物が少しある」、「噛めない食べ物が多い」のいずれかを回答した方に、噛んで食べる早さをたずねたところ、「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べていない」が41.1%で最も高く、次いで「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている」が35.6%となっている。

(3) かかりつけ歯科医院の有無

問38. かかりつけの歯科医院がありますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

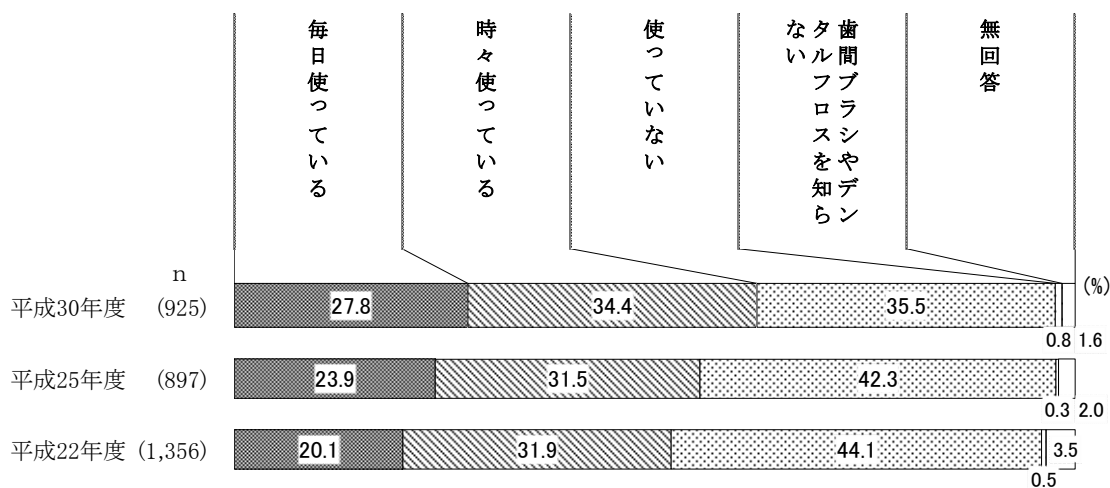


かかりつけ歯科医院の有無は、「市内にある」が60.1%で最も高く、「市外にある」が17.4%で、これらを合わせると《ある》は77.5%となっている。一方、「ない」が20.8%である。

平成25年度と比較すると、「市内にある」が5.5ポイント増加している。

(4) 歯間ブラシやデンタルフロスの使用頻度

問39. 歯ブラシ以外に、歯間ブラシやデンタルフロス(糸ようじ)を使っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



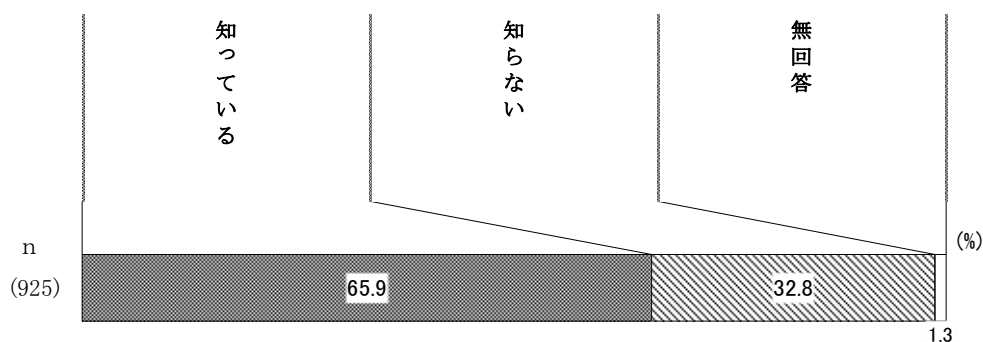
歯間ブラシやデンタルフロスの使用頻度は、「毎日使っている」が27.8%、「時々使っている」が34.4%で、これらを合わせると、《使っている》は62.2%となっている。一方、「使っていない」が35.5%である。

過去の調査結果と比較すると、「毎日使っている」は増加傾向がみられ、「時々使っている」も平成25年度から微増している。そのため、《使っている》としてみると、平成25年度から6.8ポイント増加している。

4 心の健康に関する意識

(1) 日本の自殺率が高い状況が続いていることの認知度

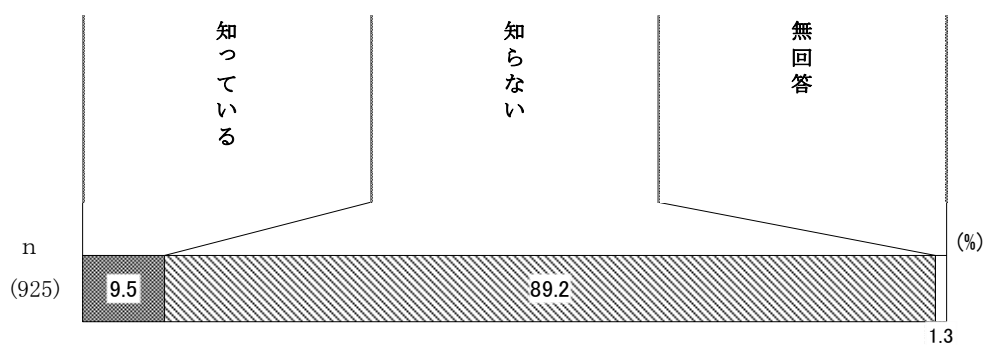
問40. わが国の自殺者数は平成10年以降3万人前後でしたが、近年減少し平成29年は約2万1千人となっています。しかし先進国の中では今なお、自殺率が高い状況が続いていることを知っていますか。



日本の自殺率が高い状況が続いていることの認知度は、「知っている」が65.9%で、「知らない」(32.8%)よりも高くなっている。

(2) 自殺予防習慣の認知度

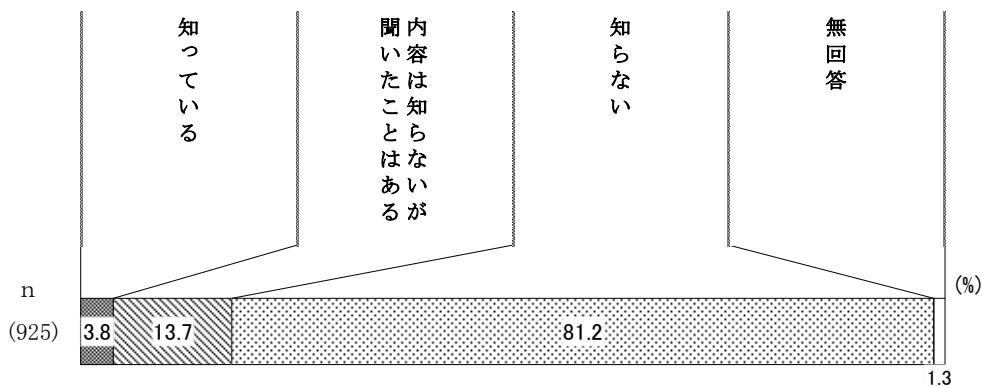
問41. 毎年9月10日から16日までが自殺予防週間であることを知っていますか。



自殺予防習慣の認知度は、「知っている」が9.5%で、「知らない」が89.2%と高くなっている。

(3) ゲートキーパーの認知度

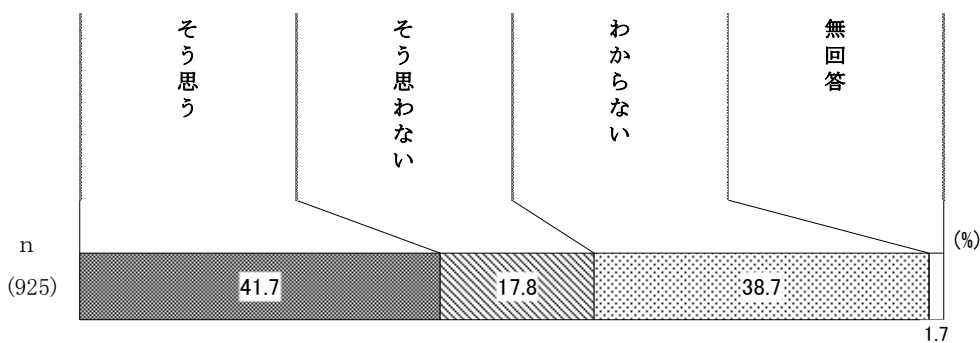
問42. 自殺のサインに気づき、適切な対応をとれる人のことをゲートキーパーと呼んでいますが、知っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



ゲートキーパーの認知度は、「知っている」が3.8%、「内容は知らないが聞いたことはある」が13.7%で、「知らない」が81.2%と高くなっている。

(4) 自殺は社会的な取組で防ぐことができるという考えへの意識

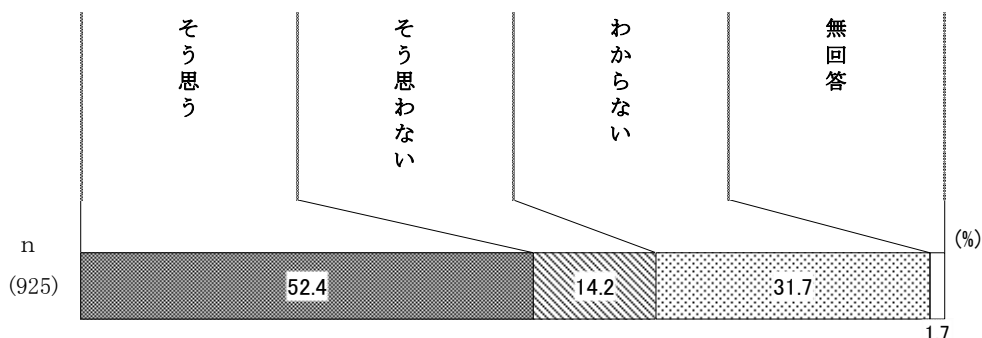
問43. 自殺は社会的な取組で防ぐことができると思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



自殺は社会的な取組で防ぐことができると思うかたずねたところ、「そう思う」が41.7%で、「そう思わない」(17.8%) よりも高くなっている。ただし、「わからない」が38.7%みられる。

(5) 自殺は追い込まれた末の死であるという考えへの意識

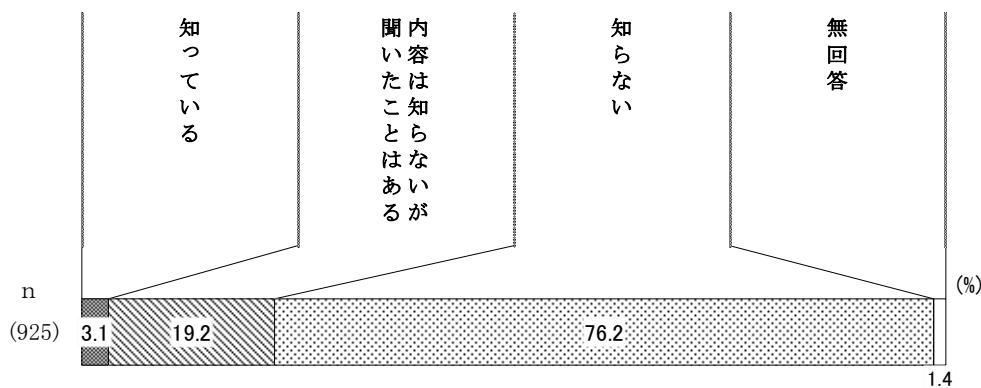
問44. 自殺は追い込まれた末の死であると思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



自殺は追い込まれた末の死であると思うかたずねたところ、「そう思う」が52.4%で、「そう思わない」(14.2%)よりも高くなっている。ただし、「わからない」が31.7%みられる。

(6) 自殺対策基本法の認知度

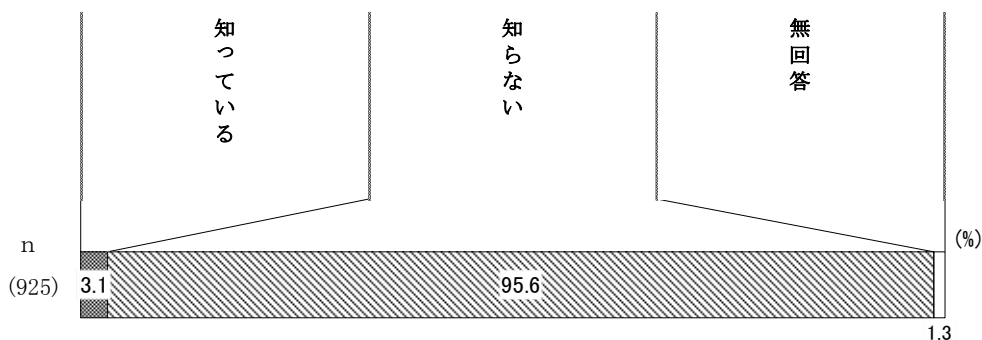
問45. 自殺対策基本法について知っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



自殺対策基本法の認知度は、「知っている」が3.1%、「内容は知らないが聞いたことはある」が19.2%で、「知らない」が76.2%と高くなっている。

(7) 習志野市が自殺対策に取り組んでいることの認知度

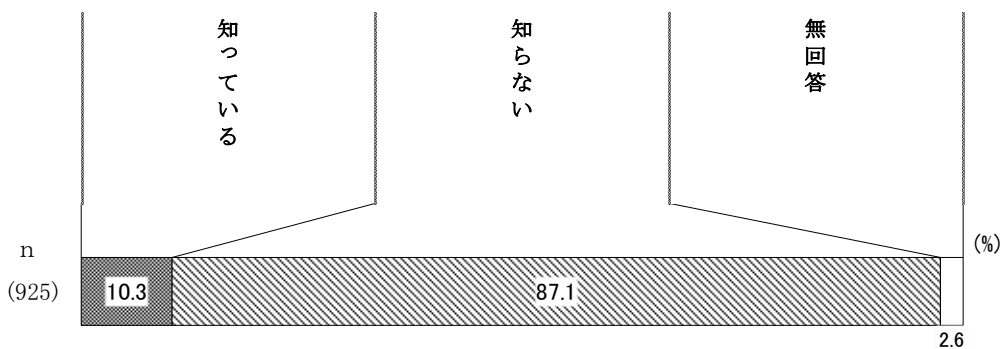
問46. 習志野市が自殺対策に取り組んでいることを知っていますか。



習志野市が自殺対策に取り組んでいることの認知度は、「知っている」が3.1%で、「知らない」が95.6%と高くなっている。

(8) 市に生活に関する様々な相談窓口があることの認知度

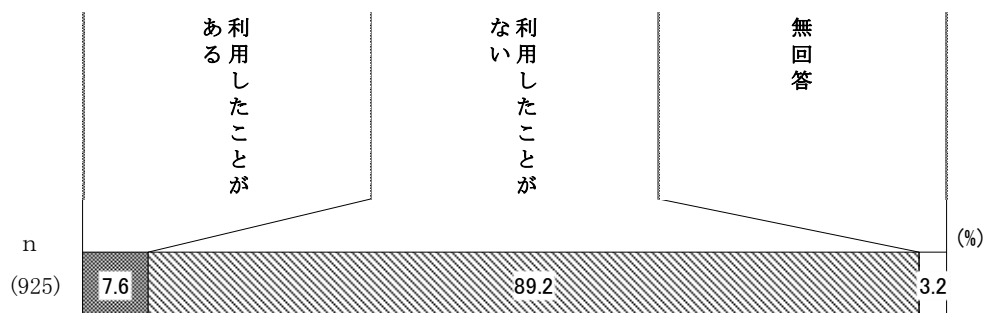
問47. 市に生活(健康、家庭、法律、くらし等)に関する様々な相談窓口があることを知っていますか。



市に生活に関する様々な相談窓口があることの認知度は、「知っている」が10.3%で、「知らない」が87.1%と高くなっている。

(9) 市の相談窓口の利用経験

問48. 市の相談窓口を利用したことがありますか。



市の相談窓口の利用経験は、「利用したことがある」が7.6%で、「利用したことがない」が89.2%と高くなっている。

(9-1) 利用した窓口

問48-1. 問48で「1.」を選んだ方におききます。それはどこですか。

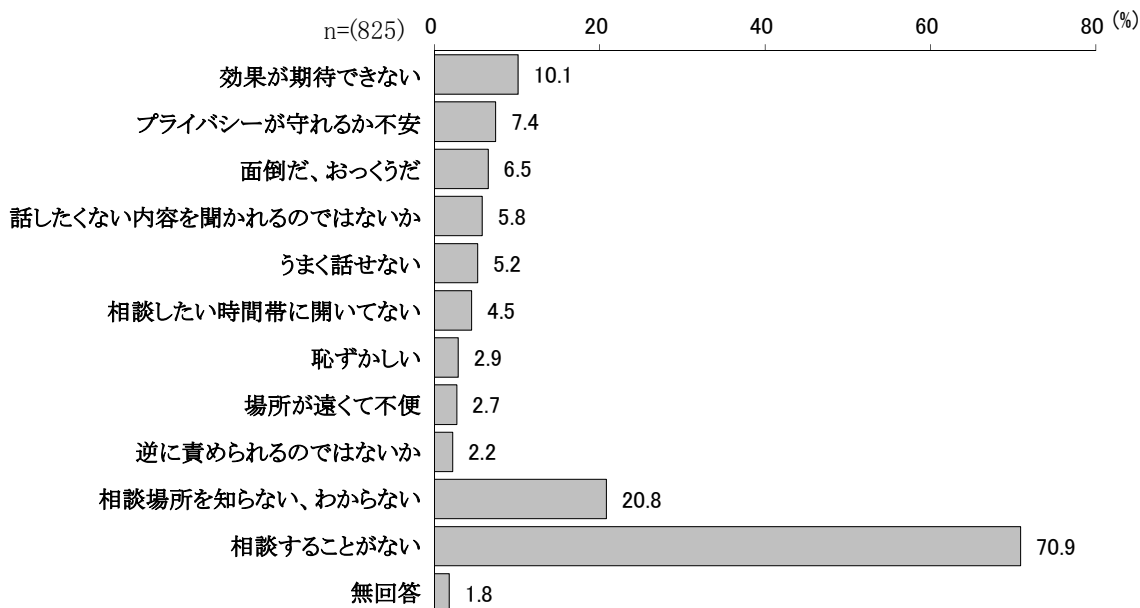
問48で「利用したことがある」と回答した方に、利用した窓口をたずねたところ、具体的な窓口名ではなく相談した内容での回答も多数あった。

ここでは、自由に記述いただいた回答を次のとおりまとめた。

・市役所（市役所または課名の回答があったもの）	15件
・法律相談	12件
・らいふあつぷ習志野（サンロード内等で特定できたもの）	13件
・市の相談室（具体的な窓口名がなかったもの）	5件
・育児・子育て・教育関連	4件
・介護相談	3件
・女性相談	2件
・地域包括支援センター	1件
・その他（生活、税務、土地登記、防災等）	8件

(9-2) 市の相談窓口を利用したことがない理由

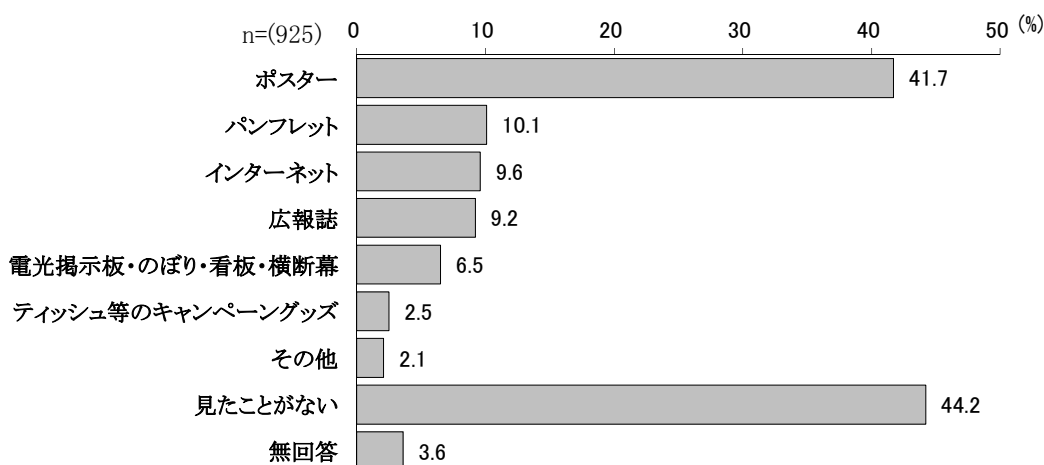
問48-2. 問48で「2.」を選んだ方におききます。それはなぜですか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。



問48で市の相談窓口を「利用したことがない」と回答した方に、その理由をたずねたところ、「相談することがない」が70.9%で最も高く、次いで「相談場所を知らない、わからない」が20.8%となっている。

(10) 自殺対策に関する啓発物で見たことのあるもの

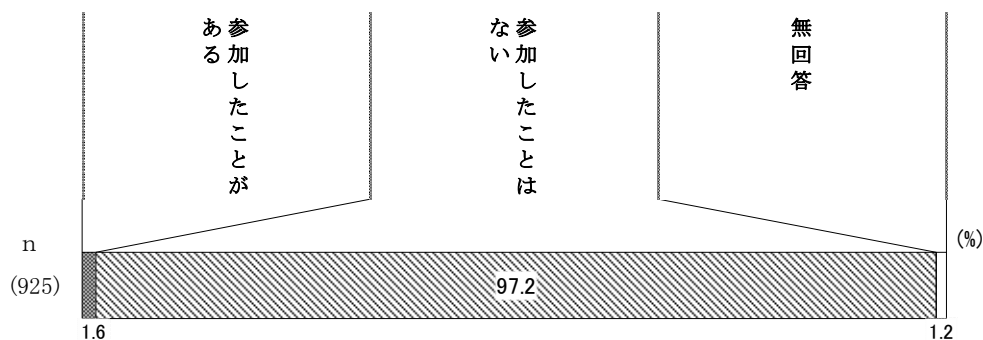
問49. これまで自殺対策に関する啓発物を見たことがありますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。



自殺対策に関する啓発物で見たことのあるものでは、「見たことがない」が44.2%で最も高くなっている。見たことのあるものの中では、「ポスター」が41.7%で高く、次いで「パンフレット」(10.1%)、「インターネット」(9.6%)、「広報誌」(9.2%)が約1割で並ぶ。

(11) 自殺対策に関する講演会や講習会の参加経験

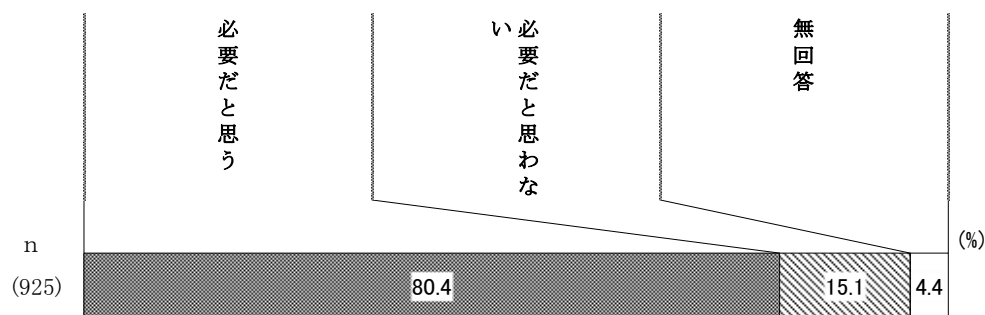
問50. 自殺対策に関する講演会や講習会に参加したことがありますか。



自殺対策に関する講演会や講習会の参加経験は、「参加したことがある」が 1.6%で、「参加したことはない」が 97.2%と高くなっている。

(12) 自殺対策に関するPR活動の必要性

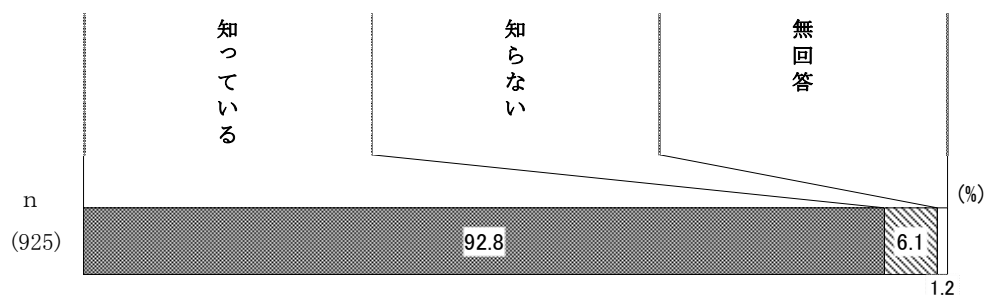
問51. 自殺対策に関するPR活動は必要だと思いますか。



自殺対策に関するPR活動の必要性は、「必要だと思う」が 80.4%で、「必要だと思わない」(15.1%)よりも高くなっている。

(13) うつ病は誰もがかかる可能性のある病気ということの認知度

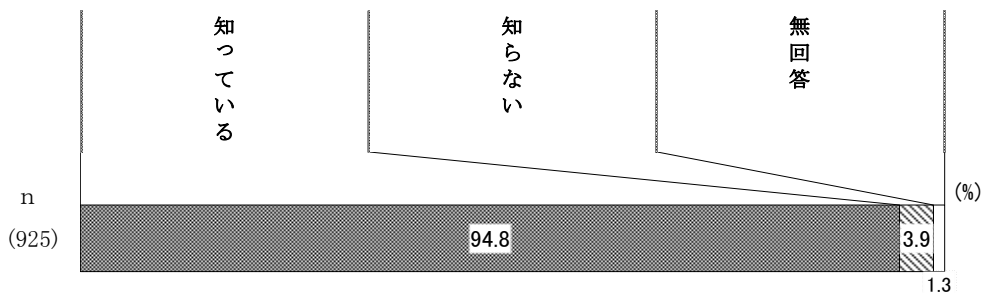
問52. うつ病は誰もがかかる可能性のある病気であること知っていますか。



うつ病は誰もがかかる可能性のある病気ということの認知度は、「知っている」が 92.8%で、「知らない」(6.1%)よりも高くなっている。

(14) うつ病は、生活苦や失業、人間関係、病気など、様々なストレスと関係あることの認知

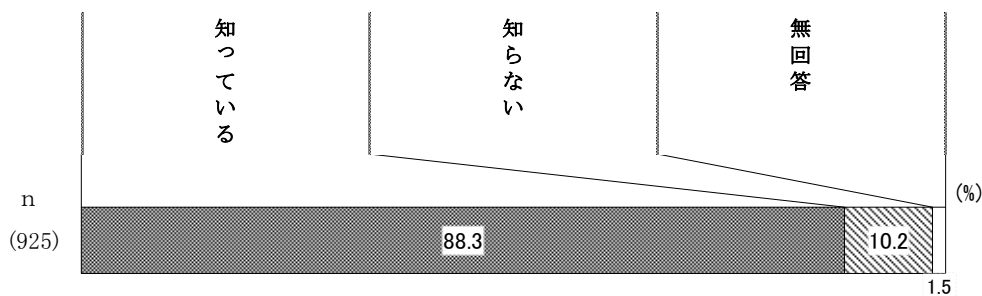
問53. うつ病は、生活苦や失業、人間関係、病気など、様々なストレスと関係あることを知っていますか。



うつ病は、生活苦や失業、人間関係、病気など、様々なストレスと関係あることの認知度は、「知っている」が94.8%で、「知らない」(3.9%) よりも高くなっている。

(15) うつ病は、生活苦や失業、人間関係、病気など、様々なストレスと関係あることの認知度

問54. うつ病は、薬の治療とともに、ゆっくり休養することが必要であることを知っていますか。



うつ病は、薬の治療とともに、ゆっくり休養することが必要であることを認知度は、「知っている」が88.3%で、「知らない」(10.2%) よりも高くなっている。

(16) 身近な人へうつ病のサインに気づいた時の医療機関への受診勧奨

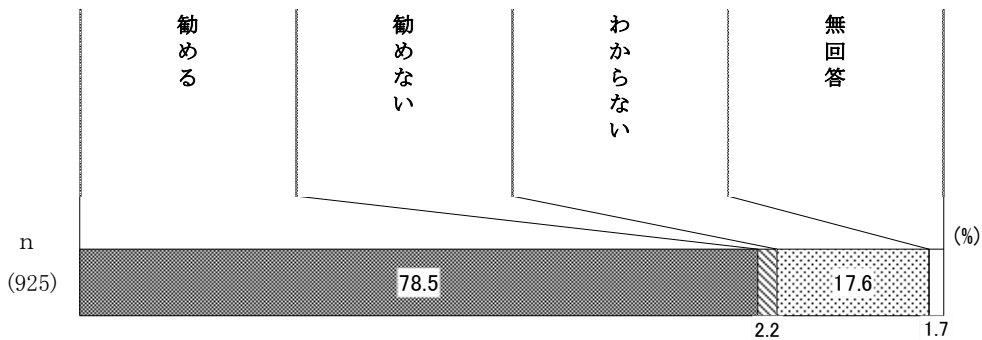
問55. もし仮に、あなたが、家族等の身近な人の「うつ病のサイン」に気がついたとき、医療機関へ相談することを勧めますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

次の症状を「うつ病のサイン」といいます。

【自分で感じる症状】憂うつ、気分が重い、何をしても楽しくない、何にも興味がわからない、疲れているのに眠れない、一日中ねむい、いつもよりかなり早く目覚める、イライラして何かにせき立てられるようで落ち着かない、悪いことをしたように感じて自分を責める、自分には価値がないと感じる、思考力が落ちる、死にたくなる

【周囲からみてわかる症状】表情が暗い、涙もろくなった、反応が遅い、落ち着かない、飲酒量が増える

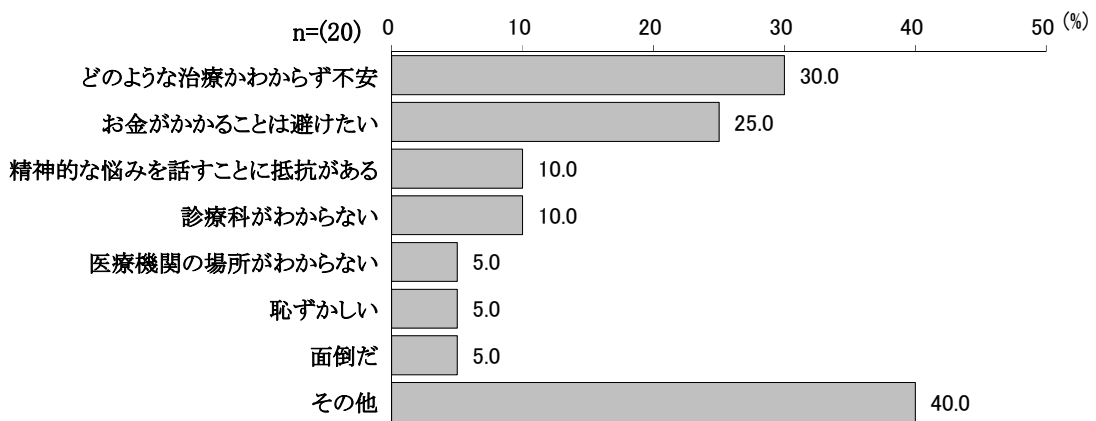
【体に出る症状】食欲がない、体がだるい、疲れやすい、性欲がない、頭痛や肩こり、動悸、胃の不快感、便秘がち



身近な人へうつ病のサインに気づいた時の医療機関への受診勧奨は、「勧める」が78.5%で高くなっているが、「わからない」が17.6%みられる。

(16-1) 医療機関を勧めない理由

問55-1. 問55で「2.」を選んだ方におききます。その理由は何ですか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

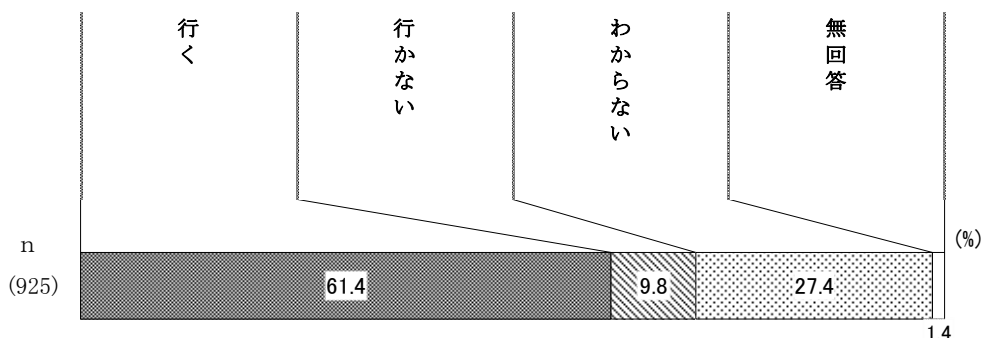


問55で医療機関を「勧めない」と回答した方に、その理由をたずねた。回答者数(n)が20人であることから、参考とするが、「どのような治療かわからず不安」が30.0%で最も高く、次いで「お金がかかることは避けたい」が25.0%となっている。

また、「その他」が40.0%みられ、その内容には、「本人ではなく、問題の職場環境や相手をなんとかする。」「悪化した友人がいたため。」「そのうち治る」などが挙げられていた。

(17) 自分がうつ病のサインに気づいた時の医療機関への相談

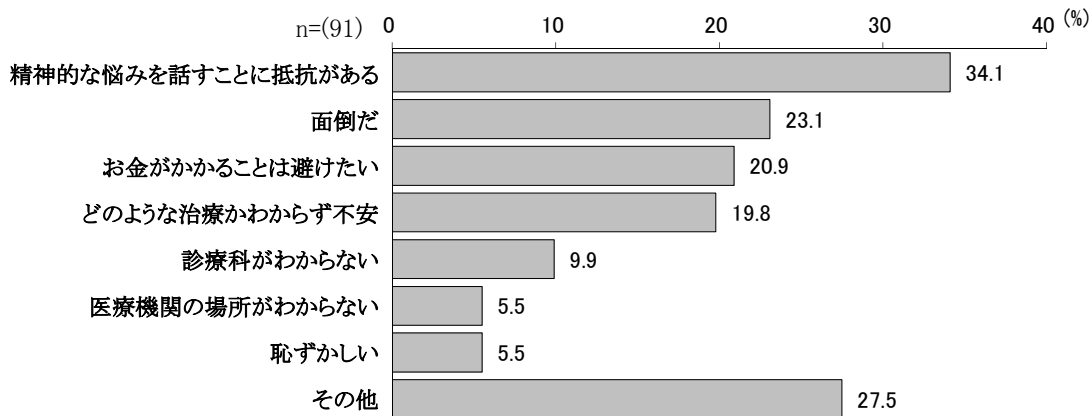
問56. もし仮に、あなた自身の「うつ病のサイン」に気がついたとき、医療機関へ相談に行こうと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



自分がうつ病のサインに気づいた時の医療機関への相談に、「行く」が61.4%で、「行かない」(9.8%)よりも高くなっている。ただし、「わからない」が27.4%みられる。

(17-1) 医療機関へ相談に行かない理由

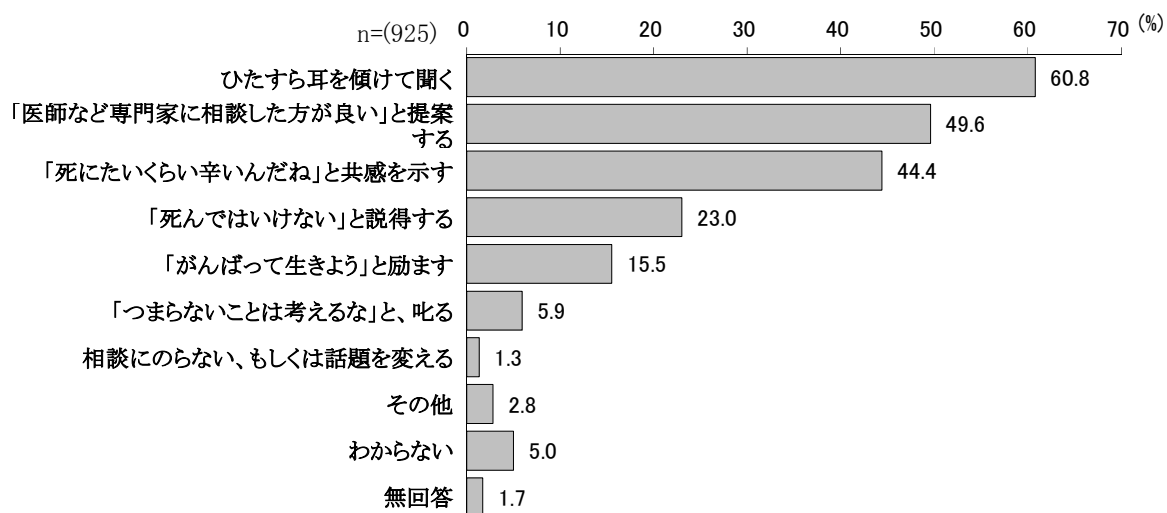
問56-1. 問56で「2.」を選んだ方におききます。その理由は何ですか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。



問56で医療機関へ相談に「行かない」と回答した方に、その理由をたずねたところ、「精神的な悩みを話すことに抵抗がある」が34.1%で最も高く、次いで「面倒だ」が23.1%、「お金がかかることは避けたい」が20.9%、「どのような治療かわからず不安」が19.8%となっている。

(18) 身近な人から「死にたい」と打ち明けられたときに良いと思う対応

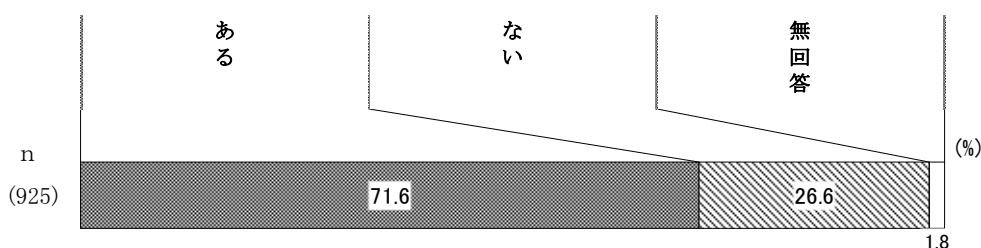
問57. もし仮に、身近な人から「死にたい」と打ち明けられたとき、どう対応するのが良いと思いますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。



身近な人から「死にたい」と打ち明けられたときに良いと思う対応は、「ひたすら耳を傾けて聞く」が60.8%で最も高く、次いで「「医師など専門家に相談した方が良い」と提案する」が49.6%、「「死にたいくらい辛いんだね」と共感を示す」が44.4%、「「死んではいけない」と説得する」が23.0%となっている。

(19) 日常生活の悩みやストレスの有無

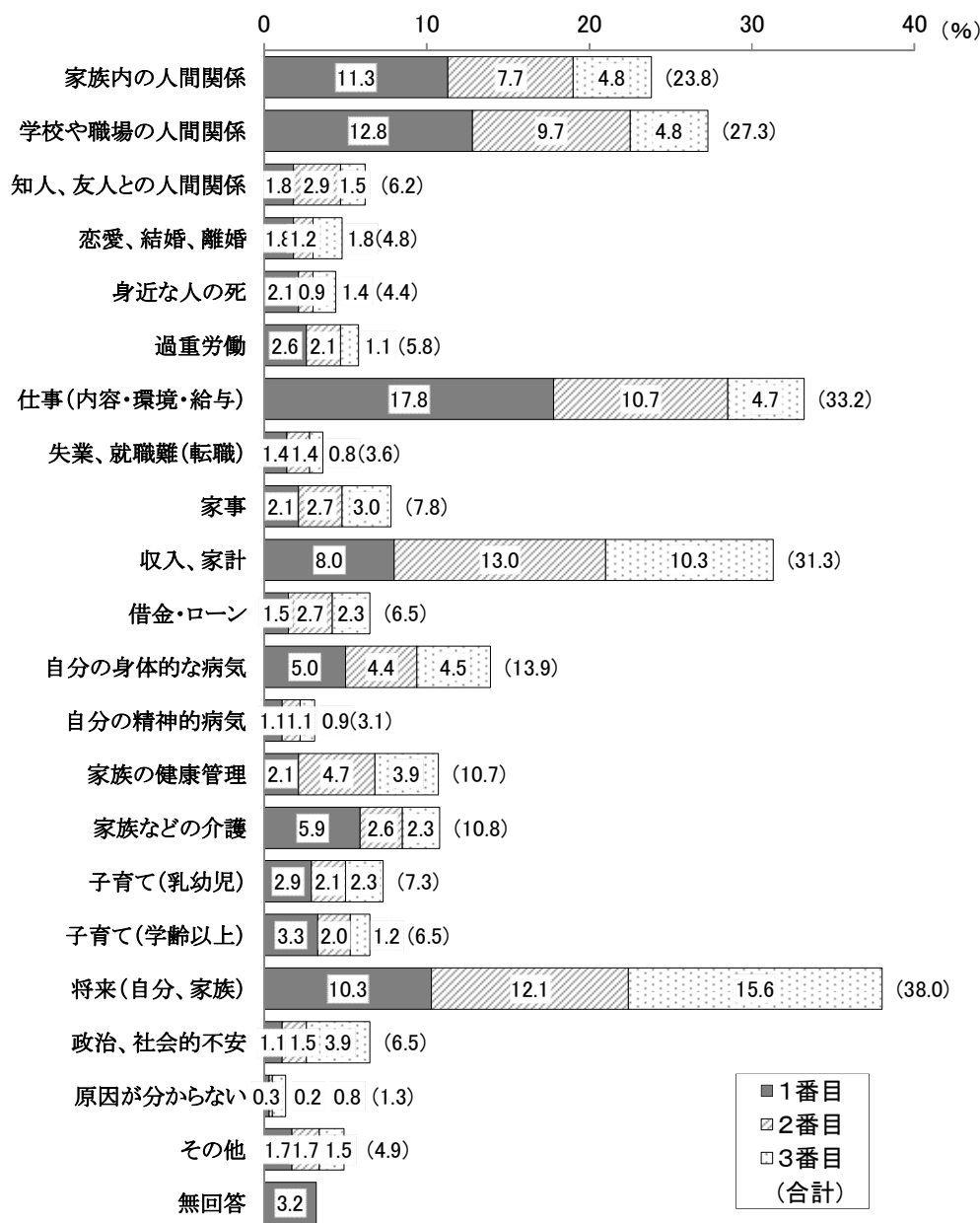
問58. 日常生活の悩みやストレスはありますか。



日常生活の悩みやストレスの有無は、「ある」が71.6%で、「ない」(26.6%) よりも高くなっている。

(19-1) 悩みやストレスの対象となるもの

問58-1. 問58で「1.」を選んだ方におききます。悩みやストレスの対象となるものを下のの中から3つ以内で選んで、A、B、C欄に番号を記入してください。



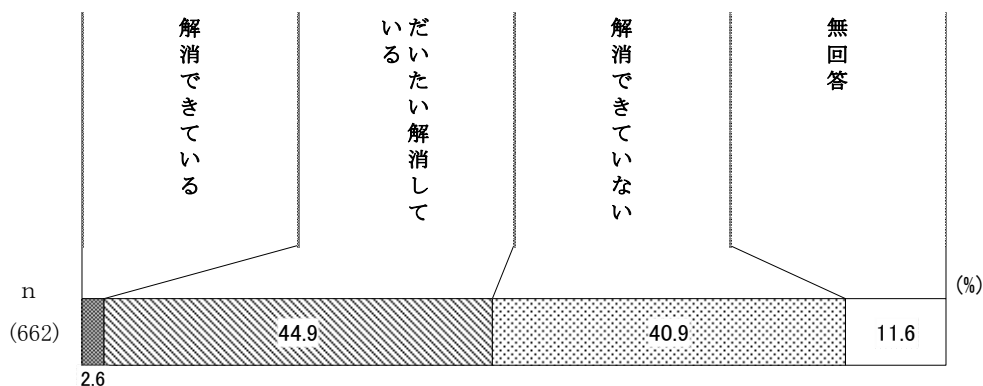
問58で悩みやストレスが「ある」と回答した方に、悩みやストレスの対象となるものを、「A. 最もストレスを感じるもの」、「B. 2番目にストレスを感じるもの」、「C. 3番目にストレスを感じるもの」の3つの視点でたずねた。

まず、「A.」、「B.」、「C.」の合計割合でみると、「将来(自分、家族)」が38.0%で最も高く、次いで「仕事(内容・環境・給与)」が33.2%、「収入、家計」が31.3%、「学校や職場の人間関係」が27.3%、「家族内の人間関係」が23.8%となっている。

次に、「A. 最もストレスを感じるもの」に着目すると、「仕事(内容・環境・給与)」が17.8%で最も高く、次いで「学校や職場の人間関係」が12.8%、「家族内の人間関係」が11.3%、「将来(自分、家族)」が10.3%となっている。

(19-2) ストレスの解消状況

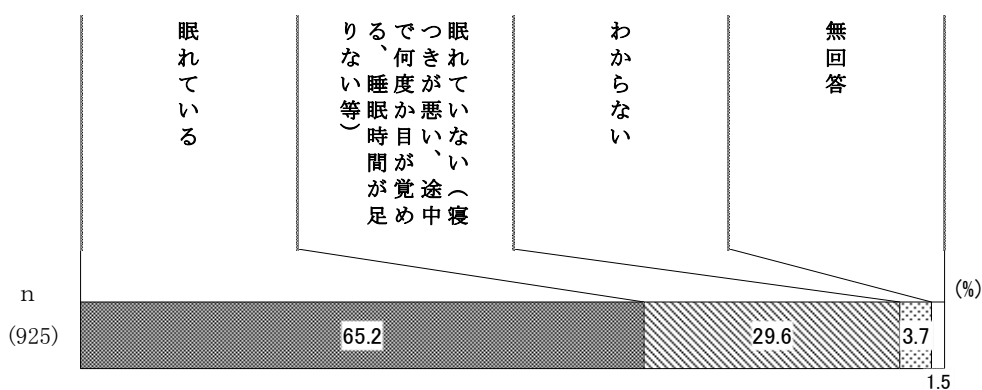
問58-2. 問58で「1.」を選んだ方におききます。ストレスは十分解消できていると感じていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



問58で悩みやストレスが「ある」と回答した方に、解消状況をたずねたところ、「解消できている」は2.6%だが、「消消できている」が44.9%と高く、これらを合わせると、「消消できている」は47.5%となっている。一方、「消消できていない」が40.9%である。

(20) 睡眠状況

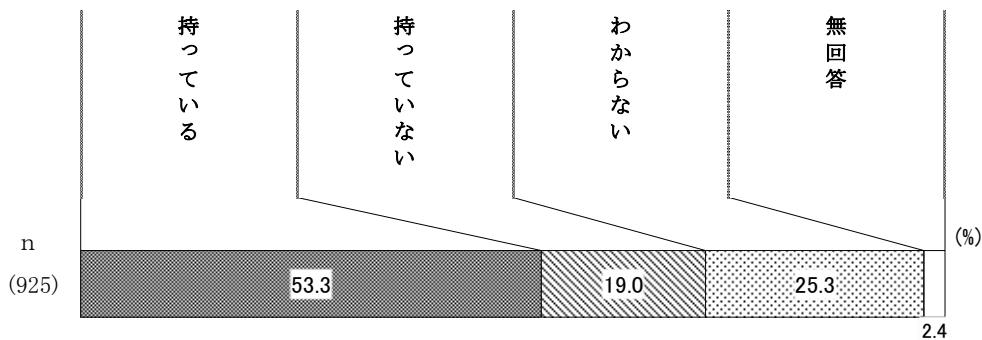
問59. 毎日眠れていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



睡眠の状況は、「眠れている」が65.2%で、「眠れていない (寝つきが悪い、途中で何度か目が覚める、睡眠時間が足りない等)」(29.6%) よりも高くなっている。

(21) 生きがい・やりがいの有無

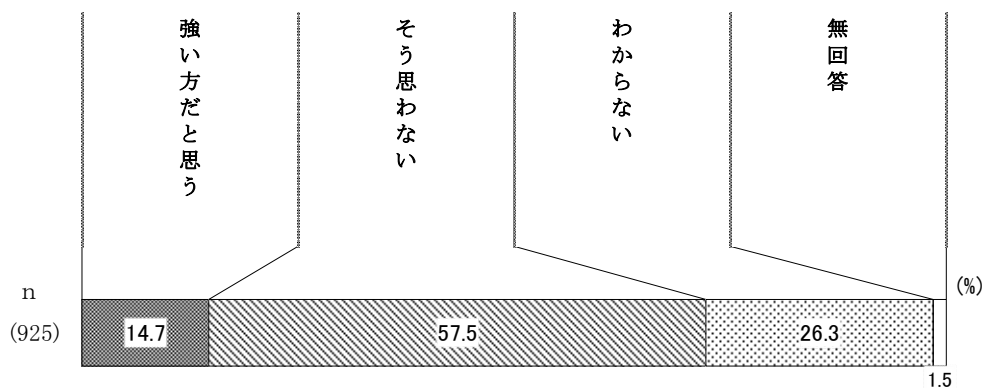
問60. 生きがい・やりがいを持っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



生きがい・やりがいを、「持っている」が53.3%で、「持っていない」(19.0%)よりも高くなっている。

(22) 住まいの地域の人たちとのつながり

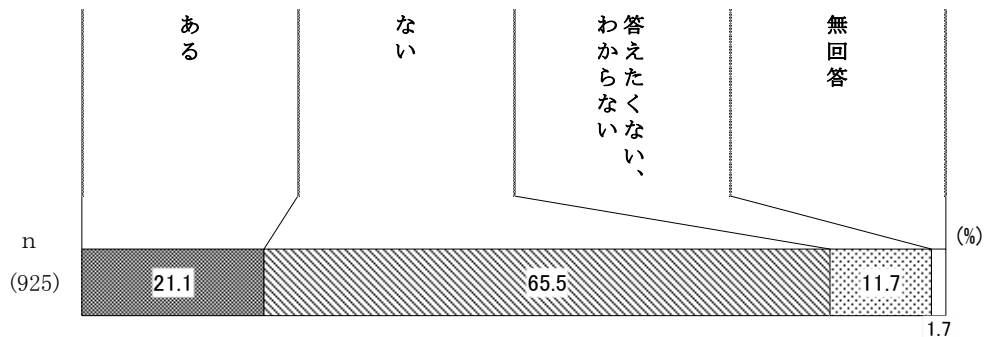
問61. あなたとあなたがお住まいの地域の人たちとのつながりは、強い方だと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



住まいの地域の人たちとのつながりは、「強い方だと思う」が14.7%で、「そう思わない」が57.5%と高くなっている。また、「わからない」が26.3%みられる。

(23) 今まで死にたいと追いつめるほど悩んだことの有無

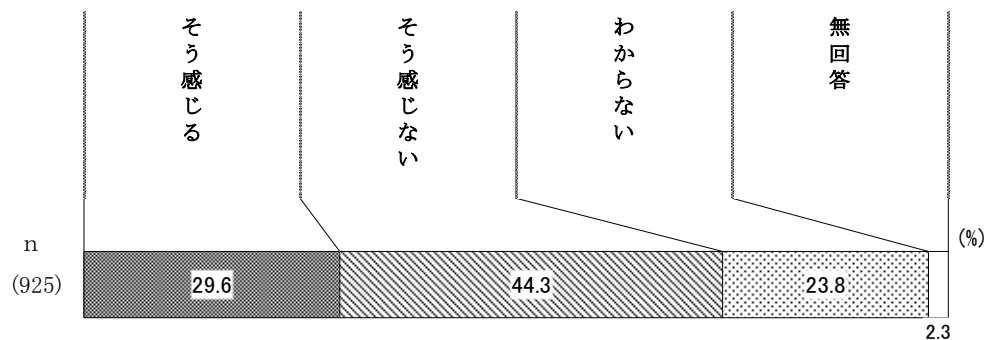
問62. 今までに死にたいと追いつめるほど悩んだことがありますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



今まで死にたいと追いつめるほど悩んだことが、「ある」が21.1%となっている。「ない」は65.5%だが、一方で、「答えたくない、わからない」が11.7%みられる。

(24) 悩みやストレスを相談することに対するためらいの有無

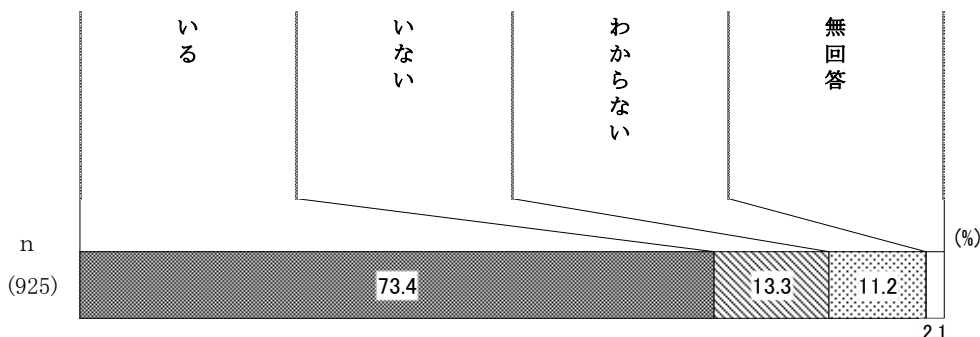
問63. 悩みを抱えたときやストレスを感じたときに誰かに相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



悩みやストレスを相談することに対するためらいを感じるかたずねたところ、「そう感じる」が29.6%となっている。「そう感じない」は44.3%だが、一方で、「わからない」が23.8%みられる。

(25) 悩みごとや困ったことがあったときの相談相手の有無

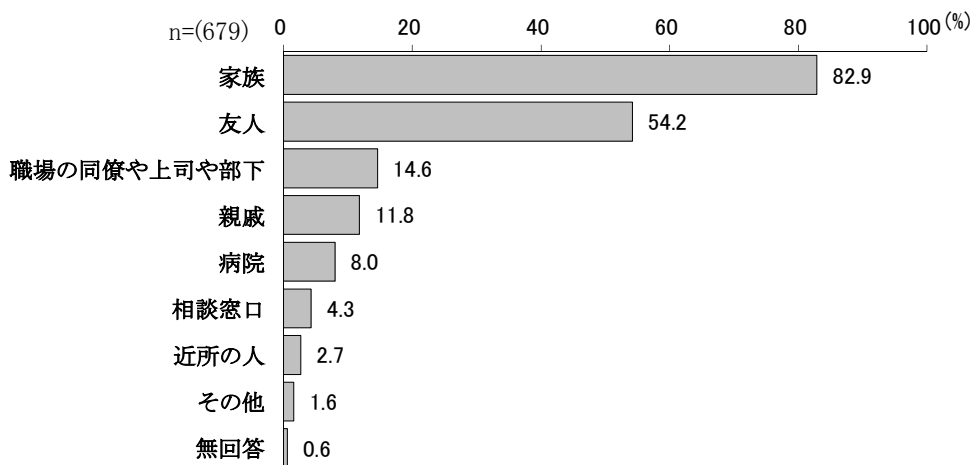
問64. 悩みごとや困ったことがあったとき相談する人がいますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



悩みごとや困ったことがあったときの相談相手の有無は、「いる」が73.4%と高くなっているが、「いない」が13.3%みられる。

(25-1) 相談相手

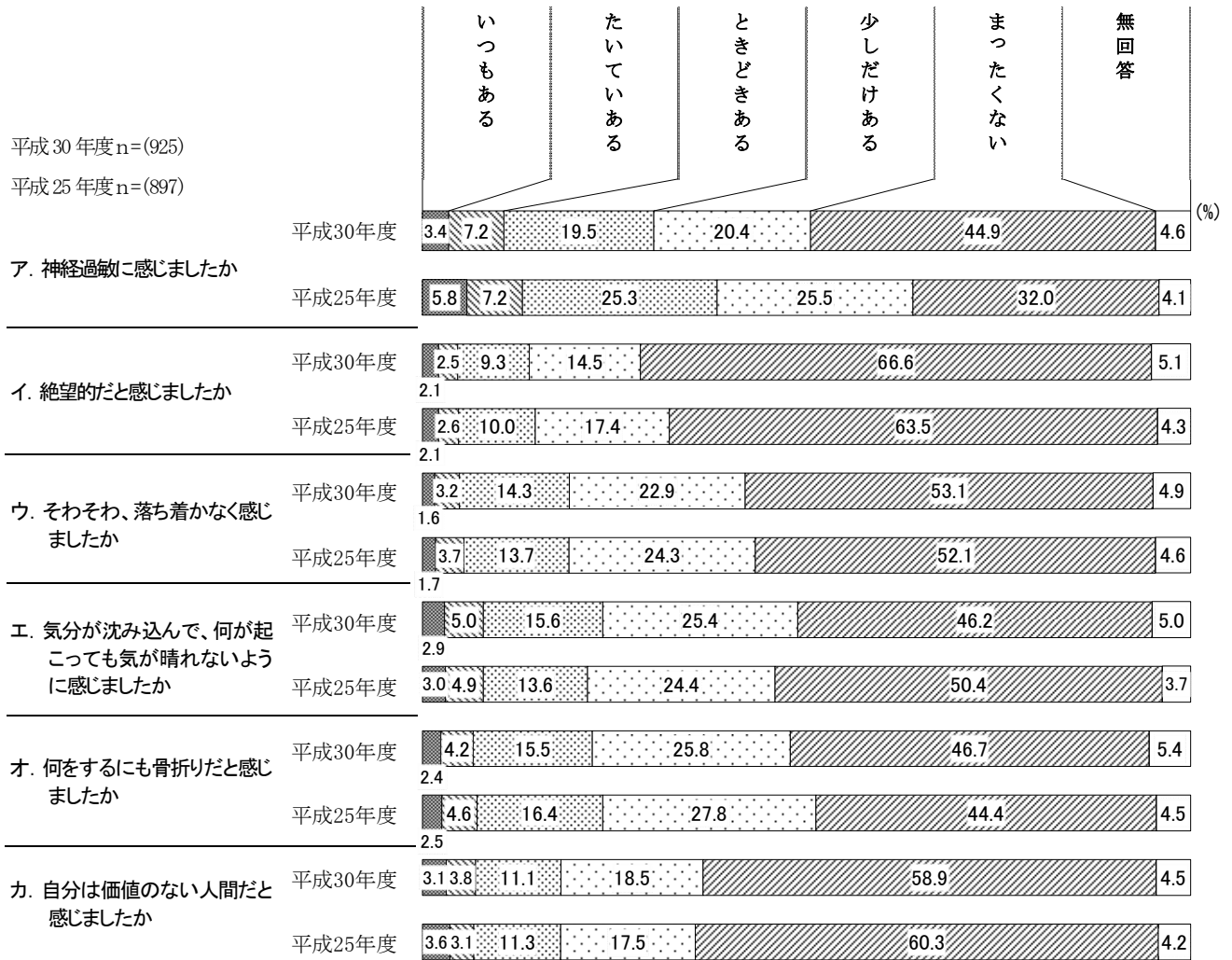
問64-1. 問64で「1.」を選んだ方におききます。どなたに相談しますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。



問64で悩みごとや困ったことがあったときの相談相手が「いる」と回答した方に、その相談相手をたずねたところ、「家族」が82.9%で最も高く、次いで「友人」が54.2%となっている。このほか、「職場の同僚や上司や部下」が14.6%、「親戚」が11.8%である。

(26) 1か月のこころの状態

問65. この1か月に、次のア～カの項目についてどのように感じましたか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。



過去1か月のこころの状態については、それぞれの質問で「まったくない」が高く、次いで「少しだけある」となっているが、“ア. 神経過敏に感じましたか”だけ、「ときどきある」(19.5%)と「少しだけある」(20.4%)が約2割で並んでいる。

平成25年度と比較すると、“ア. 神経過敏に感じましたか”での違いが大きく、「いつもある」、「たいていある」、「ときどきある」、「少しだけある」を合わせた《ある》が13.3ポイント減少し、「まったくない」が12.9ポイント増加している。

【こころの状態の点数階級】

こころの状態の設問には、「K6」という尺度を用いている。「K6」は、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として広く利用されている。

具体的には、前述している（ア）から（カ）の6つの質問について、5段階（「全くない」（0点）、「少しだけ」（1点）、「ときどき」（2点）、「たいてい」（3点）、「いつも」（4点））で点数化し、回答者個人における合計点数を算出して評価する。

合計点数が高いほど、精神的な問題がより重い可能性があるとしており、「健康日本21（第二次）」では、10点以上を《気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている》とし、その割合の減少を指標として設定している。

回答者個人ごとの合計点数を算出し、点数階級に分類した結果、《気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている》は16.4%となっている。

	n	0～4点	5～9点	10～12点	13点以上
全体	867	58.9	24.7	9.0	7.4
性別					
男性	337	59.3	23.7	10.4	6.5
女性	434	58.3	24.7	8.1	9.0
年齢					
20～29歳	87	43.7	28.7	10.3	17.2
30～39歳	136	63.2	16.2	10.3	10.3
40～49歳	169	49.7	30.8	13.0	6.5
50～59歳	147	58.5	23.8	9.5	8.2
60～69歳	154	66.9	24.0	5.8	3.2
70歳以上	158	68.4	23.4	5.1	3.2

※ 「いつも」4点、「たいてい」3点、「ときどき」2点、「少しだけ」1点、「まったくない」0点とし、合計得点は質問すべてに回答がある場合のみ算出。

※ 10点以上の者の割合を《気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合》の現状値とする。

※ 性別、年齢それぞれの合計が全体の数と異なるのは、性別、年齢の無回答があるため。

健康日本21（第二次）

【「気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合の減少」現状と目標】

習志野市		国の現状と目標		
前回	今回	策定時	直近	目標
16.5% (平成25年度)	16.4% (平成30年度)	10.4% (平成22年)	10.5% (平成28年)	9.4% (平成34年度)

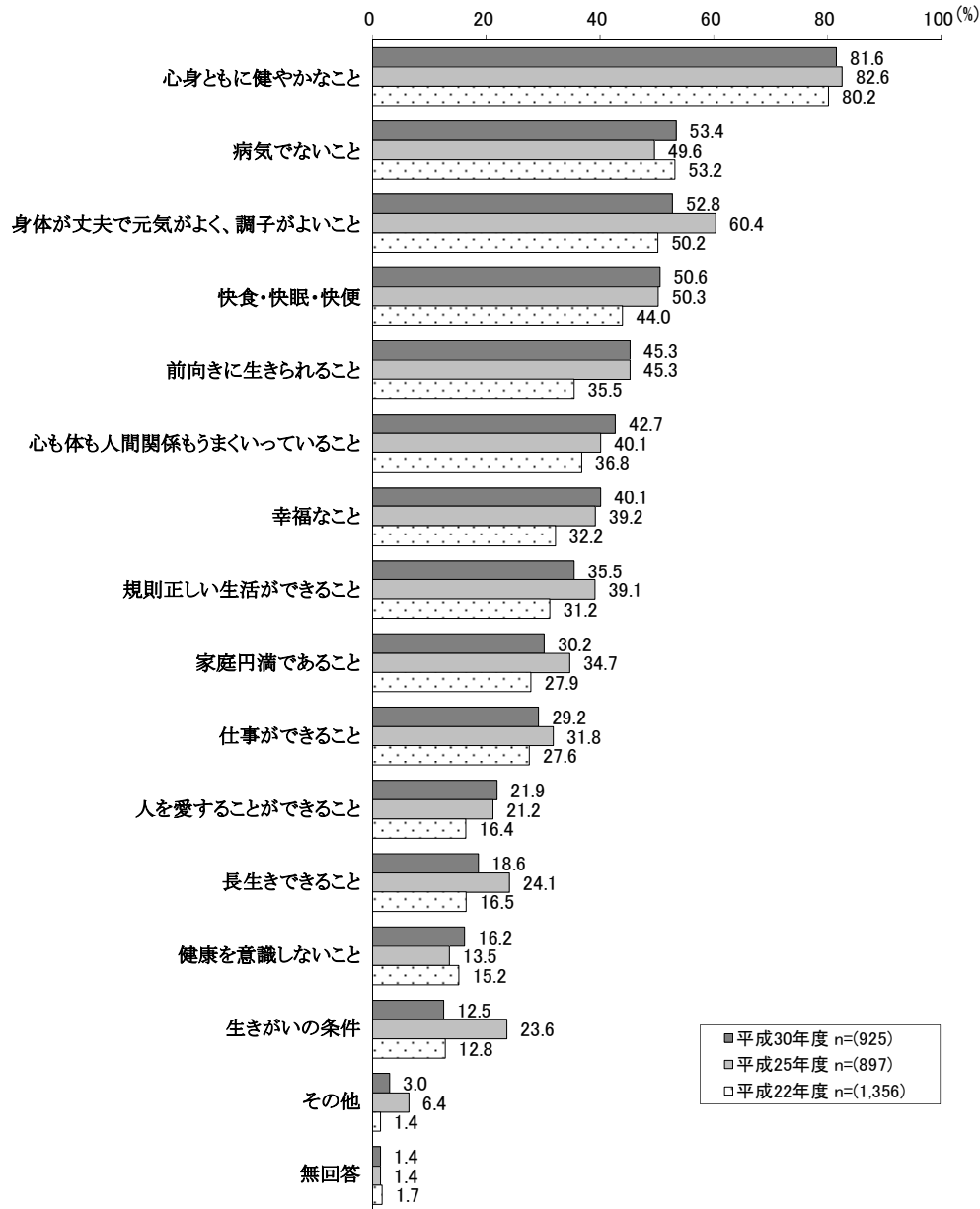
※国の現状と目標は、『「健康日本21（第二次）」中間評価報告書』（平成30年9月 厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会）による。

《気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている》は16.4%であり、本市は国の直近の現状よりも高くなっている。

5 健康なまちづくりにつながる社会環境の整備

(1) 「健康」についての考え方

問66. あなたは「健康とは何か」と聞かれたら、どのように答えますか。あなたの考えにあうものを、全て選んで番号に○をつけてください。



「健康」についての考え方は、「心身ともに健やかなこと」が81.6%で最も高く、次いで「病気でないこと」が53.4%、「身体が丈夫で元気がよく、調子がよいこと」が52.8%、「快食・快眠・快便」が50.6%となっている。

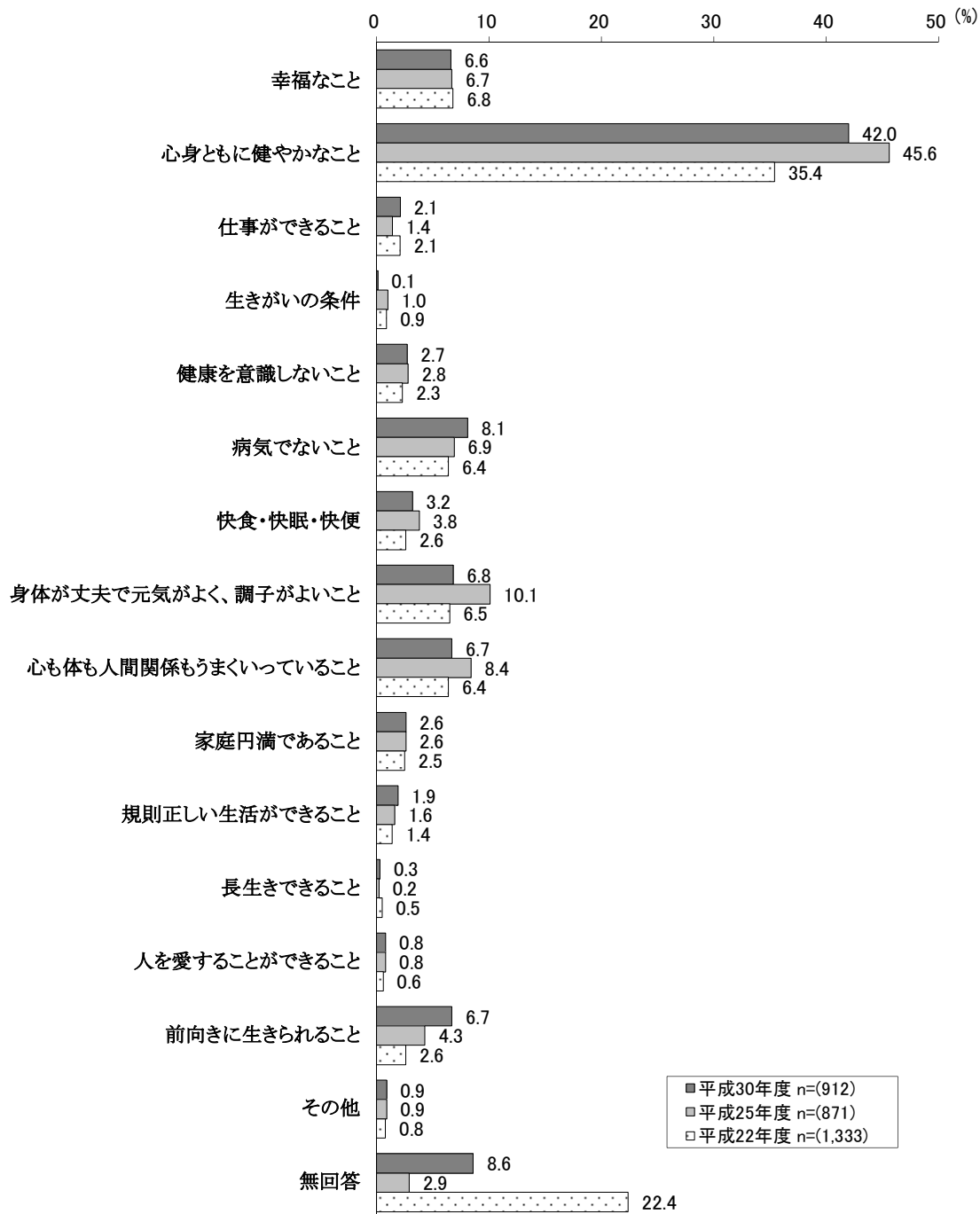
過去の調査結果と比較すると、「心身ともに健やかなこと」は常に第1位となっている。

今回の調査で第2位の「病気でないこと」と第3位の「身体が丈夫で元気がよく、調子がよいこと」は、平成25年度調査から順位を逆転させており、「病気でないこと」は平成25年度から3.8ポイント増加、「身体が丈夫で元気がよく、調子がよいこと」は平成25年度から7.6ポイント減少している。

また、「快食・快眠・快便」、「心も体も人間関係もうまくいっていること」、「幸福なこと」、「人を愛することができること」は、増加傾向がみられる。

(1-1) 「健康」に対して最も近い考え

問66-1. 問66で番号を複数選んだ方におききます。その中で、あなたの考えに最も近い番号を1つ選んで記入してください。

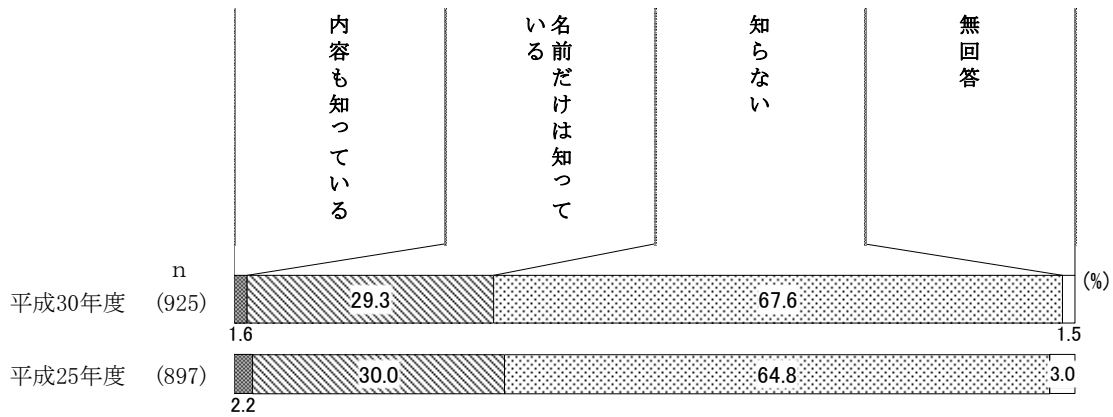


問66で「健康」についての考え方を複数選んだ方に、考えに最も近いものを1つ選んでもらったところ、「心身ともに健やかなこと」が42.0%で最も高くなっている。

過去の調査結果と比較すると、「心身ともに健やかなこと」は3回の調査で変わらず第1位だが、平成25年度よりも3.6ポイント減少している。

(2) 「健康なまち習志野」の認知度

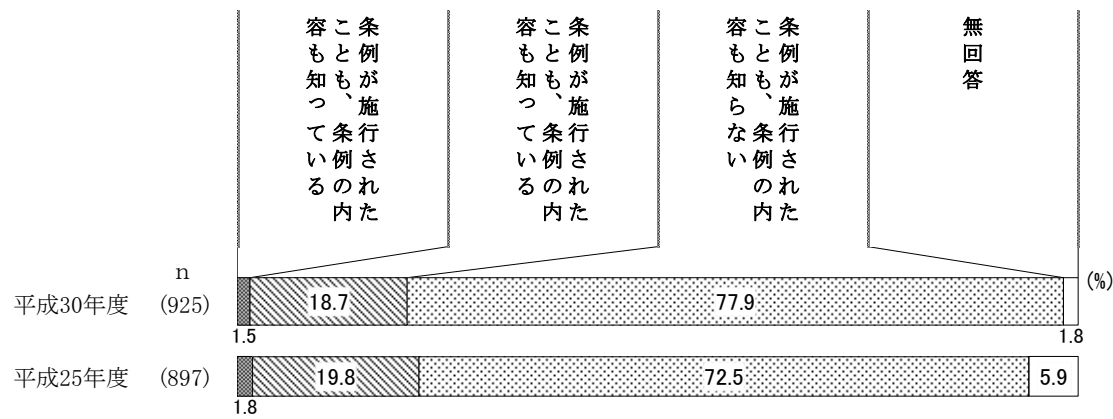
問67. 健康づくりの総合計画「健康なまち習志野」をご存じでしたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



「健康なまち習志野」の認知度は、「内容も知っている」が1.6%、「名前だけは知っている」が29.3%で、「知らない」が67.6%と高くなっている。
平成25年度と比較すると、特に大きな違いはみられない。

(3) (通称)健康なまちづくり条例の認知度

問68. 市では、平成25年4月1日から(通称)健康なまちづくり条例を施行しましたが、ご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

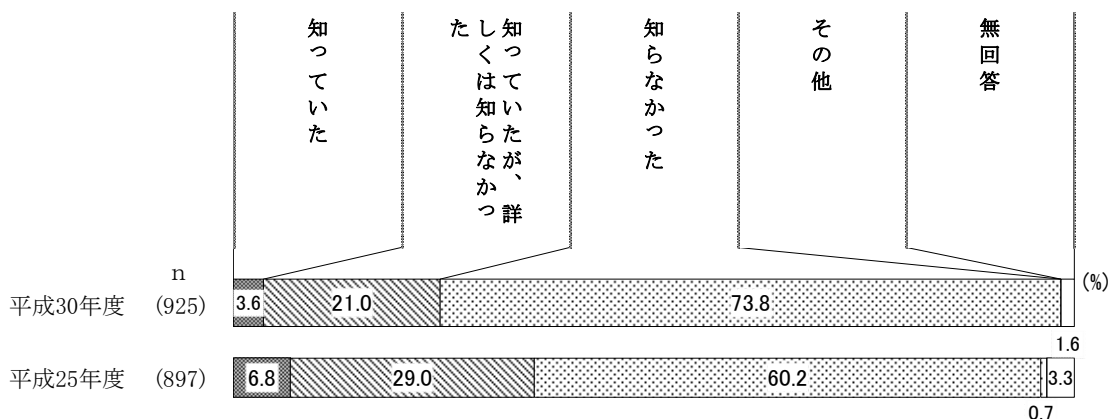


(通称)健康なまちづくり条例の認知度は、「条例が施行されたことも、条例の内容も知っている」が1.5%、「条例が施行されたことも、条例の内容も知っている」が18.7%で、「条例が施行されたことも、条例の内容も知らない」が77.9%と高くなっている。
平成25年度と比較すると、「条例が施行されたことも、条例の内容も知らない」が5.4ポイント増加している。

(4) 様々な分野の施策が健康なまちづくりにも影響していることの認知

問69. これからの健康なまちづくりには、保健や福祉など健康に直接関係する分野の他にも、様々な分野の施策が健康なまちづくりにも影響しているという視点が重要であるとされています。
あなたは、このような考え方をご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

例えば、都市整備分野が歩きやすい道路の整備をすることで、市民の外出する機会が増加し、適度な運動につながることや、雇用が安定することで、精神・身体的健康が高まることなど。

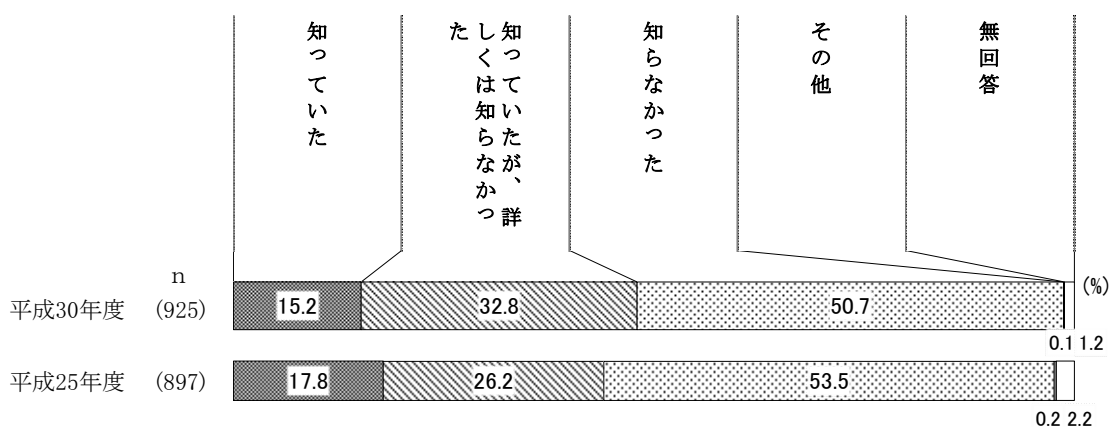


様々な分野の施策が健康なまちづくりにも影響していることの認知度は、「知っている」が3.6%、「知っていたが、詳しくは知らなかつた」が21.0%、「知らなかつた」が73.8%と高くなっている。

平成25年度と比較すると、「知っていたが、詳しくは知らなかつた」が8.0ポイント、「知っている」が3.2ポイント減少し、「知らなかつた」が13.6ポイント増加している。

(5) 「健康格差」の認知度

問70. 所得や雇用形態、居住形態などを原因として、個人の健康状態に差が生じること、いわゆる「健康格差」という言葉をご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

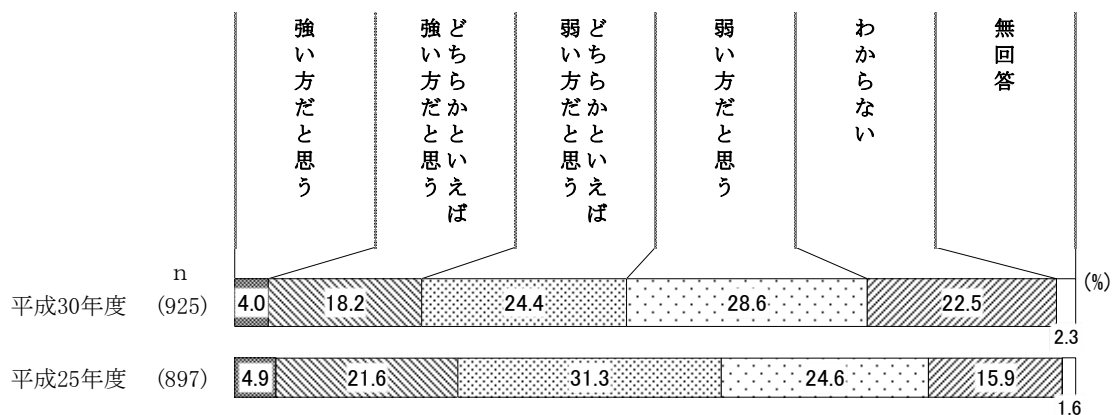


「健康格差」の認知度は、「知っている」が15.2%、「知っていたが、詳しくは知らなかつた」が32.8%、「知らなかつた」が50.7%と高くなっている。

平成25年度と比較すると、「知っていたが、詳しくは知らなかつた」が6.6ポイント増加している。

(6) 周辺地域の人たちとのつながり

問71. あなたと、あなたがお住まいの地域の人たちとのつながりは、強い方だと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



周辺地域の人たちとのつながりは、「強い方だと思」が 4.0%、「どちらかといえば強い方だと思」が 18.2%で、これらを合わせると、「強い方だと思」は 22.2%となっている。一方、「どちらかといえば弱い方だと思」(24.4%)と「弱い方だと思」(28.6%)を合わせて、「弱い方だと思」は 53.0%と高くなっている。また、「わからない」が 22.5%みられる。

平成25年度と比較すると、「強い方だと思」が 4.3ポイント減少し、「わからない」が 6.6ポイント増加している。

健康日本21 (第二次)

【「地域のつながりの強化 (居住地域で互いに助け合っていると思う国民の割合の増加)」現状と目標】

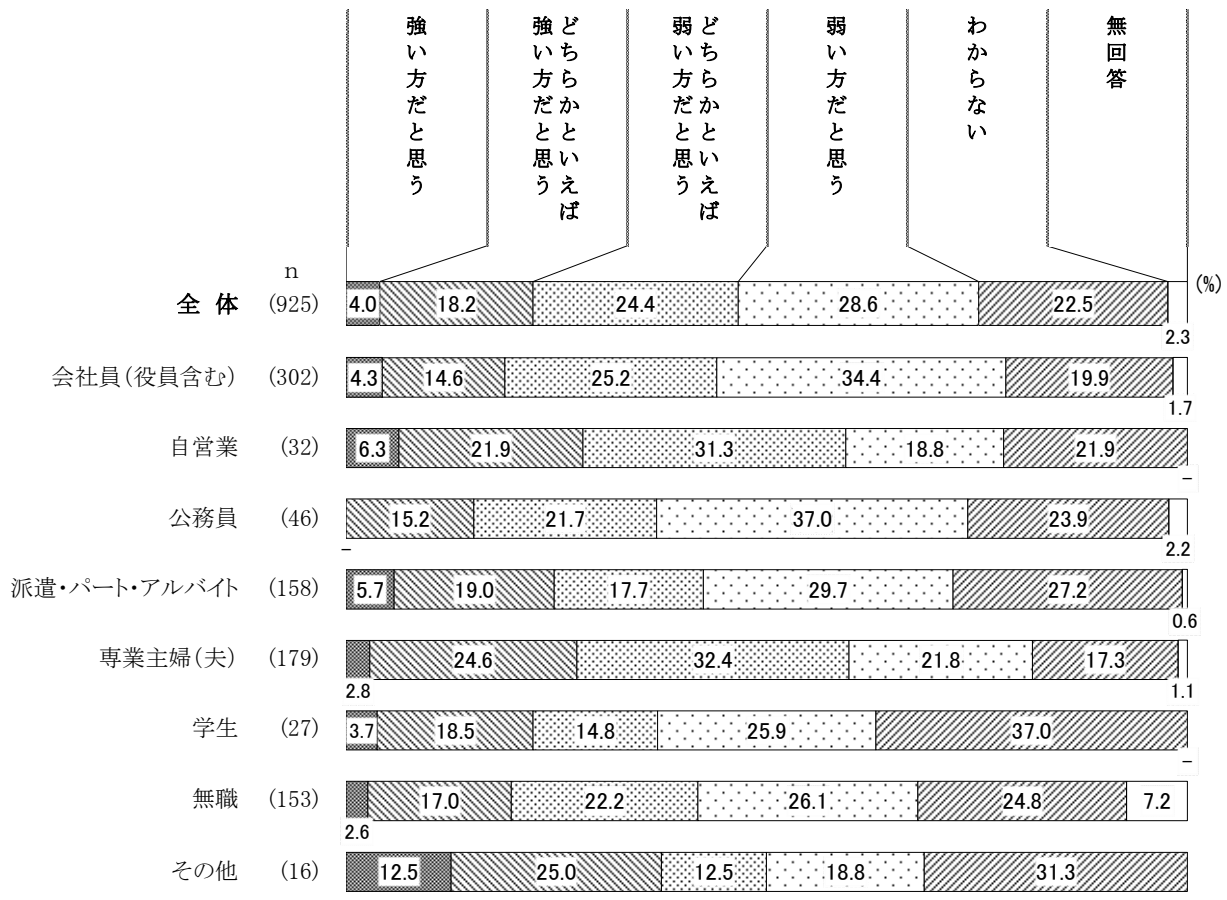
習志野市		国の現状と目標		
前回	今回	策定時	直近	目標
26.5% (平成25年度)	22.2% (平成30年度)	(参考値) 45.7% (平成19年) (変更後) 50.4% (平成23年)	55.9% (平成27年)	65% (平成34年度)

※国の現状と目標は、『健康日本21 (第二次) 中間評価報告書』(平成30年9月 厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会)による。

※国の値は、「あなたのお住まいの地域の人々は、互いに助け合っている」という設問に対して、「強くそう思う」、「どちらかといえばそう思う」、「どちらともいえない」、「どちらかといえばそう思わない」、「全くそう思わない」と選択肢が設定されているものからの引用である。

本市の設問と国の設問は形式が異なることから、参考として掲載しておく。

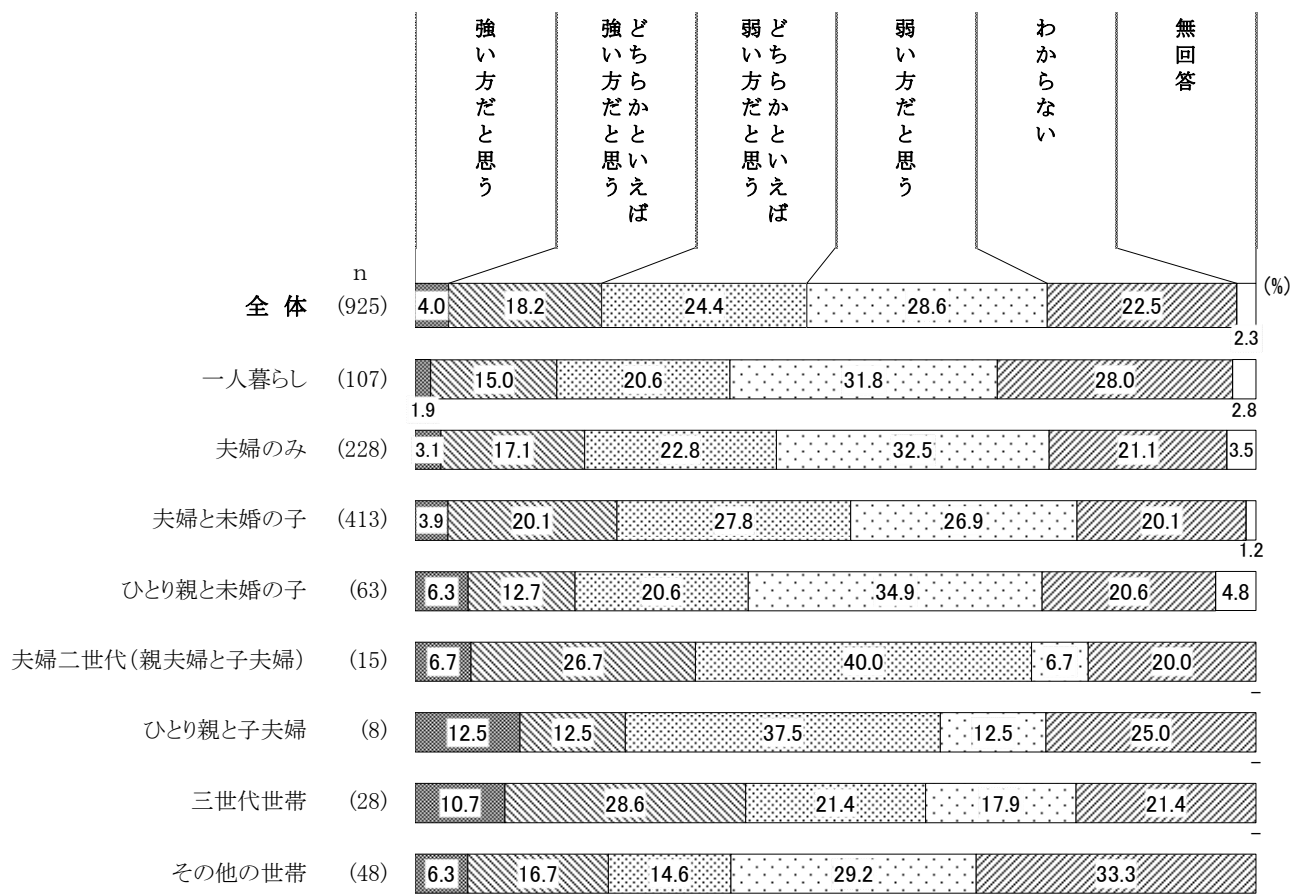
<職業別／周辺地域の人たちとのつながり>



※nが25人未満の層は、人数が少ないので参考として図示し、文中では触れていない。

職業別でみると、《強い方だと思う》は自営業で28.2%と最も高く、次いで専業主婦（夫）で27.4%となっている。一方、《弱い方だと思う》は会社員（役員含む）で59.6%、公務員で58.7%と約6割で高くなっている。

<家族構成別/周辺地域の人たちとのつながり>

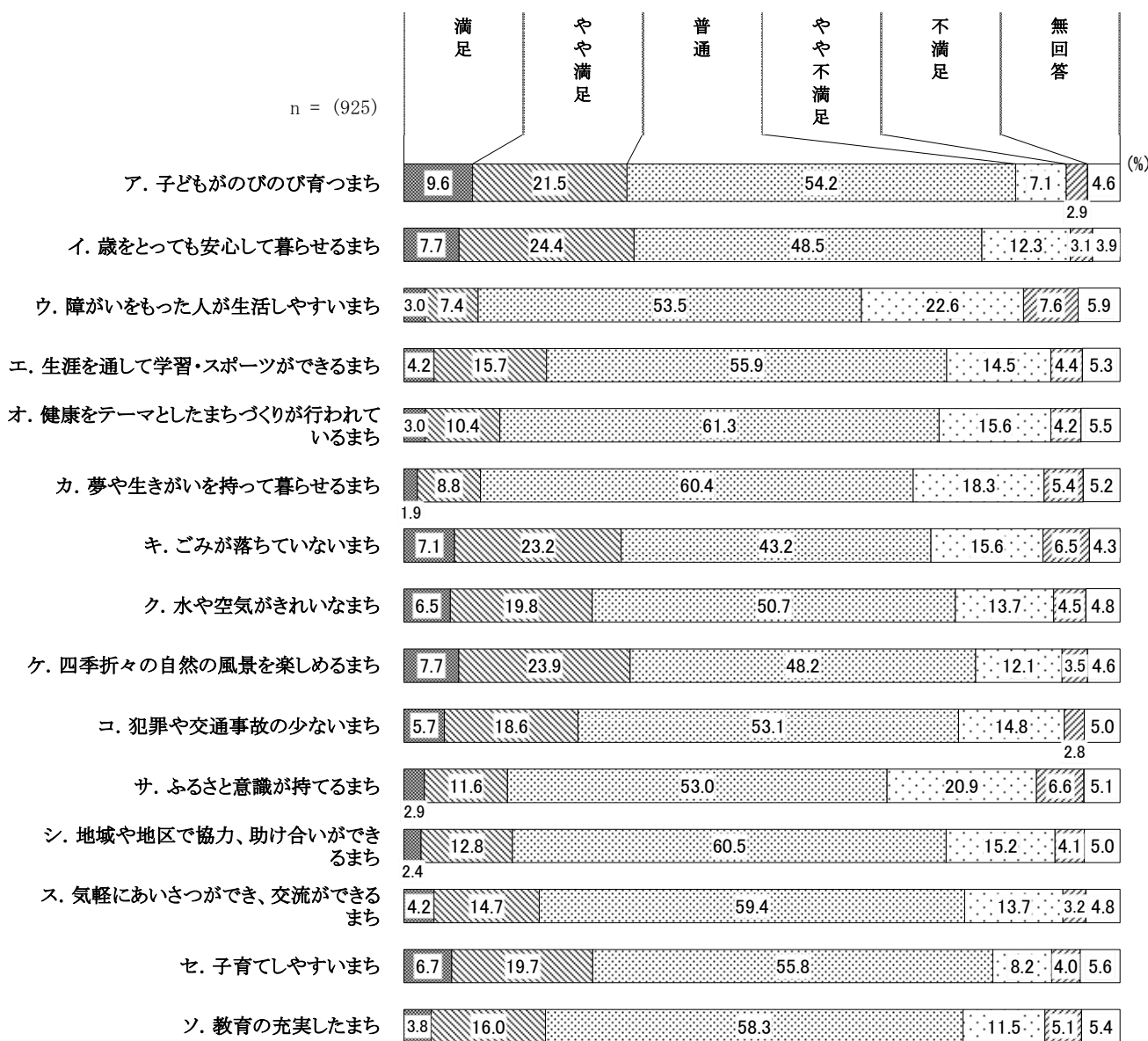


※nが25人未満の層は、人数が少ないので参考として図示し、文中では触れていない。

家族構成別でみると、《強い方だと思う》は三世帯世帯で39.3%と最も高くなっている。一方、《弱い方だと思う》は、ひとり親と未婚の子、夫婦のみ、夫婦と未婚の子、一人暮らしで5割台となっている。

(7) 周辺地域に関する現状の満足度

問72. お住まいの地域周辺に関する現状の満足度について、お考えに近いものを、それぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。



周辺地域に関する現状の満足度は、いずれの項目でも「普通」が高くなっており、“イ. 歳をとっても安心して暮らせるまち”、“キ. ごみが落ちていないまち”、“ケ. 四季折々の自然の風景を楽しめるまち”を除けば、5割以上である。

第2章 調査結果の詳細

次に、「満足」と「やや満足」を合わせて《満足》、「やや不満足」と「不満足」を合わせて《不満足》とし、それぞれ上位5項目を整理すると、次のようになっており、“キ. ごみが落ちていないまち”の満足度は他の項目に比べて意見が分かれている傾向がみられる。

《満足》

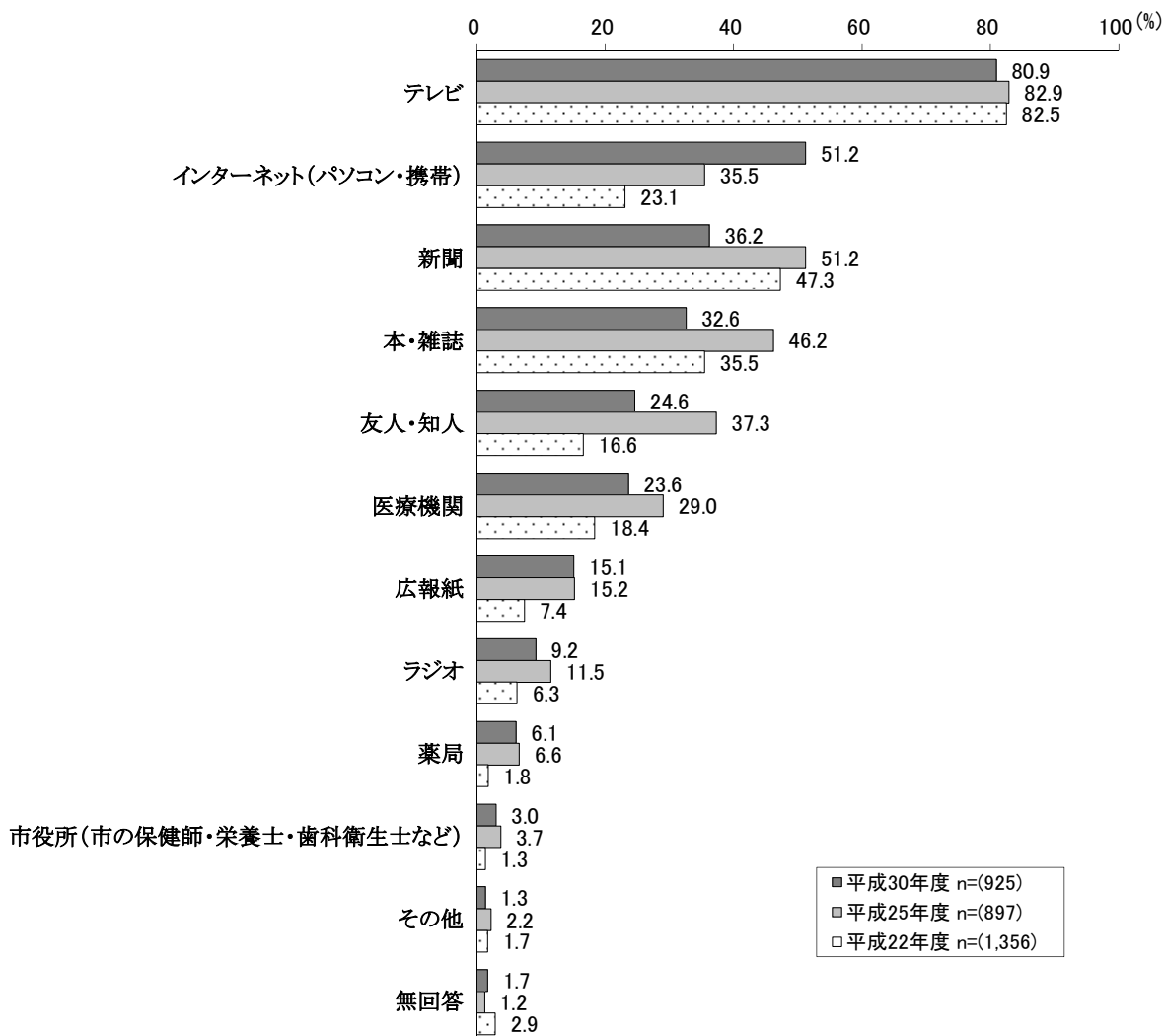
① イ. 歳をとっても安心して暮らせるまち	32.1%
② ケ. 四季折々の自然の風景を楽しめるまち	31.6%
③ ア. 子どもがのびのび育つまち	31.1%
④ キ. ごみが落ちていないまち	30.3%
⑤ セ. 子育てしやすいまち	26.4%

《不満足》

① ウ. 障がいをもった人が生活しやすいまち	30.2%
② サ. ふるさと意識が持てるまち	27.5%
③ カ. 夢や生きがいを持って暮らせるまち	23.7%
④ キ. ごみが落ちていないまち	22.1%
⑤ オ. 健康をテーマとしたまちづくりが行われているまち	19.8%

(8) 健康に関する情報の入手先

問73. 日頃、健康に関する情報を何から得ていますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。



健康に関する情報の入手先は、「テレビ」が80.9%で最も高く、次いで「インターネット(パソコン・携帯)」が51.2%、「新聞」が36.2%、「本・雑誌」が32.6%となっている。

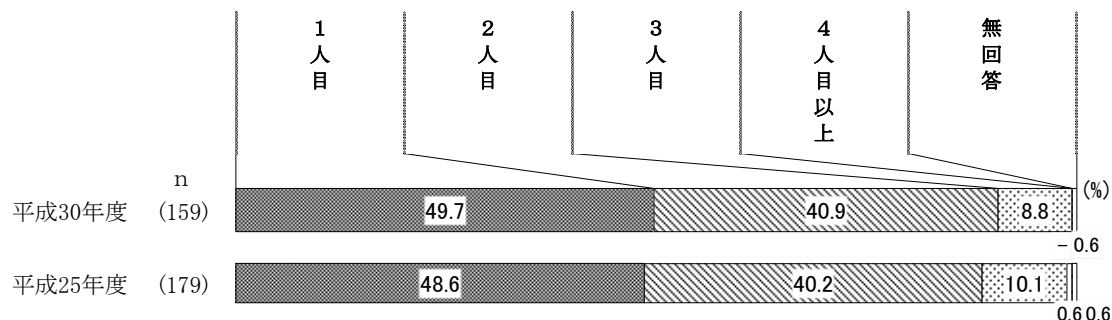
過去の調査結果と比較すると、多くの項目が平成25年度から減少している中で、「インターネット(パソコン・携帯)」は増加傾向にあり、平成25年度から15.7ポイント増加している。

親 子

1 妊娠・出産・産後について

(1) 健診を受けた子ども

問1. お子さんは何人目ですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

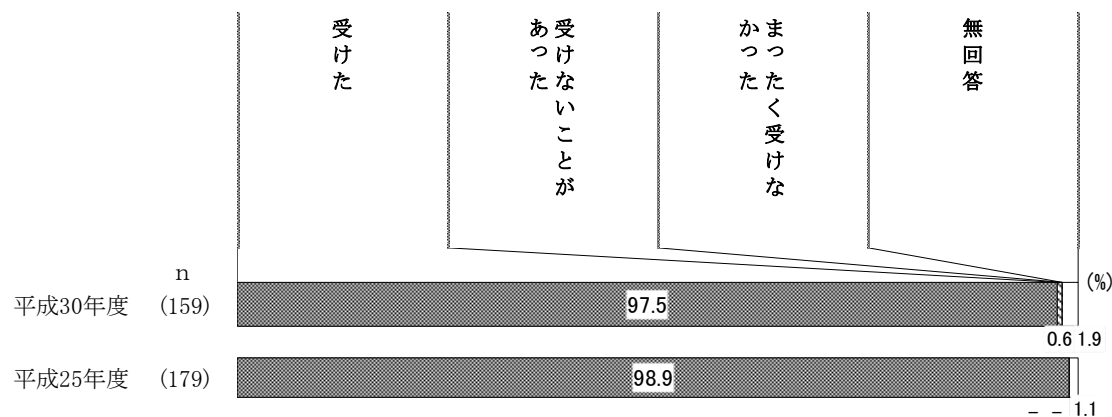


健診を受けた子どもは、「1人目」が49.7%で最も高く、次いで「2人目」が40.9%、「3人目」が8.8%となっている。

平成25年度と比較すると、特に大きな違いはみられない。

(2) 妊娠中の定期的な健診受診の有無

問2. 妊娠中、定期的に妊婦健診を受けましたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



妊娠中の定期的な健診を「受けた」が97.5%となっており、「受けなかったことがあった」が0.6%みられる。平成25年度と比較すると、特に大きな違いはみられない。

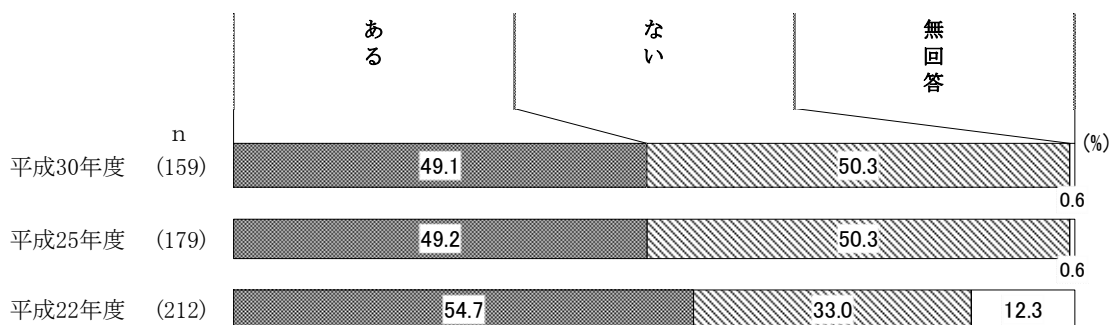
(2-1) 妊婦健診を受けなかった理由

問2-1. 問2で「2. または3.」を選んだ方におききます。妊婦健診を受けなかった理由としてあてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

問2で妊婦健診を「受けなかったことがあった」と回答した方は1名、「まったく受けなかった」と回答した方は皆無である。「受けなかったことがあった」と回答した方は「その他」を答えており、その内容は「上の娘の都合のため」とあげられていた。

(3) 妊婦健診時、医師や助産師などからの日常生活の指導を受けた経験

問3. 妊婦健診時、医師や助産師などから日常生活の指導を受けたことがありますか。

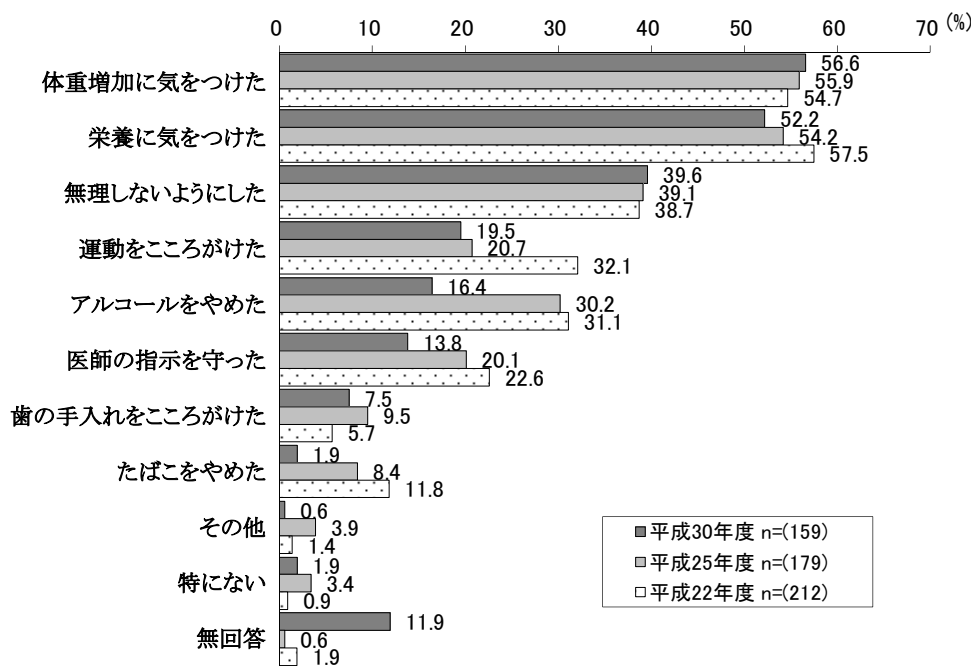


妊婦健診時、医師や助産師などからの日常生活の指導を受けた経験が、「ある」は49.1%で、「ない」が50.3%とおおむね並んでいる。

過去の調査結果と比較すると、平成22年度から平成25年度にかけての変化は大きかったが、平成25年度から今回の調査にかけての特に大きな違いはみられない。

(4) 妊娠中、特に気をつけたこと

問4. 妊娠中、特に気をつけたことは何ですか。あてはまるものを 3つ以内で選んで番号に○をつけてください。

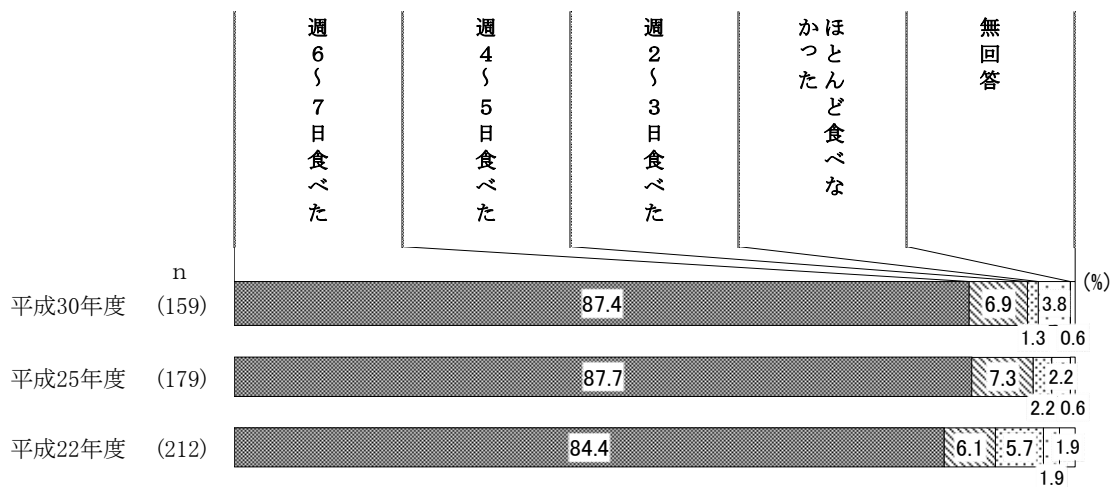


妊娠中、特に気をつけたことは、「体重増加に気をつけた」が56.6%で最も高く、次いで「栄養に気をつけた」が52.2%、「無理しないようにした」が39.6%となっている。

過去の調査結果と比較すると、「栄養に気をつけた」、「運動をこころがけた」、「アルコールをやめた」、「医師の指示を守った」、「たばこをやめた」は減少傾向がみられる。特に、平成25年度から「アルコールをやめた」は13.8ポイント、「たばこをやめた」は6.5ポイント、「医師の指示を守った」は6.3ポイント減少している。

(5) 妊娠中の朝食摂取状況

問5. 妊娠中は朝食をとっていましたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

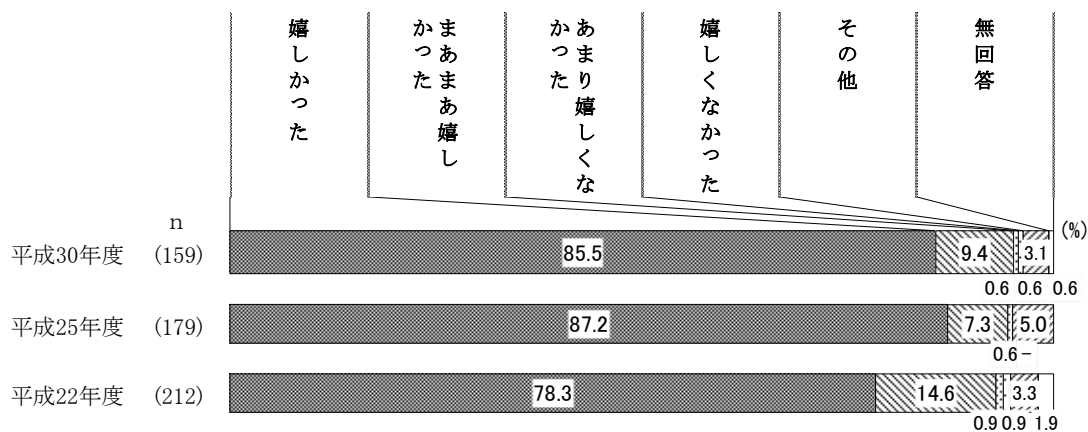


妊娠中の朝食摂取状況は、「週6～7日食べた」が87.4%で最も高くなっている。一方、「ほとんど食べなかった」が3.8%みられる。

平成25年度と比較すると、特に大きな違いはみられない。

(6) 妊娠がわかったときの気持ち

問6. 妊娠していることがわかったときの気持ちで、最もあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

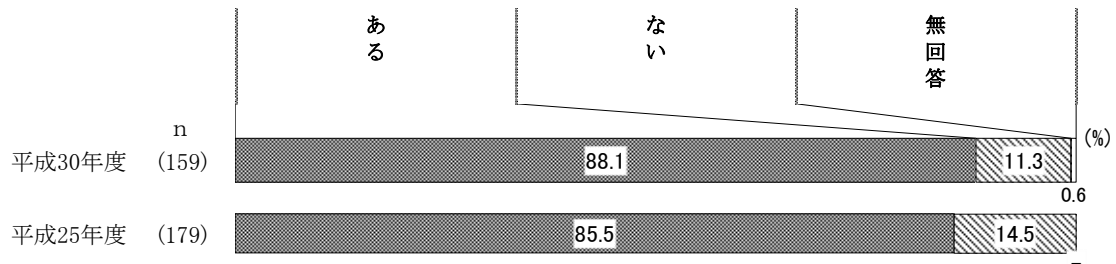


妊娠がわかったときの気持ちは、「嬉しかった」が85.5%で最も高く、「まあまあ嬉しかった」が9.4%で、これらを合わせて《嬉しかった》は94.9%となっている。一方、「あまり嬉しくなかった」(0.6%)と「嬉しくなかった」(0.6%)を合わせた《嬉しくなかった》は1.2%みられる。

過去の調査結果と比較すると、《嬉しかった》は高率ながらも増加傾向がみられる。

(7) マタニティマークの利用

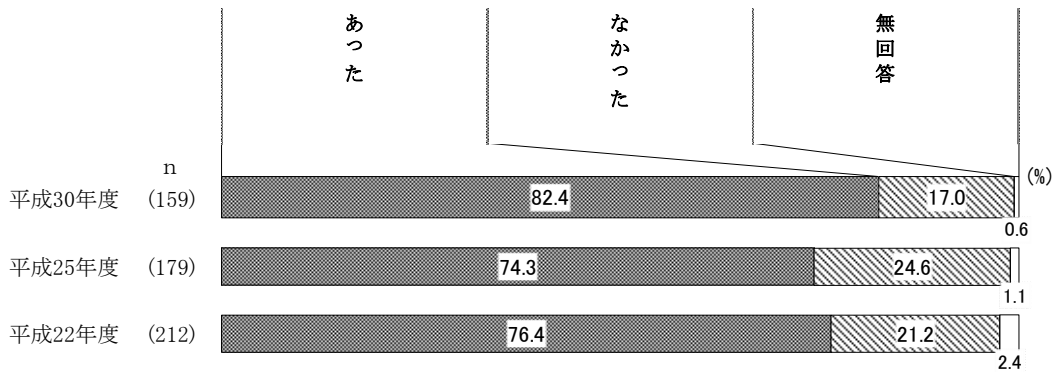
問7. マタニティマークを利用したことがありますか。



マタニティマークを利用したことが「ある」が88.1%と高くなっている。
平成25年度と比較すると、「ない」が3.2ポイント減少している。

(8) 妊娠中の悩みや不安の有無

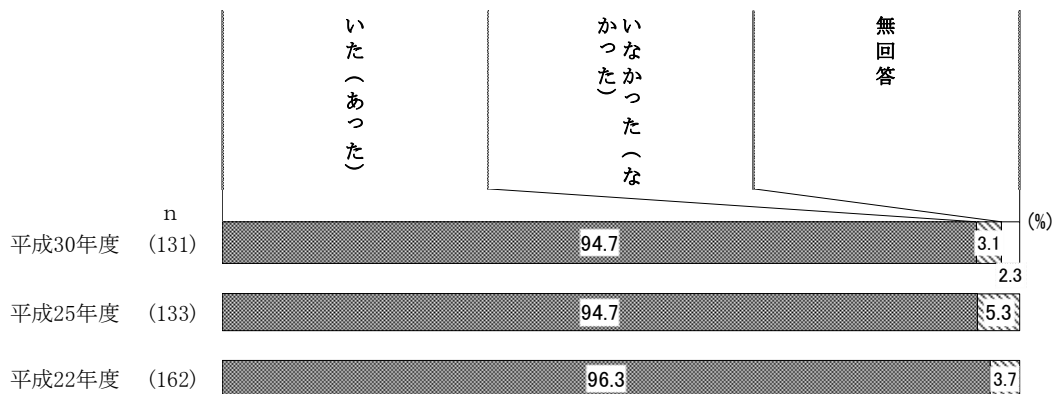
問8. 妊娠中に悩みや不安がありましたか。



妊娠中の悩みや不安が「あった」が82.4%となっている。
過去の調査結果と比較すると、「あった」は平成25年度から8.1ポイント増加し、これまでで最も高い割合となった。

(8-1) 悩みや不安を相談する人や手段の有無

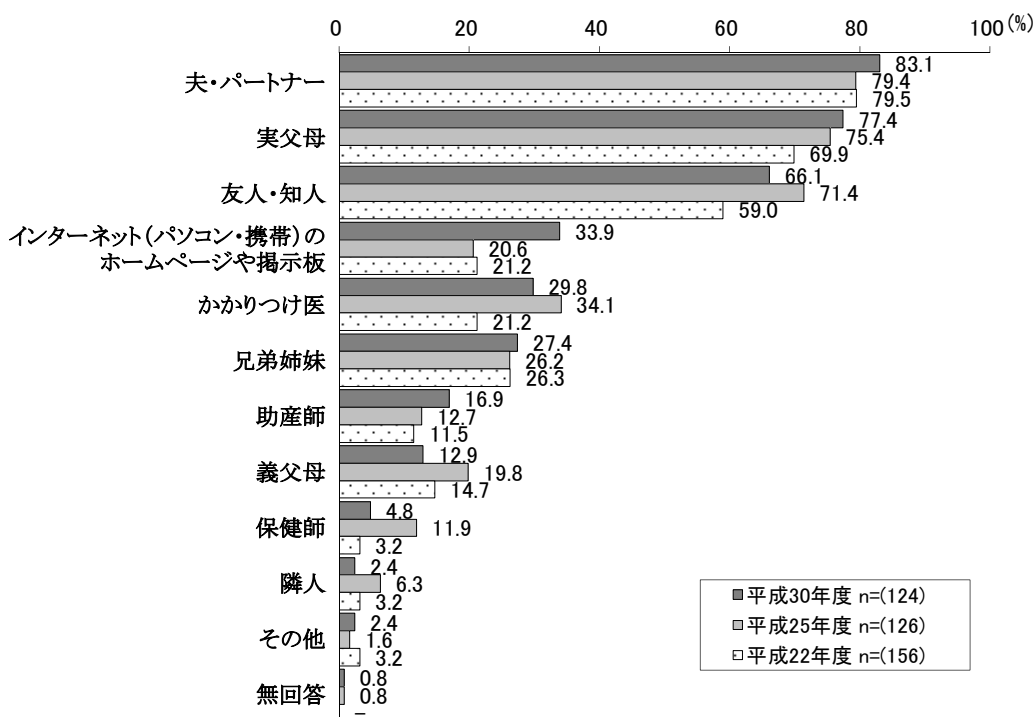
問8-1. 問8で「1.」を選んだ方におききます。妊娠中に、悩みや不安を相談する人や手段がありましたか。



問8で妊娠中の悩みや不安が「あった」と回答した方に、悩みや不安を相談する人や手段があったかたずねたところ、「いた(あった)」が94.7%となっている。
過去の調査結果と比較すると、特に大きな違いはみられない。

(8-2) 悩みや不安の相談先

問8-2. 問8-1で「1.」を選んだ方におききます。相談相手や手段として、あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

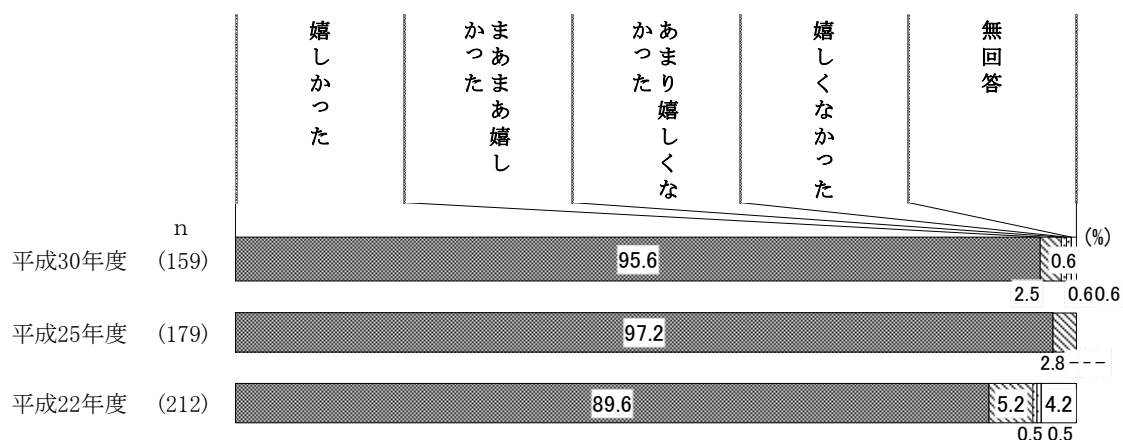


問8-1で妊娠中の悩みや不安を相談する人や手段が「いた(あった)」と回答した方に、その相談先をたずねたところ、「夫・パートナー」が83.1%で最も高く、次いで「実父母」が77.4%、「友人・知人」が66.1%、「インターネット(パソコン・携帯)のホームページや掲示板」が33.9%となっている。

過去の調査結果と比較すると、「実父母」と「助産師」は増加傾向がみられる。また、平成25年度から最も変化が大きいのは「インターネット(パソコン・携帯)のホームページや掲示板」で、13.3ポイント増加している。

(9) 子どもとはじめて対面したときの気持ち

問9. はじめて、お子さんと対面したときの気持ちで、最もあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

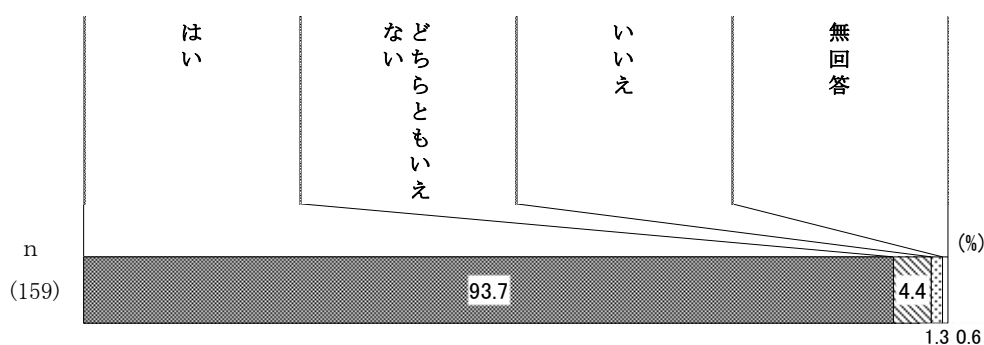


子どもとはじめて対面したときの気持ちは、「嬉しかった」が95.6%で最も高く、「まあまあ嬉しかった」が2.5%で、これらを合わせて《嬉しかった》は98.1%となっている。一方、「あまり嬉しくなかった」(0.6%)と「嬉しくなかった」(0.6%)を合わせた《嬉しくなかった》は1.2%みられる。

過去の調査結果と比較すると、平成22年度から平成25年度にかけて《嬉しかった》は5.2ポイント増加したが、平成25年度から今回の調査にかけての特に大きな違いはみられない。

(10) 今回の妊娠・出産についての満足

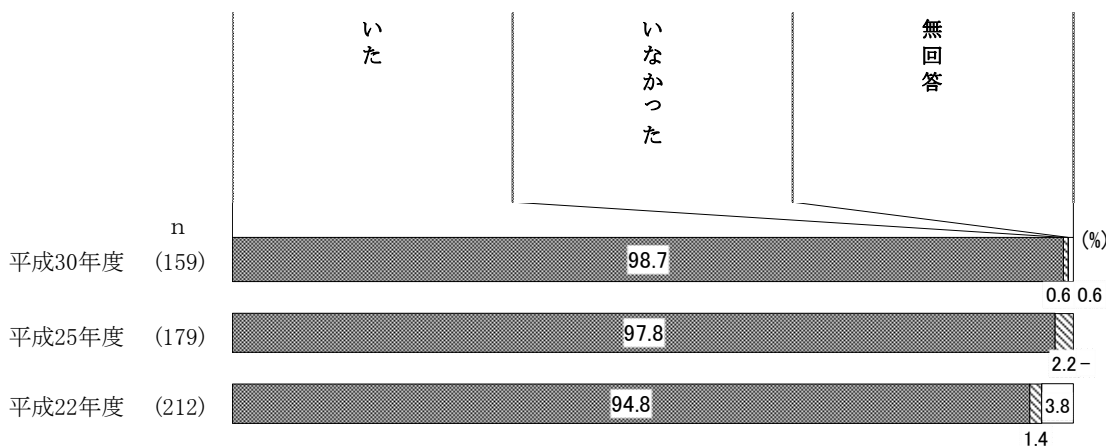
問10. 今回の妊娠・出産について満足していますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



今回の妊娠・出産について満足しているかたずねたところ、「はい」が93.7%となっている。

(11) 産後1か月までの時期に協力してくれた人の有無

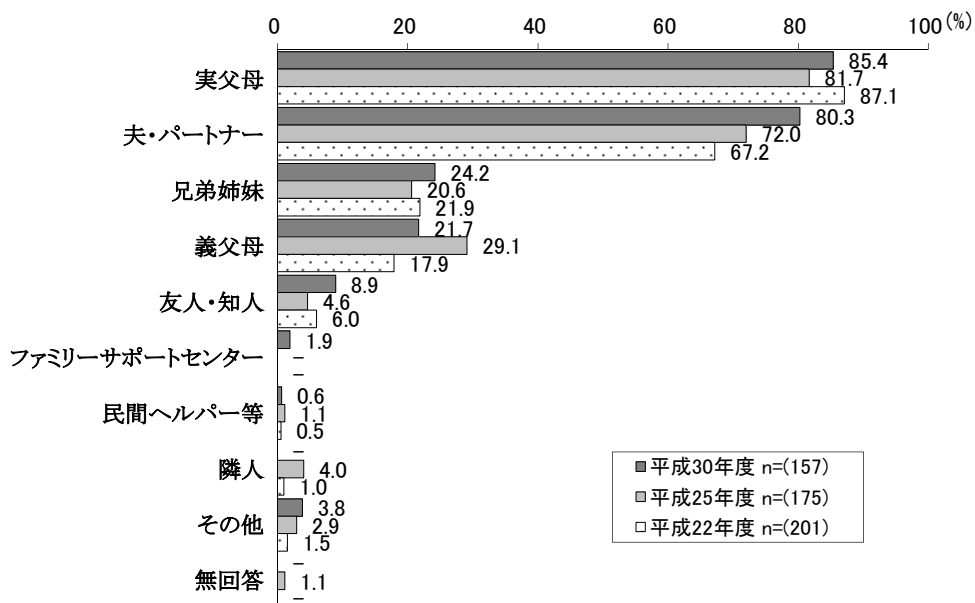
問11. 産後1か月までの時期に協力してくれた人はいましたか。



産後1か月までの時期に協力してくれた人がいたかたずねたところ、「いた」が98.7%となっている。過去の調査結果と比較すると、「いた」は高率ながらも増加傾向がみられる。

(11-1) 協力してくれた人

問11-1. 問11で「1.」を選んだ方におききます。協力してくれた人を全て選んで番号に○をつけてください。

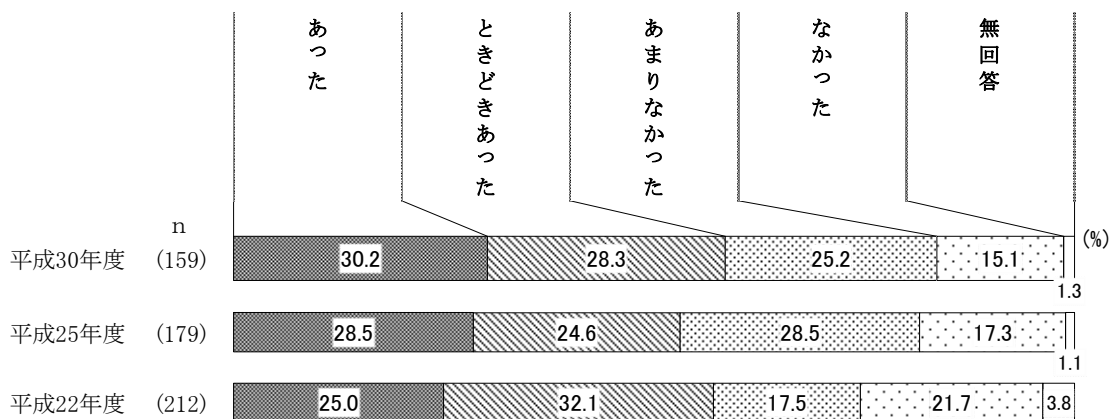


問11で産後1か月までの時期に協力してくれた人が「いた」と回答した方に、その協力者をたずねたところ、「実父母」が85.4%で最も高く、次いで「夫・パートナー」が80.3%となっている。

過去の調査結果と比較すると、「夫・パートナー」は増加傾向がみられる。特に、「義父母」、「民間ヘルパー等」、「隣人」を除いて多くが増加している中で、「夫・パートナー」は平成25年度から8.3ポイントと大きく増加している。

(12) 妊娠中から産後3か月間の気分の変化

問12. 妊娠中から産後3か月くらいの間、気分が沈んだり、涙もろくなったり、何もする気になれないということがありましたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

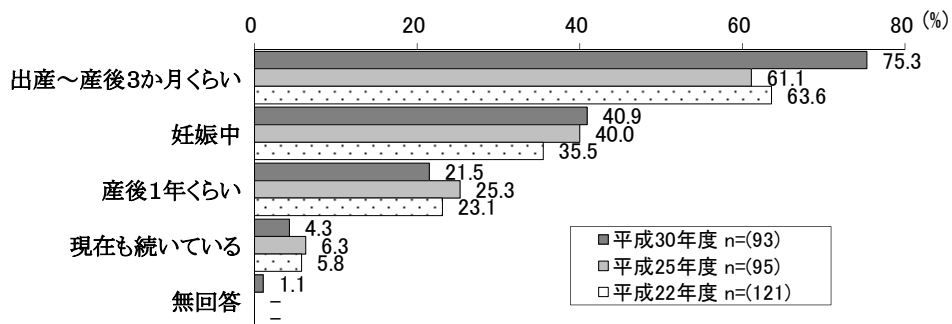


妊娠中から産後3か月間の気分の変化は、「あった」が30.2%で最も高く、次いで「ときどきあった」が28.3%となっており、これらを合わせると《あった》は58.5%となっている。一方、「あまりなかった」(25.2%)と「なかった」(15.1%)を合わせた《なかった》は40.3%である。

過去の調査結果と比較すると、「あった」は増加傾向みられる。また、《あった》としてみると、平成25年度から5.4ポイント増加している。

(12-1) 気分の変化があった時期

問12-1. 問12で「1. または2.」を選んだ方におきします。あてはまる時期を全て選んで番号に○をつけてください。

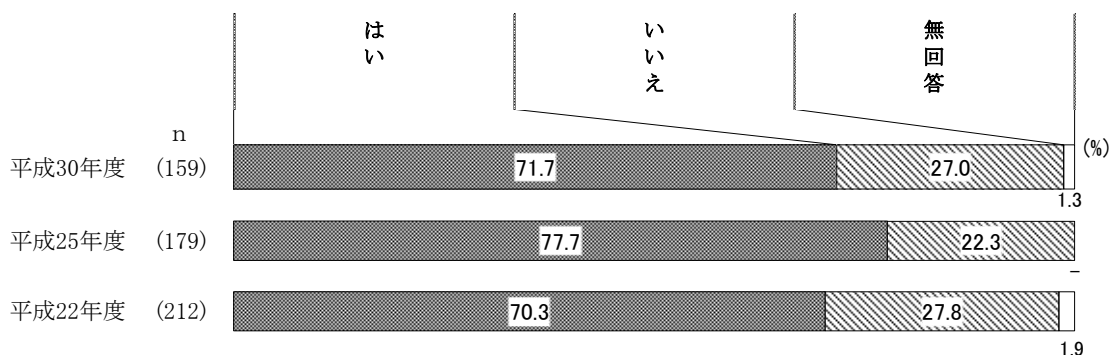


問12で妊娠中から産後3か月間の気分の変化が《あった》と回答した方に、その時期をたずねたところ、「出産～産後3か月くらい」が75.3%で最も高く、次いで「妊娠中」が40.9%、「産後1年くらい」が21.5%となっている。また、「現在も続いている」が4.3%みられる。

過去の調査結果と比較すると、「妊娠中」は増加傾向みられる。また、「出産～産後3か月くらい」は、平成25年度から14.2ポイントと大きく増加している。

(13) 習志野市からの母子健康手帳交付の有無

問13. 今回の健診対象のお子さんは、習志野市で母子健康手帳をもらいましたか。

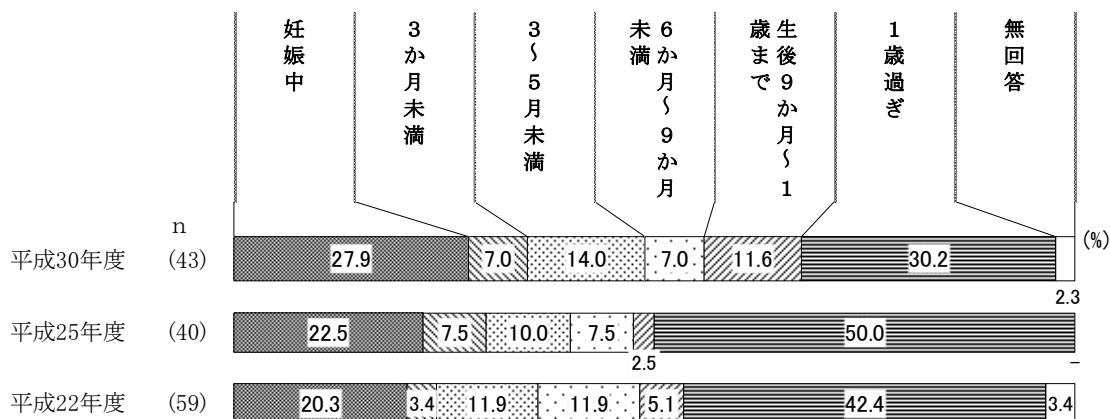


習志野市からの母子健康手帳をもらったかたずねたところ、「はい」が71.7%で高く、「いいえ」が27.0%となっている。

過去の調査結果と比較すると、平成25年度から「はい」が6.0ポイント減少し、「いいえ」が4.7ポイント増加しており、平成22年度の結果に近くなっている。

(13-1) 転入した時期

問13-1. 問13で「2.」を選んだ方におきします。転入された時期について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。(2.を選んだ方は、()に数字をご記入ください)



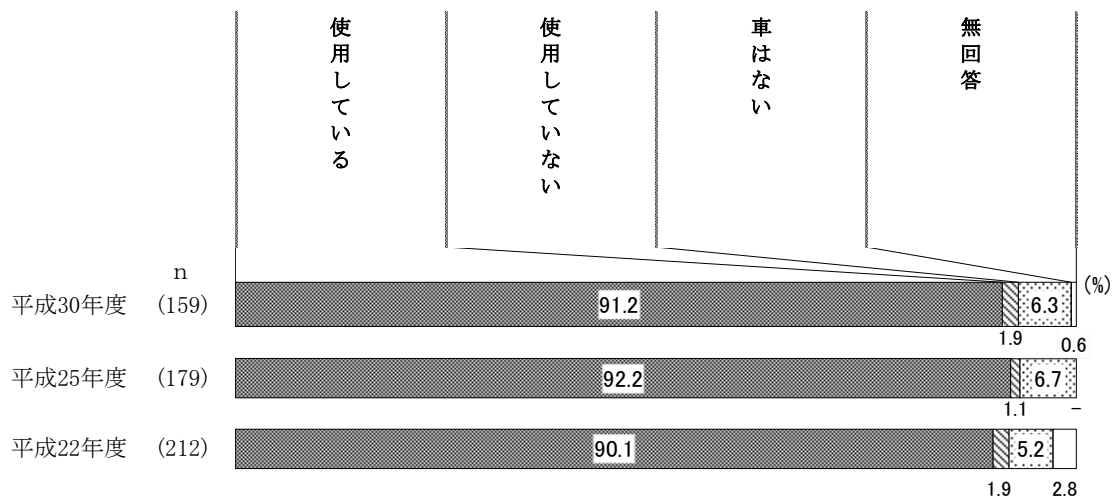
問13で他自治体から母子健康手帳をもらったと回答した方に、市への転入時期をたずねたところ、「1歳過ぎ」が30.2%で最も高く、次いで「妊娠中」が27.9%となっている。

過去の調査結果と比較すると、「妊娠中」は増加傾向がみられる。また、平成25年度から「生後9か月〜1歳まで」は9.1ポイント、「3〜5月未満」は4.0ポイント増加など、1歳までの増加が目立っており、「1歳過ぎ」は平成25年度から19.8ポイント減少している。

2 事故防止について

(1) チャイルドシート使用の有無

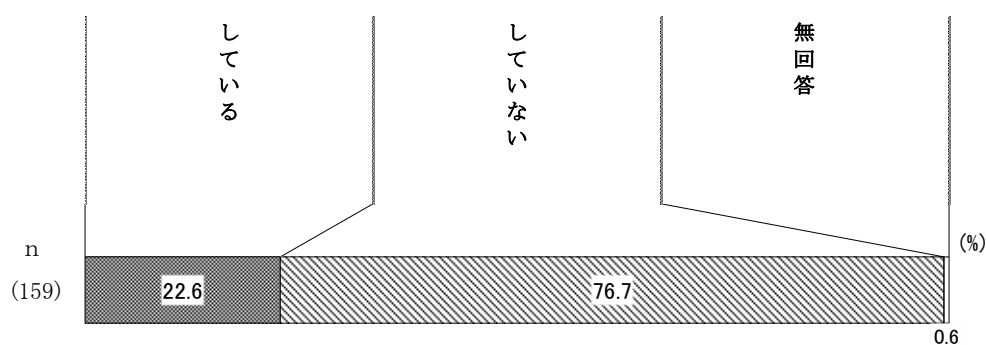
問14. 子どもを車に乗せる時に、チャイルドシートを使用していますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



チャイルドシートを「使用している」が91.2%と高くなっているが、「使用していない」が1.9%みられる。過去の調査結果と比較すると、特に大きな違いはみられない。

(2) 風呂場のドアを子どもが自分で開けることができないような工夫状況

問15. 風呂場のドアを子どもが自分で開けることができないよう工夫をしていますか。

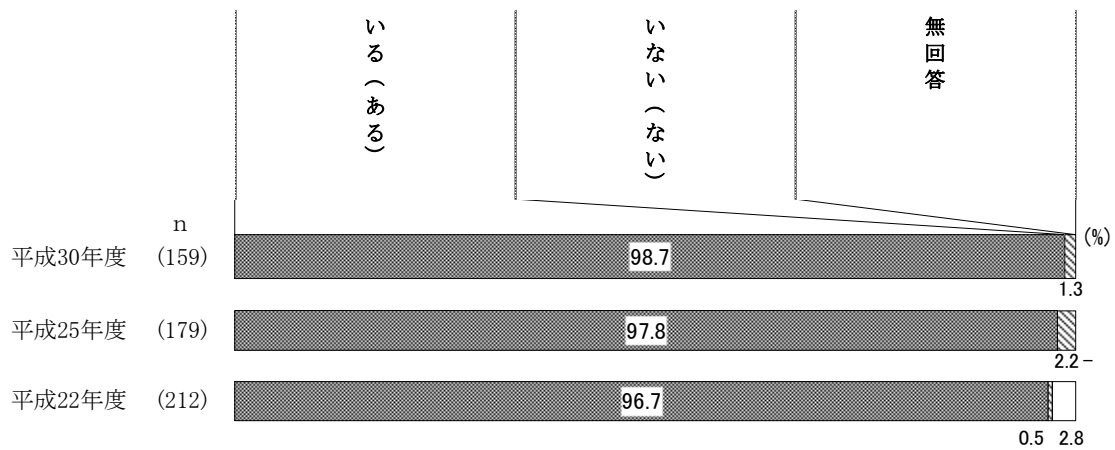


風呂場のドアを子どもが自分で開けることができないよう工夫しているかたずねたところ、「している」が22.6%で、「していない」が76.7%と高くなっている。

3 育児に関することについて

(1) 育児についての相談相手の有無

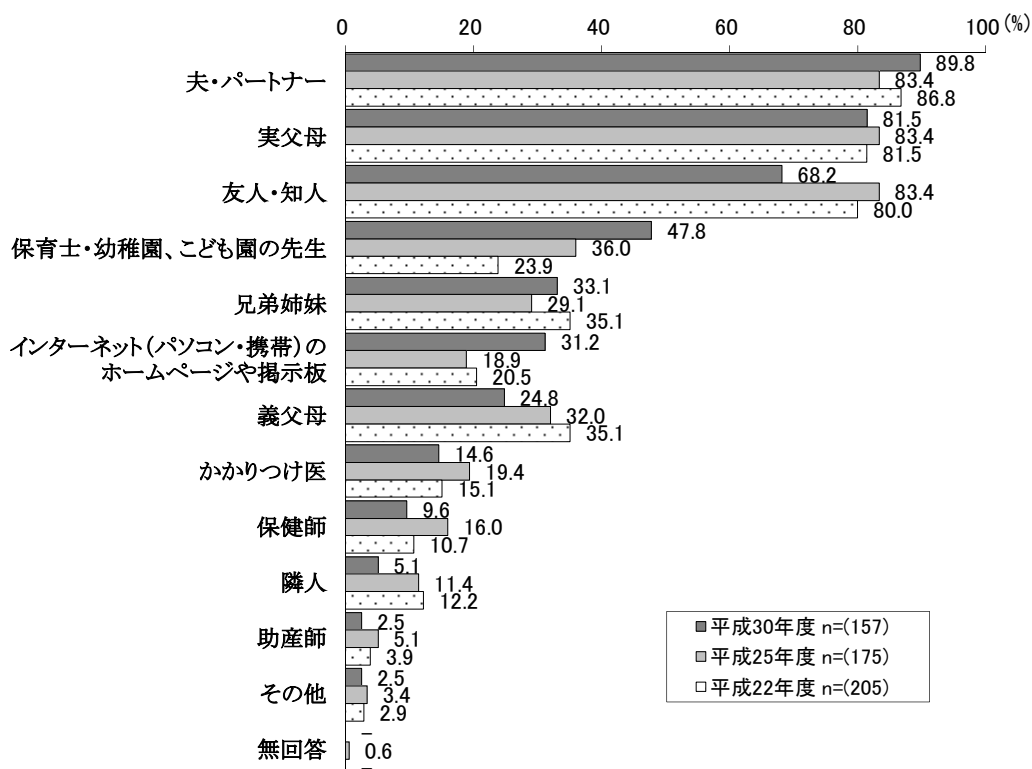
問 16. 育児についての相談相手の有無や手段はありますか。



育児についての相談相手の有無や手段があるかたずねたところ、「いる(ある)」が98.7%となっている。過去の調査結果と比較すると、特に大きな違いはみられない。

(1-1) 相談する人や手段

問16-1. 問16で「1.」を選んだ方におききます。相談する人や手段を全て選んで番号に○をつけてください。

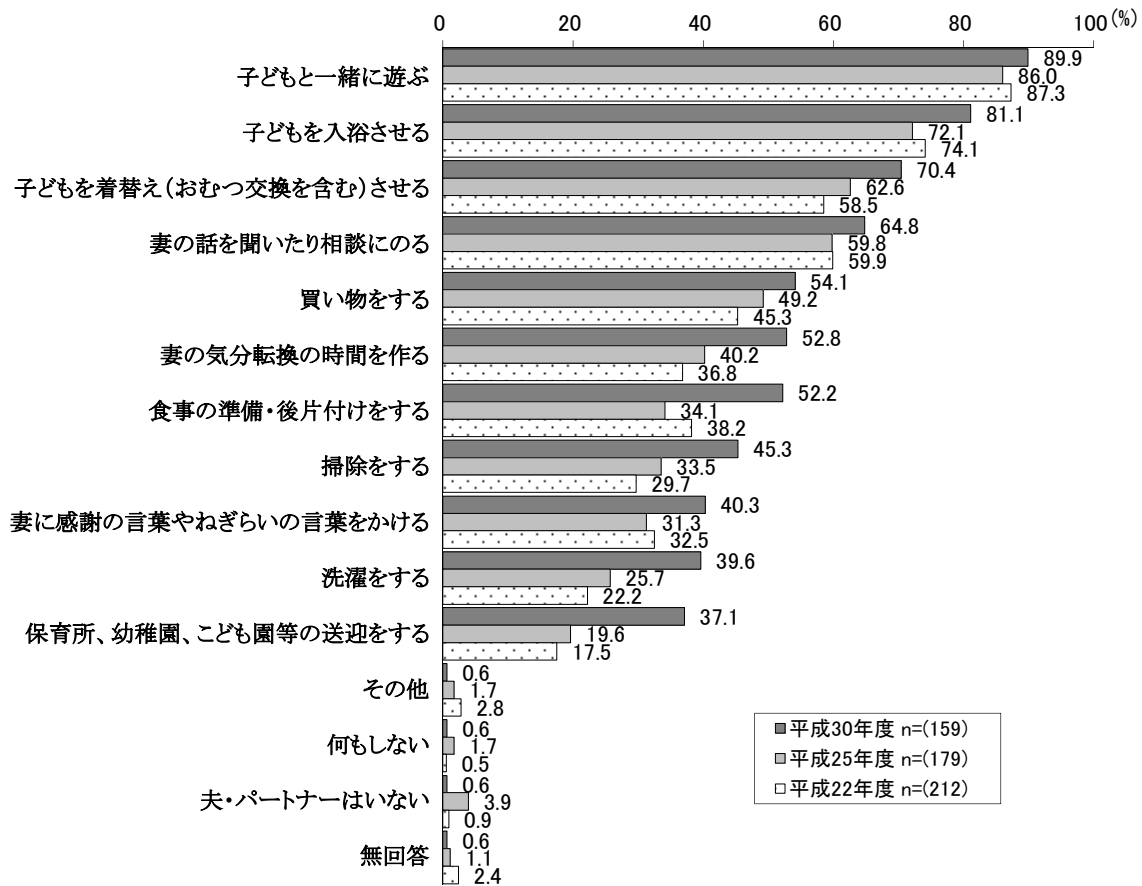


問16で育児についての相談相手の有無や手段が「いる(ある)」と回答した方に、その相談先をたずねたところ、「夫・パートナー」が89.8%で最も高く、次いで「実父母」が81.5%となっている。このほか、「友人・知人」が68.2%、「保育士・幼稚園、こども園の先生」が47.8%である。

過去の調査結果と比較すると、「保育士・幼稚園、こども園の先生」は増加傾向にあり、「義父母」と「隣人」は減少傾向がみられる。また、平成25年度から10ポイント以上増減した項目を列举すると、「インターネット(パソコン・携帯)のホームページや掲示板」が12.3ポイント、「保育士・幼稚園、こども園の先生」が11.8ポイント増加し、逆に、「友人・知人」が15.2ポイント減少している。

(2) 夫やパートナーの家事や育児のかかわりかた

問17. あなたからみて夫やパートナーは、家事や育児にどのような形でかかわっていますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

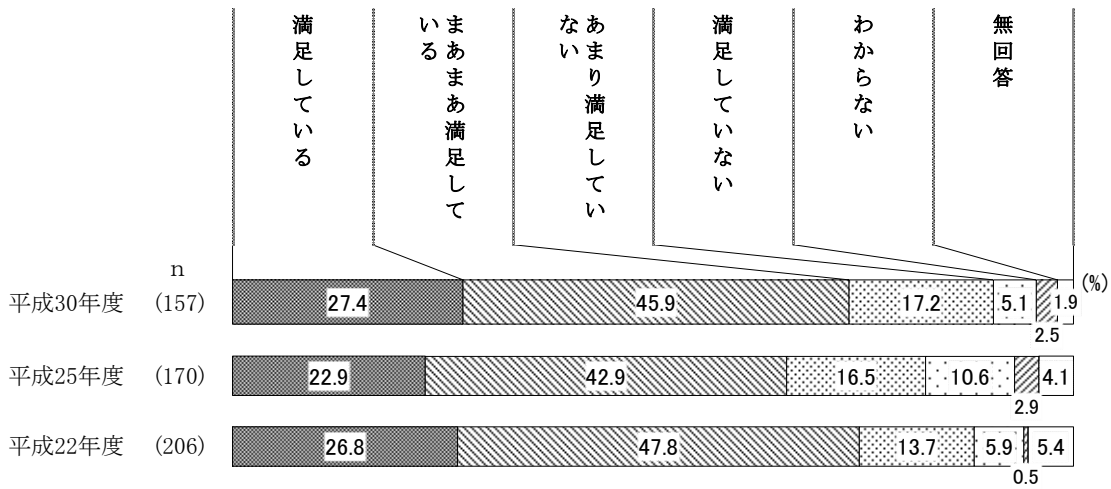


夫やパートナーの家事や育児のかかわりかたは、「子どもと一緒に遊ぶ」が89.9%で最も高く、次いで「子どもを入浴させる」が81.1%、「子どもを着替え(おむつ交換を含む)させる」が70.4%、「妻の話を聞いたり相談にのる」が64.8%となっている。このほか、「買い物をする」が54.1%、「妻の気分転換の時間を作る」が52.8%、「食事の準備・後片付けをする」が52.2%も5割を超えている。

過去の調査結果と比較すると、多くの項目で増加傾向がみられる。特に、平成25年度から10ポイント以上増加した項目を列挙すると、「食事の準備・後片付けをする」は18.1ポイント、「保育所、幼稚園、こども園等の送迎をする」は17.5ポイント、「洗濯をする」は13.9ポイント、「妻の気分転換の時間を作る」は12.6ポイント、「掃除をする」は11.8ポイントの増加となっている。

(2-1) 夫やパートナーの協力の仕方への満足度

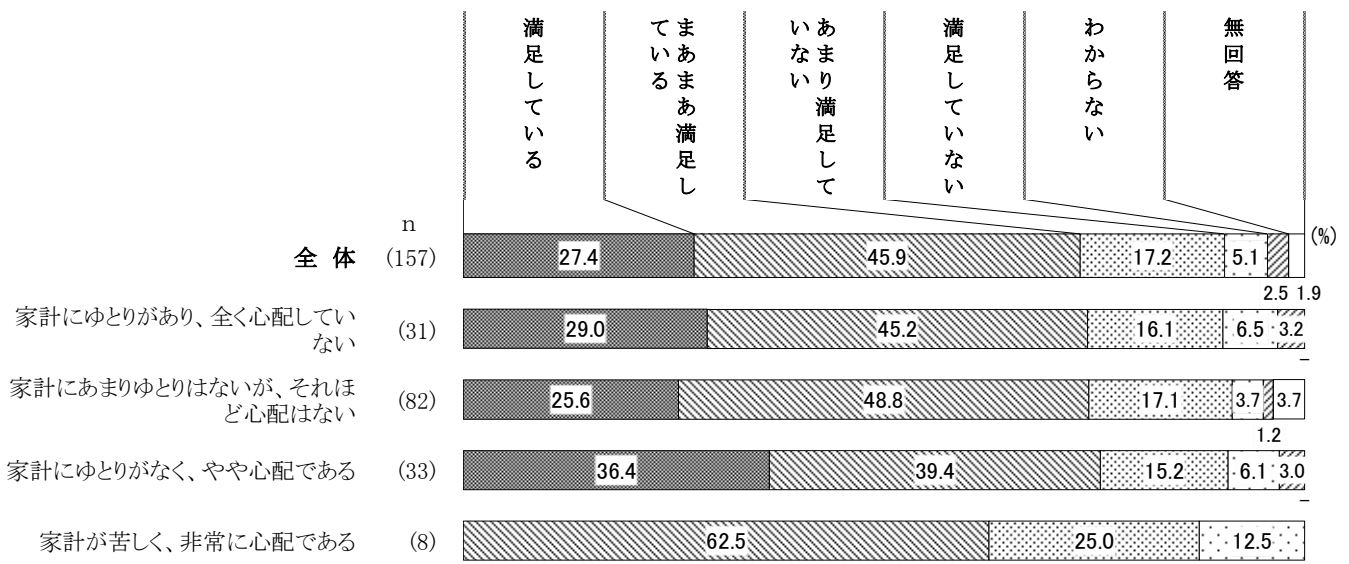
問17-1. 問17で「14.」以外を選んだ方におききます。夫やパートナーの協力の仕方へ満足していますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



問17で「夫・パートナーはいない」以外を回答した方に、夫やパートナーの協力の仕方への満足度をたずねたところ、「満足している」が27.4%で、「まあまあ満足している」が45.9%と最も高くなっている。これらを合わせると、「満足している」は73.3%となっている。一方、「あまり満足していない」(17.2%)と「満足していない」(5.1%)を合わせた《満足していない》は22.3%である。

過去の調査結果と比較すると、平成22年度から平成25年度にかけて《満足している》は減少していたが、平成25年度から今回調査にかけて《満足している》は7.5ポイント増加している。

<現在の暮らし向き別／夫やパートナーの協力の仕方への満足度>

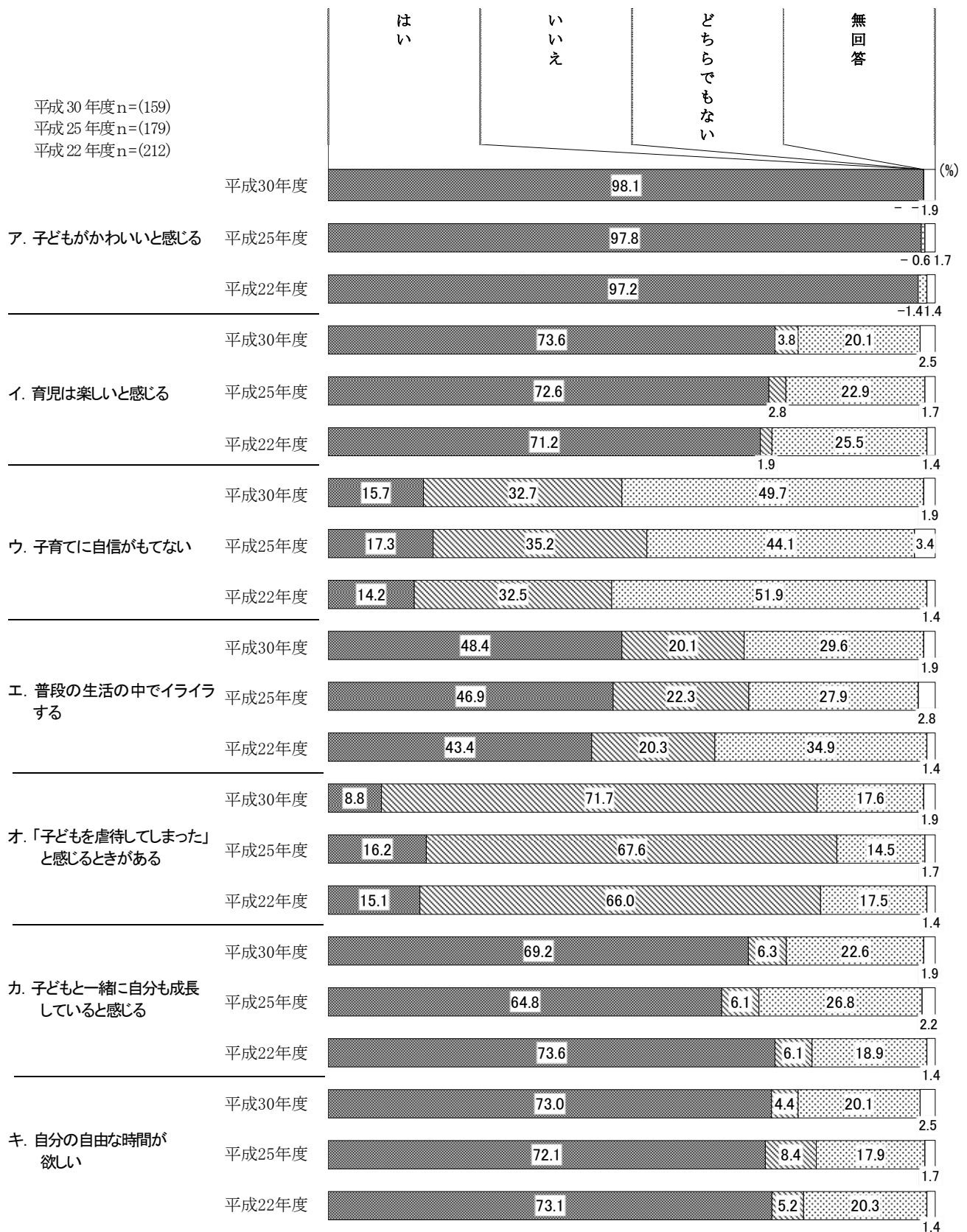


※nが25人未満の層は、人数が少ないので参考として図示し、文中では触れていない。

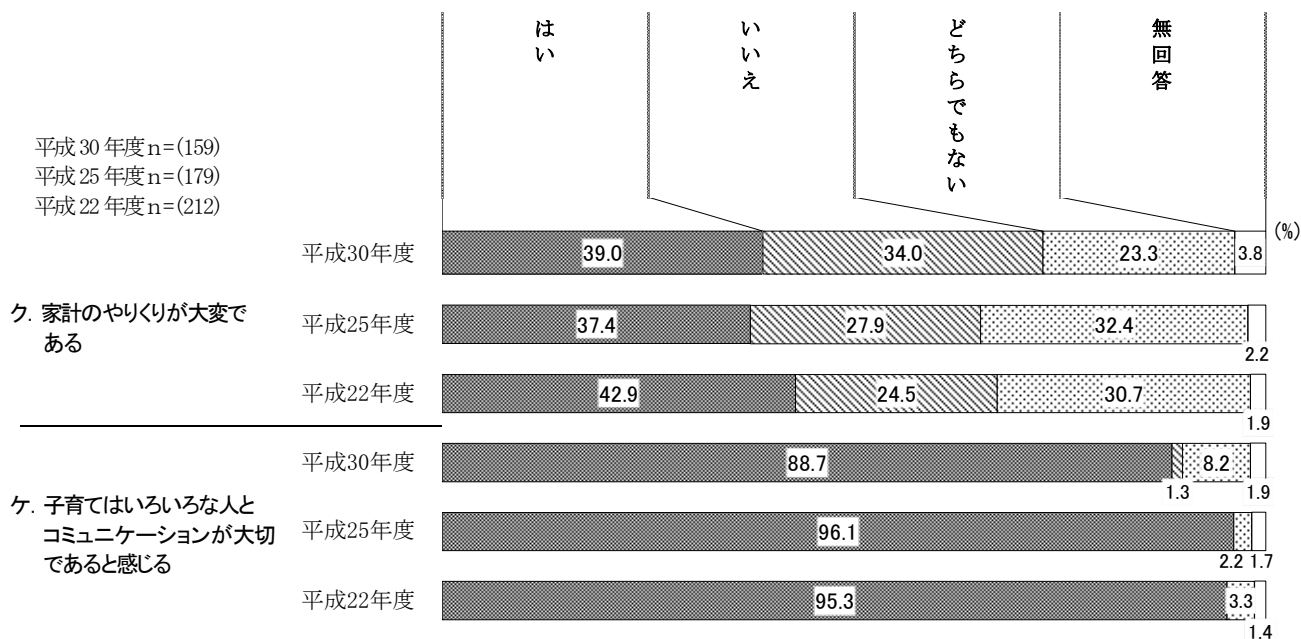
現在の暮らし向き別でみると、「満足している」は7割台半ば前後でおおむね並んでいる。

(3) 現在の気持ち

問18. 今のあなたの気持ちについて、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。



第2章 調査結果の詳細



現在の気持ちについて、各項目を「はい」か「いいえ」でたずねたが、まず視点を整理しておく。

“ア. 子どもがかわいいと感じる”、“イ. 育児は楽しいと感じる”、“カ. 子どもと一緒に自分も成長していると感じる”、“ケ. 子育てはいろいろな人とコミュニケーションが大切であると感じる”の4項目は、「はい」という回答が肯定感を表す。一方、“ウ. 子育てに自信がもてない”、“エ. 普段の生活の中でイライラする”、“オ. 「子どもを虐待してしまった」と感じるときがある”、“キ. 自分の自由な時間が欲しい”、“ク. 家計のやりくりが大変である”の5項目は、「いいえ」という回答が肯定感を表す。これらの回答の割合を整理すると、次のようになる。

《「はい」が肯定感を表す項目》

① ア. 子どもがかわいいと感じる	98.1%
② ケ. 子育てはいろいろな人とコミュニケーションが大切であると感じる	88.7%
③ イ. 育児は楽しいと感じる	73.6%
④ カ. 子どもと一緒に自分も成長していると感じる	69.2%

《「いいえ」が肯定感を表す項目》

① オ. 「子どもを虐待してしまった」と感じるときがある	71.7%
② ク. 家計のやりくりが大変である	34.0%
③ ウ. 子育てに自信がもてない	32.7%
④ エ. 普段の生活の中でイライラする	20.1%
⑤ キ. 自分の自由な時間が欲しい	4.4%

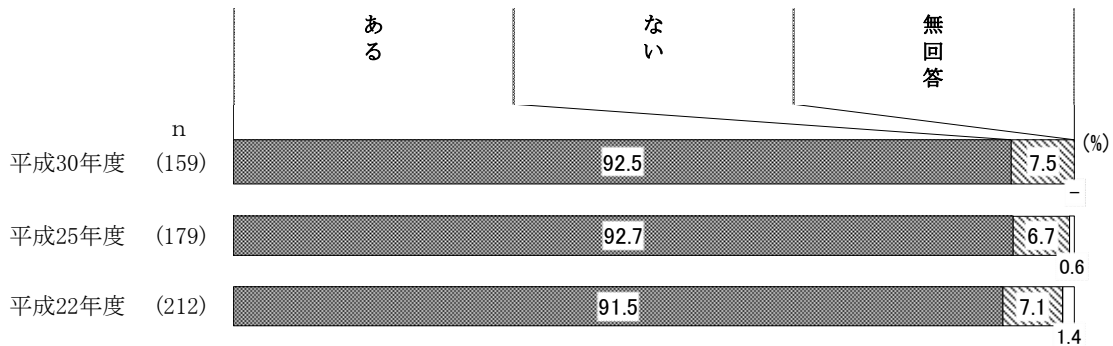
過去の調査結果と比較すると、「はい」が肯定感を表す項目では、「はい」の割合が“カ. 子どもと一緒に自分も成長していると感じる”で平成25年度から4.4ポイント増加、“ケ. 子育てはいろいろな人とコミュニケーションが大切であると感じる”で平成25年度から7.4ポイント減少している。

「いいえ」が肯定感を表す項目では、「いいえ」の割合が“オ. 「子どもを虐待してしまった」と感じるときがある”と“ク. 家計のやりくりが大変である”で増加傾向がみられる。

4 医療機関について

(1) 小児科のかかりつけの有無

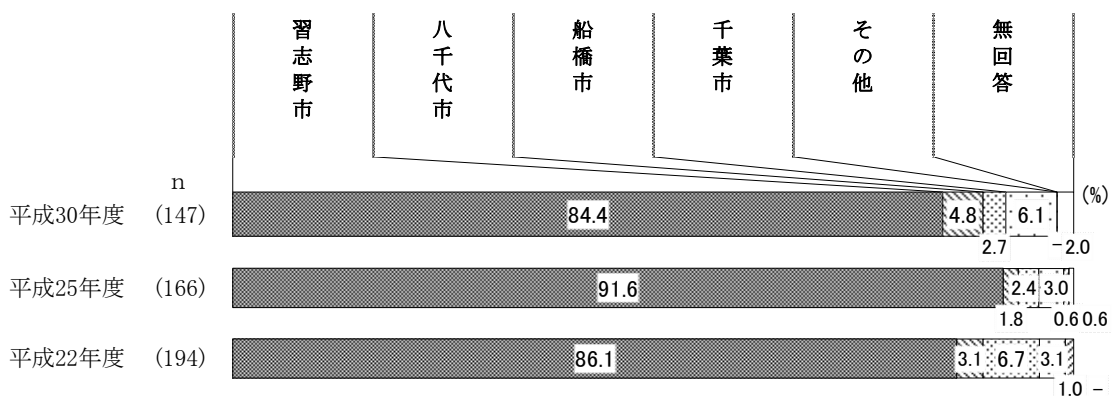
問19. 小児科のかかりつけ医がありますか。



小児科のかかりつけ医は「ある」が92.5%と高くなっている。
過去の調査結果と比較すると、特に大きな違いはみられない。

(1-1) かかりつけ医のいる医療機関の場所

問19-1. 問19で「1.」を選んだ方におききます。かかりつけ医のいる医療機関はどこにありますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

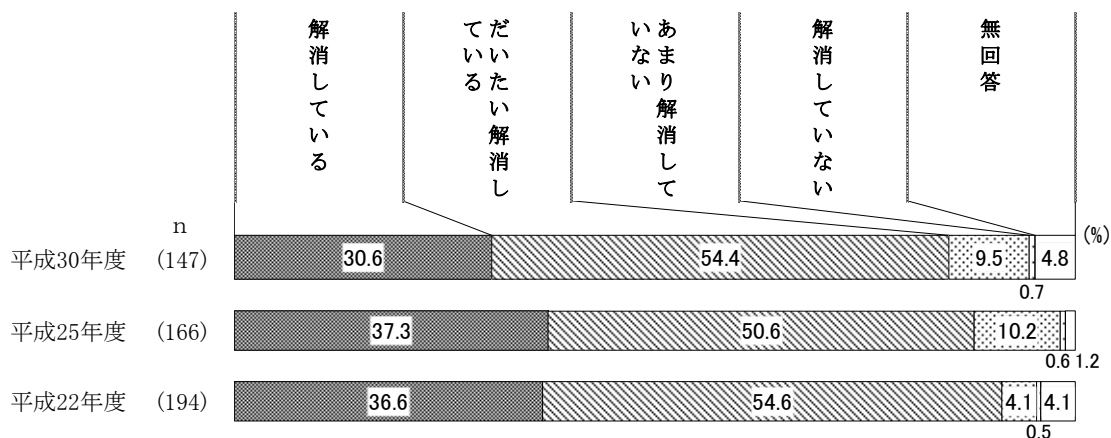


問19で小児科のかかりつけ医が「ある」と回答した方に、医療機関の場所をたずねたところ、「習志野市」が84.4%で最も高くなっている。

過去の調査結果と比較すると、「習志野市」は平成22年度から平成25年度にかけて増加していたが、平成25年度から今回調査にかけて7.2ポイント減少している。そのほか、平成25年度から「千葉市」は3.1ポイント、「八千代市」は3.0ポイント増加となっている。

(1-2) 悩みや不安の解消

問19-2. 問19で「1.」を選んだ方におききます。かかりつけ医を受診することで悩みや不安は解消していますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

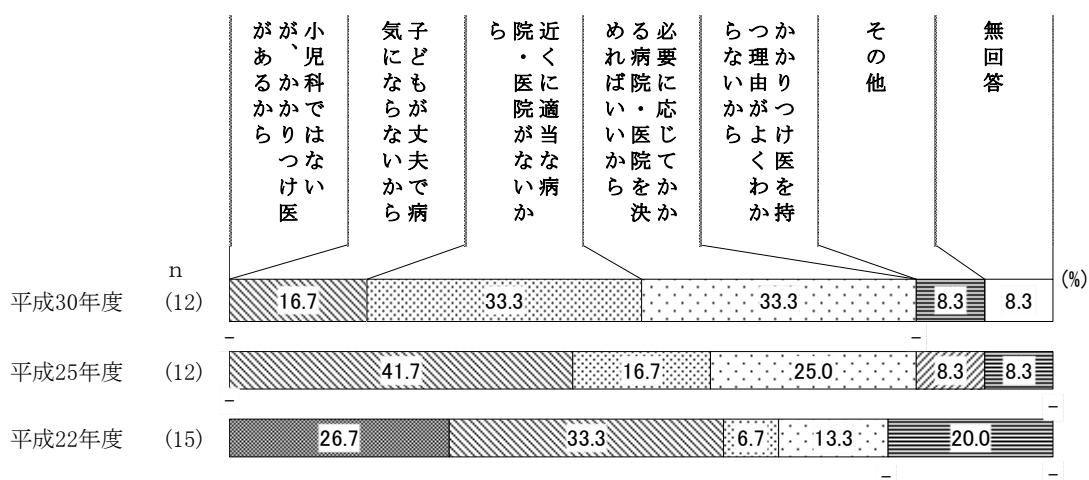


問19で小児科のかかりつけ医が「ある」と回答した方に、かかりつけ医を受診することでの悩みや不安の解消状況をたずねた。その結果、「解消している」が30.6%で、「てだいたい解消している」が54.4%と最も高くなっている。これらを合わせると、「解消している」は85.0%となっている。一方、「あまり解消していない」(9.5%)と「解消していない」(0.7%)を合わせた「解消していない」は10.2%である。

過去の調査結果と比較すると、平成22年度から平成25年度にかけて「解消している」は増加していたが、平成25年度から今回調査にかけて「解消している」は6.7ポイント減少している。また、「解消している」としてみると、減少傾向がみられる。

(1-3) 小児科のかかりつけ医を持っていない理由

問19-3. 問19で「2.」を選んだ方におききます。小児科のかかりつけ医を持っていない理由で、最もあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

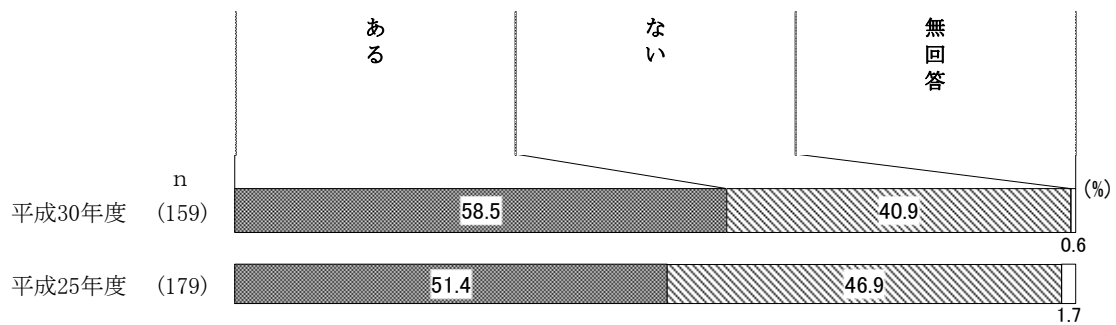


問19で小児科のかかりつけ医が「ない」と回答した方に、その理由をたずねた。回答者数(n)が12人であることから、参考とするが、「近くに適当な病院・医院がないから」と「必要に応じてかかる病院・医院を決めればいいから」が33.3%で並んでいる。

過去の調査結果との比較は、参考までに図示しておくまでにとどめる。

(2) かかりつけ薬局の有無

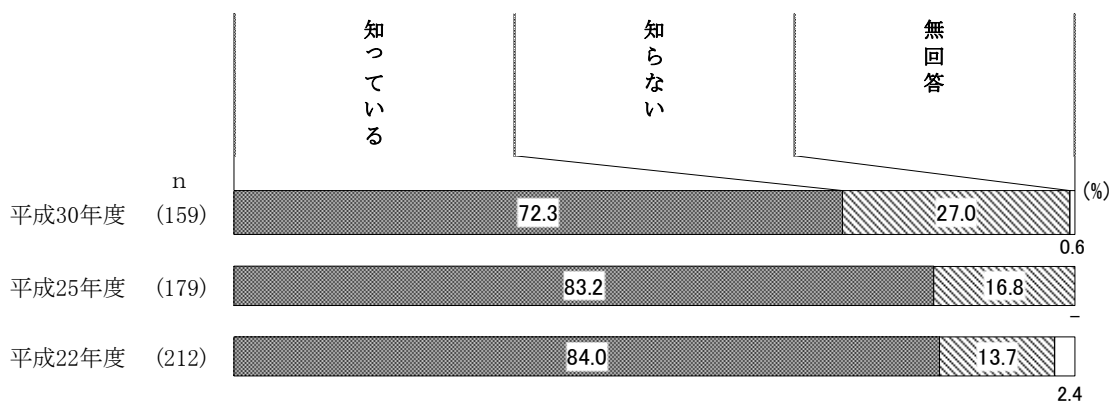
問20. 薬に関する相談ができる、かかりつけ薬局がありますか。



かかりつけ薬局の有無は、「ある」が58.5%で、「ない」(40.9%)よりも高くなっている。平成25年度と比較すると、「ある」が7.1ポイント増加し、「ない」が6.0ポイント減少している。

(3) 習志野市急病診療所の認知度

問21. 習志野市急病診療所(診療時間: 毎日20時~23時)を知っていますか。

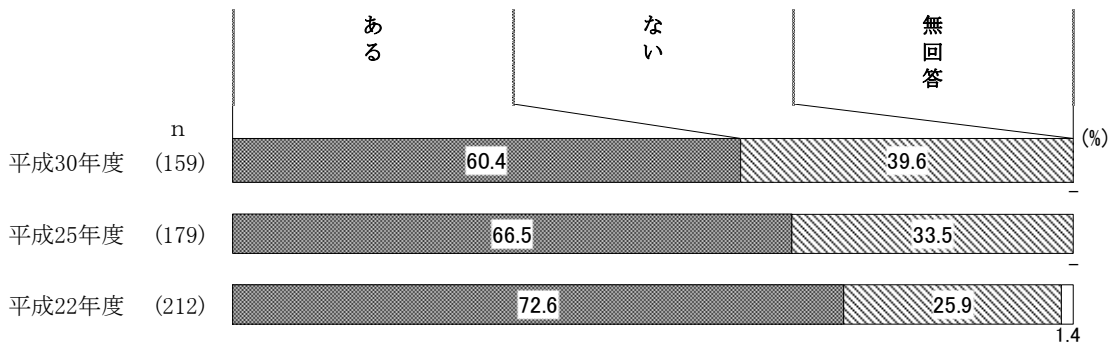


習志野市急病診療所の認知度は、「知っている」が72.3%で、「知らない」(27.0%)よりも高くなっている。

過去の調査結果と比較すると、「知っている」は減少傾向がみられ、平成25年度から10.9ポイント減少している。

(4) 休日や夜間の受診経験の有無

問22. お子さんが、休日や夜間に医療機関を受診したことがありますか。

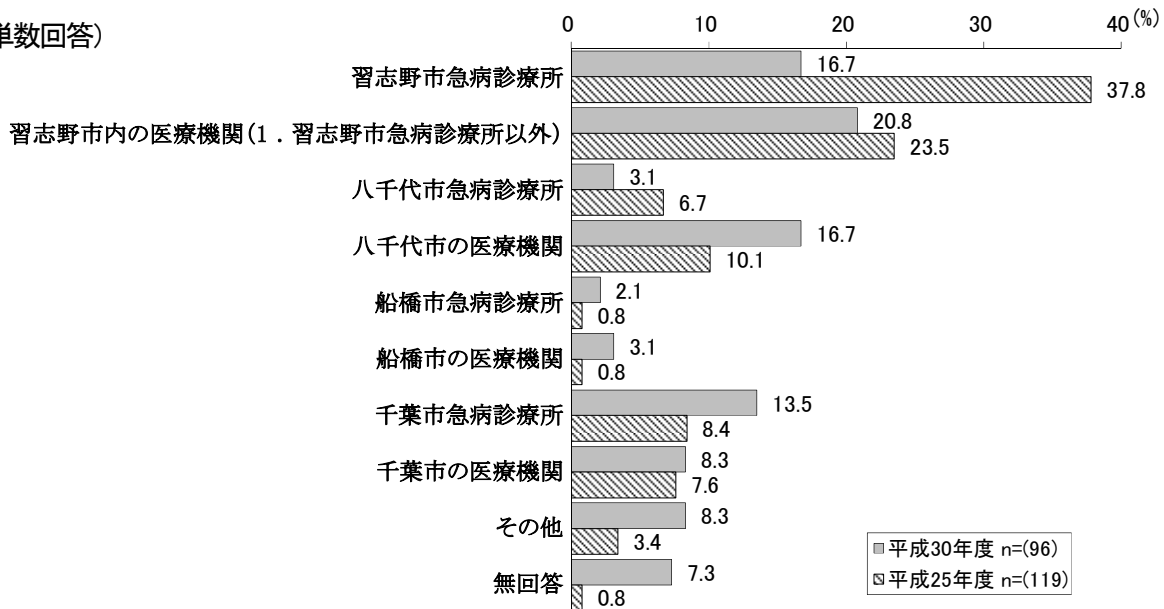


休日や夜間に医療機関を受診したことが「ある」は60.4%で、「ない」(39.6%)よりも高くなっている。過去の調査結果と比較すると、「ある」は減少傾向がみられ、平成25年度から6.1ポイント減少している。

(4-1) 休日や夜間に一番最近に受診した医療機関

問22-1. 問22で「1.」を選んだ方におききます。休日や夜間に一番最近に受診した医療機関として、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

(単数回答)



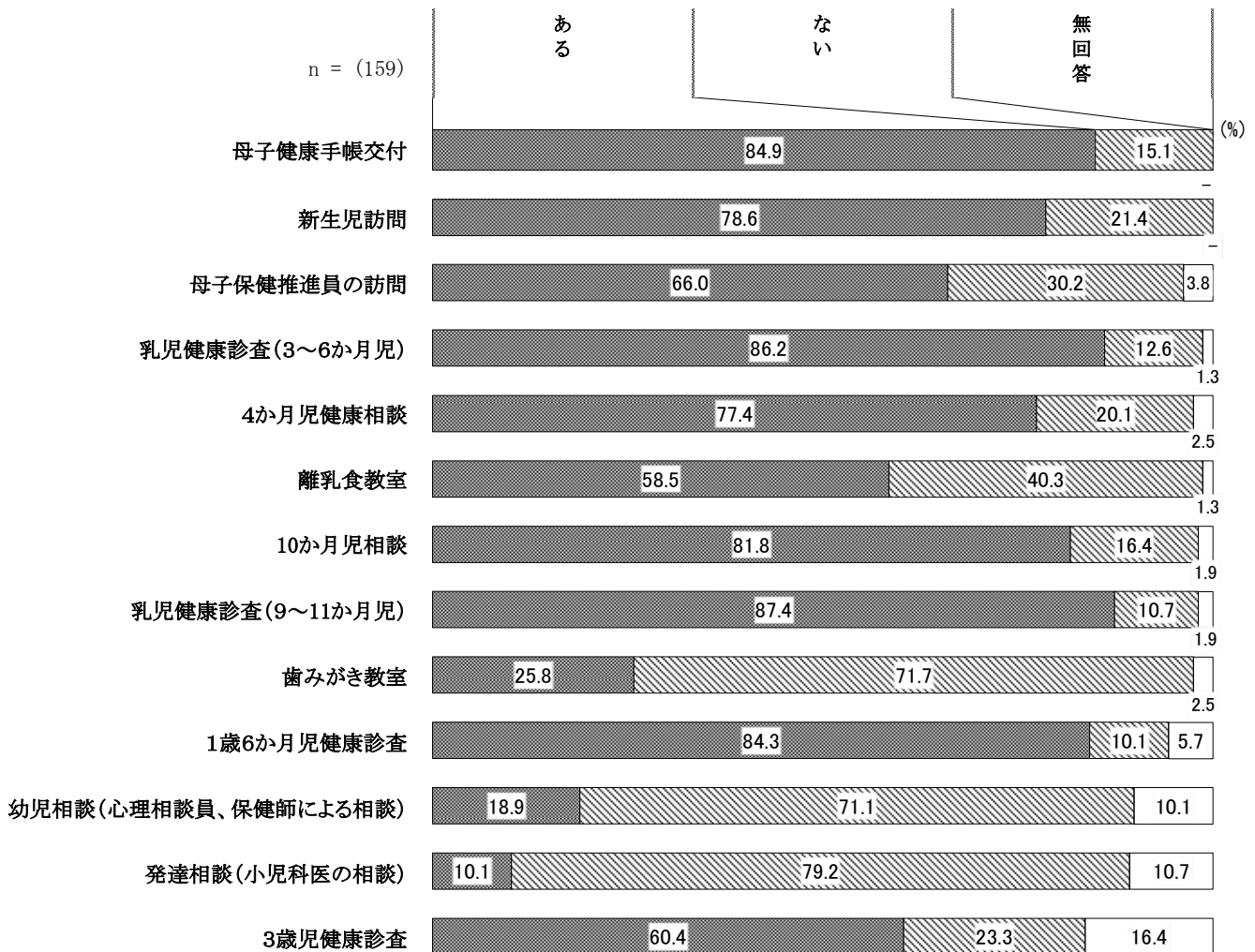
問22で休日や夜間に医療機関を受診したことが「ある」と回答した方に、一番最近に受診した医療機関をたずねたところ、「習志野市内の医療機関(1. 習志野市急病診療所以外)」が20.8%で最も高くなっている。次いで「習志野市急病診療所」と「八千代市の医療機関」が16.7%、「千葉市急病診療所」が13.5%である。

平成25年度と比較すると、「習志野市急病診療所」が21.1ポイント減少している。一方、「八千代市の医療機関」が6.6ポイント、「千葉市急病診療所」が5.1ポイント増加している。

5 市のサービスについて

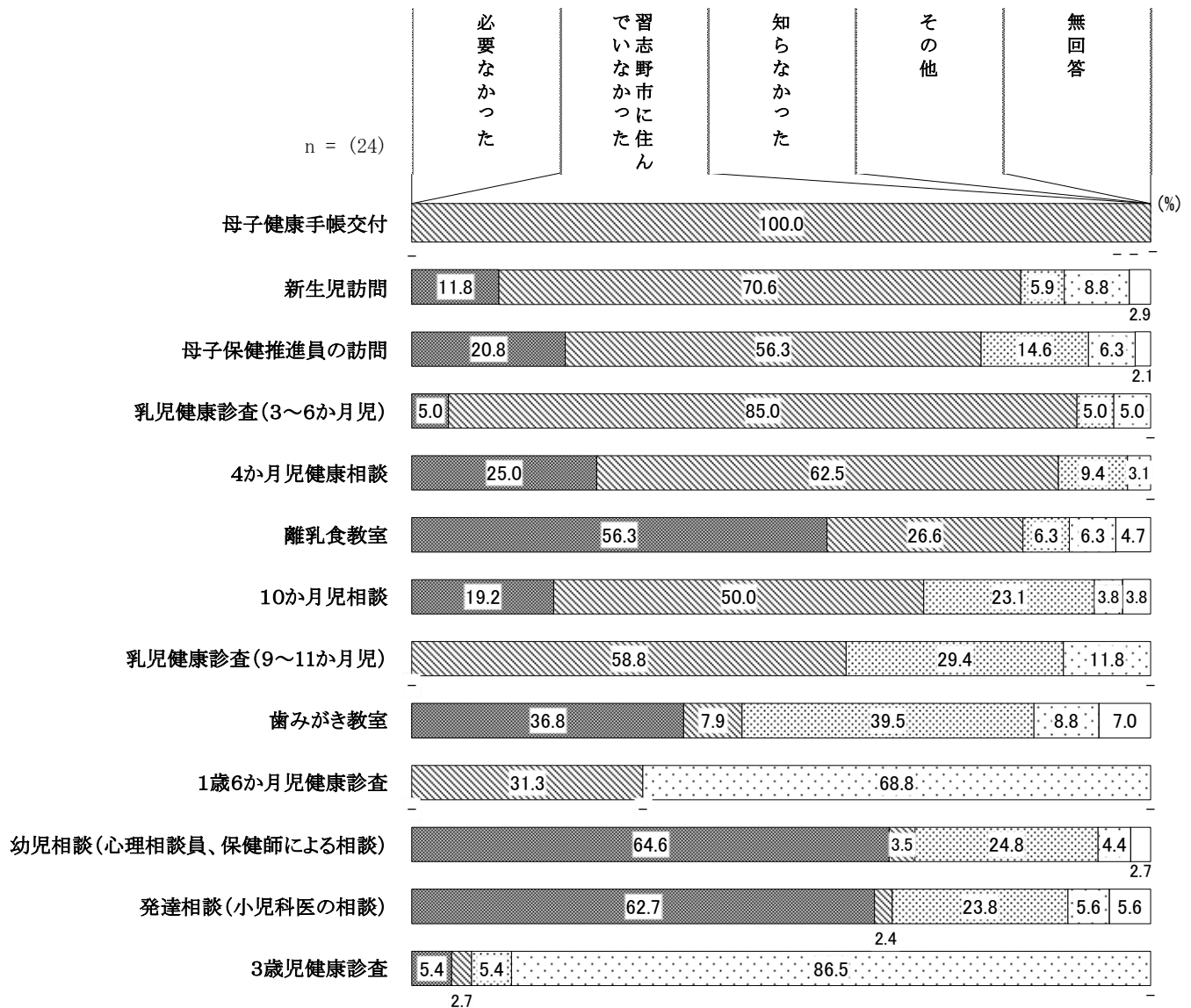
(1) 市のサービスの利用状況

問23. 次の事業を利用したことがありますか。1 または 2 に○をつけてください。「2」を選んだ方は、利用しなかった理由としてあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



市のサービスの利用状況として、「ある」は、「乳児健康診査（9～11か月児）」が87.4%で最も高く、次いで「乳児健康診査（3～6か月児）」が86.2%、「母子健康手帳交付」が84.9%、「1歳6か月児健康診査」が84.3%、「10か月児相談」が81.8%と、上位5サービスが8割以上である。

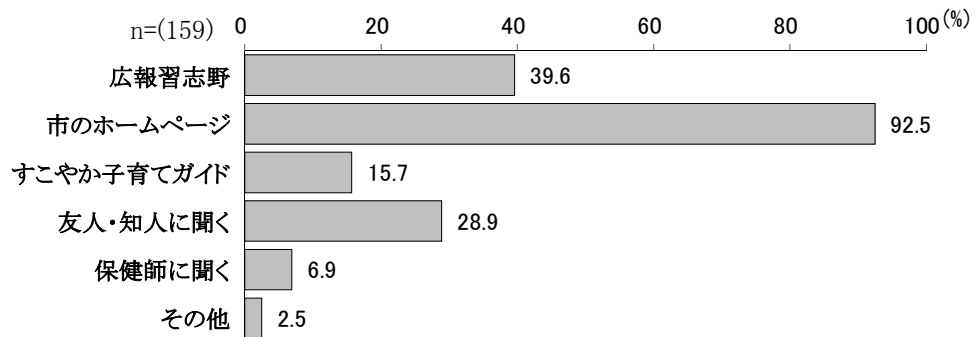
第2章 調査結果の詳細



各サービスについて、「ない」と回答した方に、その理由をたずねた。サービスによっては、回答者数(n)が少ないものもあるが、参考までに言及しておく、多くのサービスは「習志野市に住んでいなかった」に割合が集中している。このほか、「必要なかった」は、「幼児相談(心理相談員、保健師による相談)」(64.6%)、「発達相談(小児科医の相談)」(62.7%)、「離乳食教室」(56.3%)などが、「知らなかった」は「歯みがき教室」(39.5%)が他のサービスに比べて高くなっている。なお、「その他」は「1歳6か月児健康診査」(68.8%)、「3歳児健康診査」(86.5%)で高くなっているが、その内容は「まだ年齢に達していない」や「これから受ける予定」などがあげられていた。

(2) 市のサービスについての情報媒体

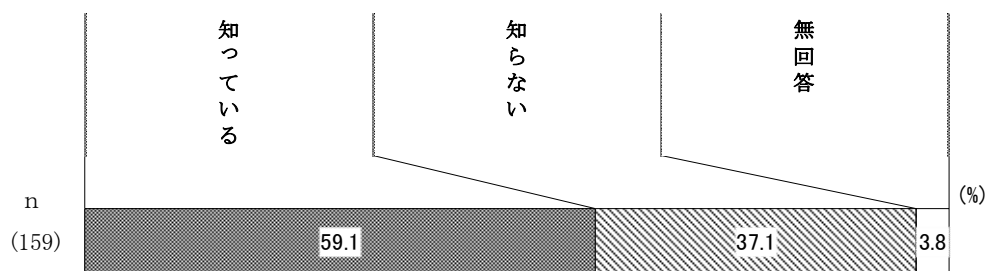
問24. 市のサービスについての情報を知りたいとき、どこで調べますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。



市のサービスについての情報媒体は、「市のホームページ」が 92.5%で最も高く、次いで「広報習志野」が 39.6%、「友人・知人に聞く」が 28.9%となっている。

(3) 市の保健師、栄養士、歯科衛生士等への個別相談ができることの認知度

問25. 市の保健師、栄養士、歯科衛生士等に、個別で健康や育児の相談ができることを知っていますか。

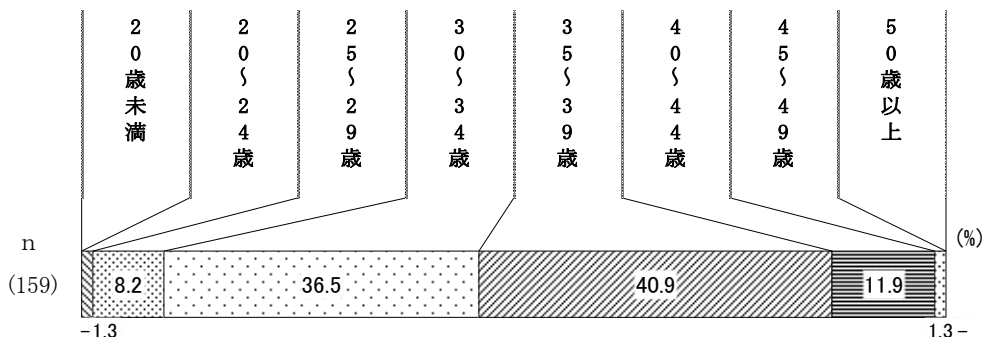


市の保健師、栄養士、歯科衛生士等への個別相談ができることを「知っている」が 59.1%で、「知らない」(37.1%) よりも高くなっている。

6 基本的属性など

(1) 年齢

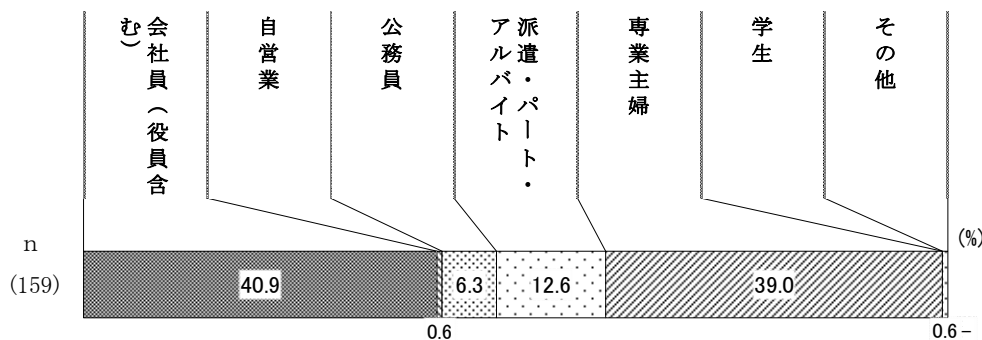
問26. あなたの年齢をおきかせください。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



年齢は、「35～39歳」が40.9%で最も高く、次いで「30～34歳」が36.5%となっている。

(2) 職業

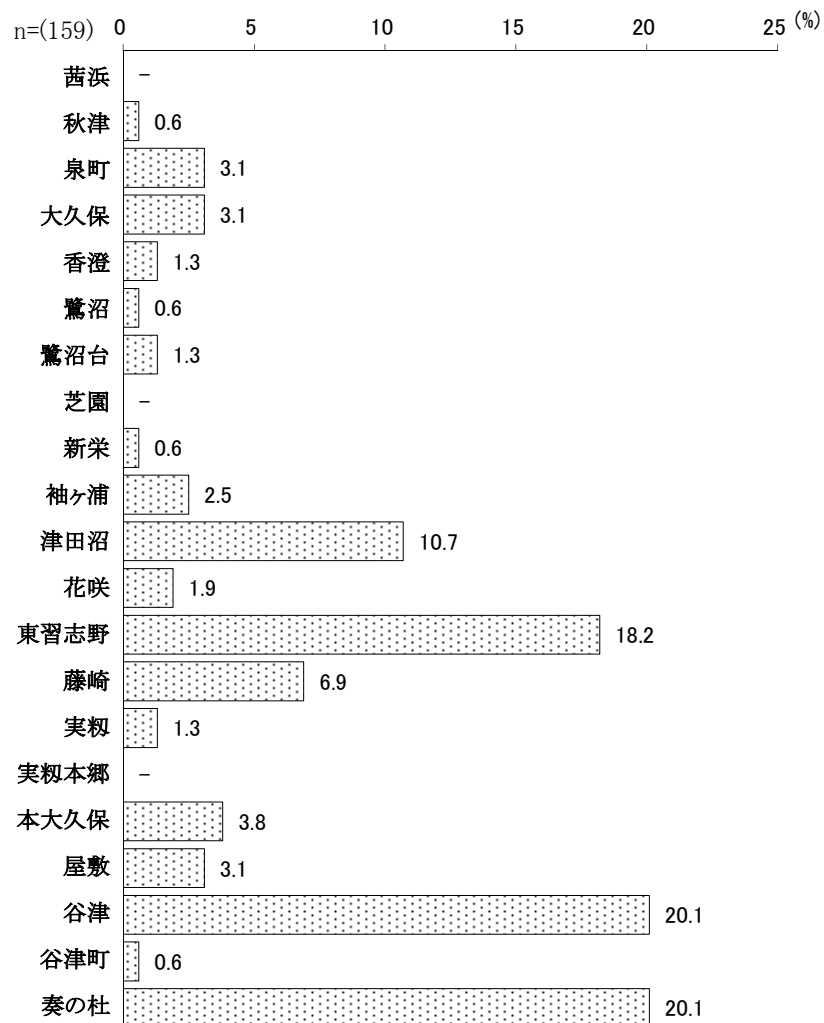
問27. あなたの職業について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



職業は、「会社員(役員含む)」が40.9%、「専業主婦」が39.0%でおおむね並んで高く、次いで「派遣・パート・アルバイト」が12.6%となっている。

(3) 居住地区

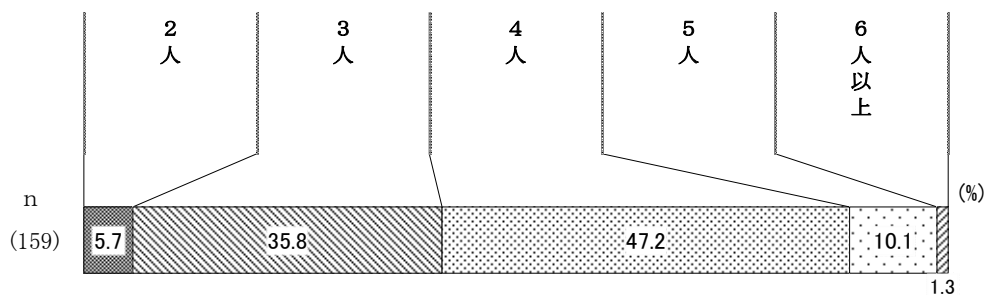
問28. 現在お住まいの地区名について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



居住地区は、「谷津」と「奏の杜」が 20.1%で並んで高く、次いで「東習志野」が 18.2%、「津田沼」が 10.7%となっている。

(4) 世帯人数

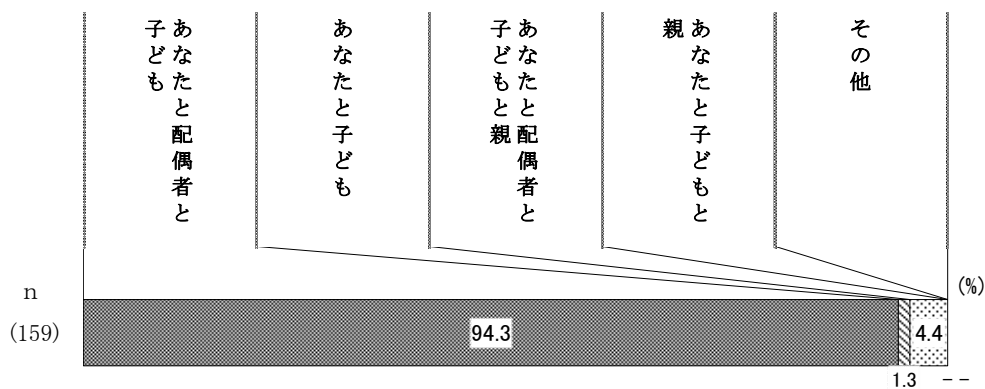
問29. あなたと生計を共にしている世帯の人数は、何人ですか。



世帯人数は、「4人」が47.2%で最も高く、次いで「3人」が35.8%、「5人」が10.1%となっている。

(5) 家族構成

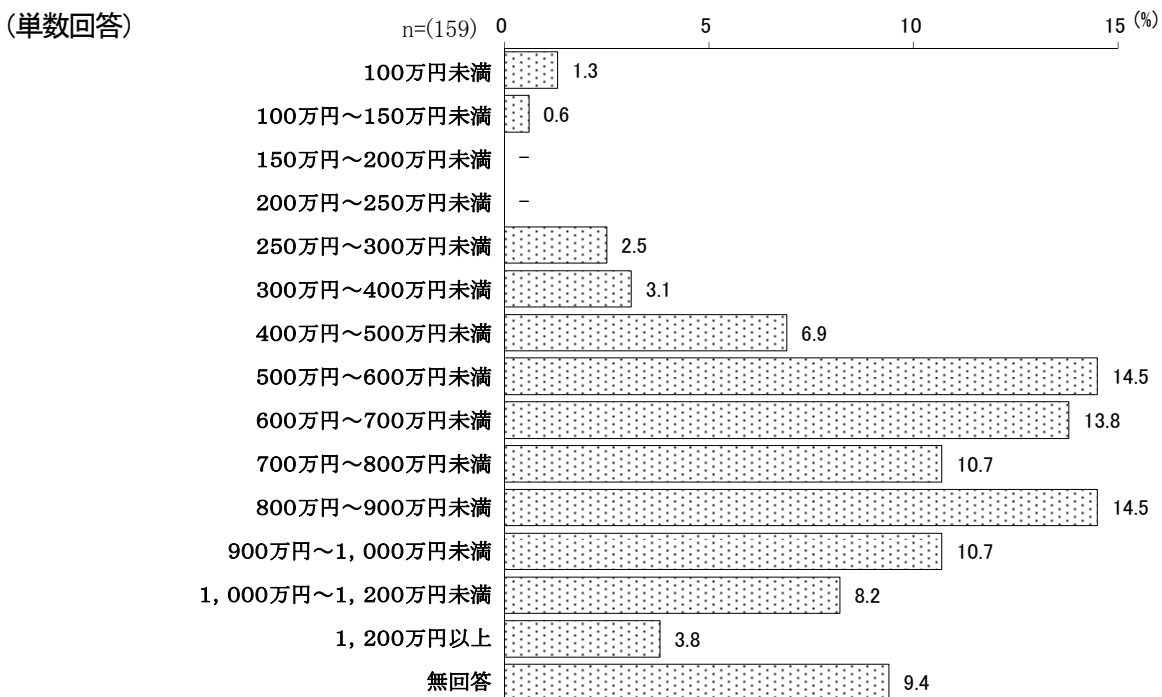
問30. あなたを中心として見た時、現在一緒に住んでいる(生活している)家族構成は、どのようになっていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



家族構成は、「あなたと配偶者と子ども」が94.3%となっている。

(6) 世帯年収

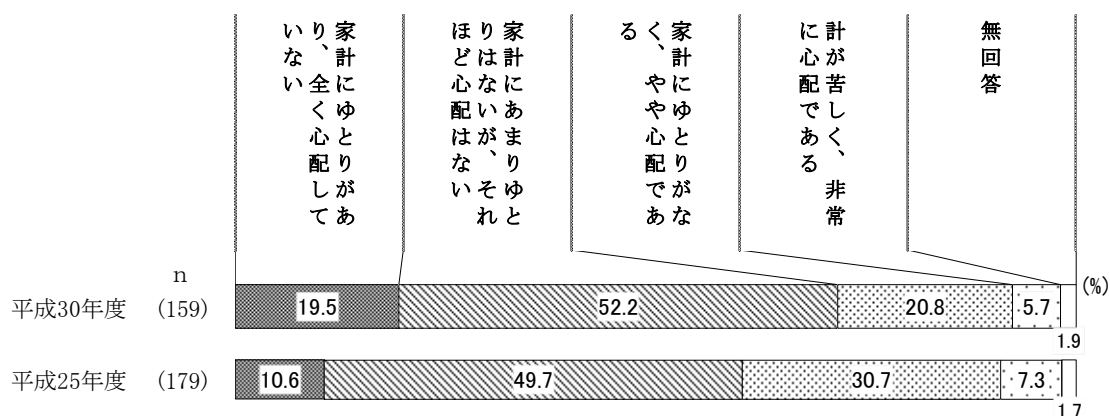
問31. 問29の世帯全体の昨年1年間の税引前の合計収入額(年金・手当等を含みます)について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



世帯年収は、「500万円～600万円未満」と「800万円～900万円未満」が14.5%で高く、次いで「600万円～700万円未満」が13.8%、「700万円～800万円未満」と「900万円～1,000万円未満」が10.7%となっている。

(7) 現在の暮らし向き

問32. 現在の暮らし向きについて、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

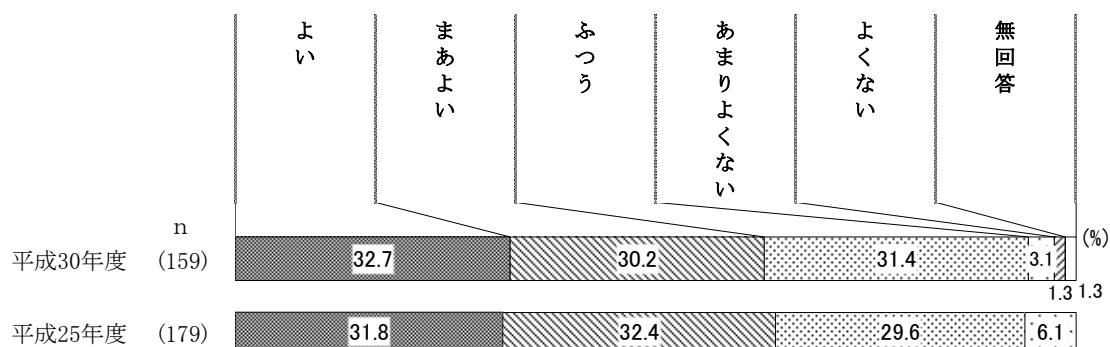


現在の暮らし向きは、「家計にあまりゆとりはないが、それほど心配はない」が52.2%で最も高く、次いで「家計にゆとりがなく、やや心配である」が20.8%、「家計にゆとりがあり、全く心配していない」が19.5%とおおむね並んでいる。

平成25年度と比較すると、「家計にゆとりがあり、全く心配していない」が8.9ポイント増加し、「家計にゆとりがなく、やや心配である」が9.9ポイント減少している。

(8) 現在の健康状態

問33. あなたの現在の健康状態はいかがですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



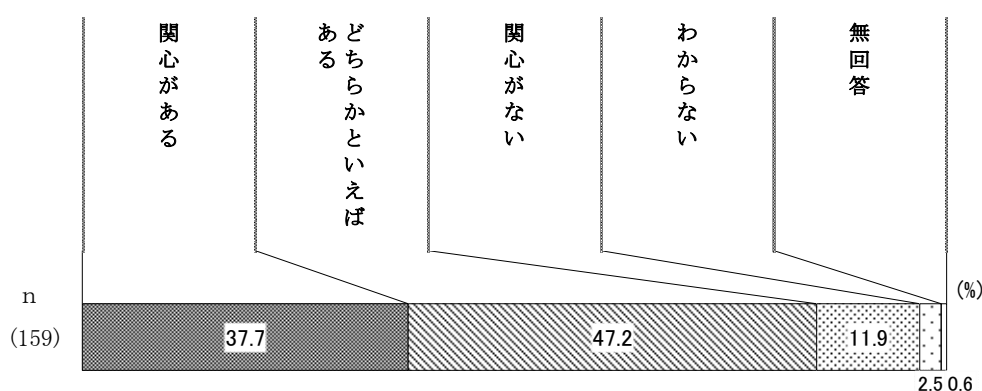
現在の健康状態は、「よい」(32.7%)と「まあよい」(30.2%)を合わせて、《よい》が62.9%となっている。「ふつう」は31.4%で、「あまりよくない」(3.1%)と「よくない」(1.3%)を合わせた《よくない》は4.4%である。

平成25年度と比較すると、「あまりよくない」が3.0ポイント減少している。

(9) 食育の関心度

問34. あなたは食育に関心がありますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

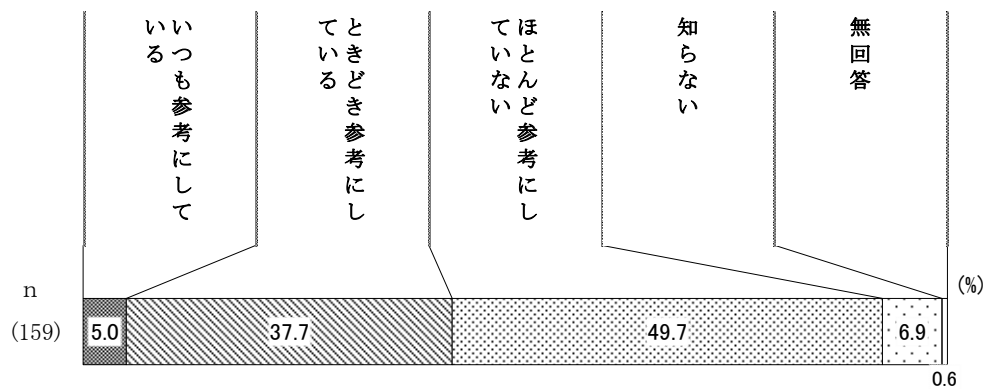
食育とは、心身の健康と豊かな人間形成のために食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。



食育の関心度は、「関心がある」(37.7%)と「どちらかといえばある」(47.2%)を合わせて、《ある》が84.9%となっている。一方、「関心がない」は11.9%である。

(10) 「食事バランスガイド」「三食食品群」等の参考程度

問35. 「食事バランスガイド」「三食食品群」等何かを参考にして食生活を送っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

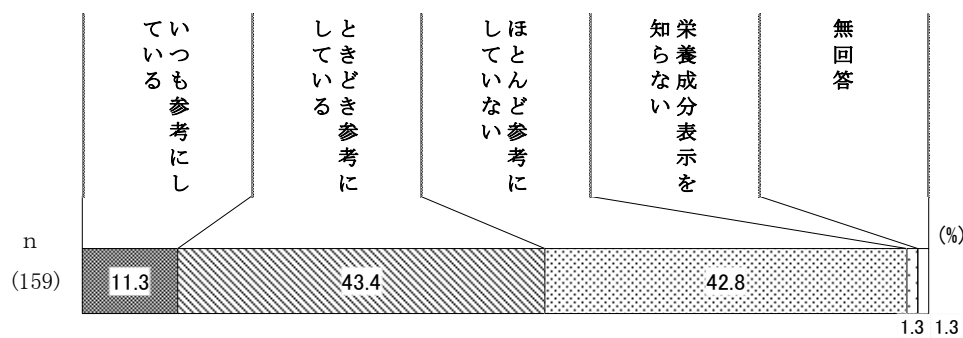


「食事バランスガイド」「三食食品群」等の参考程度は、「いつも参考にしている」(5.0%)と「ときどき参考にしている」(37.7%)を合わせて、《参考にしている》が42.7%となっている。一方、「ほとんど参考にしていない」は49.7%である。

(11) 外食や食品を購入する際の栄養成分表示参考程度

問36. 外食や食品を購入する時に栄養成分表示を参考にしていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

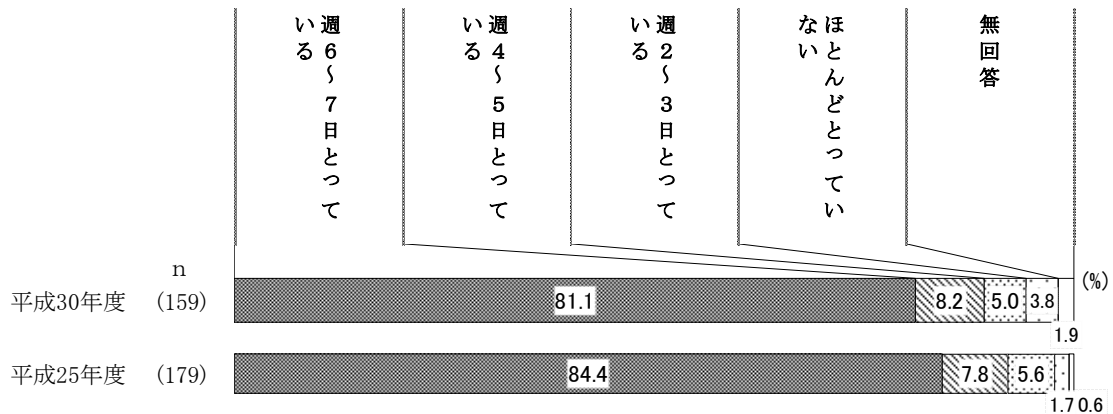
栄養成分表示とは、エネルギー、たんぱく質、脂質、炭水化物、塩分などの表示です。



「栄養成分表示」の参考程度は、「いつも参考にしている」(11.3%)と「ときどき参考にしている」(43.4%)を合わせて、《参考にしている》が54.7%となっている。一方、「ほとんど参考にしていない」が42.8%である。

(12) 朝食の摂取状況

問37. 普段、朝食をとっていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



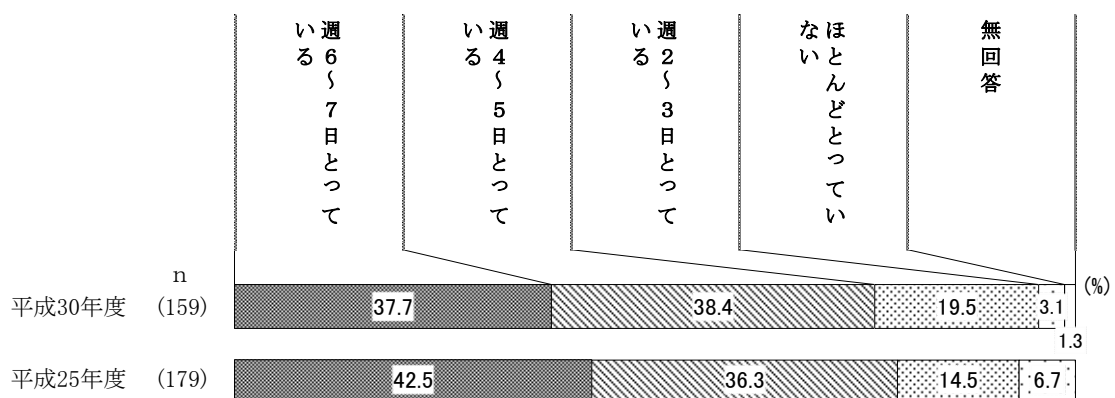
朝食の摂取状況は、「週6~7日とっている」が81.1%で最も高くなっている。一方、「ほとんどとっていない」が3.8%みられる。

平成25年度と比較すると「週6~7日とっている」が3.3ポイント減少している。

(13) バランスのとれた食事の1日2回以上の摂取状況

問38. バランスのとれた食事(主食・主菜・副菜を組み合わせた食事)を、1日2回以上とっていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 主食: 米、パン、めん類などの穀類
- 副菜: 野菜、きのこ、いも、海藻料理など
- 主菜: 魚、肉、卵、大豆料理など

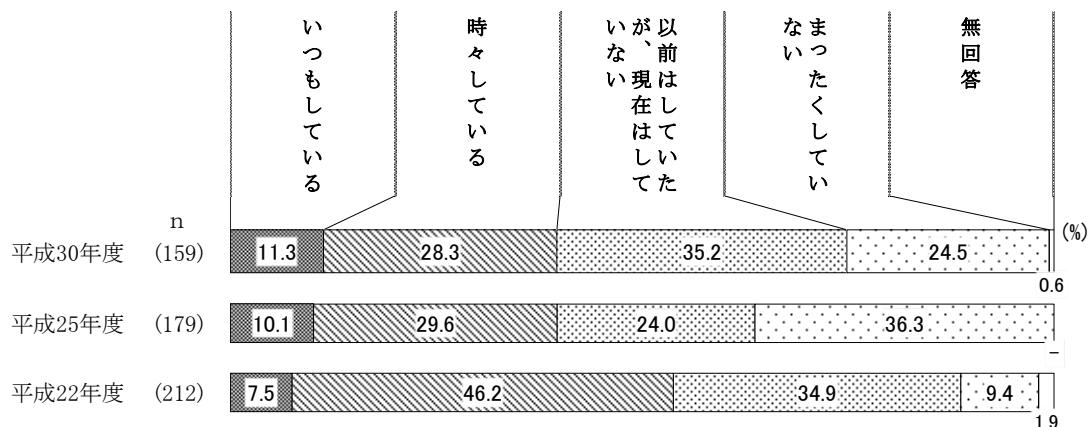


バランスのとれた食事の1日2回以上の摂取状況は、「週4~5日とっている」が38.4%で最も高く、次いで「週6~7日とっている」が37.7%と僅差で続く。

平成25年度と比較すると、「週6~7日とっている」が4.8ポイント、「ほとんどとっていない」が3.6ポイント減少し、「週2~3日とっている」が5.0ポイント増加している。

(14) 日頃の身体活動

問39. 日頃から日常生活の中で、健康の維持・増進のために、意識的に身体を動かしていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



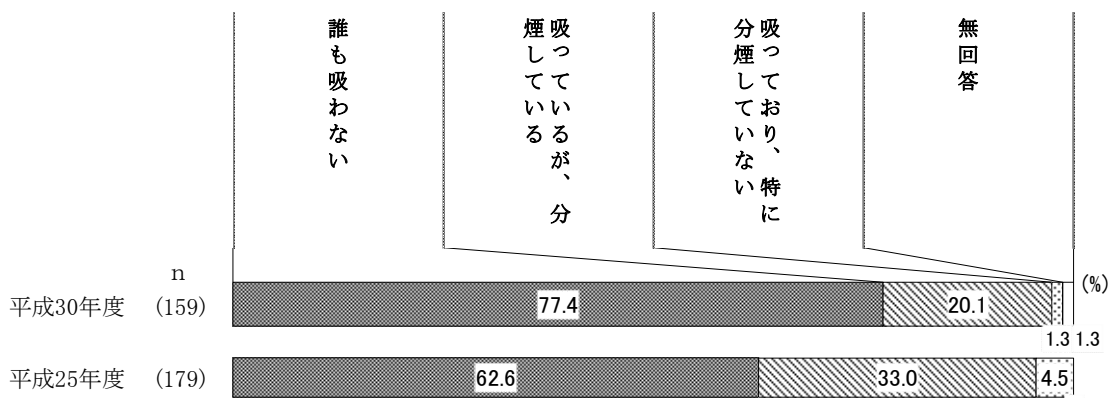
日頃の身体活動は、「いつもしている」(11.3%)と「時々している」(28.3%)を合わせて、《している》が39.6%となっている。一方、「以前はしていたが現在はしていない」が35.2%で最も高く、「まったくしていない」(24.5%)を合わせた《していない》は59.7%である。

過去の調査結果と比較すると、「いつもしている」は増加傾向がみられるものの、「時々している」は減少傾向にあり、総じて《している》としてみると減少傾向にある。また、平成25年度から「以前はしていたが現在はしていない」が11.2ポイント増加し、「まったくしていない」が11.8ポイント減少している。

(15) 家庭内の喫煙状況

問40. あなたのご家庭の喫煙の状況は、次のうちどれですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

分煙とは、たばこを吸う場所をしっかりと分け、たばこを吸わない人が煙を吸い込むことがないようにすることです。

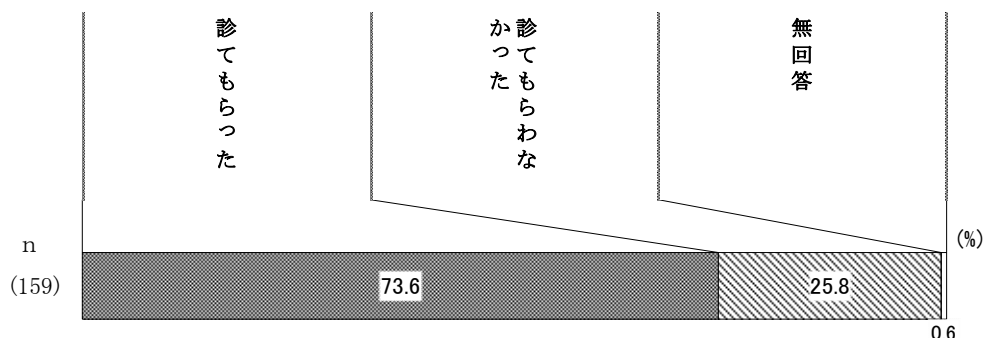


家庭内の喫煙状況は、「誰も吸わない」が77.4%で最も高く、次いで「吸っているが、分煙している」が20.1%となっている。

平成25年度と比較すると、「誰も吸わない」が14.8ポイント増加している。一方、「吸っているが、分煙している」が12.9ポイント、「吸っており、特に分煙していない」が3.2ポイント減少している。

(16) 1年間の歯科医院での受診状況

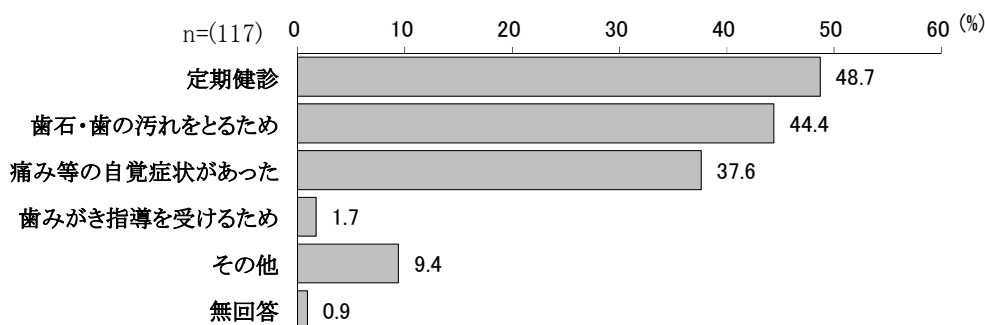
問41. この1年間に歯科医院等で、歯科医に診てもらったことはありますか。



歯科医院受診の有無は、「診てもらった」が73.6%で、「診てもらわなかった」(25.8%)よりも高くなっている。

(16-1) 受診した目的

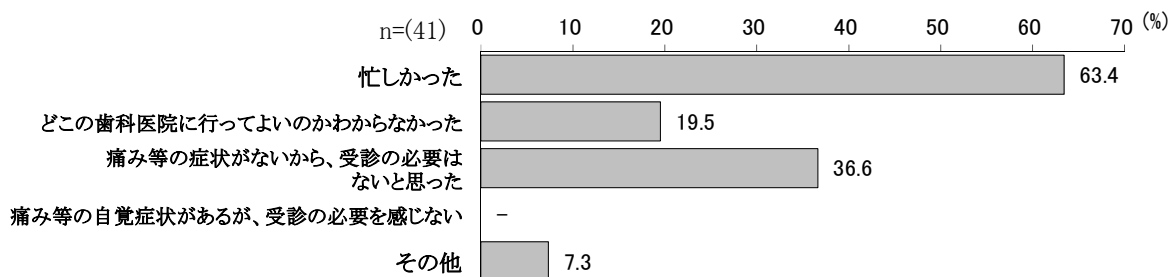
問41-1. 問41で「1.」を選んだ方におききます。診てもらった目的は何ですか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。



問41で歯科医に「診てもらった」と回答した方に、その目的をたずねたところ、「定期健診」が48.7%で最も高く、次いで「歯石・歯の汚れをとるため」が44.4%、「痛み等の自覚症状があった」が37.6%となっている。

(16-2) 受診しなかった理由

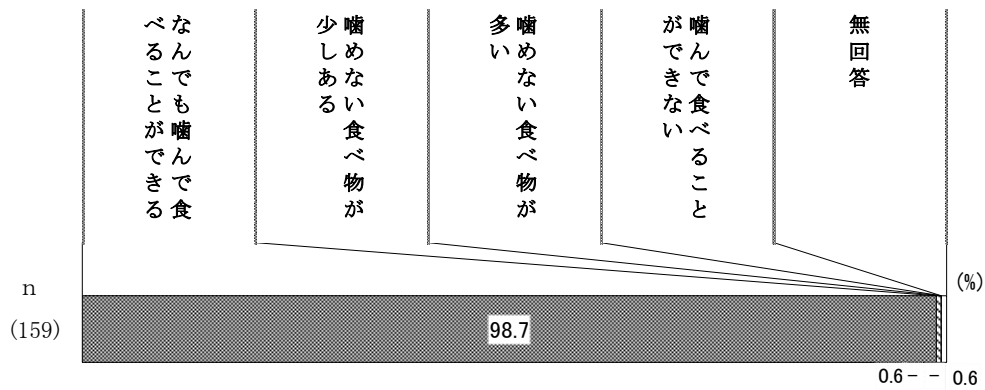
問41-2. 問41で「2.」を選んだ方におききます。診てもらわなかった理由は何ですか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。



問41で「診てもらわなかった」と回答した方に、その理由をたずねたところ、「忙しかった」が63.4%で最も高く、次いで「痛み等の症状がないから、受診の必要はないと思った」が36.6%、「どこの歯科医院に行ってもよいかわからなかった」が19.5%となっている。

(17) 咀嚼機能

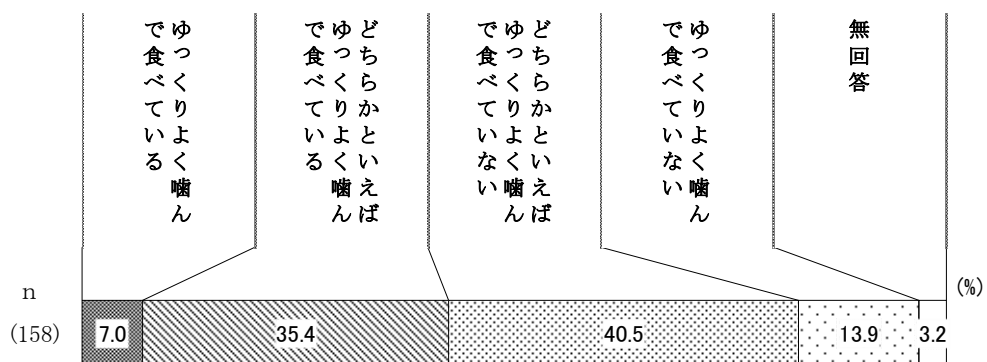
問42. あなたは、ものを噛んで食べる時、どのような状態ですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



咀嚼機能は、「なんでも噛んで食べることができる」が98.7%で最も高くなっている。

(17-1) 噛んで食べる早さ

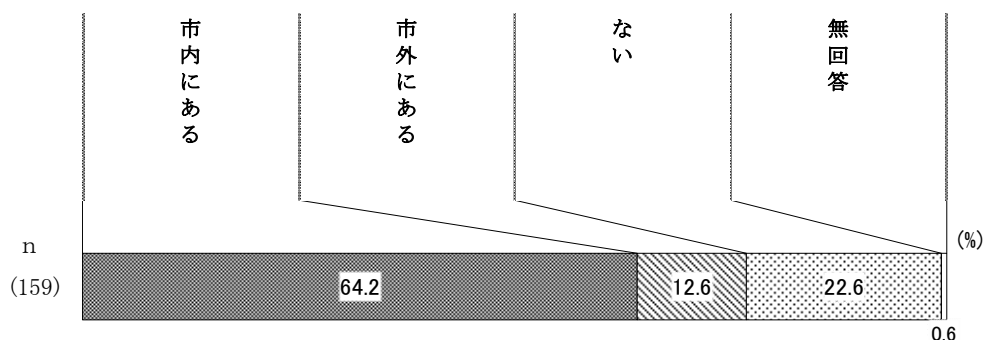
問42—1. 問42で「1. から3. 」を選んだ方におききます。あなたは、ふだんゆっくりよく噛んで食べていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



問42で「なんでも噛んで食べることができる」、「噛めない食べ物がある」、「噛めない食べ物が多い」のいずれかを回答した方に、噛んで食べる早さをたずねたところ、「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べていない」が40.5%で最も高く、次いで「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている」が35.4%となっている。

(18) かかりつけ歯科医院の有無

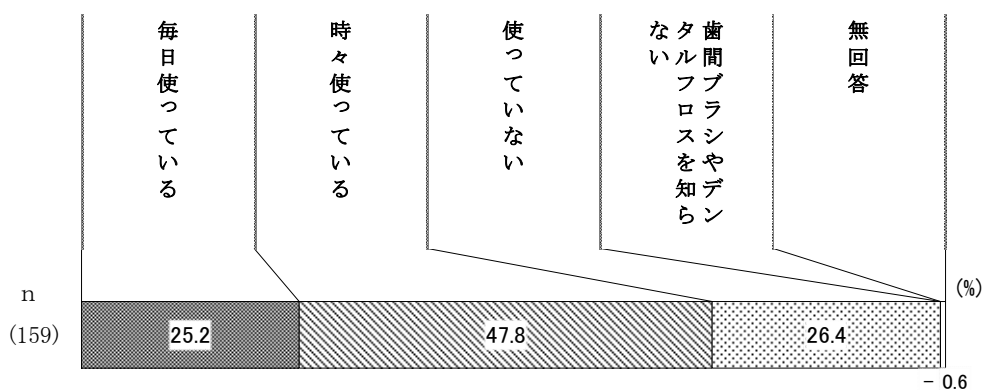
問43. かかりつけの歯科医院がありますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



かかりつけ歯科医院の有無は、「市内にある」が64.2%で最も高く、「市外にある」が12.6%で、これらを合わせると《ある》は76.8%となっている。一方、「ない」が22.6%である。

(19) 歯間ブラシやデンタルフロスの使用頻度

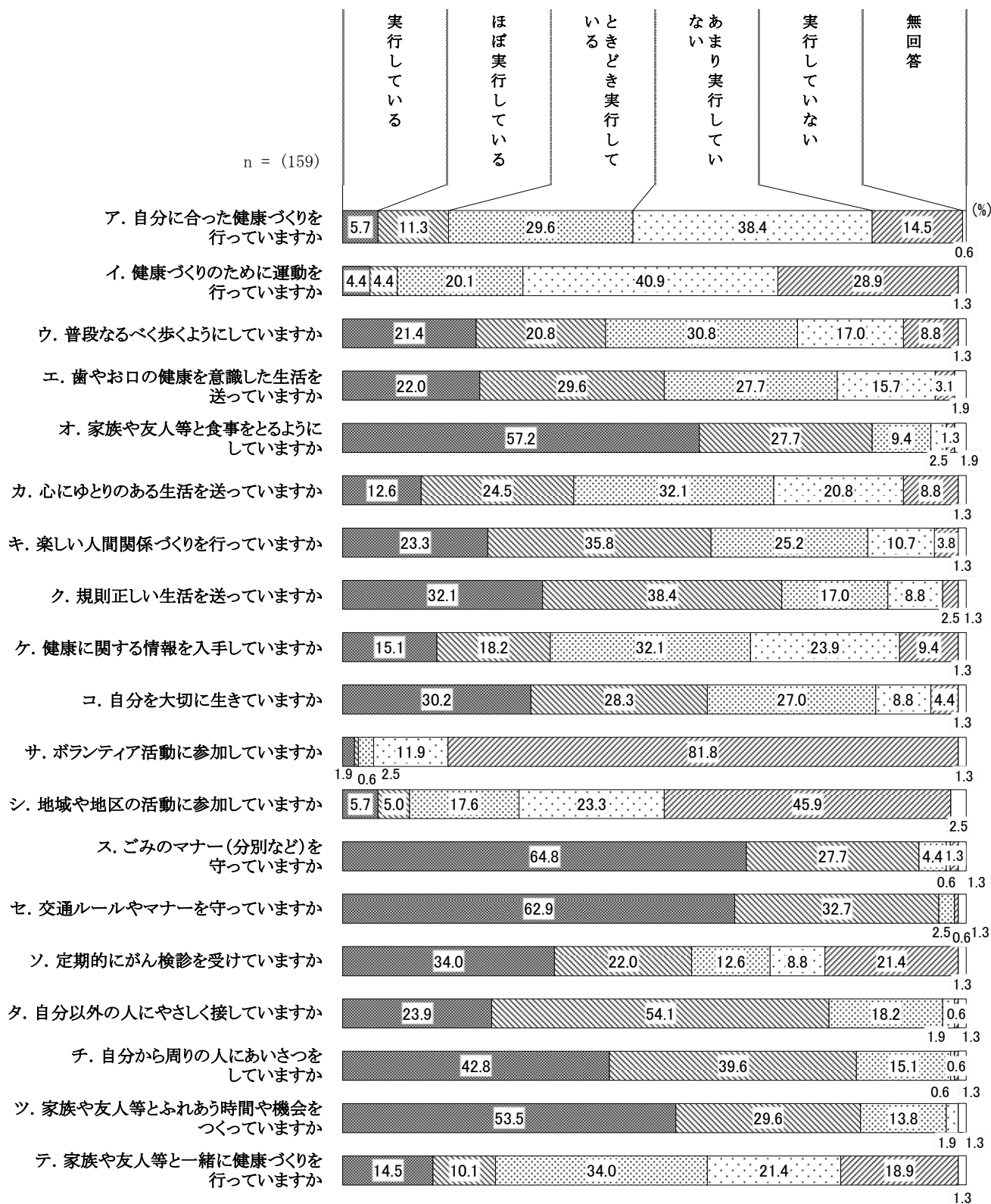
問44. 歯ブラシ以外に、歯間ブラシやデンタルフロス(糸ようじ)を使っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



歯間ブラシやデンタルフロスの使用頻度は、「毎日使っている」が25.2%、「時々使っている」が47.8%で最も高く、これらを合わせると、《使っている》は73.0%となっている。一方、「使っていない」が26.4%である。

(20) 健康に関する行動

問45. 普段のあなたの健康に関する行動について、次のア～への項目であてはまるものを、それぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。



第2章 調査結果の詳細

健康に関する行動について、「実行している」、「ほぼ実行している」、「ときどき実行している」を合わせて、「実行している」、「あまり実行していない」と「実行していない」を合わせて《実行していない》とし、それぞれ上位5項目を整理すると、次のようになっている。

《実行している》

- | | |
|--------------------------------|-------|
| ① セ. 交通ルールやマナーを守っていますか | 98.1% |
| ② チ. 自分から周りの人にあいさつをしていますか | 97.5% |
| ③ ス. ごみのマナー（分別など）を守っていますか | 96.9% |
| ④ ツ. 家族や友人等とふれあう時間や機会をつくっていますか | 96.9% |
| ⑤ タ. 自分以外の人にやさしく接していますか | 96.2% |

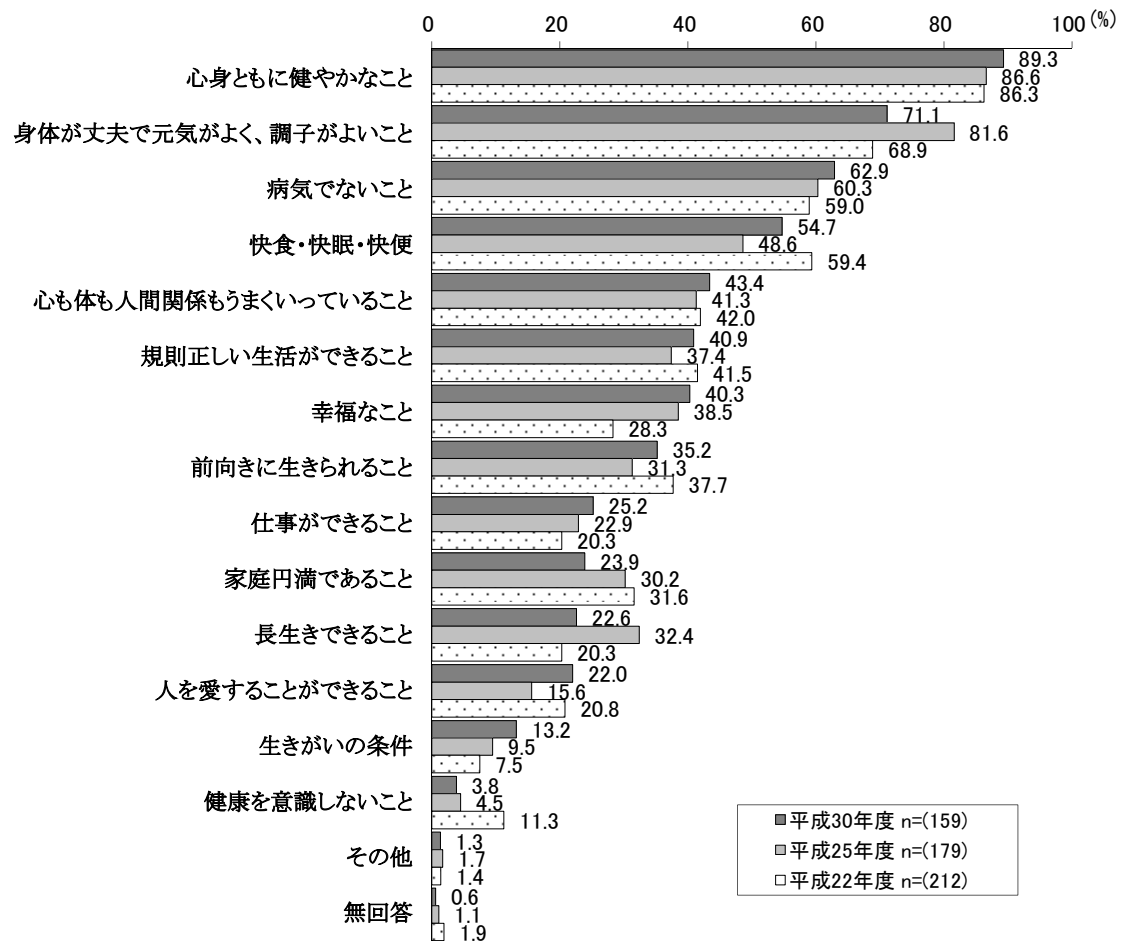
《実行していない》

- | | |
|------------------------------|-------|
| ① サ. ボランティア活動に参加していますか | 93.7% |
| ② イ. 健康づくりのために運動を行っていますか | 69.8% |
| ③ シ. 地域や地区の活動に参加していますか | 69.2% |
| ④ ア. 自分に合った健康づくりを行っていますか | 52.9% |
| ⑤ テ. 家族や友人等と一緒に健康づくりを行っていますか | 40.3% |

7 健康なまちづくりにつながる社会環境の整備について

(1) 「健康」についての考え方

問46. あなたは「健康とは何か」と聞かれたら、どのように答えますか。あなたの考えにあうものを、全て選んで番号に○をつけてください。



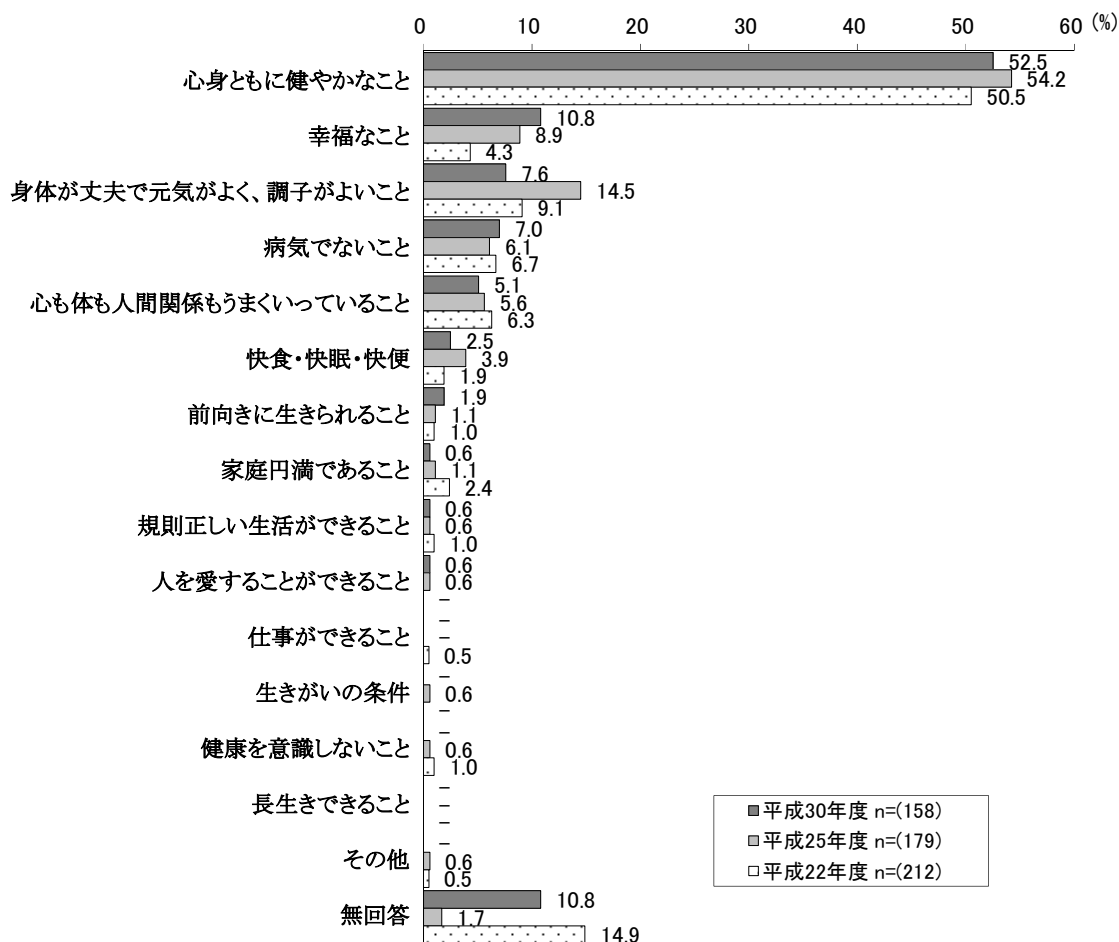
「健康」についての考え方は、「心身ともに健やかなこと」が 89.3%で最も高く、次いで「身体が丈夫で元気がよく、調子が良いこと」が 71.1%、「病気でないこと」が 62.9%、「快食・快眠・快便」が 54.7%となっている。

過去の調査結果と比較すると、「心身ともに健やかなこと」は常に第1位となっており、増加傾向がみられる。このほか、「病気でないこと」、「幸福なこと」、「仕事ができること」、「生きがいの条件」も増加傾向にある。平成25年度からは多くの項目が増加しているが、その一方で、今回の調査で第2位の「身体が上部で元気がよく、調子が良いこと」は平成25年度から10.5ポイント、「長生きできること」は9.8ポイント、「家庭円満であること」が6.3ポイント減少している。

(1-1) 「健康」について最も近い考え方

問46-1. 問46で番号を複数選んだ方におききます。その中で、あなたの考えに最も近い番号を1つ選んで記入してください。

(単数回答)

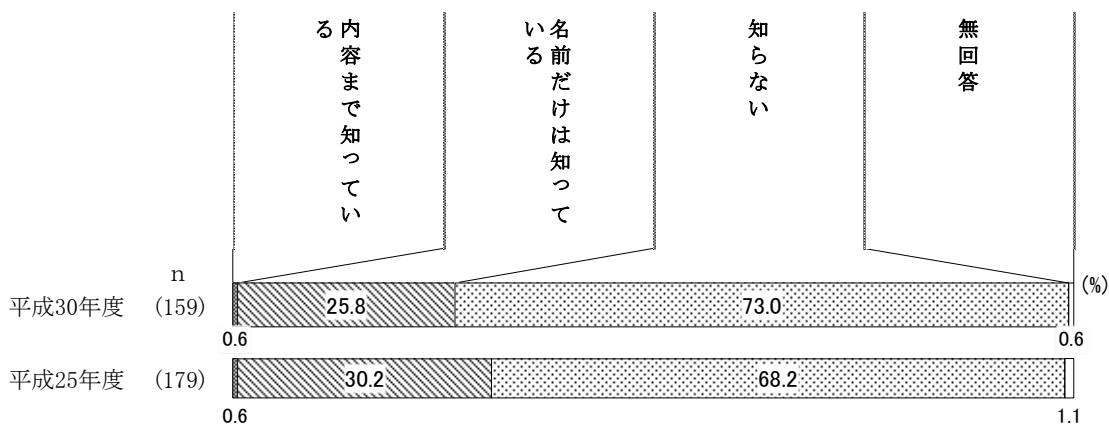


問46で「健康」についての考え方を複数選んだ方に、考えに最も近いものを1つ選んでもらったところ、「心身ともに健やかなこと」が52.5%で最も高くなっている。

過去の調査結果と比較すると、「幸福なこと」と「前向きに生きられること」は増加傾向がみられ、「心も体も人間関係もうまくいっていること」と「家庭円満であること」は減少傾向がみられる。平成25年度からの変化で最も大きいのは、「身体が丈夫で元気がよく、調子がよいこと」で6.9ポイント減少している。

(2) 「健康なまち習志野」の認知度

問47. 健康づくりの総合計画「健康なまち習志野」をご存じでしたか。あてはまるものを 1 つ選んで番号に○をつけてください。

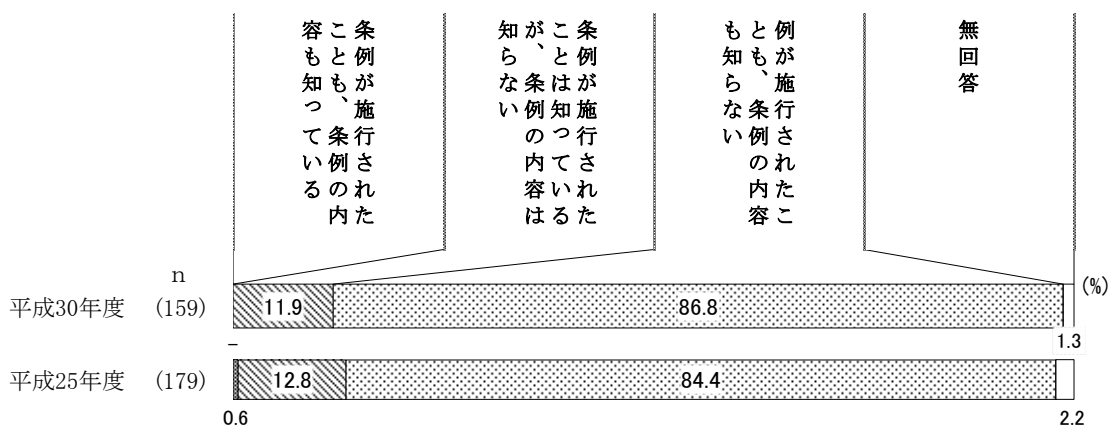


「健康なまち習志野」の認知度は、「内容まで知っている」が0.6%、「名前だけは知っている」が25.8%で、「知らない」が73.0%と高くなっている。

平成25年度と比較すると、「名前だけは知っている」が4.4ポイント減少し、「知らない」が4.8ポイント増加している。

(3) (通称)健康なまちづくり条例の認知度

問48. 市では、平成25年4月1日から(通称)健康なまちづくり条例を施行しましたが、ご存知でしたか。あてはまるものを 1 つ選んで番号に○をつけてください。



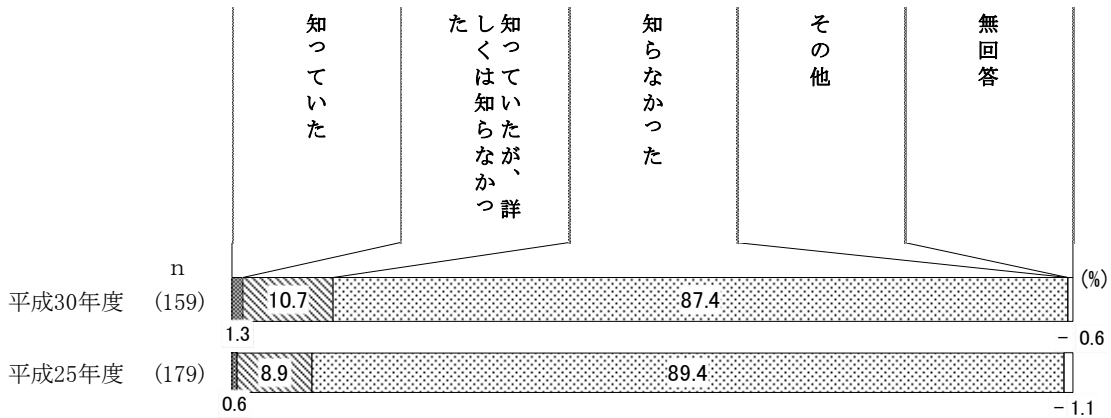
(通称)健康なまちづくり条例の認知度は、「条例が施行されたことも、条例の内容も知っている」は皆無で、「条例が施行されたことは知っているが、条例の内容は知らない」が11.9%となっている。一方、「条例が施行されたことも、条例の内容も知らない」が86.8%と高くなっている。

平成25年度と比較すると、特に大きな違いはみられない。

(4) 様々な分野の施策が健康なまちづくりにも影響していることの認知度

問49. これからの健康なまちづくりには、保健や福祉など健康に直接関係する分野の他にも、様々な分野の施策が健康なまちづくりにも影響しているという視点が重要であるとされています。あなたは、このような考え方をご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

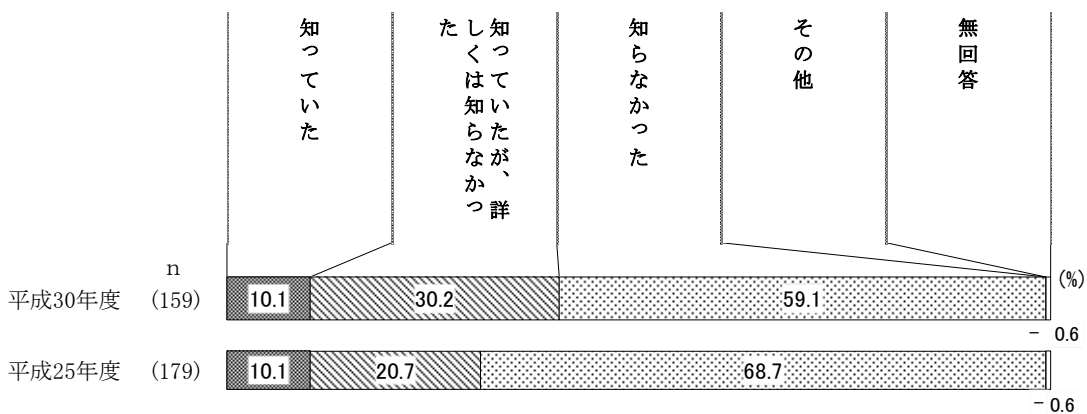
例えば、都市整備分野が歩きやすい道路の整備をすることで、市民の外出する機会が増加し、適度な運動につながることや、雇用が安定することで、精神・身体的健康が高まることなど。



様々な分野の施策が健康なまちづくりにも影響していることの認知度は、「知っていた」が1.3%、「知っていたが、詳しくは知らなかった」が10.7%、「知らなかった」が87.4%と高くなっている。平成25年度と比較すると、特に大きな違いはみられない。

(5) 「健康格差」の認知度

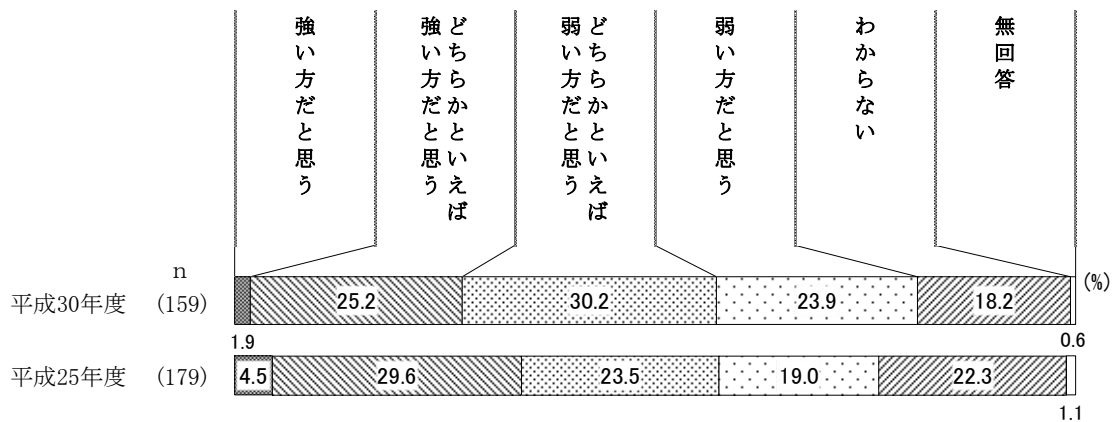
問50. 所得や雇用形態、居住形態などを原因として、個人の健康状態に差が生じること、いわゆる「健康格差」という言葉をご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



「健康格差」の認知度は、「知っていた」が10.1%、「知っていたが、詳しくは知らなかった」が30.2%、「知らなかった」が59.1%と高くなっている。平成25年度と比較すると、「知っていたが、詳しくは知らなかった」が9.5ポイント増加し、「知らなかった」が9.6ポイント減少している。

(6) 周辺地域の人たちとのつながり

問51. あなたとあなたが住まいの地域の人たちとのつながりは、強い方だと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

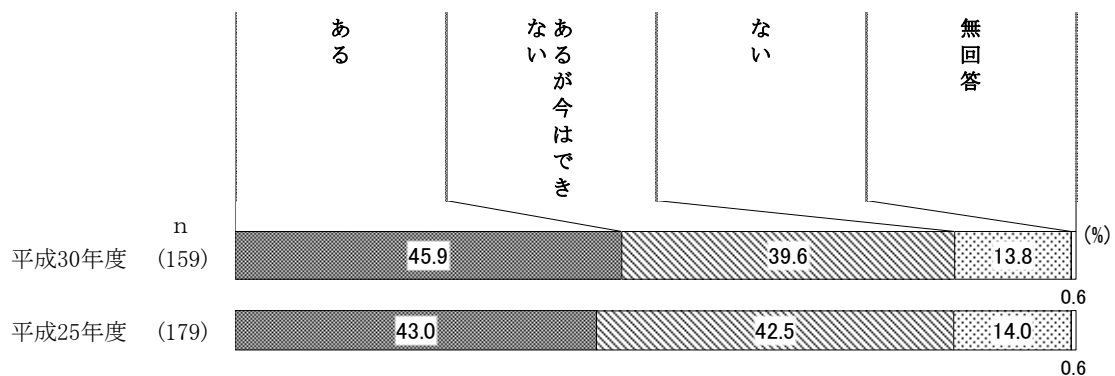


周辺地域の人たちとのつながりは、「強い方だと思う」が 1.9%、「どちらかといえば強い方だと思う」が 25.2%で、これらを合わせると、《強い方だと思う》は 27.1%となっている。一方、「どちらかといえば弱い方だと思う」が 30.2%で最も高く、「弱い方だと思う」(23.9%) を合わせて《弱い方だと思う》は 54.1%となる。また、「わからない」が 18.2%みられる。

平成25年度と比較すると、《強い方だと思う》が 7.0ポイント減少し、《弱い方だと思う》が 11.6ポイント増加している。

(7) 趣味や楽しみにしていることの有無

問52. 趣味や楽しみにしていることがありますか。該当するものを1つ選んで番号に○をつけてください。

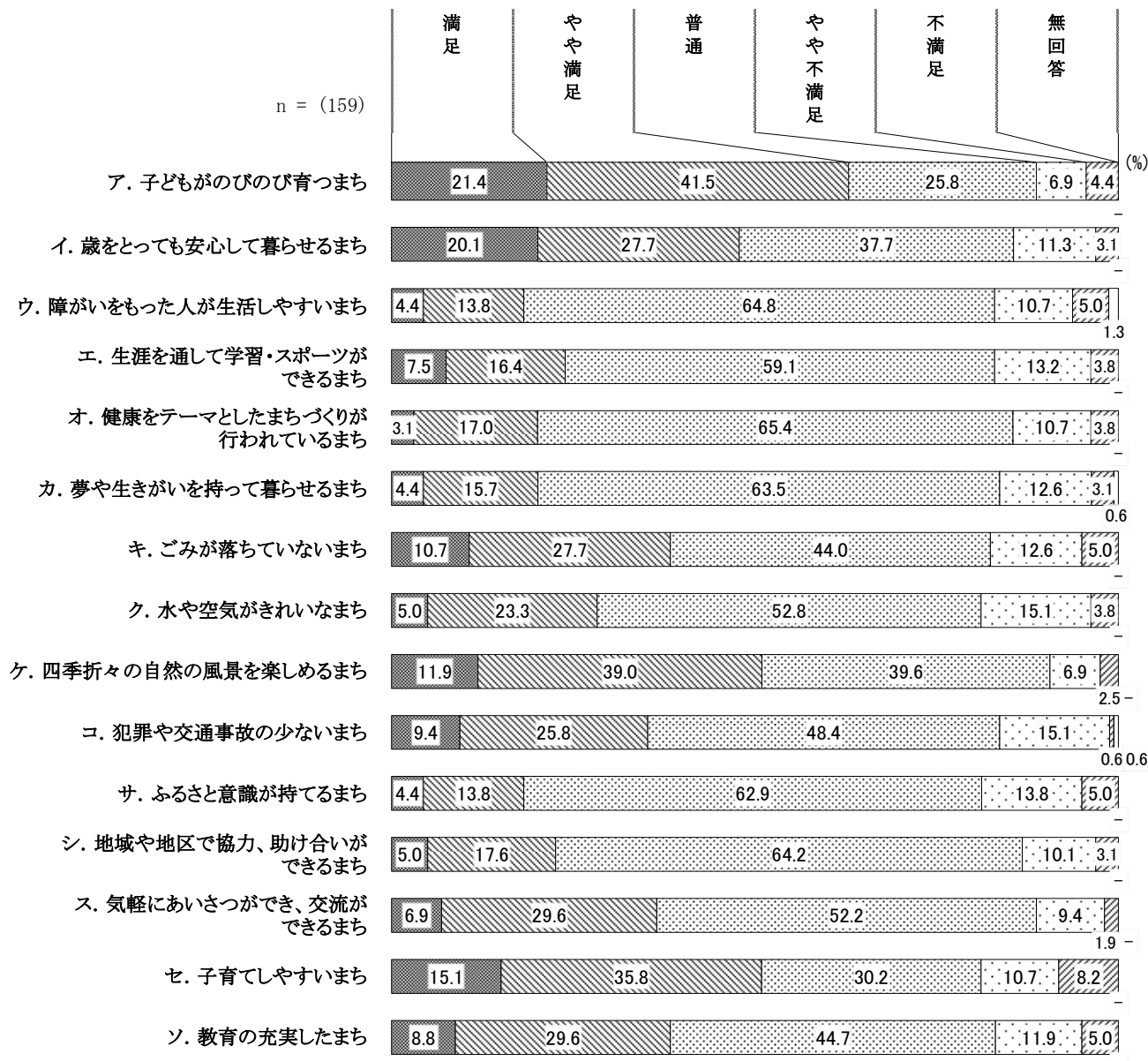


趣味や楽しみにしていることが「ある」が 45.9%で最も高く、次いで「あるが今はできない」が 39.6%となっている。

平成25年度と比較すると、特に大きな違いはみられない。

(8) 周辺地域に関する現状の満足度

問53. お住まいの地域周辺に関する現状の満足度について、お考えに近いものを、それぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。



周辺地域に関する現状の満足度は、「普通」が高い項目が多いものの、「満足」と「やや満足」を合わせて《満足》、「やや不満足」と「不満足」を合わせて《不満足》とし、それぞれ上位5項目を整理すると、次のようになっている。

《満足》

① ア. 子どもがのびのび育つまち	62.9%
② ケ. 四季折々の自然の風景を楽しめるまち	50.9%
② セ. 子育てしやすいまち	50.9%
④ イ. 歳をとっても安心して暮らせるまち	47.8%
⑤ ソ. 教育の充実したまち	38.4%

《不満足》

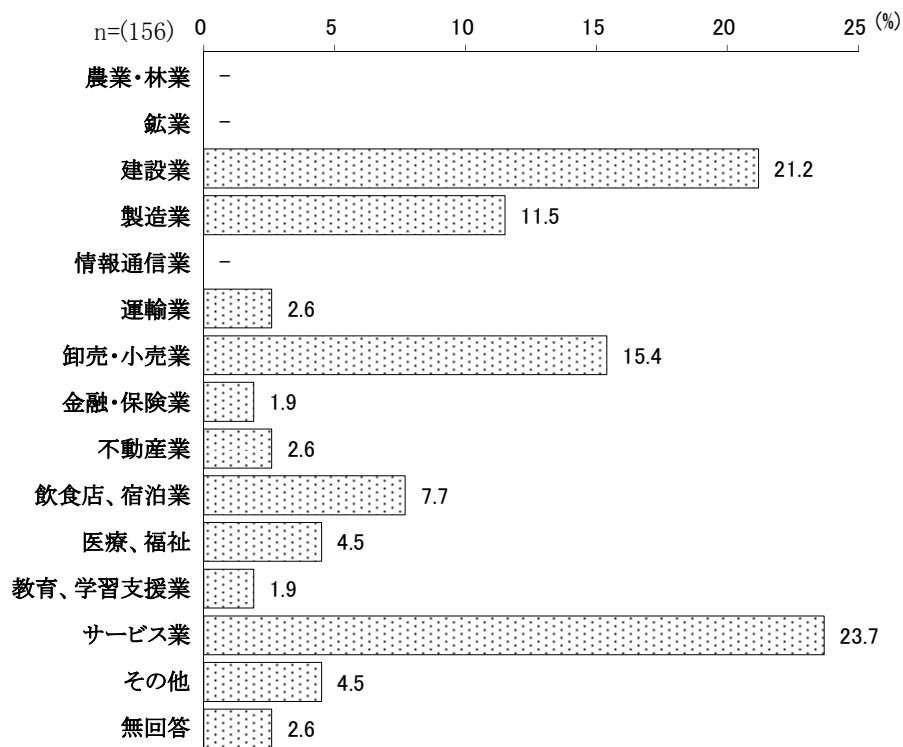
① セ. 子育てしやすいまち	18.9%
① ク. 水や空気がきれいなまち	18.9%
③ サ. ふるさと意識が持てるまち	18.8%
④ キ. ごみが落ちていないまち	17.6%
⑤ エ. 生涯を通して学習・スポーツができるまち	17.0%

事業 者

1 事業者について

(1) 業種

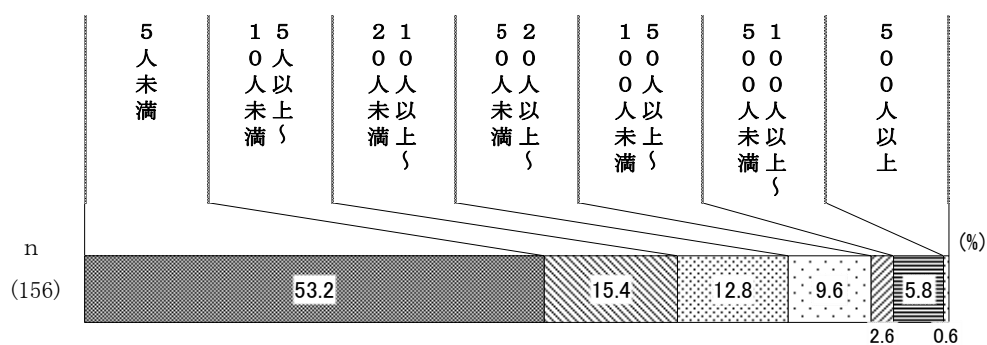
問1. 貴事業者の主たる業種について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



業種は、「サービス業」が23.7%で最も高く、次いで「建設業」が21.2%と僅差で続く。このほか、「卸売・小売業」が15.4%、「製造業」が11.5%となっている。

(2) 従業員の人数

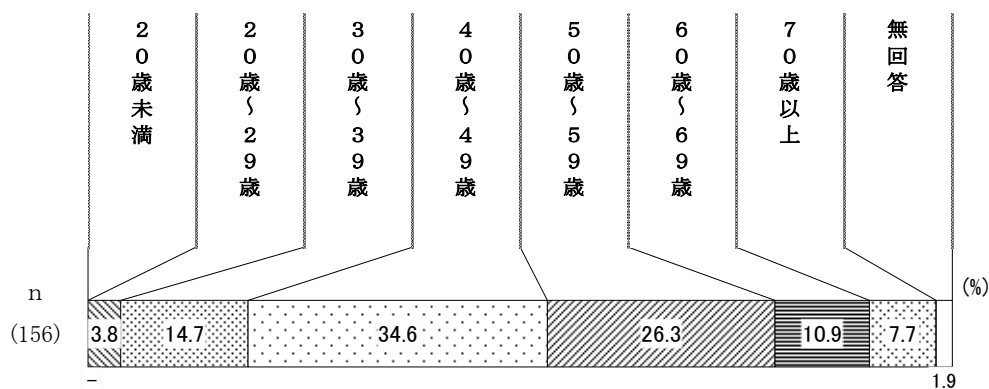
問2. 貴事業者の従業員(非正規含む全ての従業員)の人数について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



従業員の人数は、「5人未満」が53.2%で最も高く、次いで「5人以上～10人未満」が15.4%、「10人以上～20人未満」が12.8%となっている。

(3) 従業員の平均年齢

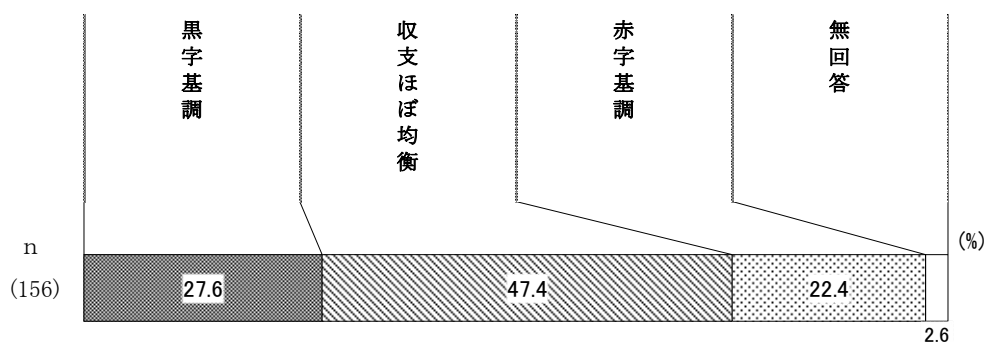
問3. 貴事業者の従業員(非正規含む全ての従業員)の平均年齢について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



従業員の平均年齢は、「40歳〜49歳」が34.6%で最も高く、次いで「50歳〜59歳」が26.3%となっている。

(4) 最近1年間の業況

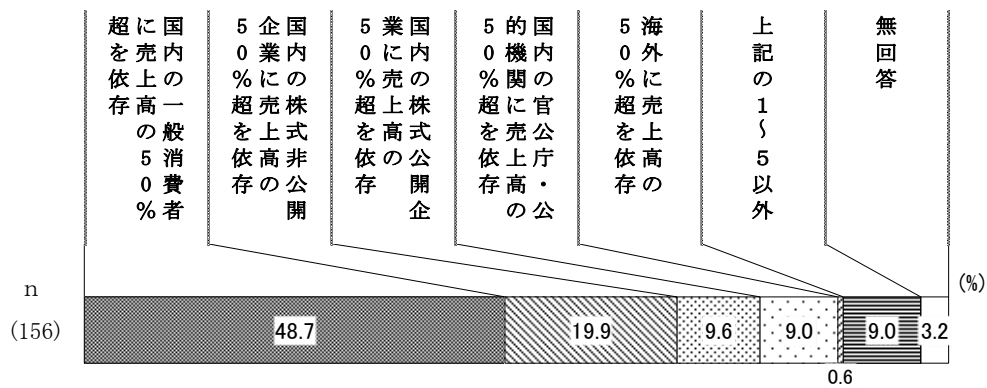
問4. 最近1年間の業況はいかがですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



最近1年間の業況は、「収支ほぼ均衡」が47.4%で最も高く、次いで「黒字基調」が27.6%、「赤字基調」が22.4%となっている。

(5) 主な販売先

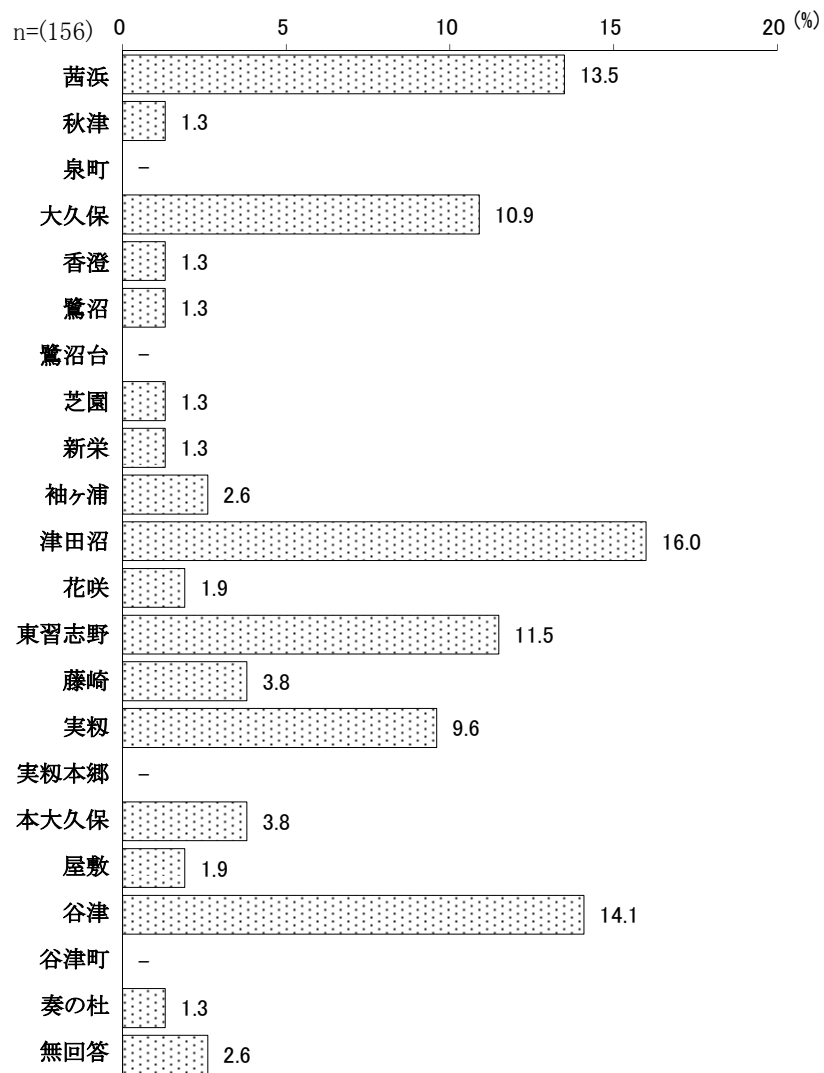
問5. 貴事業者の主な販売先について、あてはまるもの1つ選んで番号に○をつけてください。



主な販売先は、「国内の一般消費者に売上高の50%超を依存」が48.7%で最も高く、次いで「国内の株式非公開企業に売上高の50%超を依存」が19.9%となっている。

(6) 所在地

問6. 貴事業者の所在地について、あてはまる地区を1つ選んで番号に○をつけてください。

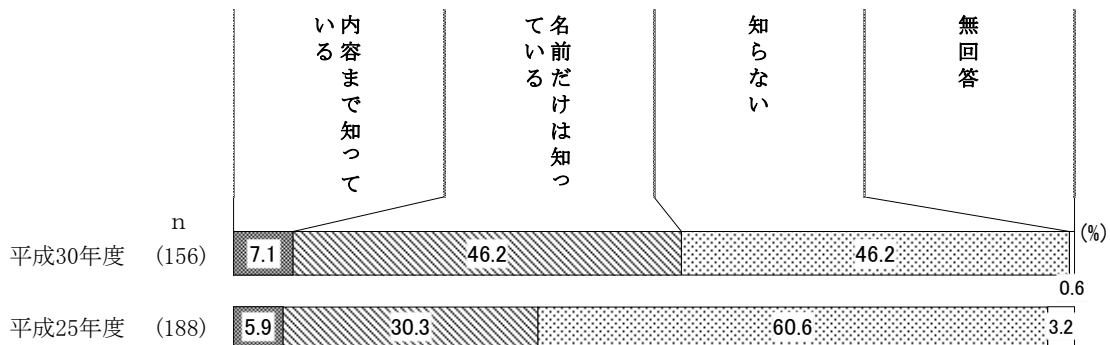


所在地は、「津田沼」が16.0%で最も高く、次いで「谷津」が14.1%、「茜浜」が13.5%、「東習志野」が11.5%、「大久保」が10.9%となっている。

2 「健康なまち習志野」計画、(通称)健康なまちづくり条例等の認知度

(1) 「健康なまち習志野」の認知度

問7. 健康づくりの総合計画「健康なまち習志野」をご存じでしたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

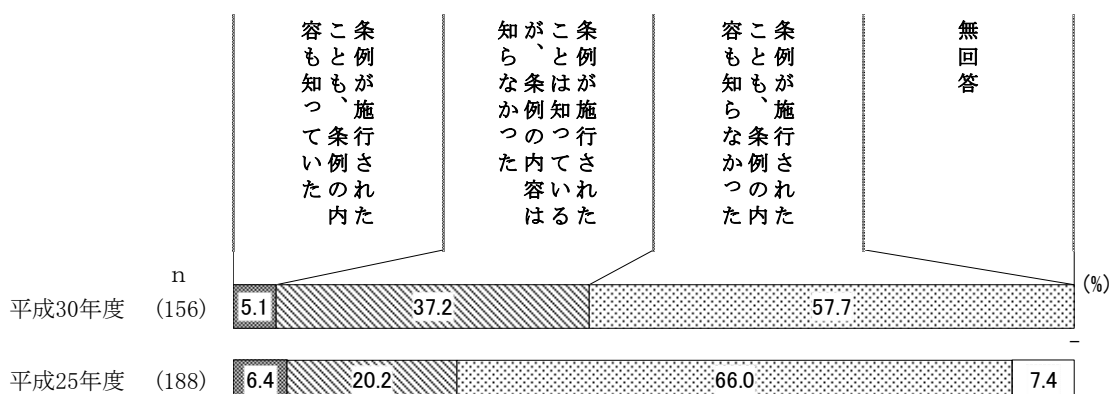


「健康なまち習志野」の認知度は、「内容まで知っている」が7.1%だが、「名前だけは知っている」が46.2%と高くなっている。しかし、「知らない」も46.2%で並ぶ。

平成25年度と比較すると、「名前だけは知っている」が15.9ポイント増加し、「知らない」が14.4ポイント減少している。

(2) (通称)健康なまちづくり条例の認知度

問8. 市では、平成25年4月1日から(通称)健康なまちづくり条例を施行しましたが、ご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



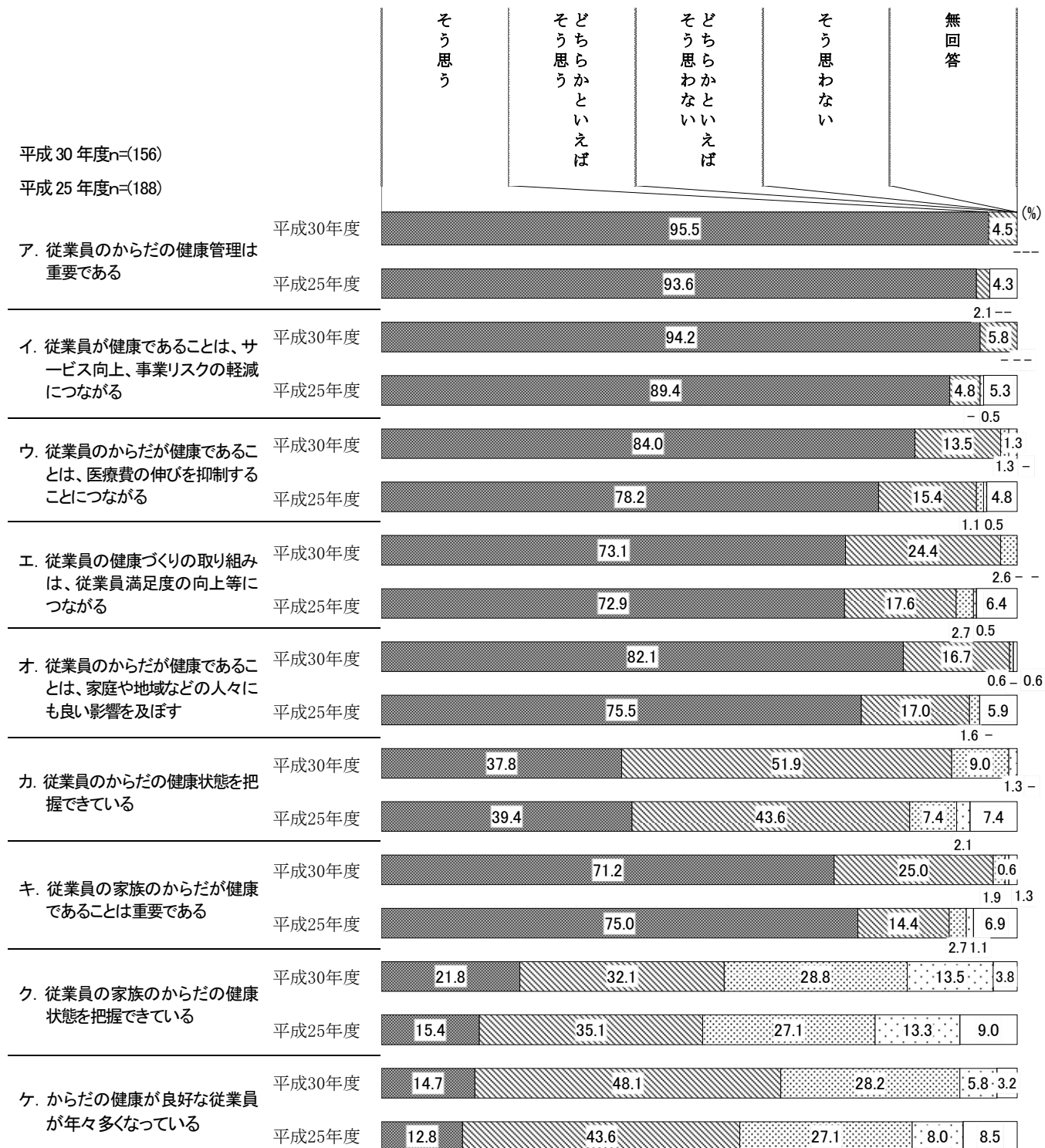
(通称)健康なまちづくり条例の認知度は、「条例が施行されたことも、条例の内容も知っていた」が5.1%で、「条例が施行されたことは知っているが、条例の内容は知らなかった」が37.2%となっている。一方、「条例が施行されたことも、条例の内容も知らなかった」が57.7%と高くなっている。

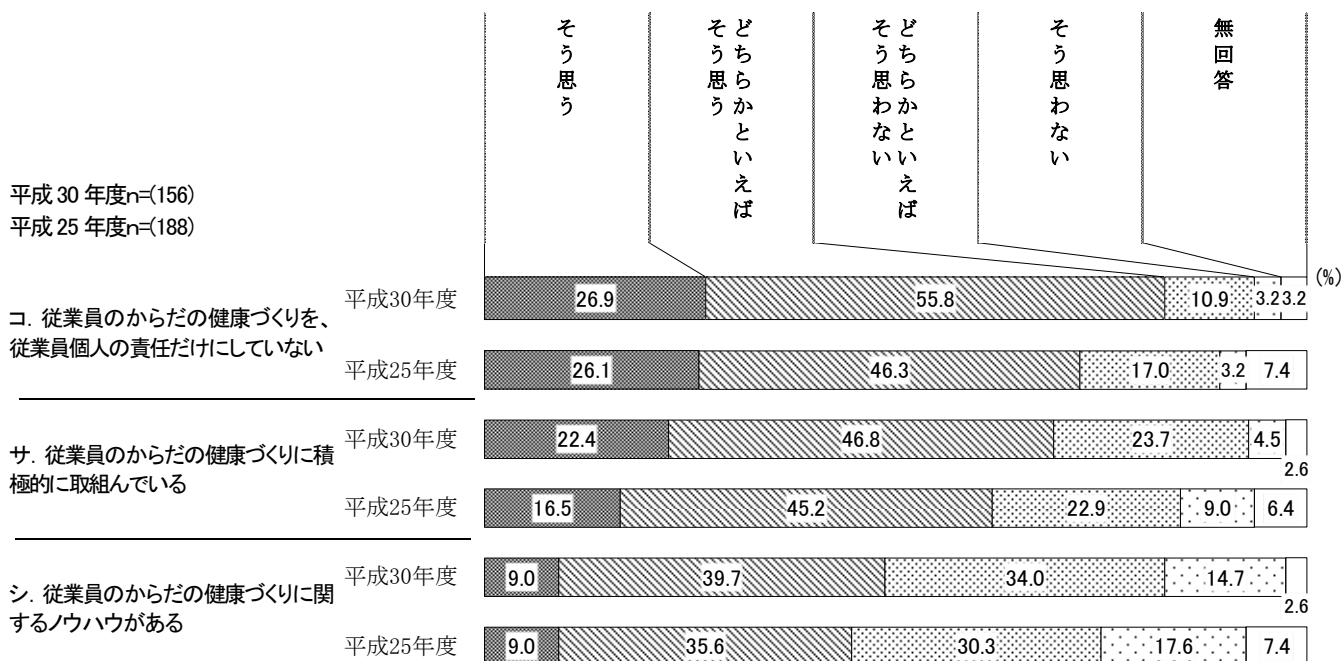
平成25年度と比較すると、「条例が施行されたことは知っているが、条例の内容は知らなかった」が17.0ポイント増加し、「条例が施行されたことも、条例の内容も知らなかった」が8.3ポイント減少している。

3 からだの健康に関する意識

(1) 従業員の健康についての考え

問9. 貴事業者では、従業員などのからだの健康について、どのような考えをお持ちですか。あてはまるものを、それぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。





従業員の健康についての考えについて、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせて《そう思う》、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせて《そう思わない》とし、それぞれ上位5項目を整理すると、次のようになっている。

《そう思う》

- ① ア. 従業員のからだの健康管理は重要である 100.0%
- ① イ. 従業員が健康であることは、サービス向上、事業リスクの軽減につながる 100.0%
- ③ オ. 従業員のからだ健康であることは、家庭や地域などの人々にも良い影響を及ぼす 98.8%
- ④ ウ. 従業員のからだ健康であることは、医療費の伸びを抑制することにつながる 97.5%
- ④ エ. 従業員の健康づくりの取り組みは、従業員満足度の向上等につながる 97.5%

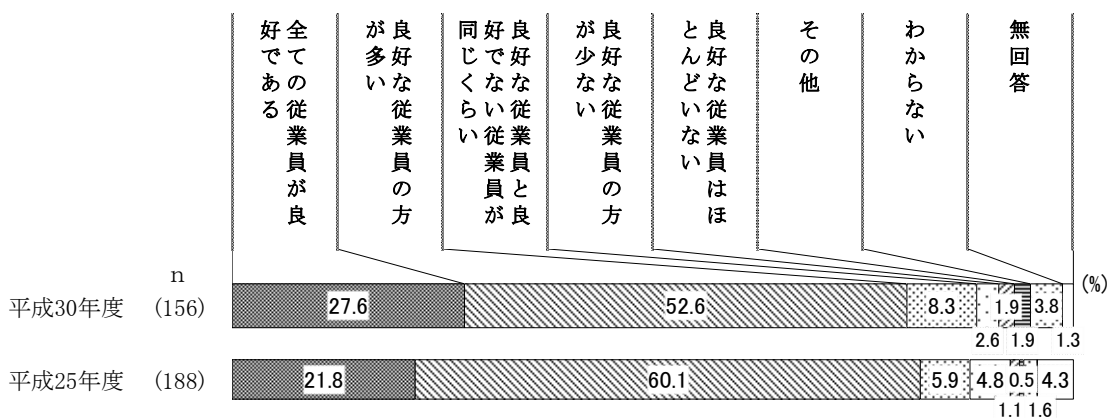
《そう思わない》

- ① シ. 従業員のからだの健康づくりに関するノウハウがある 48.7%
- ② ク. 従業員の家族のからだの健康状態を把握できている 42.3%
- ③ ケ. からだの健康が良好な従業員が年々多くなっている 34.0%
- ④ サ. 従業員のからだの健康づくりに積極的に取り組んでいる 28.2%
- ⑤ コ. 従業員のからだの健康づくりを、従業員個人の責任だけにしていない 14.1%

平成25年度と比較すると、全ての項目で《そう思う》は増加しており、特に、“コ. 従業員のからだの健康づくりを、従業員個人の責任だけにしていない”が10.3ポイント増加している。

(2) 従業員のからだの健康状態

問10. 従業員のからだの健康状態について、総じてどのように感じていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

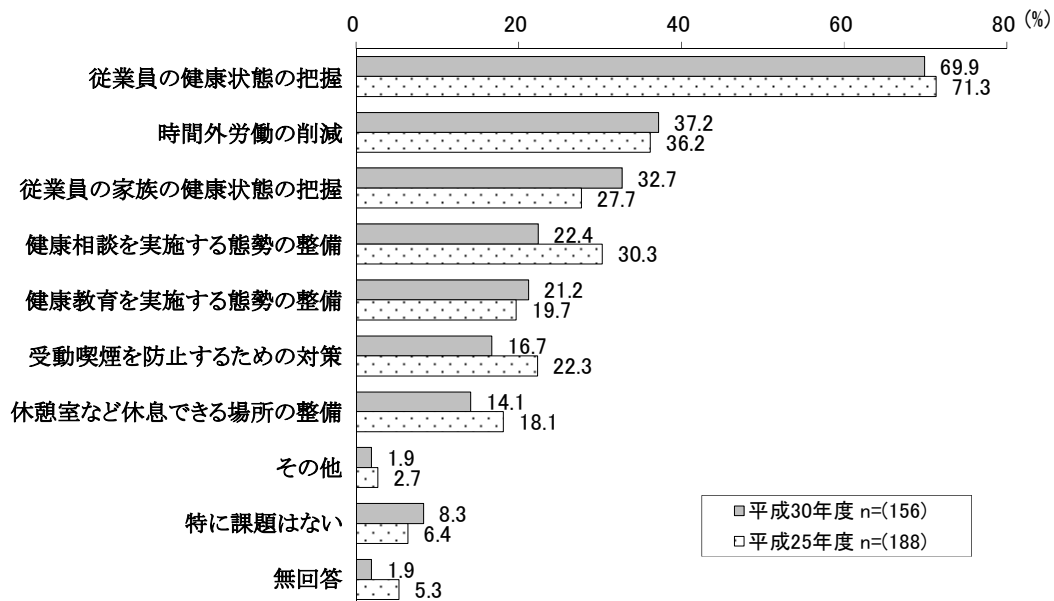


従業員のからだの健康状態は、「良好な従業員の方が多い」が 52.6%で最も高く、次いで「全ての従業員が良好である」が 27.6%となっている。

平成25年度と比較すると、「全ての従業員が良好である」が 5.8ポイント増加し、「良好な従業員の方が多い」が 7.5ポイント減少している。

(3) 従業員のからだの健康づくりを貴事業者が進めていく上での課題

問11. 従業員のからだの健康づくりを貴事業者が進めていく上で、どのようなことが課題であると考えていますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。



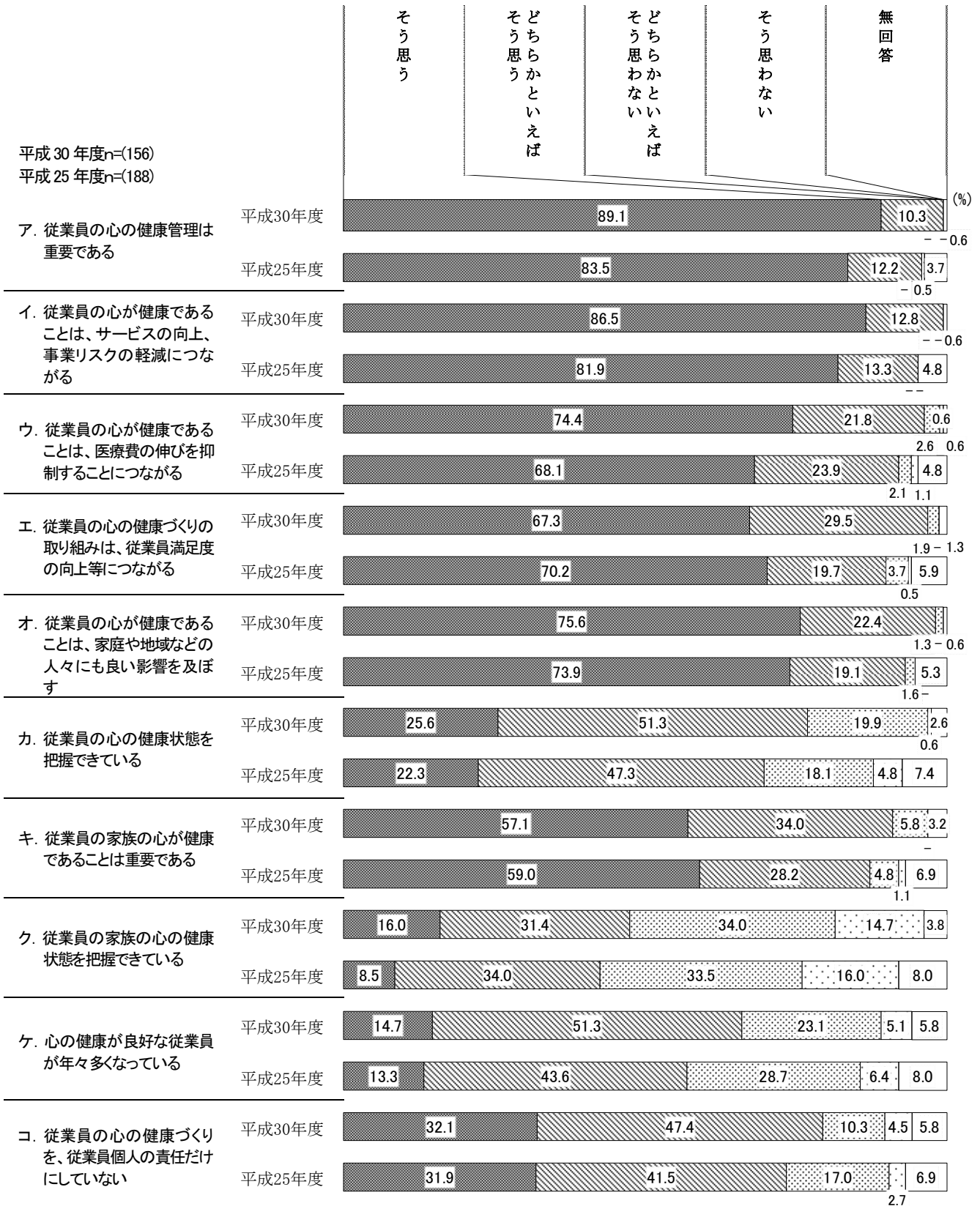
従業員のからだの健康づくりを貴事業者が進めていく上での課題は、「従業員の健康状態の把握」が69.9%で最も高くなっている。次いで「時間外労働の削減」が37.2%、「従業員の家族の健康状態の把握」が32.7%、「健康相談を実施する態勢の整備」が22.4%、「健康教育を実施する態勢の整備」が21.2%となっている。

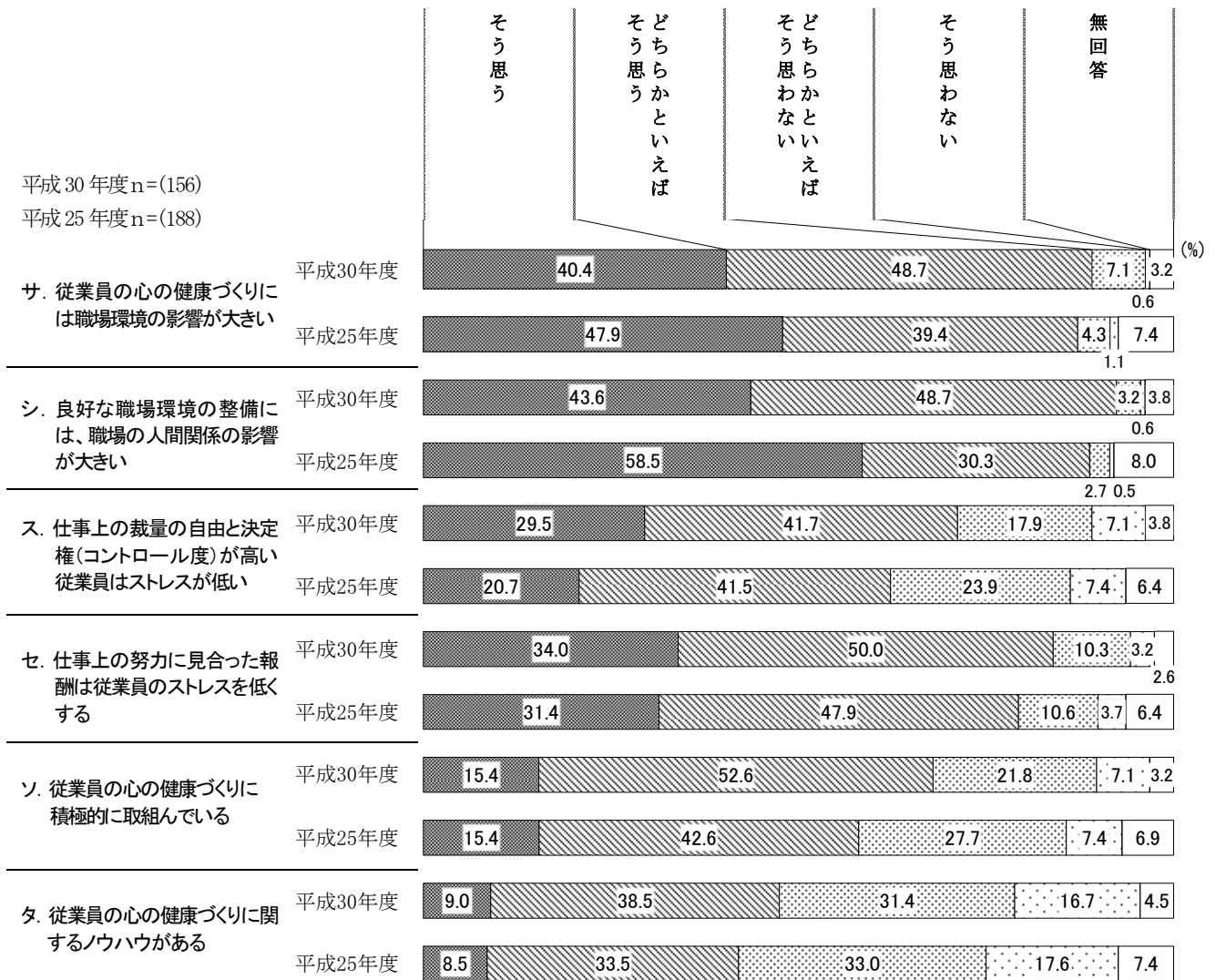
平成25年度と比較すると、「従業員の家族の健康状態の把握」が5.0ポイント増加している。一方、「健康相談を実施する態勢の整備」が7.9ポイント、「受動喫煙を防止するための対策」が5.6ポイント、「休憩室など休息できる場所の整備」が4.0ポイント減少している。

4 心の健康に関する意識

(1) 従業員の心の健康についての考え

問12. 貴事業者では、従業員などの心の健康について、どのような考えをお持ちですか。あてはまるものを、それぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。





従業員の心の健康についての考えについて、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせて《そう思う》、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせて《そう思わない》とし、それぞれ上位5項目を整理すると、次のようになっている。

《そう思う》

- ① ア. 従業員の心の健康管理は重要である 99.4%
- ② イ. 従業員の心が健康であることは、サービスの向上、事業リスクの軽減につながる 99.3%
- ③ オ. 従業員の心が健康であることは、家庭や地域などの人々にも良い影響を及ぼす 98.0%
- ④ エ. 従業員の心の健康づくりの取り組みは、従業員満足度の向上等につながる 96.8%
- ⑤ ウ. 従業員の心が健康であることは、医療費の伸びを抑制することにつながる 96.2%

《そう思わない》

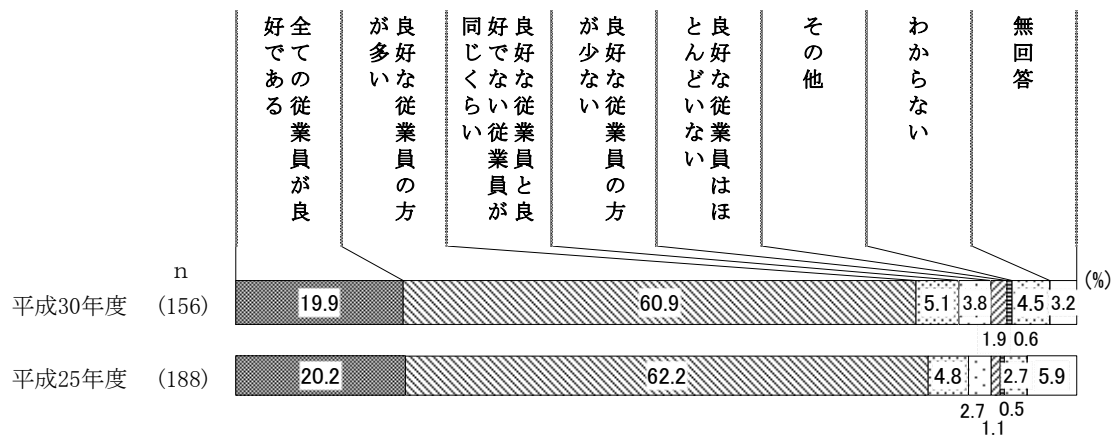
- ① ク. 従業員の家族の心の健康状態を把握できている 48.7%
- ② タ. 従業員の心の健康づくりに関するノウハウがある 48.1%
- ③ ソ. 従業員の心の健康づくりに積極的に取り組んでいる 28.9%
- ④ ケ. 心の健康が良好な従業員が年々多くなっている 28.2%
- ⑤ ス. 仕事上の裁量の自由と決定権(コントロール度)が高い従業員はストレスが低い 25.0%

第2章 調査結果の詳細

平成25年度と比較すると、全ての項目で《そう思う》は増加しており、特に、“ソ. 従業員の心の健康づくりに積極的に取り組んでいる”が10.0ポイント、“ケ. 心の健康が良好な従業員が年々多くなっている”が9.1ポイント、“ス. 仕事上の裁量の自由と決定権（コントロール度）が高い従業員はストレスが低い”が9.0ポイント増加している。

(2) 従業員の心の健康状態

問13. 従業員の心の健康状態について、総じてどのように感じていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

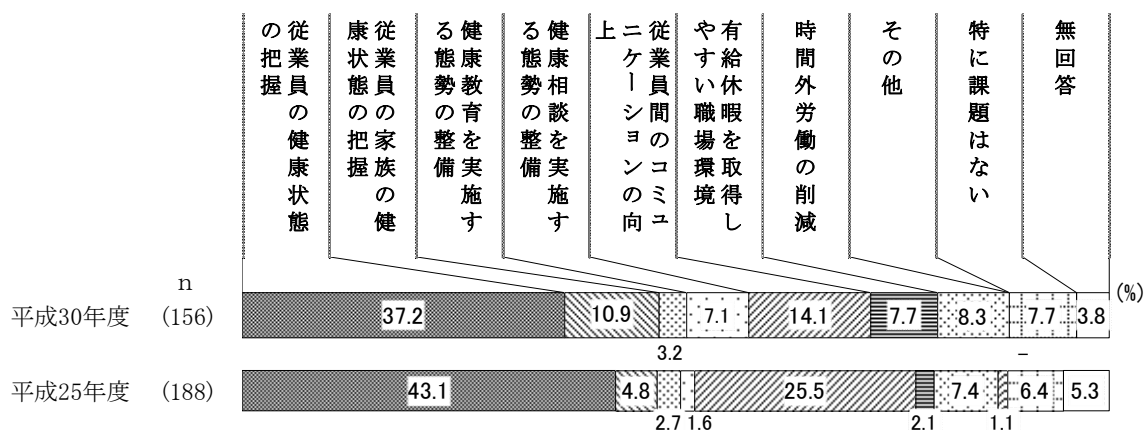


従業員の心の健康状態は、「良好な従業員の方が多い」が 60.9%で最も高く、次いで「全ての従業員が良好である」が 19.9%となっている。

平成25年度と比較すると、特に大きな違いはみられない。

(3) 従業員の心の健康づくりを進めていく上での課題

問14. 従業員の心の健康づくりを進めていく上で、どのようなことが課題であると考えていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



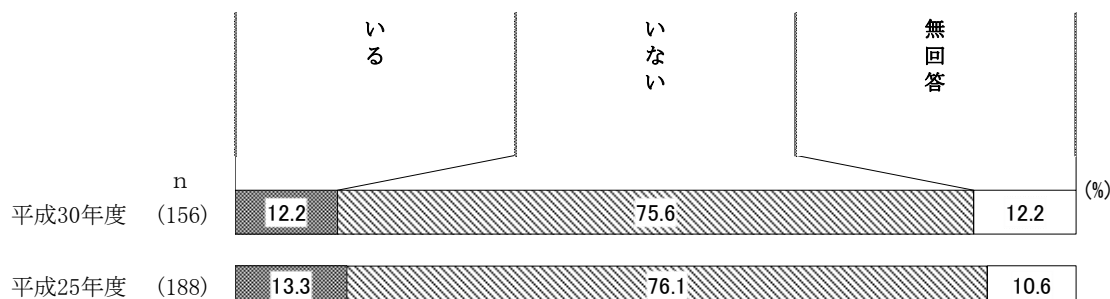
従業員の心の健康づくりを進めていく上での課題は、「従業員の健康状態の把握」が 37.2%で最も高くなっている。

平成25年度と比較すると、「従業員の家族の健康状態の把握」が 6.1ポイント増加している。逆に、「従業員間のコミュニケーションの向上」が 11.4ポイント、「従業員の健康状態の把握」が 5.9ポイント、減少している。

5 健康づくりへの取組

(1) 健康対策を行うスタッフ配置の有無

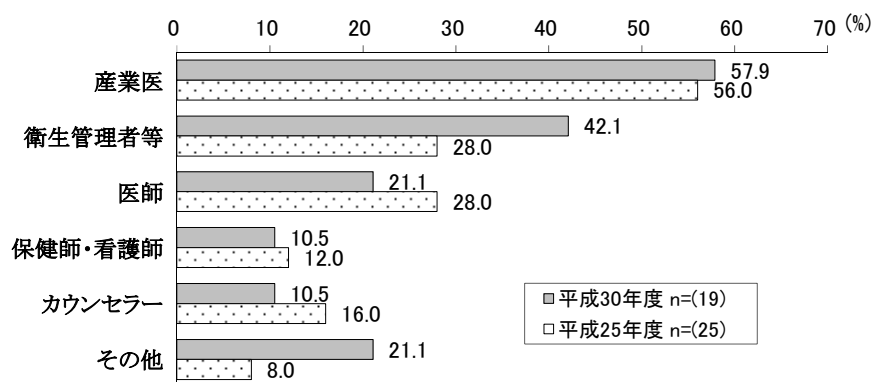
問15. 健康対策を行うスタッフを、配置していますか。



健康対策を行うスタッフを配置して「いる」が12.2%で、「いない」が75.6%と高くなっている。平成25年度と比較すると、特に大きな違いはみられない。

(1-1) 健康対策を行うスタッフの職種

問15-1. 問15で「1.」を選ばれた方におききます。健康対策を行うスタッフの職種は、何ですか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

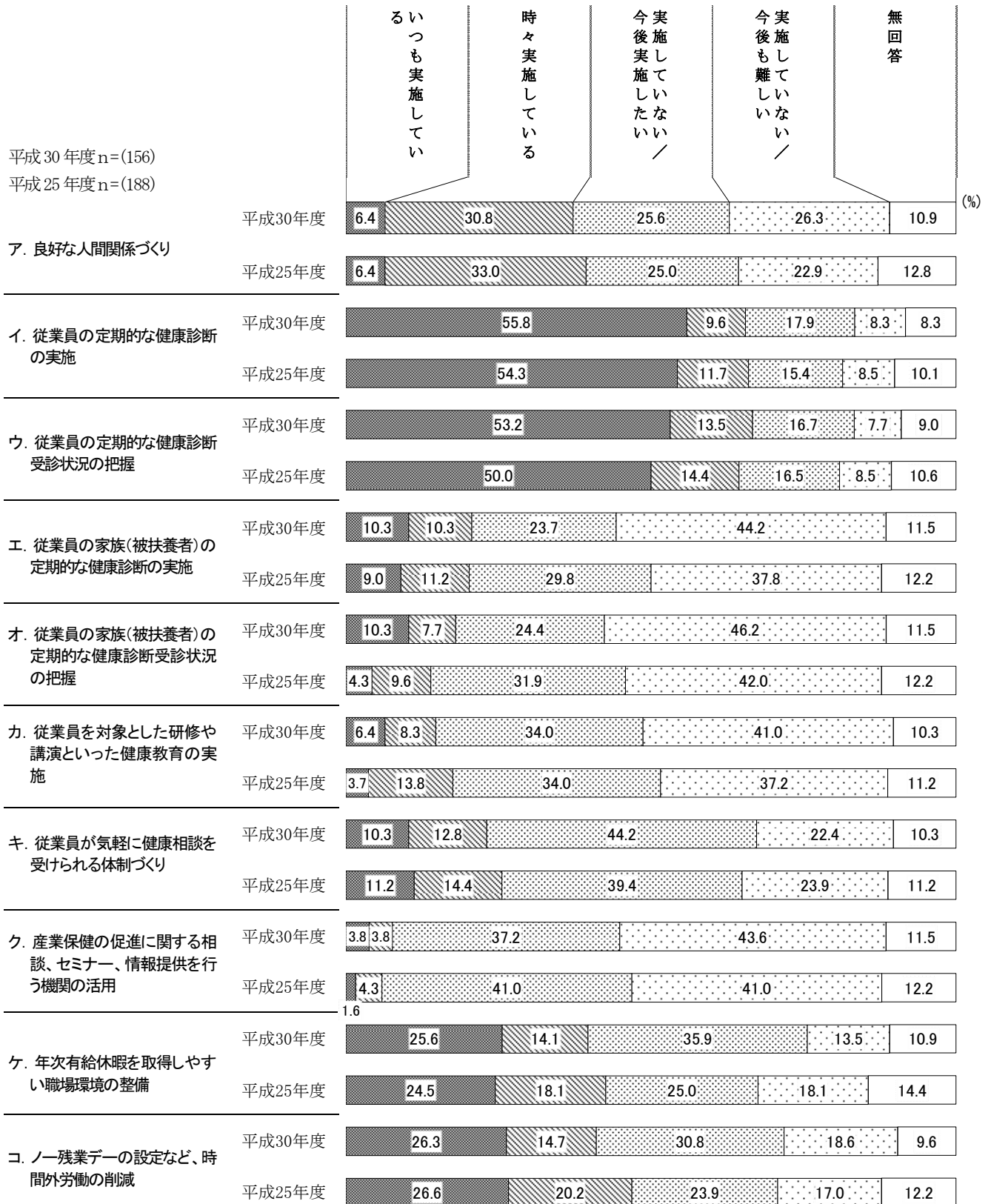


問15で健康対策を行うスタッフを配置して「いる」と回答した方に、スタッフの職種をたずねた。回答者数(n)が19人であることから、参考とするが、「産業医」が57.9%で最も高く、次いで「衛生管理者等」が42.1%となっている。また、「医師」と「その他」が21.1%で並ぶ。「その他」の内容は、「外部カウンセラー」、「委員会」などがあげられている。

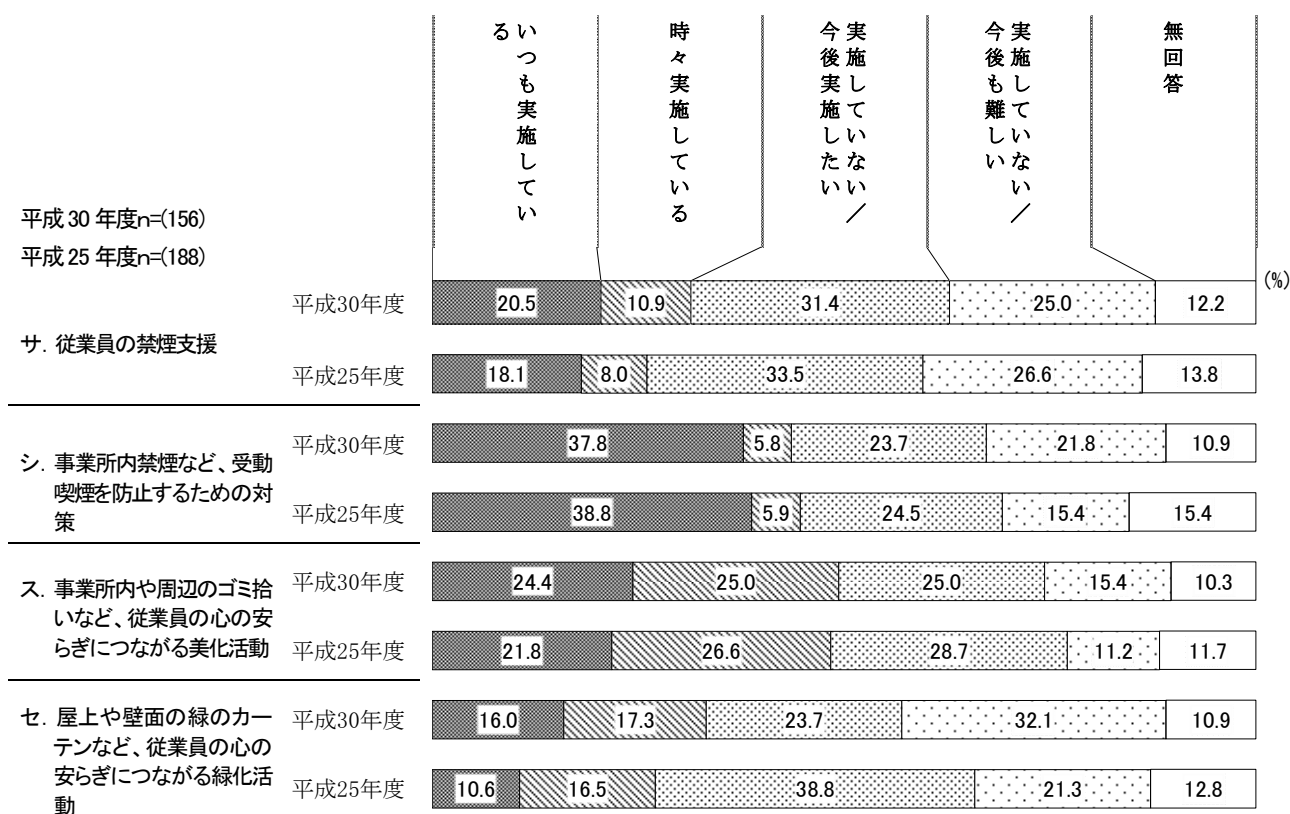
平成25年度と比較すると、「衛生管理者等」が14.1ポイント増加し、「医師」が6.9ポイント、「カウンセラー」が5.5ポイント減少している。

(2) 従業員の健康づくりへの取組み状況

問16. 貴事業者が日常行っていると思いますか。お考えに近いものを、それぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。



第2章 調査結果の詳細



従業員の健康づくりへの取組み状況について、「いつも」と「時々」を合わせて《実施している》、「今後実施したい」と「今後も難しい」を合わせて《実施していない》とし、それぞれ上位5項目を整理すると、次のようになっている。

《実施している》

- | | |
|--|-------|
| ① ウ. 従業員の定期的な健康診断受診状況の把握 | 66.7% |
| ② イ. 従業員の定期的な健康診断の実施 | 65.4% |
| ③ ス. 事業所内や周辺のゴミ拾いなど、従業員の心の安らぎにつながる美化活動 | 49.4% |
| ④ シ. 事業所内禁煙など、受動喫煙を防止するための対策 | 43.6% |
| ⑤ コ. ノー残業デーの設定など、時間外労働の削減 | 41.0% |

《実施していない》

- | | |
|--------------------------------------|-------|
| ① ク. 産業保健の促進に関する相談、セミナー、情報提供を行う機関の活用 | 80.8% |
| ② カ. 従業員を対象とした研修や講演といった健康教育の実施 | 75.0% |
| ③ オ. 従業員の家族（被扶養者）の定期的な健康診断受診状況の把握 | 70.6% |
| ④ エ. 従業員の家族（被扶養者）の定期的な健康診断の実施 | 67.9% |
| ⑤ キ. 従業員が気軽に健康相談を受けられる体制づくり | 66.6% |

《実施していない》のうち、「今後実施したい」は“キ. 従業員が気軽に健康相談を受けられる体制づくり”が44.2%で、「今後も難しい」は“オ. 従業員の家族（被扶養者）の定期的な健康診断受診状況の把握”が46.2%、“エ. 従業員の家族（被扶養者）の定期的な健康診断の実施”が44.2%で高くなっている。

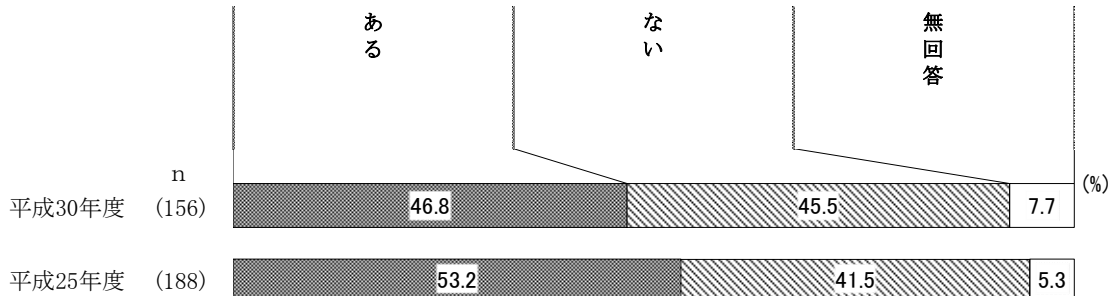
平成25年度と比較すると、《実施している》は14項目中7項目で増加しており、“セ. 屋上や壁面の緑のカーテンなど、従業員の心の安らぎにつながる緑化活動”が6.2ポイント、“サ. 従業員の禁煙支援”の5.3ポイント増加などがある。一方、《実施していない》は14項目中9項目で増加しており、“コ. ノー残業デーの設定など、時間外労働の削減”が8.5ポイント、“ケ. 年次有給休暇を取得しやすい職場環境の整備”が6.3ポイント、“シ. 事業所内禁煙など、受動喫煙を防止するための対策”が5.6ポイント増加している。

なお、“エ. 従業員の家族（被扶養者）の定期的な健康診断の実施”と“ス. 事業所内や周辺のゴミ拾いなど、従業員の心の安らぎにつながる美化活動”は、《実施している》と《実施していない》の両方で増加しており、事業所の取組状況が分かれていると考えられる。

6 健康なまちづくりの推進に関する地域社会との協働

(1) 社是・社訓・経営理念の有無

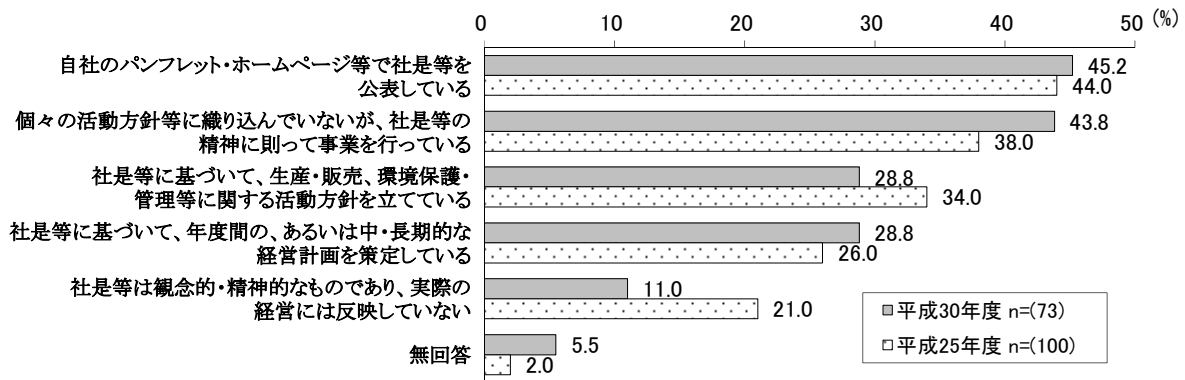
問17. 貴事業者には、社是・社訓・経営理念がありますか。



社是・社訓・経営理念が「ある」が46.8%、「ない」が45.5%と、おおむね並んでいる。平成25年度と比較すると、「ある」が6.4ポイント減少している。

(1-1) 社是・社訓・経営理念の経営への反映状況

問17-1. 問17で「1.」を選ばれた方におききます。社是・社訓・経営理念を貴事業者の経営へ反映していますか。あてはまるものを、全て選んで番号に○をつけてください。

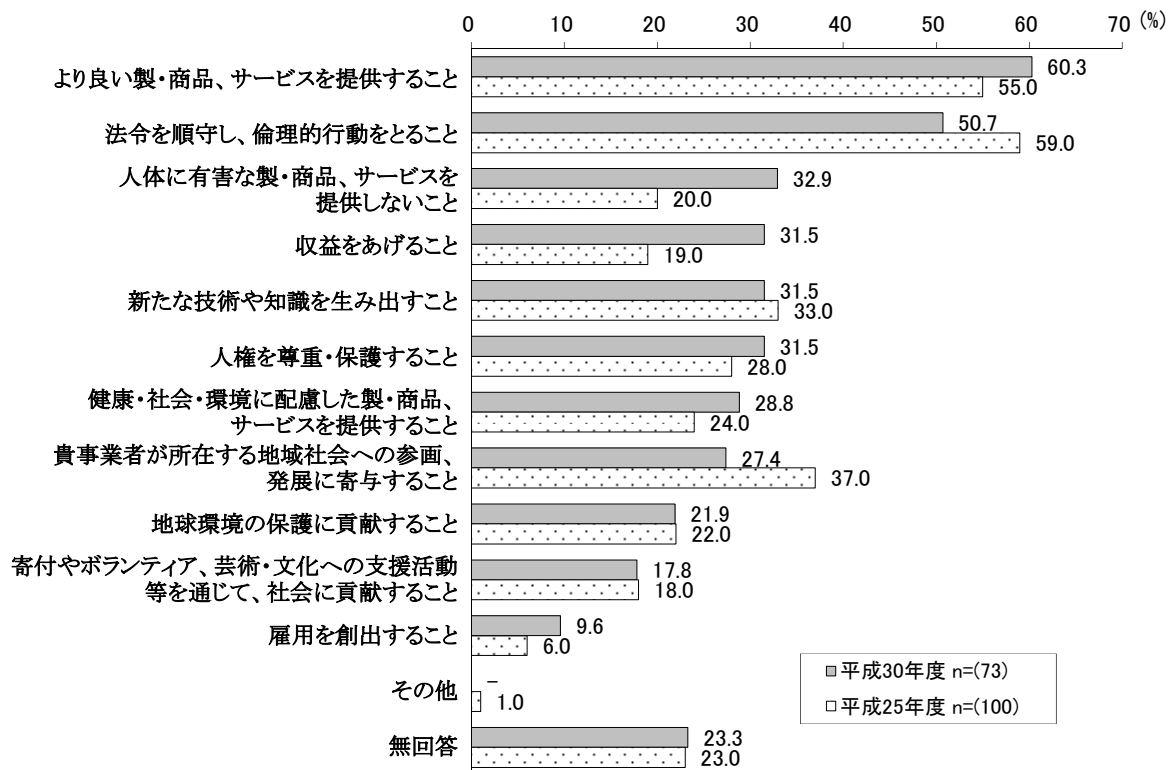


問17で社是・社訓・経営理念が「ある」と回答した方に、経営への反映状況をたずねたところ、「自社のパンフレット・ホームページ等で社是等を公表している」が45.2%で最も高く、次いで「個々の活動方針等に織り込んでいないが、社是等の精神に則って事業を行っている」が43.8%と僅差で続く。

平成25年度と比較すると、「個々の活動方針等に織り込んでいないが、社是等の精神に則って事業を行っている」が5.8ポイント増加している。一方、「社是等は観念的・精神的なものであり、実際の経営には反映していない」が10.0ポイント、「社是等に基づいて、生産・販売、環境保護・管理等に関する活動方針を立てている」が5.2ポイント減少している。

(1-2) 社是・社訓・経営理念に含まれる項目

問17-2. 問17で「1.」を選ばれた方におききます。社是・社訓・経営理念に含まれる項目について、あてはまるものを、全て選んで番号に○をつけてください。



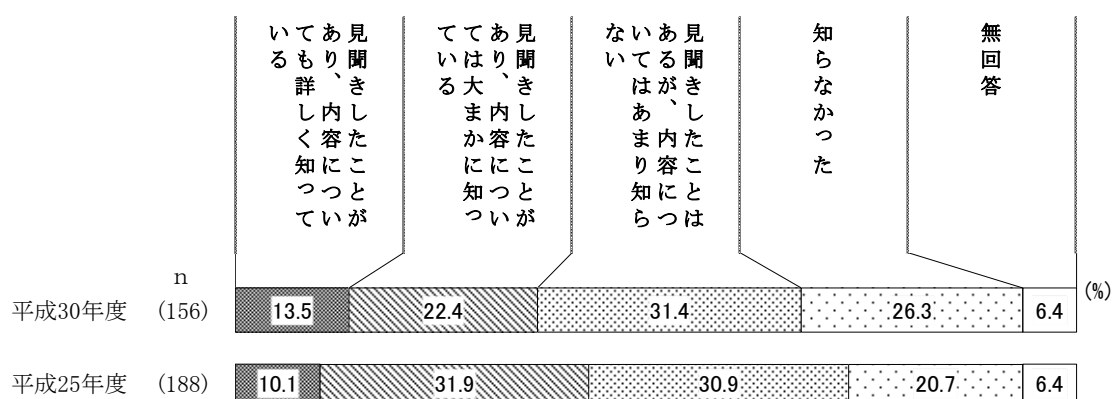
問17で社是・社訓・経営理念が「ある」と回答した方に、社是・社訓・経営理念に含まれる項目をたずねたところ、「より良い製・商品、サービスを提供すること」が60.3%で最も高く、次いで「法令を順守し、倫理的行動をとること」が50.7%となっている。

平成25年度と比較すると、増加幅が大きいものには、「人体に有害な製・商品、サービスを提供しないこと」の12.9ポイント、「収益をあげること」の12.5ポイント増加などがある。一方、減少幅が大きいものには、「貴事業者が所在する地域社会への参画、発展に寄与すること」の9.6ポイント、「法令を順守し、倫理的行動をとること」の8.3ポイント減少などがある。

(2) 「企業の社会的責任 (CSR)」という用語の認知度

問18. 「企業の社会的責任(CSR)」という用語をご存知ですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

「企業の社会的責任(CSR)」(CSR はCorporate Social Responsibility)の略
 「法令順守に基づいた事業活動により収益を確保することにとどまらず、(地球)環境の保全や(地域)社会とそのメンバー(例:従業員)への貢献とのバランスにも配慮すること等も企業が負うべき責任であるとの考え」、あるいは「そうした考えに基づく活動・取り組み」

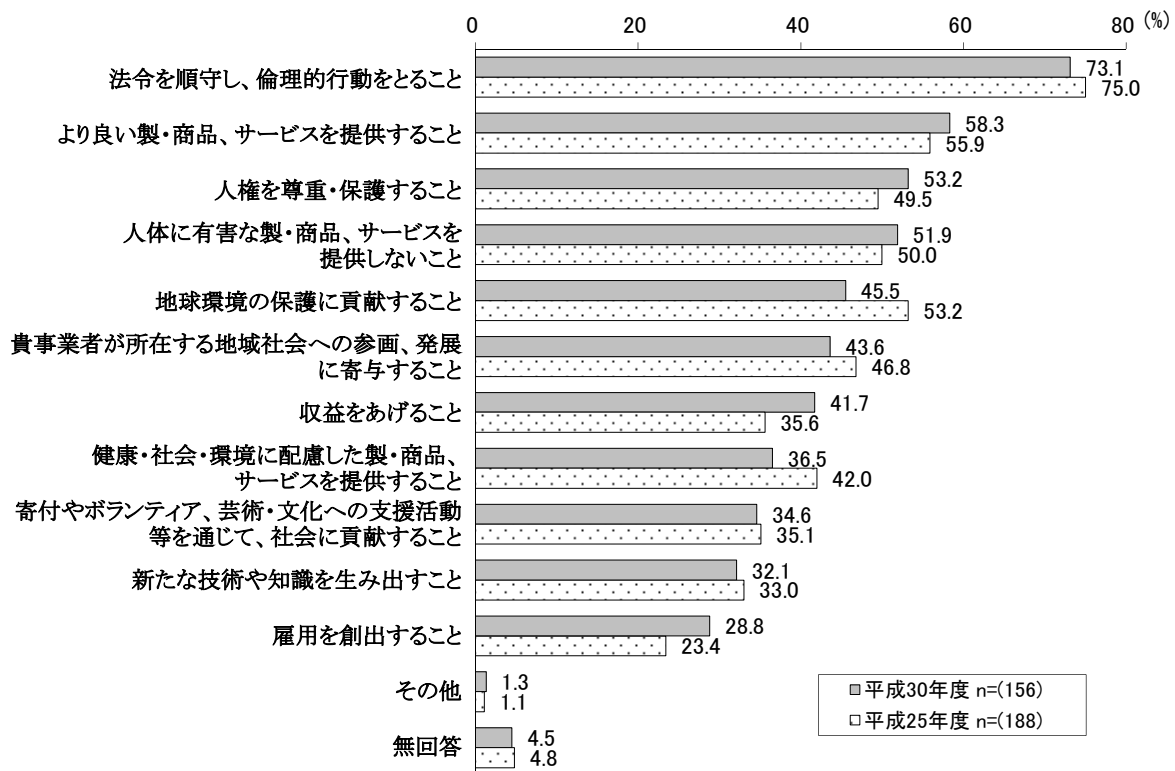


「企業の社会的責任 (CSR)」という用語の認知度は、「見聞きしたことがあり、内容についても詳しく知っている」が13.5%、「見聞きしたことがあり、内容については大まかに知っている」が22.4%で、「見聞きしたことはあるが、内容についてはあまり知らない」が31.4%と最も高くなっている。一方、「知らなかった」が26.3%である。

平成25年度と比較すると、「見聞きしたことがあり、内容についても詳しく知っている」が3.4ポイント増加したものの、「見聞きしたことがあり、内容については大まかに知っている」が9.5ポイント減少し、「知らなかった」が5.6ポイント増加している。

(3) 「企業の社会的責任 (CSR)」に含まれると考えられる項目

問19. 貴事業者にとって、「企業の社会的責任(CSR)」に含まれると考えられる項目について、あてはまるものを、全て選んで番号に○をつけてください。

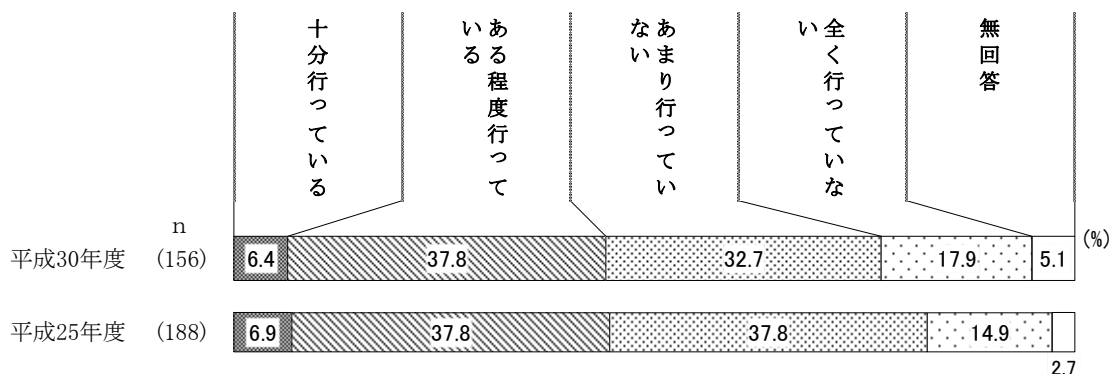


「企業の社会的責任 (CSR)」に含まれると考えられる項目は、「法令を順守し、倫理的行動をとること」が73.1%で最も高く、次いで「より良い製・商品、サービスを提供すること」が58.3%、「人権を尊重・保護すること」が53.2%、「人体に有害な製・商品、サービスを提供しないこと」が51.9%となっている。

平成25年度と比較すると、増加幅が大きいものには、「収益をあげること」の6.1ポイント、「雇用を創出すること」の5.4ポイント増加などがある。一方、減少幅が大きいものには、「地球環境の保護に貢献すること」の7.7ポイント、「健康・社会・環境に配慮した製・商品、サービスを提供すること」の5.5ポイント減少などがある。

(4) 地域社会への参画、発展のための取り組み

問20. 貴事業者では本業に関連することも含め、地域社会への参画、発展のための取り組みを行っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



地域社会への参画、発展のための取り組みは、「十分行っている」が6.4%だが、「ある程度行っている」が37.8%で最も高く、これらを合わせると、「行っている」は44.2%となっている。一方、「あまり行っていない」(32.7%)と「全く行っていない」(17.9%)を合わせた《行っていない》は50.6%である。

平成25年度と比較すると、「行っている」、「行っていない」での特に大きな違いはみられない。

(4-1) 地域社会への参画、発展のために行っていること

問20-1. 問20 で、「1. または 2. 」を選ばれた方におききます。

貴事業者が地域社会への参画、発展のために行っていることについて、その内容をご記入ください。

問20で「1. 十分行っている」または「2. ある程度行っている」と回答した方に、具体的な内容を自由に記入いただいた。

◇ イベントの開催・参加について (24件)

- ・地域コミュニティの参画。
- ・地域行事への積極的参加 (防災、各種行事等)。
- ・町会、商店会への参加。
- ・地域感謝デーを設け、ちょっとした困った事を解消できるようにしている。
- ・地域行事の参加。
- ・地域活動への参加。
- ・地域の祭りへの参加。
- ・地域等のイベントの参加。
- ・盆踊りの時の電気工事の設置、ボランティアで動いている。
- ・健康教室。
- ・習志野市商工会議所関連イベント参加。
- ・親睦活動への参加。
- ・地域の活動の参加など。
- ・町会活動、商店会活動に参画。
- ・各種地域イベントへの参加。
- ・町会への参加。
- ・地域での行事、催しへの参加。
- ・地域行事への参画。
- ・催し物への参加など。
- ・商店会、商工会、ロータリークラブ会員活動・参加・協力。
- ・周辺地域の活動への参画及び企画運営。
- ・町内活動に積極的に参加。
- ・祭り、防災訓練等。
- ・多世代交流食事会の開催、介護予防教室の開催。

◇ 寄付・募金の協力 (20件)

- ・収益金は市に寄付している。
- ・地域の学校への寄付。
- ・地域のお祭への寄付。

第2章 調査結果の詳細

- ・地域等のイベントの協賛。
- ・可能な範囲での協賛や寄付等。
- ・地元自治会活動への寄付活動等。
- ・地域の組合加入、商工会議所議員、市内のお祭り寄付。
- ・寄付やボランティア、芸術・文化への支援活動を通じて、社会に貢献すること。
- ・町会への寄付。
- ・地域団体への加入、各団体への協賛等。
- ・ふるさと納税、お祭り等の協賛金。
- ・地域での行事、催しへの寄付。
- ・地域行事への寄付。
- ・習高、千葉工大等、吹奏楽定期演奏会への寄付。
- ・神社や市民祭り、盆踊り等の寄付。
- ・社会福祉協議会、赤十字への寄付。
- ・地域松祭りやイベントへの寄付。
- ・地域の祭等への出資。
- ・間接的ですが、日本赤十字社に微力ながら寄付金をしている。
- ・商工会、社会福祉協議会、防災協会への会費納入。

◇ 高齢者・障害者・学生等の支援について（11件）

- ・小中学生の職場体験等。
- ・福祉活動。
- ・ものづくりについての教育（小学校）へ、アドバイス及び製品を提供している。
- ・町会役員、学童通学見守りボランティア（旗ふり）。
- ・近隣の障害者施設での催し物の際、当敷地を無償で提供している。
- ・認知症サポーター養成講座の講師活動。
- ・認知症カフェの運営。
- ・地域小学校生徒の実技教育。
- ・小学校の職業体験。
- ・周辺、幼・小・中・高生への業務を通じての触れ合い、学習支援。
- ・大学・大学生支援、高等教育支援等。

◇ 清掃活動・環境等について（8件）

- ・ゴミゼロ運動、献血活動、薬物乱用防止活動など。
- ・クリーンキャンペーン等に積極的に参加。
- ・ゴミ0運動に参加している。。
- ・建設業関の回りの清掃作業（近況も）。
- ・社内で月一度町内のゴミ拾い。
- ・店舗周辺の整備、美化活動等。

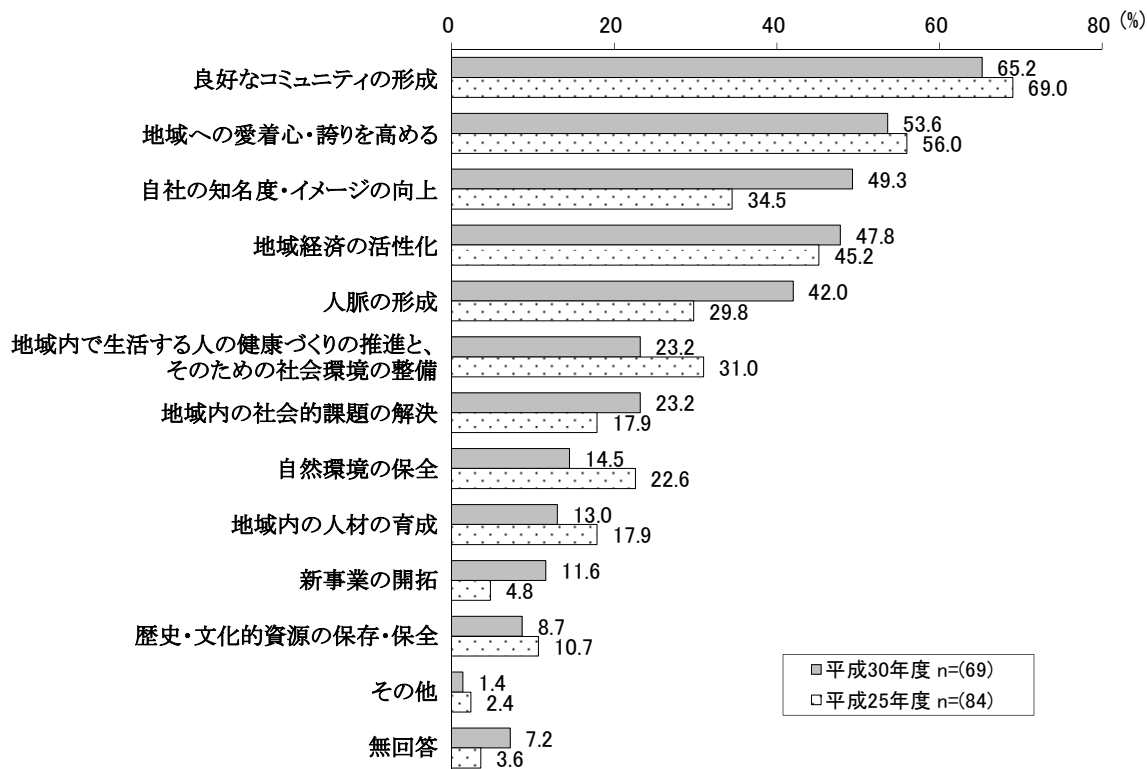
- ・家庭菜園などを行っている人たちに古畳床を切断して、タイ肥、敷藁の材料として配布している。(事務所から出るゴミの削減が計れる)
- ・地球環境の保護に貢献すること。

◇ その他 (14件)

- ・安全で強いものを安価に提供する。(建設業)
- ・社員にできるだけ高い日当を払う。(建設業)
- ・結婚式の発展。(サービス業)
- ・事業を通じての健康観の創出。(医療、福祉業)
- ・商工会議所、商店会連合会、地元商店会活動、教育施設への支援協力
- ・消防団への参加
- ・人権を尊重・保護すること。
- ・貴事業者が所在する地域社会への参画、発展に寄与すること。
- ・商工会議所への協力
- ・習志野市商工会議所を通じて、会議所独自の地域発展、活性化を図る事業に参加、携わり、又、行政機関が設置する審議委員会の委員を委嘱されている。
- ・食中毒予防の推進等
- ・十分と言い切ってしまうのはおこがましいので、「2. ある程度行っている」とさせていただきましたが、司法書士事務所としては、地域に根差した業務をと心がけております。
- ・地域での仕事、地域のニーズに合わせた取り組み、その為の自事業所の啓発活動
- ・ささやかですが、毎年5月に市内のボランティア団体に地域貢献賞を選考後、受賞式を行っています。

(4-2) 地域社会への参画、発展のために取り組む目的

問20-2. 問20で、「1. または 2. 」を選ばれた方におききます。
 貴事業者が地域社会への参画、発展のために取り組む目的は何ですか。
 あてはまるもの全てを選んで番号に○をつけてください。



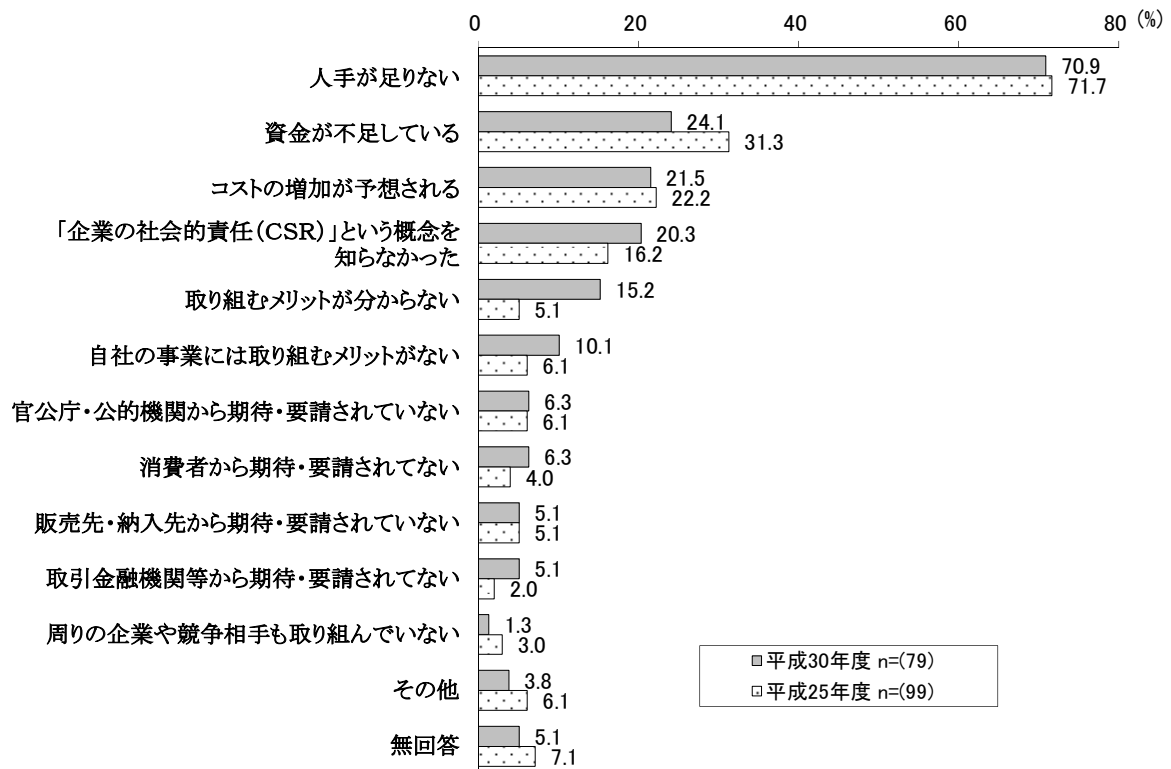
問20で地域社会への参画、発展のための取り組みを《行っている》と回答した方に、その取り組む目的をたずねたところ、「良好なコミュニティの形成」が65.2%で最も高く、次いで「地域への愛着心・誇りを高める」が53.6%となっている。このほか、「自社の知名度・イメージの向上」が49.3%、「地域経済の活性化」が47.8%、「人脈の形成」が42.0%である。

平成25年度と比較すると、増加幅が大きいものには、「自社の知名度・イメージの向上」の14.8ポイント、「人脈の形成」の12.2ポイント増加などがある。一方、減少幅が大きいものには、「自然環境の保全」の8.1ポイント、「地域内で生活する人の健康づくりの推進と、そのための社会環境の整備」の7.8ポイント減少などがある。

(4-3) 「地域社会への参画、発展のための取り組み」を行っていない理由

問20-3. 問20で、「3. または 4. 」を選ばれた方におききます。

「地域社会への参画、発展のための取り組み」を行っていない理由について、あてはまるもの全てを選んで番号に○をつけてください。

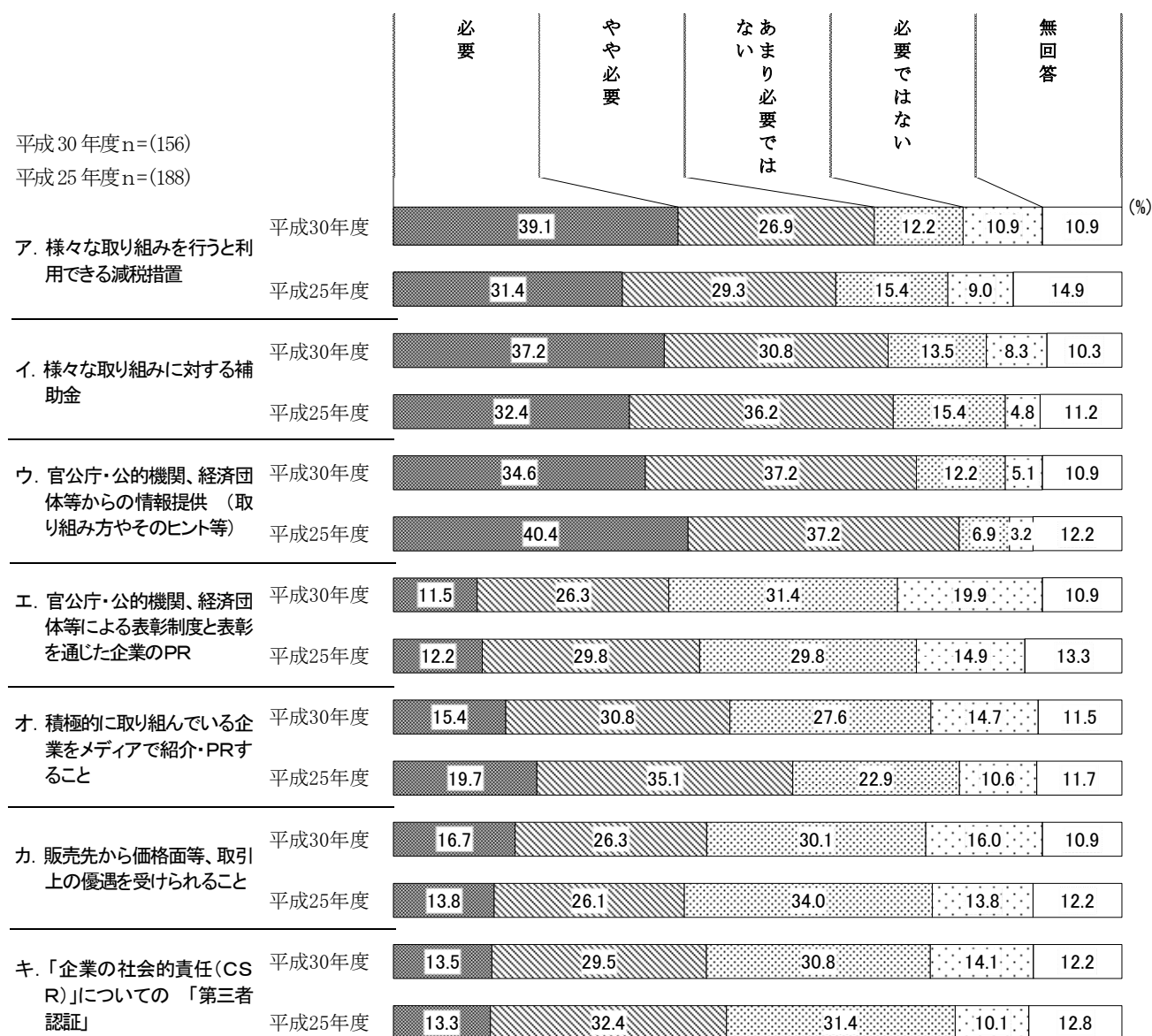


問20で地域社会への参画、発展のための取り組みを《行っていない》と回答した方に、その理由をたずねたところ、「人手が足りない」が70.9%で最も高くなっている。このほか、「資金が不足している」が24.1%、「コストの増加が予想される」が21.5%、「企業の社会的責任(CSR)」という概念を知らなかった」が20.3%である。

平成25年度と比較すると、「取り組むメリットが分からない」が10.1ポイントと大きく増加しており、一方で、「資金が不足している」が7.2ポイント減少している。

(5) 「地域社会への参画、発展のための取り組み」を推進する上での必要度

問21. 次にあげる支援策は、「地域社会への参画、発展のための取り組み」を推進する上でどの程度必要ですか。あてはまるものを、それぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。



「地域社会への参画、発展のための取り組み」を推進する上での必要度について、「必要」と「やや必要」を合わせて《必要である》、「あまり必要ではない」と「必要ではない」を合わせて《必要ではない》とし、それぞれ上位3項目を整理すると、次のようになっている。

《必要である》

- ① ウ. 官公庁・公的機関、経済団体等からの情報提供（取り組み方やそのヒント等） 71.8%
- ② イ. 様々な取り組みに対する補助金 68.0%
- ③ ア. 様々な取り組みを行うと利用できる減税措置 66.0%

《必要ではない》

- | | |
|--|-------|
| ① エ. 官公庁・公的機関、経済団体等による表彰制度と表彰を通じた企業のPR | 51.3% |
| ② カ. 販売先から価格面等、取引上の優遇を受けられること | 46.1% |
| ③ キ. 「企業の社会的責任（CSR）」についての「第三者認証」 | 44.9% |

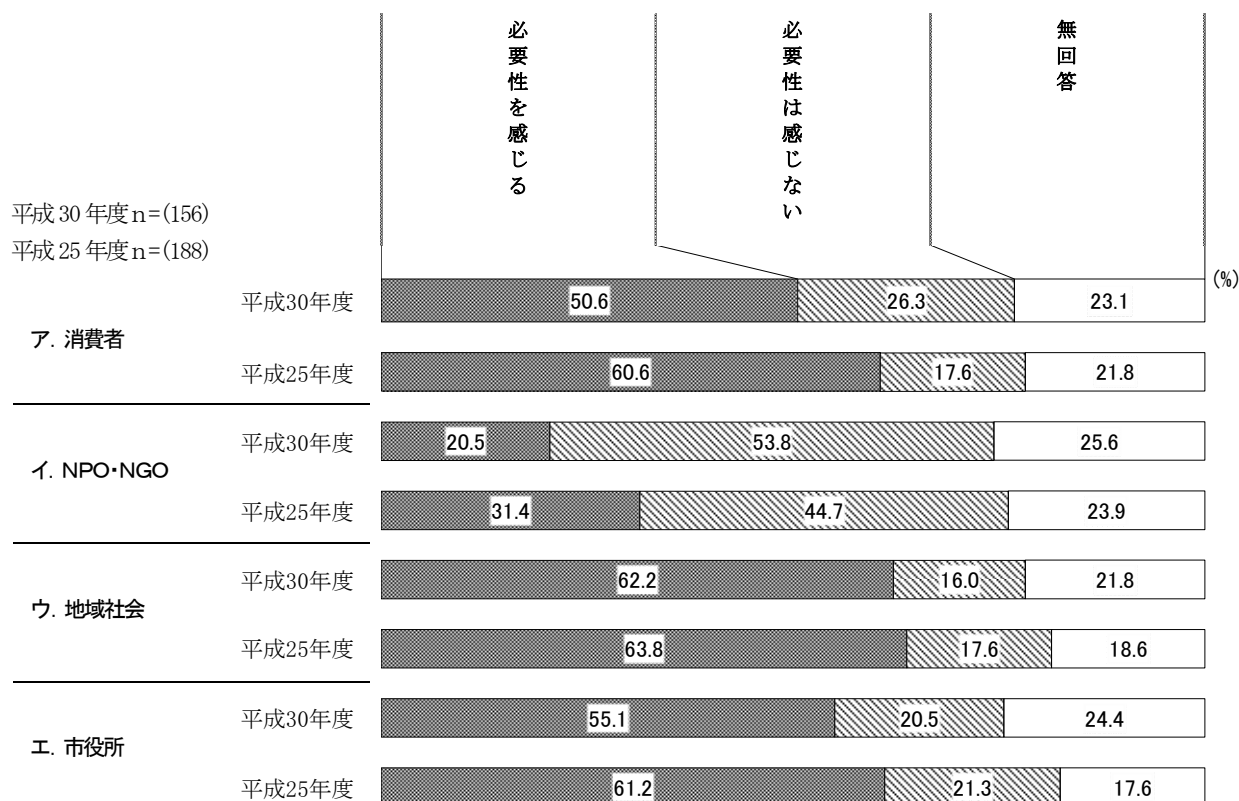
平成25年度と比較すると、《必要である》は、“ア. 様々な取り組みを行うと利用できる減税措置”が5.3ポイント、“カ. 販売先から価格面等、取引上の優遇を受けられること”が3.1ポイント増加しているが、それ以外は減少し、《必要ではない》が増加している。

《必要ではない》で増加幅が大きいのは、“オ. 積極的に取り組んでいる企業をメディアで紹介・PRすること”の8.8ポイント、“ウ. 官公庁・公的機関、経済団体等からの情報提供（取り組み方やそのヒント等）”の7.2ポイント、“エ. 官公庁・公的機関、経済団体等による表彰制度と表彰を通じた企業のPR”の6.6ポイント増加などがある。

(6) 関係者との連携・協働の必要性和状況

問22. 貴事業者の事業やCSRにおいて、次の関係者との連携・協働の状況はいかがですか。あてはまるものを、それぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。

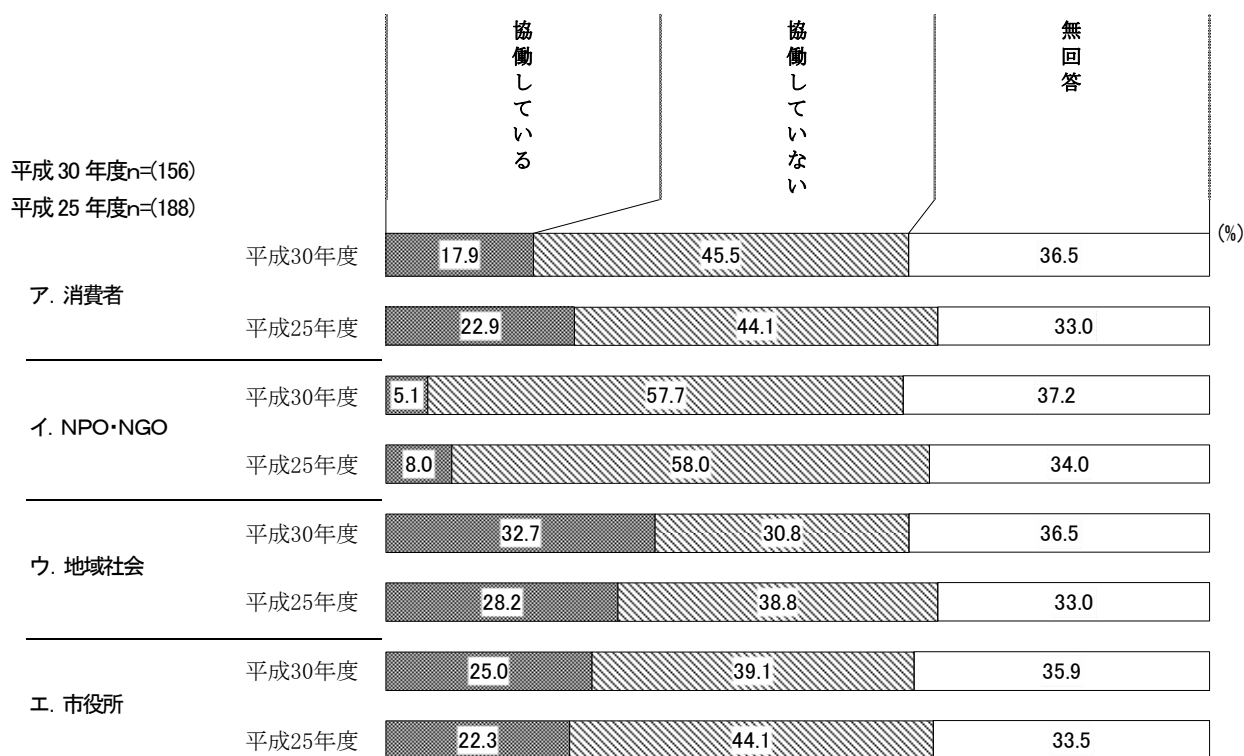
【連携・協働の必要性】



連携・協働の「必要性を感じる」は、“ウ. 地域社会”が62.2%で最も高く、次いで“エ. 市役所”が55.1%、“ア. 消費者”が50.6%となっている。

平成25年度と比較すると、いずれも「必要性を感じる」が減少しており、特に、“イ. NPO・NGO”が10.9ポイント、“ア. 消費者”が10.0ポイント減少している。

【連携・協働の状況】

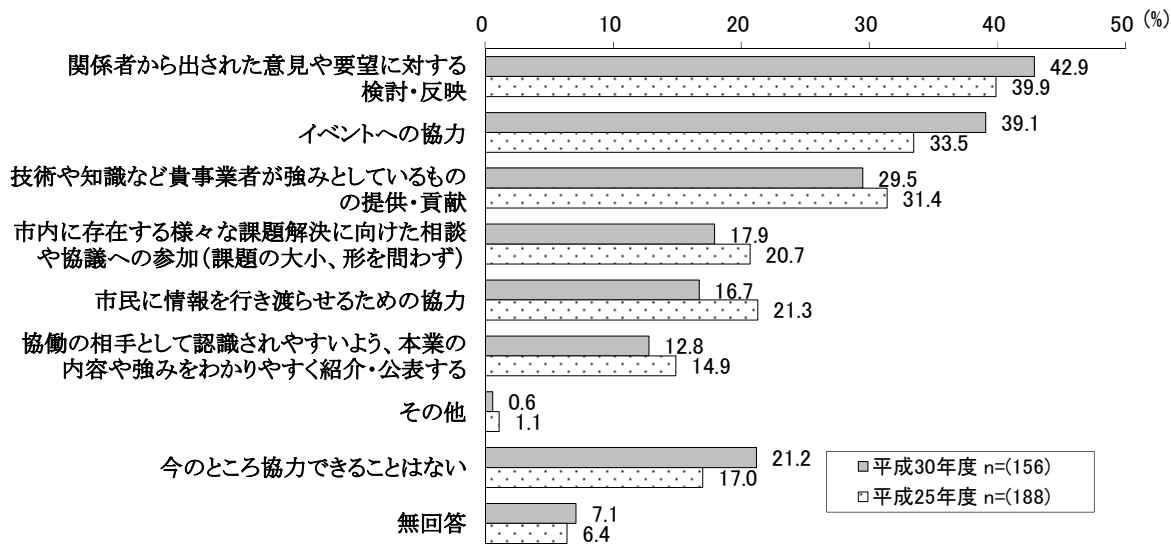


「協働している」は、「ウ. 地域社会」が32.7%で最も高く、次いで「エ. 市役所」が25.0%でとなっており、いずれも「協働していない」の方が高い。

平成25年度と比較すると、「協働している」は、「ウ. 地域社会」が4.5ポイント増加し、「ア. 消費者」が5.0ポイント減少している。

(7) 事業者以外の関係者が、健康なまちづくりに向けた取組みを希望した場合にできること

問23. 貴事業者以外の関係者が、健康なまちづくりに向けた取組みを協働して行いたいと希望した場合、貴事業者ではどのようなことができますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

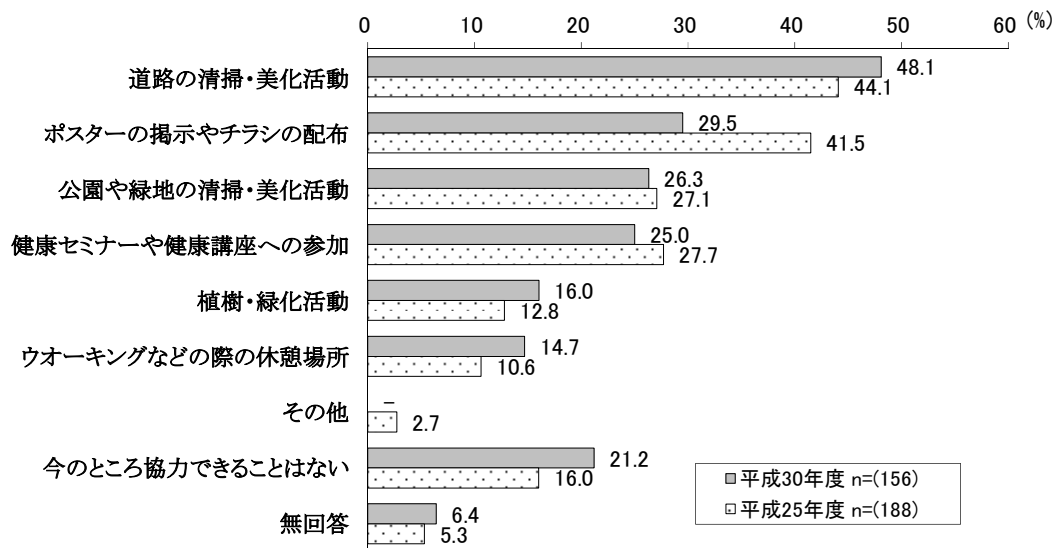


事業者以外の関係者が、健康なまちづくりに向けた取組みを希望した場合にできることは、「関係者から出された意見や要望に対する検討・反映」が42.9%で最も高く、次いで「イベントへの協力」が39.1%、「技術や知識など貴事業者が強みとしているものの提供・貢献」が29.5%となっている。

平成25年度と比較すると、「イベントへの協力」が5.6ポイント、「関係者から出された意見や要望に対する検討・反映」が3.0ポイント増加しているが、「今のところ協力できることはない」も4.2ポイント増加している。一方、「市民に情報を行き渡らせるための協力」は4.6ポイント減少している。

(8) 地域や市が実施する健康づくりのイベントで、貴事業者が協力できるもの

問24. 地域や市が実施する健康づくりのイベントで、貴事業者が協力できるものとして、どのようなものがありますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。



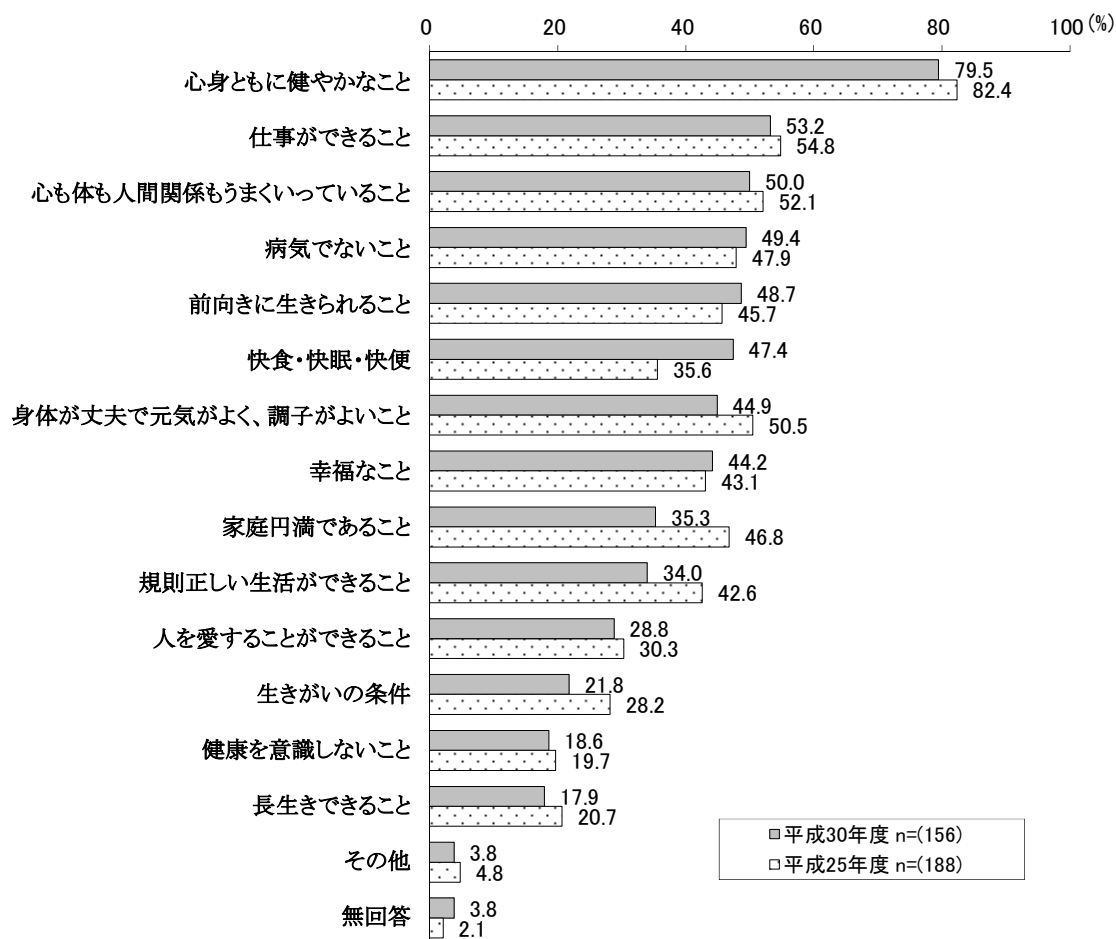
地域や市が実施する健康づくりのイベントで、貴事業者が協力できるものは、「道路の清掃・美化活動」が48.1%で最も高くなっている。次いで「ポスターの掲示やチラシの配布」が29.5%、「公園や緑地の清掃・美化活動」が26.3%、「健康セミナーや健康講座への参加」が25.0%となっている。

平成25年度と比較すると、「ポスターの掲示やチラシの配布」が最も大きく変化し、12.0ポイント減少している。また、「今のところ協力できることはない」が5.2ポイント増加している。

7 健康づくりにつながる社会環境の整備

(1) 「健康」についての考え方

問25. あなたは「健康とは何か」と聞かれたら、どのように答えますか。あなたの考えにあうものを、全て選んで番号に○をつけてください。

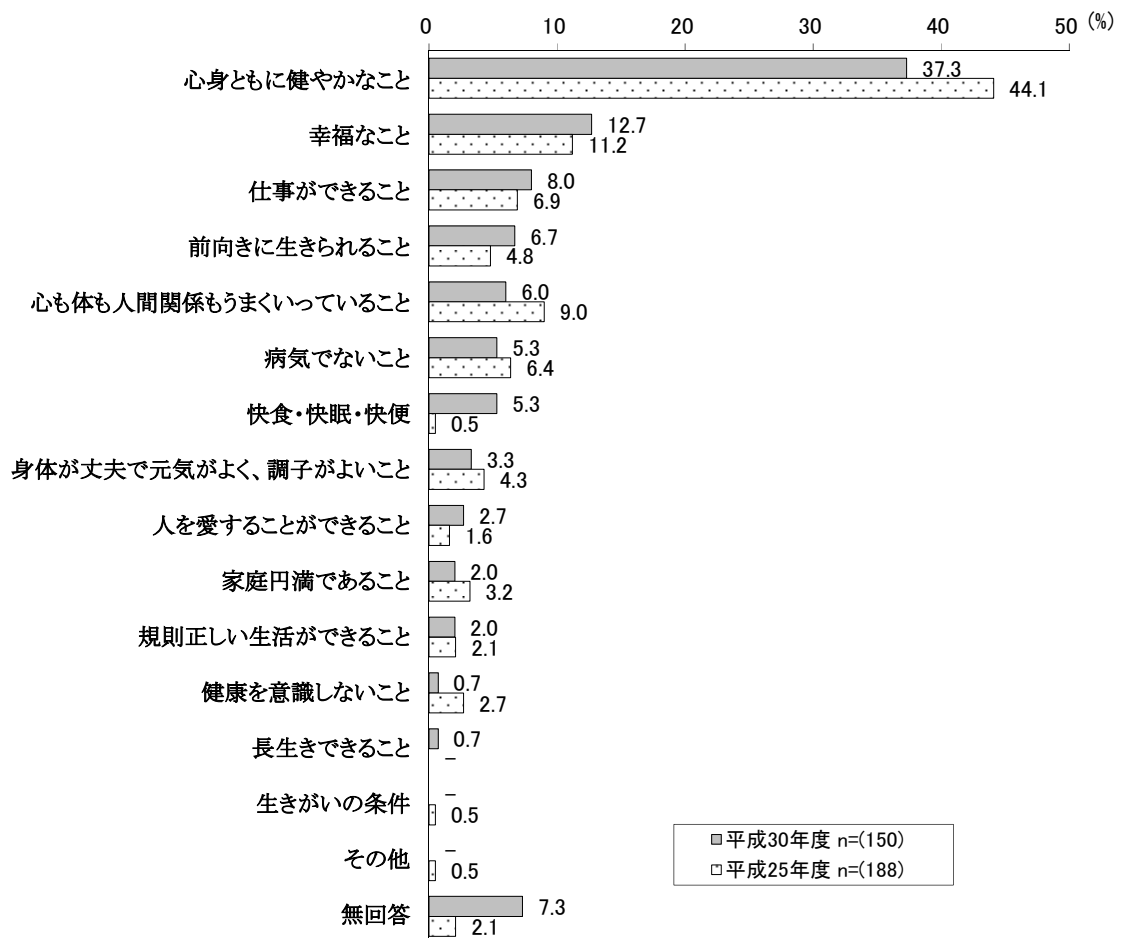


「健康」についての考え方は、「心身ともに健やかなこと」が 79.5%で最も高く、次いで「仕事ができること」が 53.2%、「心も体も人間関係もうまくいっていること」が 50.0%となっている。

平成 25 年度と比較すると、変化が大きいのは、「快食・快眠・快便」が 11.8 ポイント増加し、「家庭円満であること」が 11.5 ポイント、「規則正しい生活ができること」が 8.6 ポイント減少している。

(1-1) 「健康」について最も近い考え方

問25-1. 問25で番号を複数選んだ方におききます。その中で、あなたの考えに最も近い番号を1つ選んで記入してください。



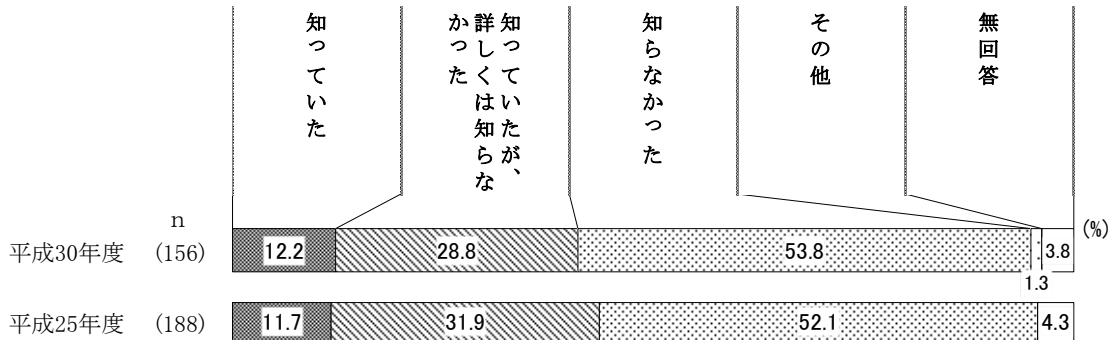
問25で「健康」についての考え方を複数選んだ方に、考えに最も近いものを1つ選んでもらったところ、「心身ともに健やかなこと」が37.3%で最も高くなっている。

平成25年度と比較すると、「快食・快眠・快便」が4.8ポイント増加し、「心身ともに健やかなこと」が6.8ポイント、「心も体も人間関係もうまくいっていること」が3.0ポイント減少している。

(2) 様々な分野の施策が健康なまちづくりにも影響していることの認知度

問26. これからの健康なまちづくりには、保健や福祉など健康に直接関係する分野の他にも、様々な分野の施策が健康なまちづくりにも影響しているという視点が重要であるとされています。
 このような考え方をご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

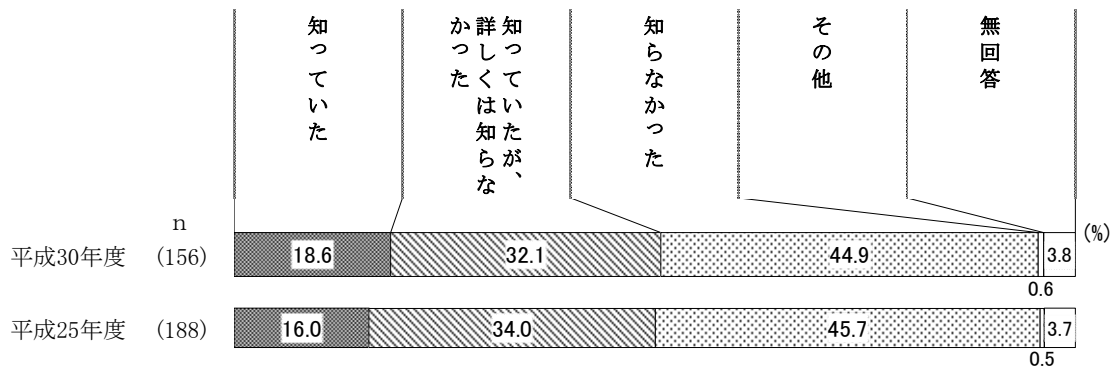
例えば、都市整備分野が歩きやすい道路の整備をすることで、市民の外出する機会が増加し、適度な運動につながることや、雇用が安定することで、精神・身体的健康が高まることなど。



様々な分野の施策が健康なまちづくりにも影響していることの認知度は、「知っていた」が12.2%、「知っていたが、詳しくは知らなかった」が28.8%で、「知らなかった」が53.8%と高くなっている。
 平成25年度と比較すると、特に大きな違いはみられない。

(3) 「健康格差」の認知度

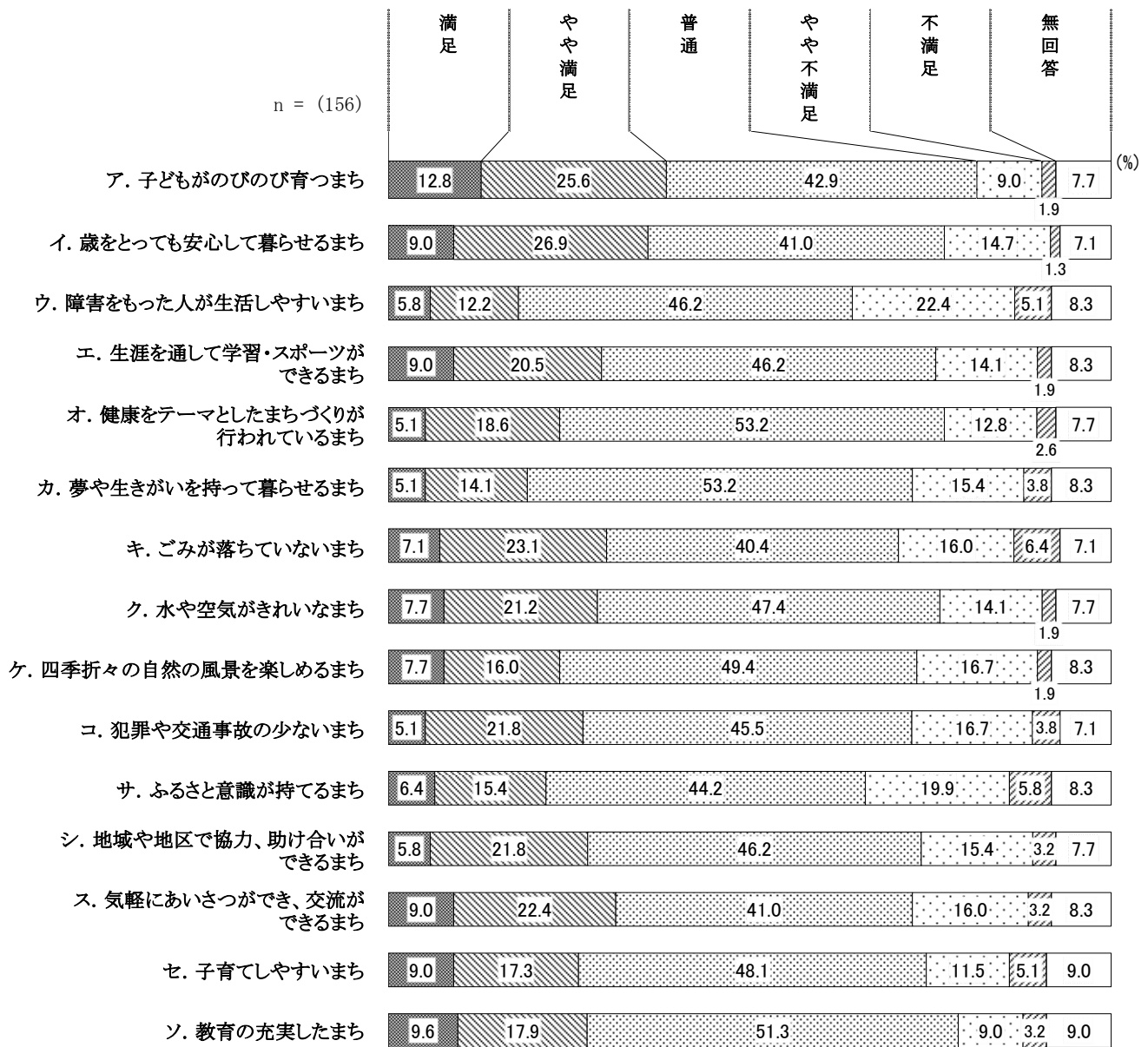
問27. 所得や雇用形態、居住形態などを原因として、個人の健康状態に差が生じること、いわゆる「健康格差」という言葉をご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



「健康格差」の認知度は、「知っていた」が18.6%、「知っていたが、詳しくは知らなかった」が32.1%で、「知らなかった」が44.9%と高くなっている。
 平成25年度と比較すると、特に大きな違いはみられない。

(4) 地域周辺に関する現状の満足度

問28. 貴事業者の地域周辺に関する現状の満足度について、お考えに近いものを、それぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。



第2章 調査結果の詳細

周辺地域に関する現状の満足度は、「普通」が高い項目が多いものの、「満足」と「やや満足」を合わせて《満足》、「やや不満足」と「不満足」を合わせて《不満足》とし、それぞれ上位5項目を整理すると、次のようになっている。

なお、“キ. ごみが落ちていないまち”と“ス. 気軽にあいさつができ、交流ができるまち”の満足度は、他の項目に比べて意見が分かれている傾向がみられる。

《満足》

① ア. 子どもがのびのび育つまち	38.4%
② イ. 歳をとっても安心して暮らせるまち	35.9%
③ ス. 気軽にあいさつができ、交流ができるまち	31.4%
④ キ. ごみが落ちていないまち	30.2%
⑤ エ. 生涯を通して学習・スポーツができるまち	29.5%

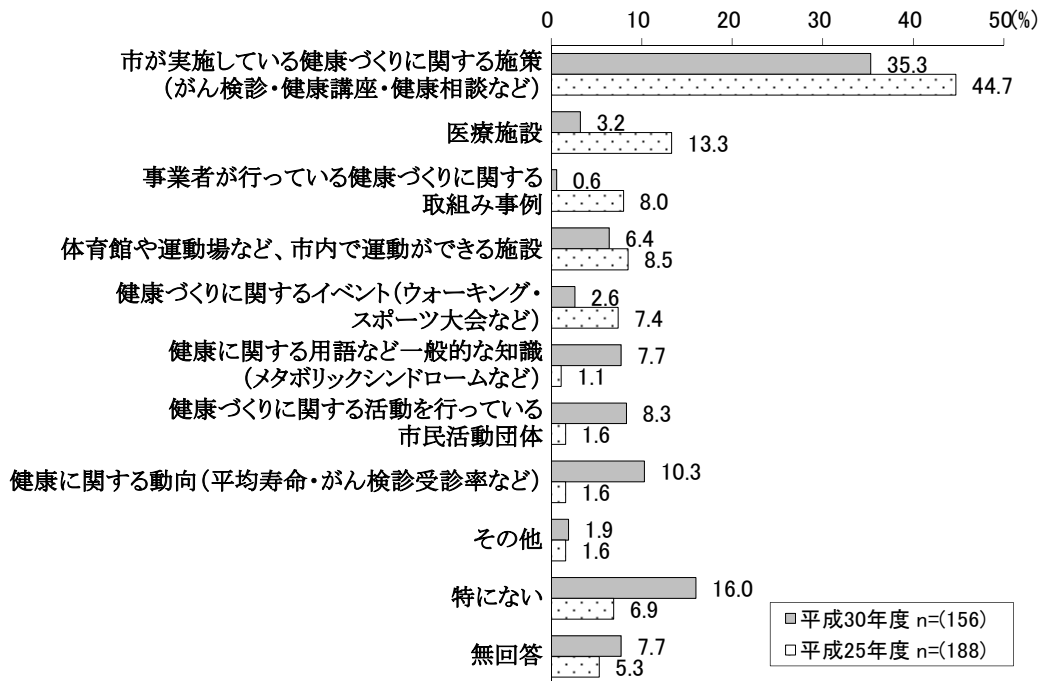
《不満足》

① ウ. 障害をもった人が生活しやすいまち	27.5%
② サ. ふるさと意識が持てるまち	25.7%
③ キ. ごみが落ちていないまち	22.4%
④ コ. 犯罪や交通事故の少ないまち	20.5%
⑤ ス. 気軽にあいさつができ、交流ができるまち	19.2%

8 これからの市の取組

(1) 従業員の健康づくりの推進に関して知りたい情報

問29. 従業員の健康づくりの推進に関する情報として、どのような情報をお知りになりたいですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



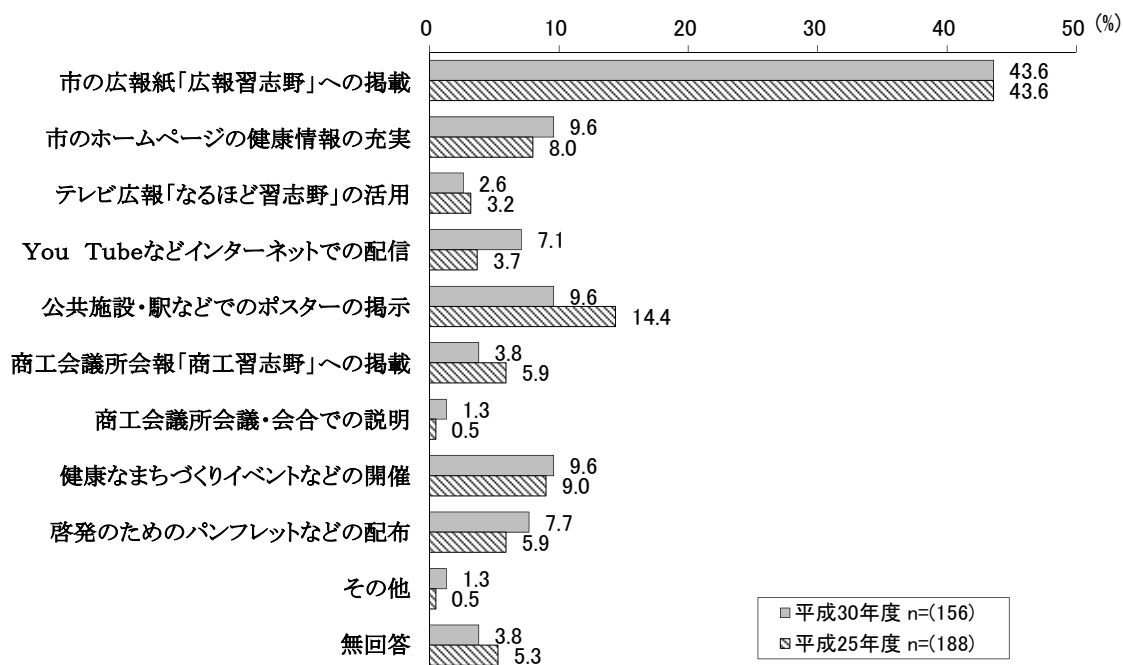
従業員の健康づくりの推進に関して知りたい情報は、「市が実施している健康づくりに関する施策 (がん検診・健康講座・健康相談など)」が35.3%で最も高くなっている。一方、「特にない」が16.0%みられる。

平成25年度と比較すると、「健康に関する動向 (平均寿命・がん検診受診率など)」が8.7ポイント増加しているが、「特にない」も9.1ポイント増加している。また、「医療施設」が10.1ポイント、「市が実施している健康づくりに関する施策 (がん検診・健康講座・健康相談など)」が9.4ポイント減少している。

(2) 健康なまちづくりに関するPR・啓発について、伝わりやすい情報提供の方法

問30. 健康なまちづくりに関するPR・啓発について、どのような情報提供の方法であれば、伝わりやすいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

(単数回答)

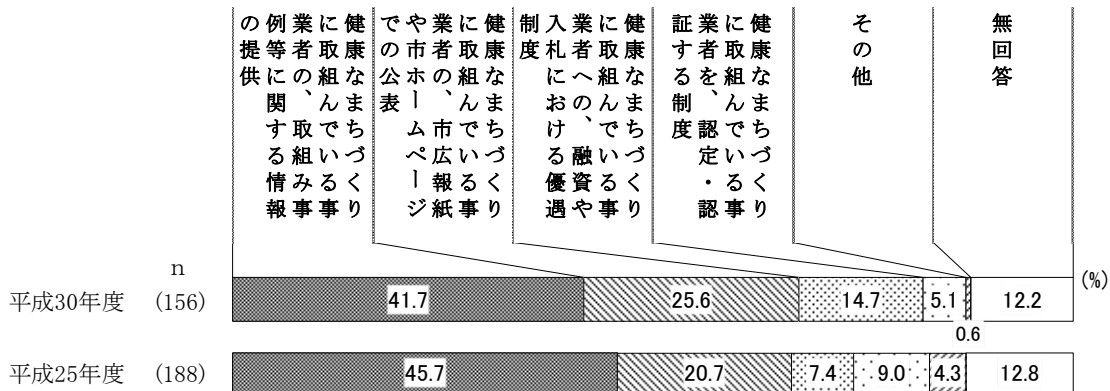


健康なまちづくりに関するPR・啓発について、伝わりやすい情報提供の方法は、「市の広報紙「広報習志野」への掲載」が43.6%で最も高くなっている。

平成25年度と比較すると、「You Tubeなどインターネットでの配信」が3.4ポイント増加し、「公共施設・駅などでのポスターの掲示」が4.8ポイント減少している。

(3) 健康なまちづくりへ取り組みやすくなる市の支援

問31. より多くの事業者に健康なまちづくりに関する取組みを推進していただくため、貴事業者では、どのような市の支援があれば取り組みやすいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



健康なまちづくりへ取り組みやすくなる市の支援は、「健康なまちづくりに取り組んでいる事業者の、取組み事例等に関する情報の提供」が41.7%で最も高く、次いで「健康なまちづくりに取り組んでいる事業者の、市広報紙や市ホームページでの公表」が25.6%となっている。

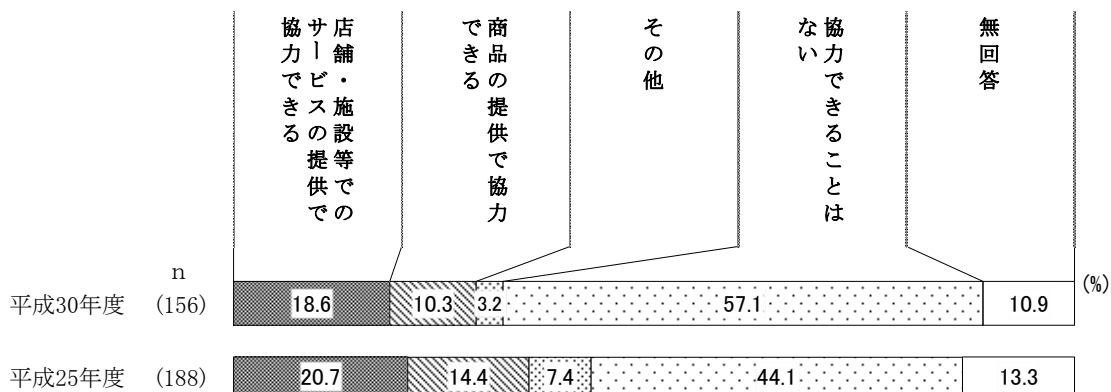
平成25年度と比較すると、「健康なまちづくりに取り組んでいる事業者への、融資や入札における優遇制度」が7.3ポイント、「健康なまちづくりに取り組んでいる事業者の、市広報紙や市ホームページでの公表」が4.9ポイント増加している。一方、「健康なまちづくりに取り組んでいる事業者の、取組み事例等に関する情報の提供」が4.0ポイント、「健康なまちづくりに取り組んでいる事業者を、認定・認証する制度」が3.9ポイント減少している。

(4) 健康づくり推進に向けたポイント制度導入の協力意識

問32. 健康づくりを推進するための取組みとして、健康づくりに取組んだ市民にポイントを付与し、ポイントに応じて店舗や施設でサービスを受けられたり、健康に関する商品と引き換えたりすることができる制度を実施している自治体があります。

市がこの制度を実施した場合、貴事業者に協力できることはありますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

健康づくりの取組み例: 日々の運動や食事などの生活改善、健康講座やスポーツ教室への参加



健康づくり推進に向けたポイント制度導入の協力意識は、「店舗・施設等でのサービスの提供で協力できる」が18.6%、「商品の提供で協力できる」が10.3%となっているが、「協力できることはない」が57.1%と最も高い。

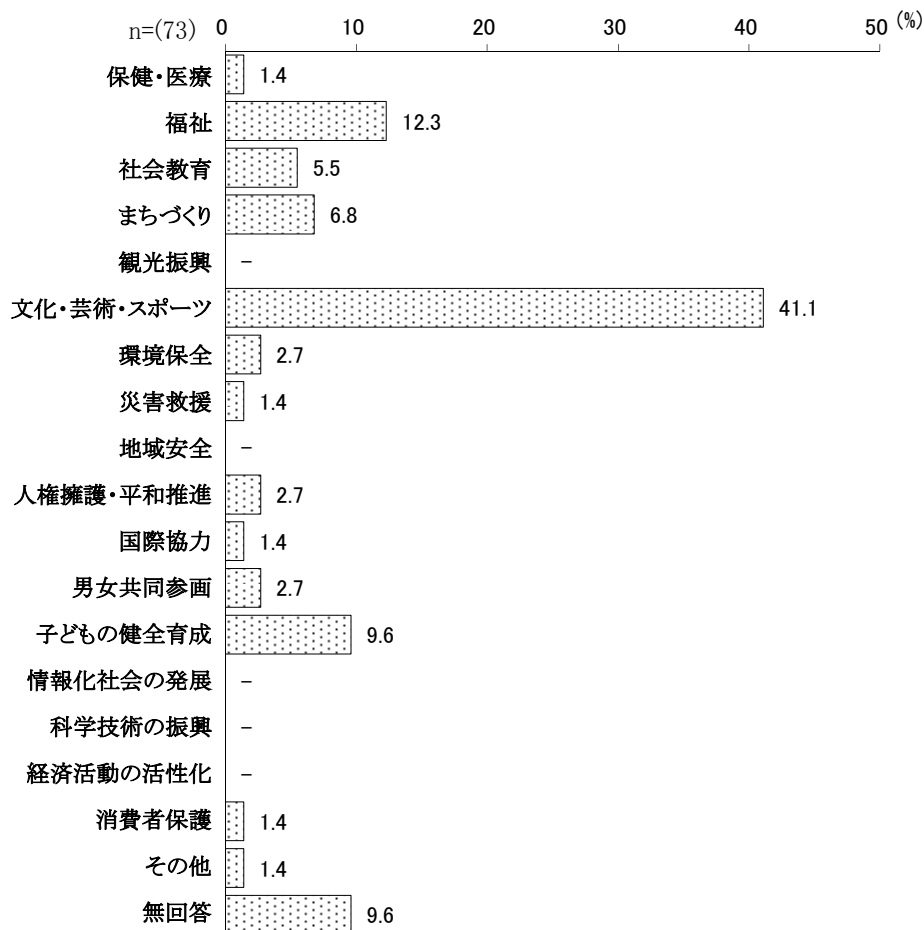
平成25年度と比較すると、協力できる項目は減少し、「協力できることはない」が13.0ポイント増加している。

市民活動団体

1 団体について

(1) 主たる活動分野

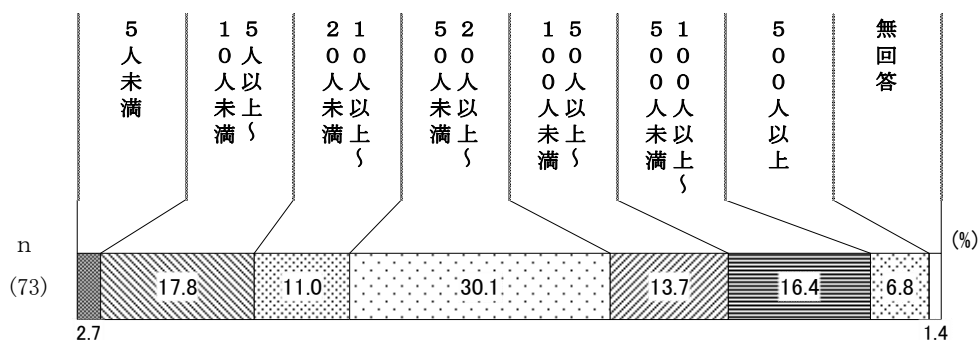
問1. 貴団体の主たる活動分野について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



主たる活動分野は、「文化・芸術・スポーツ」が41.1%で最も高く、次いで「福祉」が12.3%、「子どもの健全育成」が9.6%となっている。

(2) 会員数

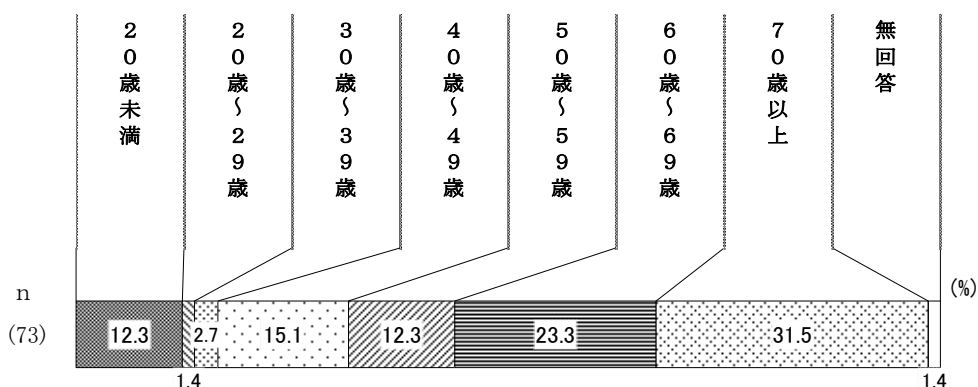
問2. 貴団体に所属している会員の人数について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



会員数は、「20人以上~50人未満」が30.1%で最も高く、次いで「5人以上~10人未満」が17.8%、「100人以上~500人未満」が16.4%となっている。

(3) 最も多い年代

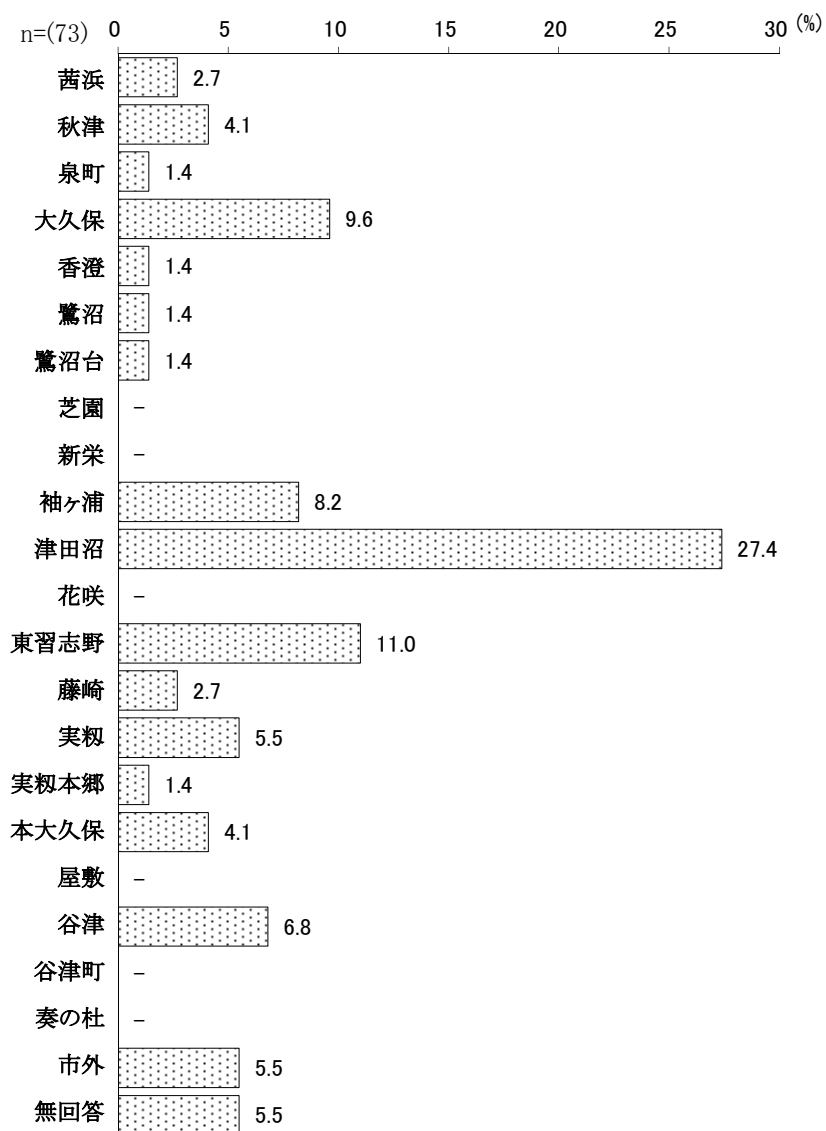
問3. 貴団体に所属している会員で一番多い年齢は、いくつ位の方ですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



最も多い年代は、「70歳以上」が31.5%で最も高く、次いで「60歳~69歳」が23.3%となっている。

(4) 活動拠点

問4. 貴団体の活動拠点について、主たる地域を1つ選んで番号に○をつけてください。

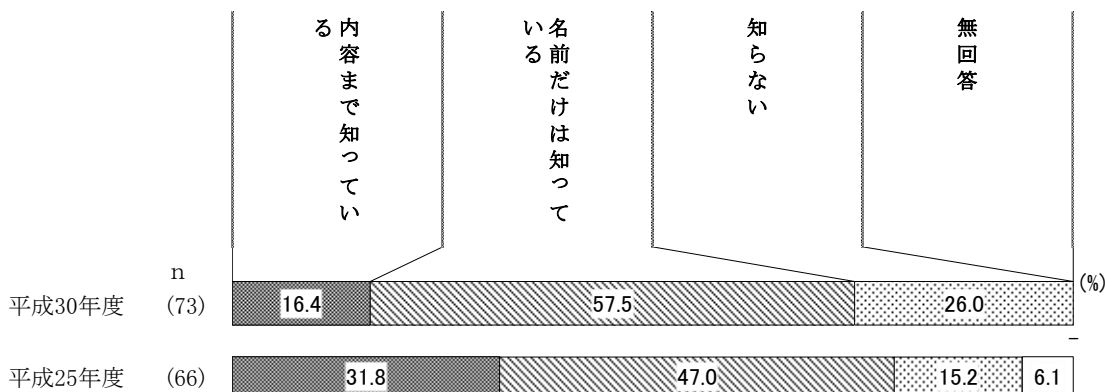


活動拠点は、「津田沼」が27.4%で最も高く、次いで「東習志野」が11.0%、「大久保」が9.6%、「袖ヶ浦」が8.2%となっている。

2 「健康なまち習志野」計画、(通称)健康なまちづくり条例等の認知度

(1) 「健康なまち習志野」の認知度

問5. 健康づくりの総合計画「健康なまち習志野」をご存じでしたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

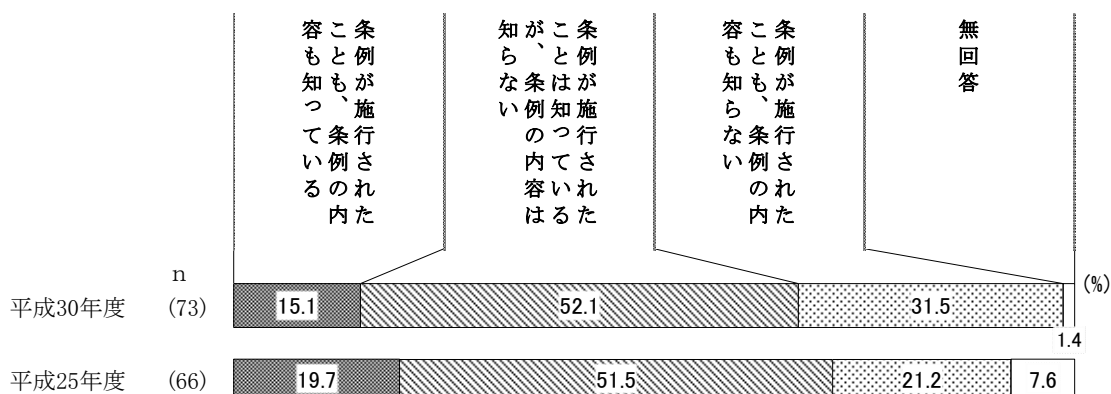


「健康なまち習志野」の認知度は、「内容まで知っている」が16.4%で、「名前だけは知っている」が57.5%と最も高くなっている。一方、「知らない」が26.0%である。

平成25年度と比較すると、「内容まで知っている」が15.4ポイント減少し、「名前だけは知っている」が10.5ポイント増加している。さらに、「知らない」が10.8ポイント増加した。

(2) (通称)健康なまちづくり条例の認知度

問6. 市では、平成25年4月1日から(通称)健康なまちづくり条例を施行しましたが、ご存知でしたか。該当するものを、1つ選んで番号に○をつけてください。



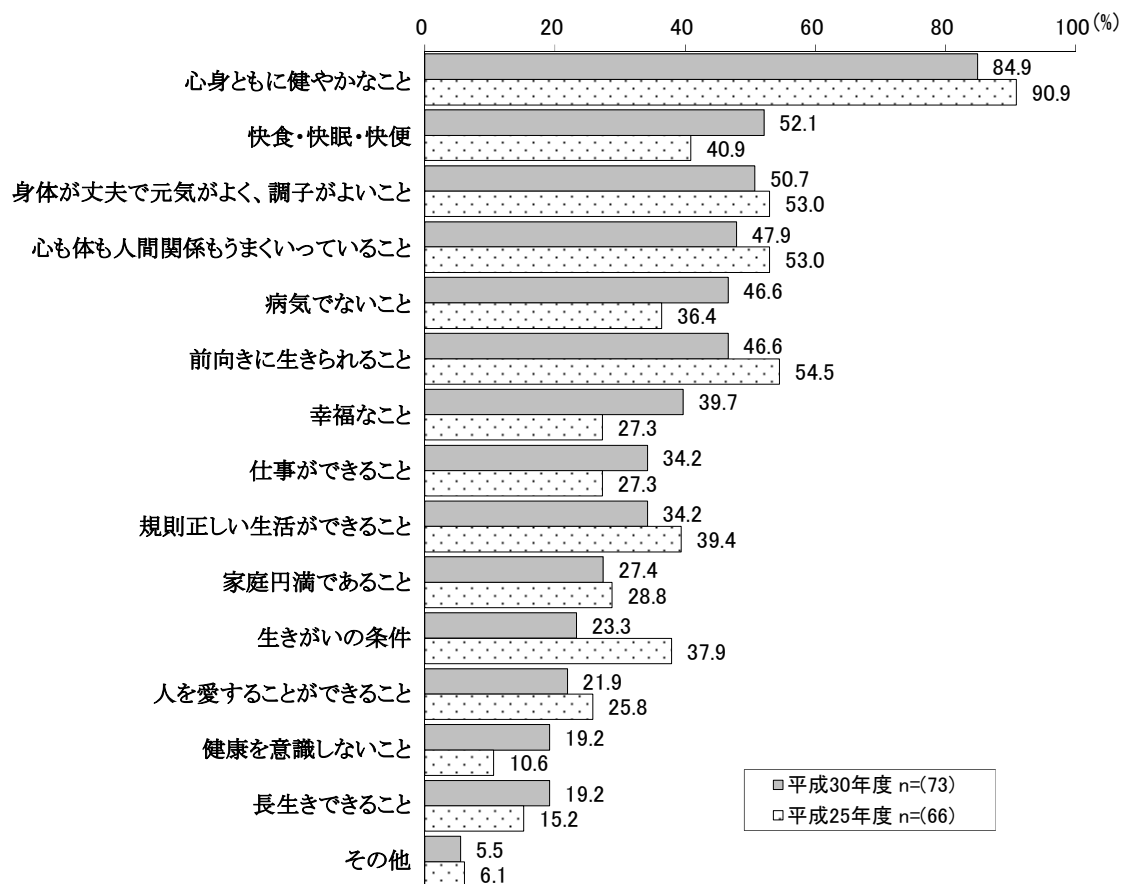
(通称)健康なまちづくり条例の認知度は、「条例が施行されたことも、条例の内容も知っている」が15.1%で、「条例が施行されたことは知っているが、条例の内容は知らない」が52.1%と最も高くなっている。一方、「条例が施行されたことも、条例の内容も知らない」が31.5%である。

平成25年度と比較すると、「条例が施行されたことも、条例の内容も知っている」が4.6ポイント減少し、「条例が施行されたことも、条例の内容も知らない」が10.3ポイント増加している。

3 健康づくりにつながる社会環境の整備

(1) 「健康」についての考え方

問7. あなたは「健康とは何か」と聞かれたら、どのように答えますか。あなたの考えにあうものを、全て選んで番号に○をつけてください。

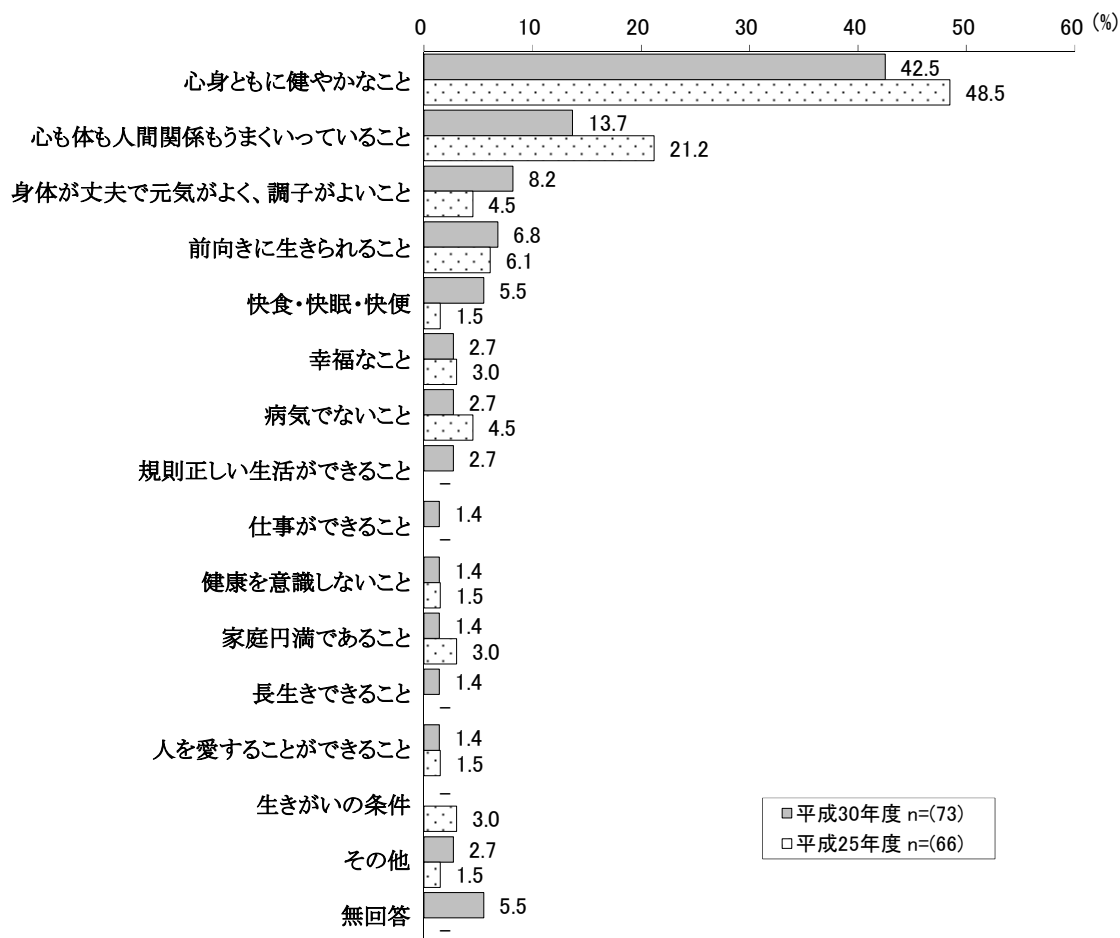


「健康」についての考え方は、「心身ともに健やかなこと」が 84.9%で最も高く、次いで「快食・快眠・快便」が 52.1%、「身体が丈夫で元気がよく、調子がよいこと」が 50.7%となっている。

平成 25 年度と比較すると、増加幅が大きいものには、「幸福なこと」の 12.4 ポイント、「快食・快眠・快便」の 11.2 ポイント、「病気でないこと」の 10.2 ポイント増加などがある。一方、減少幅が最も大きいのは、「生きがいの条件」で 14.6 ポイント減少している。

(2)「健康」について最も近い考え方

問7-1. 問7で番号を複数選んだ方におききます。その中で、あなたの考えに最も近い番号を1つ選んで記入してください。



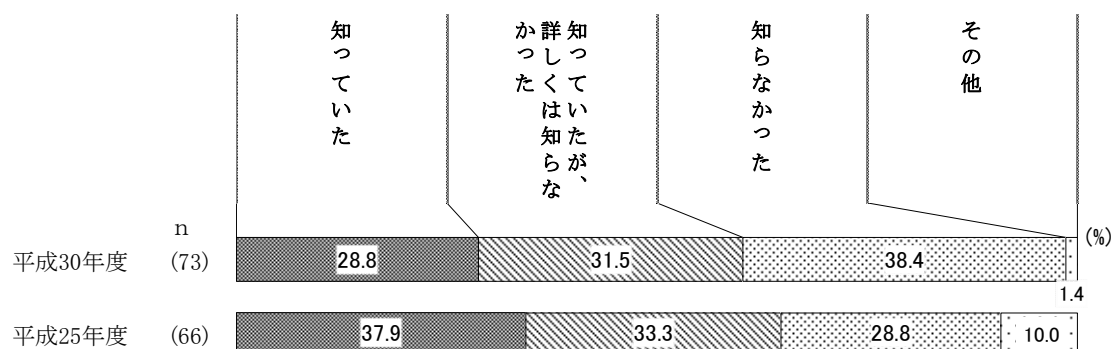
問7で「健康」についての考え方を複数選んだ方に、考えに最も近いものを1つ選んでもらったところ、「心身ともに健やかなこと」が42.5%で最も高くなっている。

平成25年度と比較すると、変化が大きいのは、「心も体も人間関係もうまくいっていること」が7.5ポイント、「心身ともに健やかなこと」が6.0ポイント減少している。

(3) 様々な分野の施策が健康なまちづくりにも影響していることの認知度

問8. これからの健康なまちづくりには、保健や福祉など健康に直接関係する分野の他にも、様々な分野の施策が健康なまちづくりにも影響しているという視点が重要であるとされています。あなたは、このような考え方をご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

例えば、都市整備分野が歩きやすい道路の整備をすることで、市民の外出する機会が増加し、適度な運動につながることや、雇用が安定することで、精神・身体的健康が高まることなど。

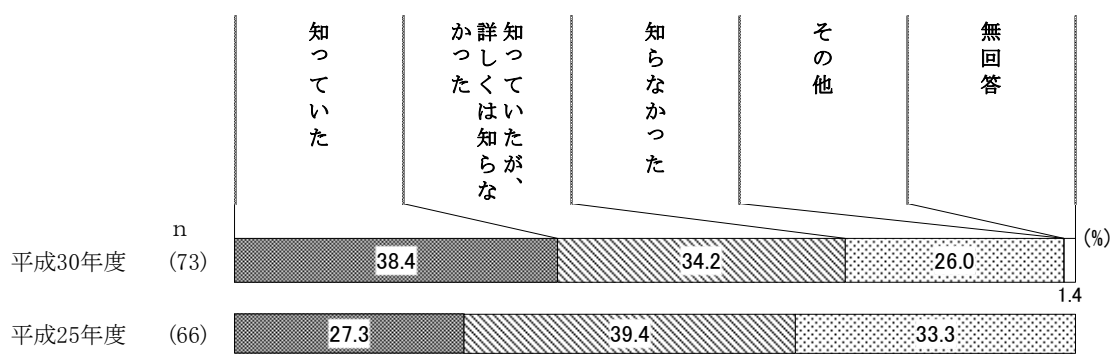


様々な分野の施策が健康なまちづくりにも影響していることの認知度は、「知っていた」が28.8%、「知っていたが、詳しくは知らなかった」が31.5%で、「知らなかった」が38.4%と高くなっている。

平成25年度と比較すると、「知っていた」が9.1ポイント減少し、「知らなかった」が9.6ポイント増加している。

(4) 「健康格差」の認知度

問9. 所得や雇用形態、居住形態などを原因として、個人の健康状態に差が生じること、いわゆる「健康格差」という言葉をご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



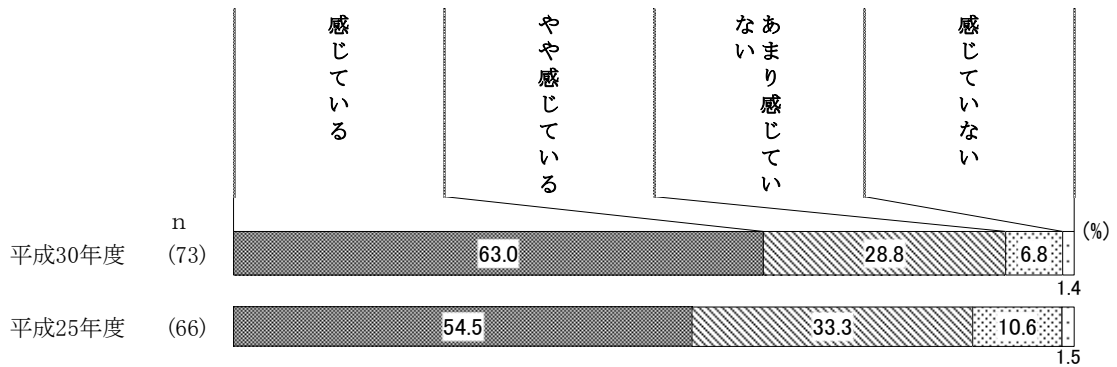
「健康格差」の認知度は、「知っていた」が38.4%で最も高く、次いで「知っていたが、詳しくは知らなかった」が34.2%となっている。一方、「知らなかった」が26.0%である。

平成25年度と比較すると、「知っていた」が11.1ポイント増加し、「知っていたが、詳しくは知らなかった」が5.2ポイント、「知らなかった」が7.3ポイント減少している。

(5) 団体活動と自分の健康づくりとのつながり

問10. 市民活動団体で活動することは、自己効力感を高めたり、人と人とのつながりが生まれ、良好な人間関係の形成へと発展し、健康づくりにも効果的であることが期待されます。市民活動団体で活動していて、ご自身の健康づくりにつながっていると感じられていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

自己効力感とは、自己に対する信頼感や有能感のことです。

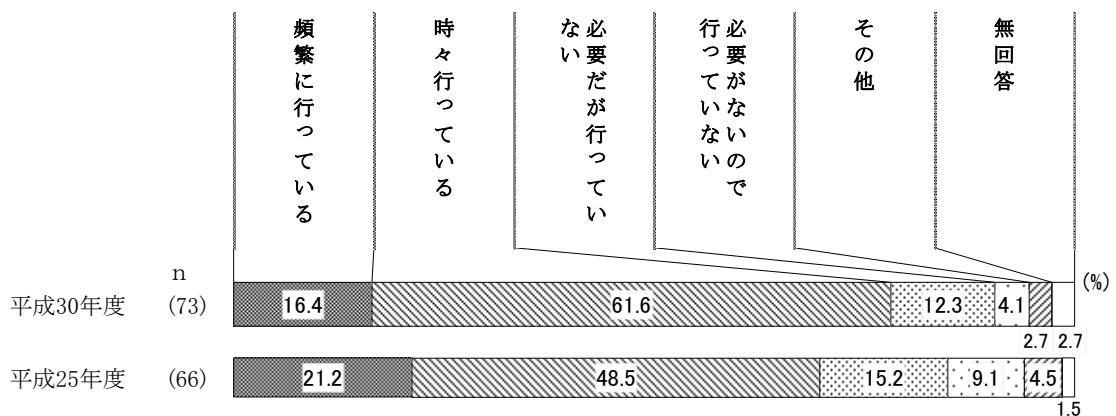


団体活動と自分の健康づくりとのつながりを、「感じている」が63.0%で最も高く、次いで「やや感じている」が28.8%となっており、これらを合わせると、「感じている」は91.8%となっている。一方、「あまり感じていない」(6.8%)と「感じていない」(1.4%)を合わせた《感じていない》は8.2%である。

平成25年度と比較すると、「感じている」が4.0ポイント増加し、「感じていない」が3.9ポイント減少している。

(6) 団体参加者増加を目指した声掛けなどの頻度

問11. 貴団体への参加者の増加を目指し、地域の方々に参加の声掛けなどを行ったりしていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

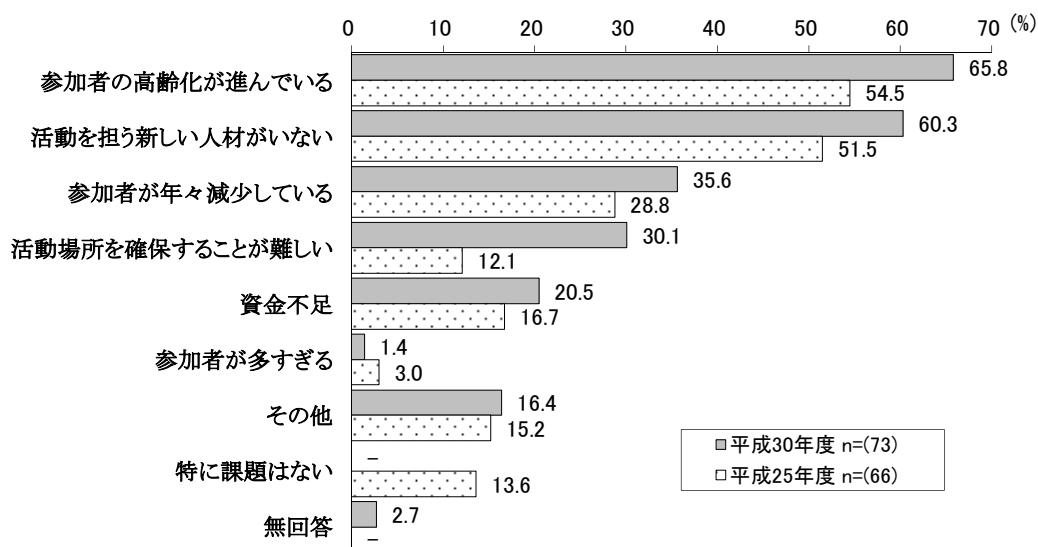


団体参加者増加を目指した声掛けなどを、「頻繁に行っている」が16.4%で、「時々行っている」が61.6%と最も高くなっている。これらを合わせると、「行っている」は78.0%となっている。また、「必要だが行っていない」が12.3%、「必要がないので行っていない」が4.1%である。

平成25年度と比較すると、「頻繁に行っている」が4.8ポイント減少したものの、「時々行っている」は13.1ポイント増加しており、「行っている」としてみると8.3ポイント増加している。また、「必要がないので行っていない」が5.0ポイント減少している。

(7) 活動を継続していく上での課題

問12. 貴団体の活動を継続していく上で、課題となっていることはどういったことですか。あてはまるものを3つ選んで番号に○をつけてください。

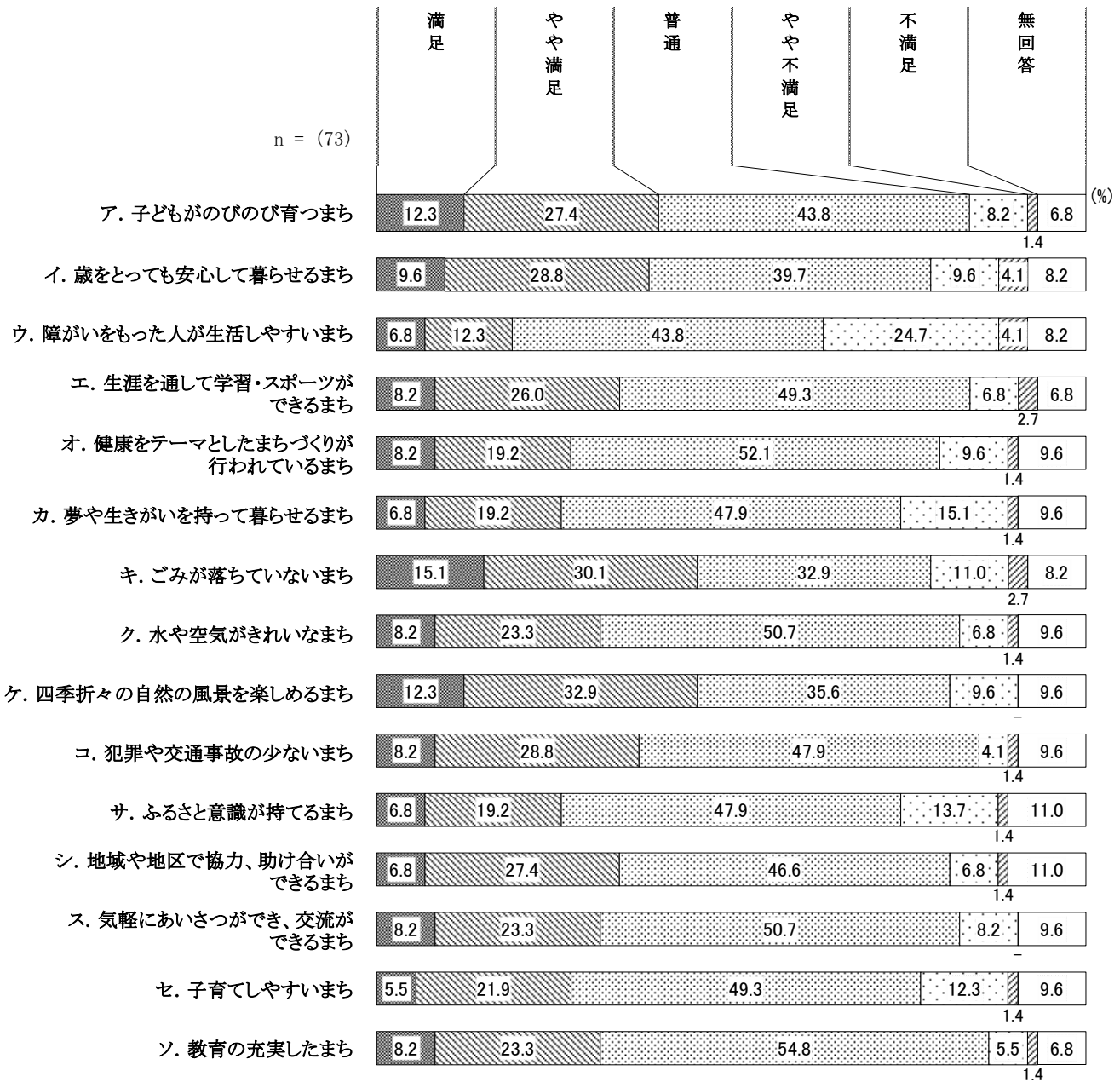


活動を継続していく上での課題は、「参加者の高齢化が進んでいる」が65.8%で最も高く、次いで「活動を担う新しい人材がない」が60.3%となっている。

平成25年度と比較すると、大半の項目で増加しており、特に、「活動場所を確保することが難しい」が18.0ポイント、「参加者の高齢化が進んでいる」が11.3ポイント増加している。

(8) 地域周辺に関する現状の満足度

問13. 問4. にご回答いただいた、貴団体の活動拠点がある主たる地域周辺に関する現状の満足度について、お考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。



周辺地域に関する現状の満足度は、「普通」が高い項目が多いものの、「満足」と「やや満足」を合わせて《満足》、「やや不満足」と「不満足」を合わせて《不満足》とし、それぞれ上位5項目を整理すると、次のようになっている。

《満足》

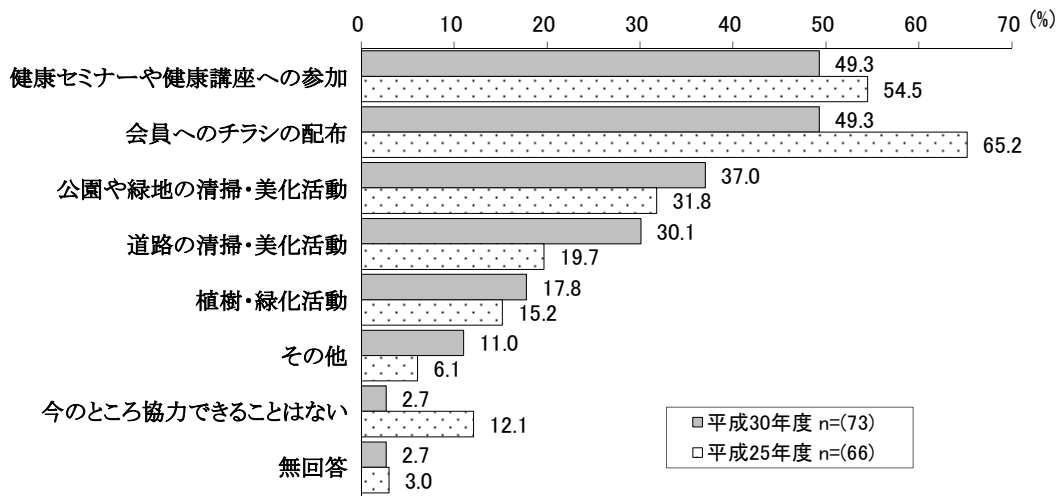
①	キ. ごみが落ちていないまち	45.2%
①	ケ. 四季折々の自然の風景を楽しめるまち	45.2%
③	ア. 子どもがのびのび育つまち	39.7%
④	イ. 歳をとっても安心して暮らせるまち	38.4%
⑤	コ. 犯罪や交通事故の少ないまち	37.0%

《不満足》

①	ウ. 障がいをもった人が生活しやすいまち	28.8%
②	カ. 夢や生きがいを持って暮らせるまち	16.5%
③	サ. ふるさと意識が持てるまち	15.1%
④	イ. 歳をとっても安心して暮らせるまち	13.7%
④	キ. ごみが落ちていないまち	13.7%
④	セ. 子育てしやすいまち	13.7%

(9) 地域や市が実施する健康なまちづくりのイベントで協力できるもの

問14. 地域や市が実施する健康なまちづくりのイベントで、貴団体が協力できるものとして、どのようなものがありますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

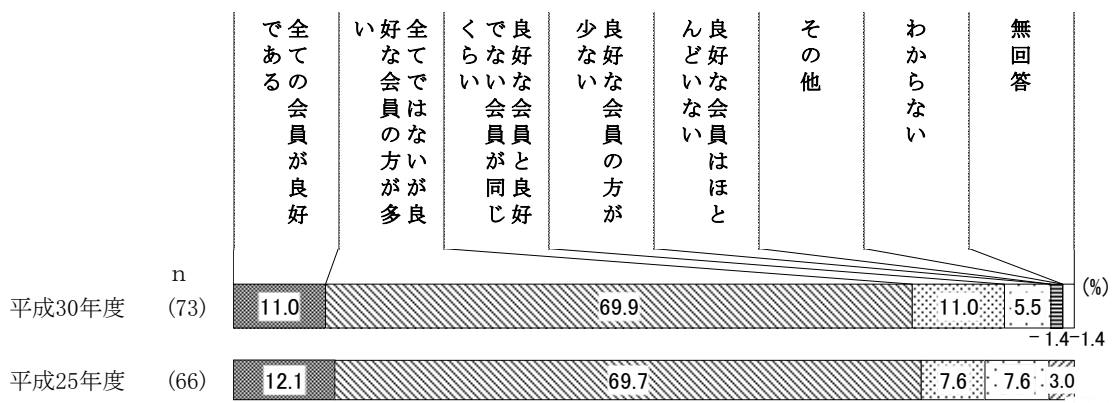


地域や市が実施する健康なまちづくりのイベントで協力できるものは、「健康セミナーや健康講座への参加」と「会員へのチラシの配布」が49.3%で並んで高く、次いで「公園や緑地の清掃・美化活動」が37.0%、「道路の清掃・美化活動」が30.1%となっている。

平成25年度と比較すると、「道路の清掃・美化活動」が10.4ポイント、「公園や緑地の清掃・美化活動」が5.2ポイント増加している。一方、「会員へのチラシの配布」の15.9ポイント、「健康セミナーや健康講座への参加」が5.2ポイント減少しているものの、「今のところ協力できることはない」も9.4ポイント減少している。

(10) 会員の健康状態

問15. 貴団体の会員の健康状態について、総じてどのように感じていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



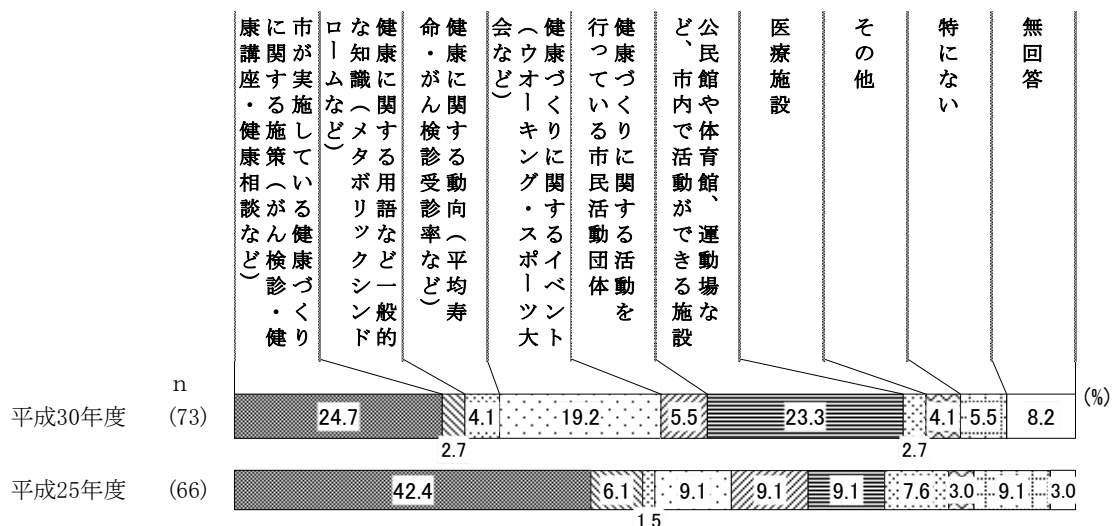
従業員のからだの健康状態は、「全てではないが良好な会員の方が多」が69.9%で最も高く、次いで「全ての会員が良好である」と「良好な会員と良好でない会員が同じくらい」が11.0%で並ぶ。

平成25年度と比較すると、「良好な会員と良好でない会員が同じくらい」が3.4ポイント増加し、「良好な会員はほとんどいない」が3.0ポイント減少している。

4 これから市の取組み

(1) 健康づくりの推進に関して知りたい情報

問16. 健康づくりの推進に関する情報として、どのような情報をお知りになりたいですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

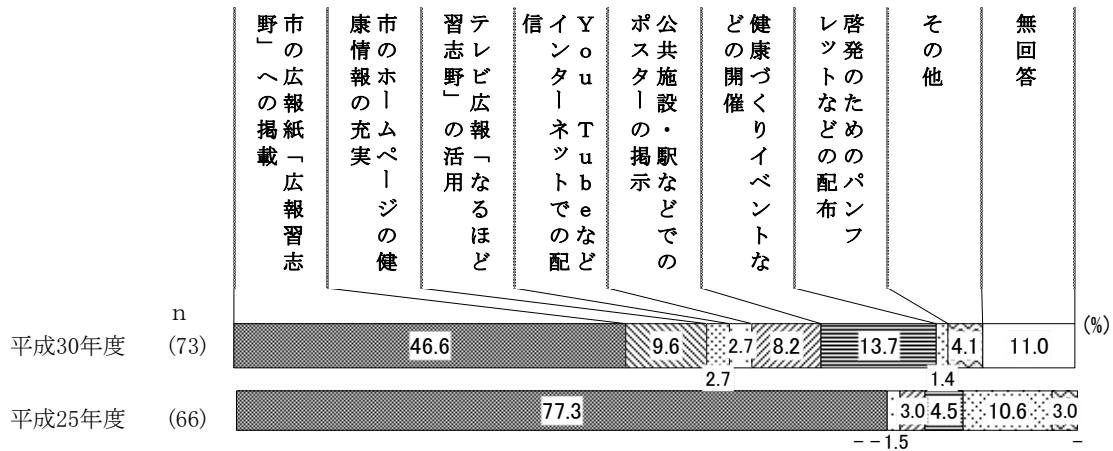


健康づくりの推進に関して知りたい情報は、「市が実施している健康づくりに関する施策（がん検診・健康講座・健康相談など）」が24.7%で最も高く、次いで「公民館や体育館、運動場など、市内で活動ができる施設」が23.3%、「健康づくりに関するイベント（ウォーキング・スポーツ大会など）」が19.2%となっている。

平成25年度と比較すると、増加幅が大きいものには、「公民館や体育館、運動場など、市内で活動ができる施設」の14.2ポイント、「健康づくりに関するイベント（ウォーキング・スポーツ大会など）」の10.1ポイント増加などがある。一方、減少幅が最も大きいのは、「市が実施している健康づくりに関する施策（がん検診・健康講座・健康相談など）」で17.7ポイント減少している。

(2) 健康づくりに関するPR・啓発について、伝わりやすい情報提供の方法

問17. 健康づくりに関するPR・啓発について、どのような情報提供の方法であれば、伝わりやすいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



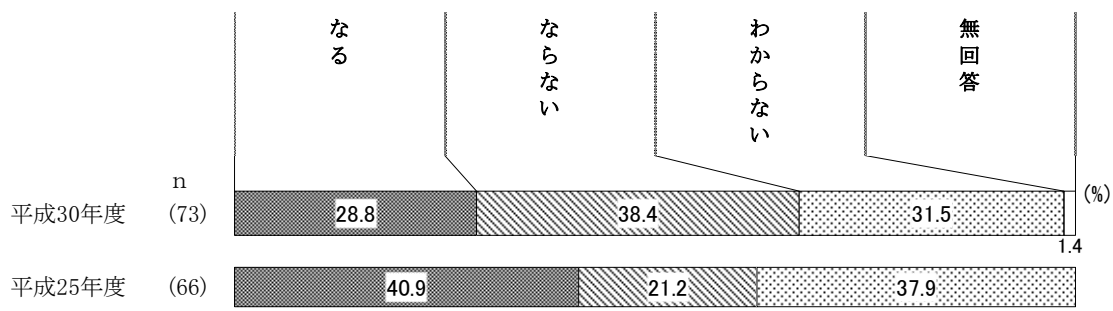
健康づくりに関するPR・啓発について、伝わりやすい情報提供の方法は、「市の広報紙「広報習志野」への掲載」が46.6%で最も高く、次いで「健康づくりイベントなどの開催」が13.7%となっている。

平成25年度と比較すると、増加している項目は多く、「市のホームページの健康情報の充実」が9.6ポイント、「健康づくりイベントなどの開催」が9.2ポイント増加している。一方、「市の広報紙「広報習志野」への掲載」は30.7ポイントと大きく減少し、「啓発のためのパンフレットなどの配布」も9.2ポイント減少している。

(3) 健康づくり推進に向けたポイント制度実施による活動継続の動機付け

問18. 健康づくりを推進するための取組みとして、健康づくりに取組んだ市民にポイントを付与し、ポイントに応じて店舗や施設でサービスを受けられたり、健康に関する商品と引き換えたりすることができる制度を実施している自治体があります。市がこの制度を実施した場合、貴団体が活動を継続する動機付けになると考えますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

健康づくりの取り組み例: 日々の運動や食事などの生活改善、健康講座やスポーツ教室への参加



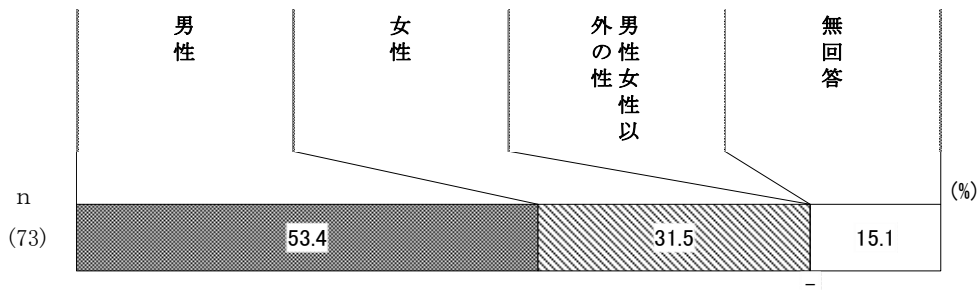
健康づくり推進に向けたポイント制度実施による活動継続の動機付けに、「なる」が28.8%で、「ならない」が38.4%と高くなっている。また、「わからない」も31.5%みられる。

平成25年度と比較すると、「なる」は12.1ポイント減少し、「ならない」が17.2ポイント増加している。

5 回答者属性

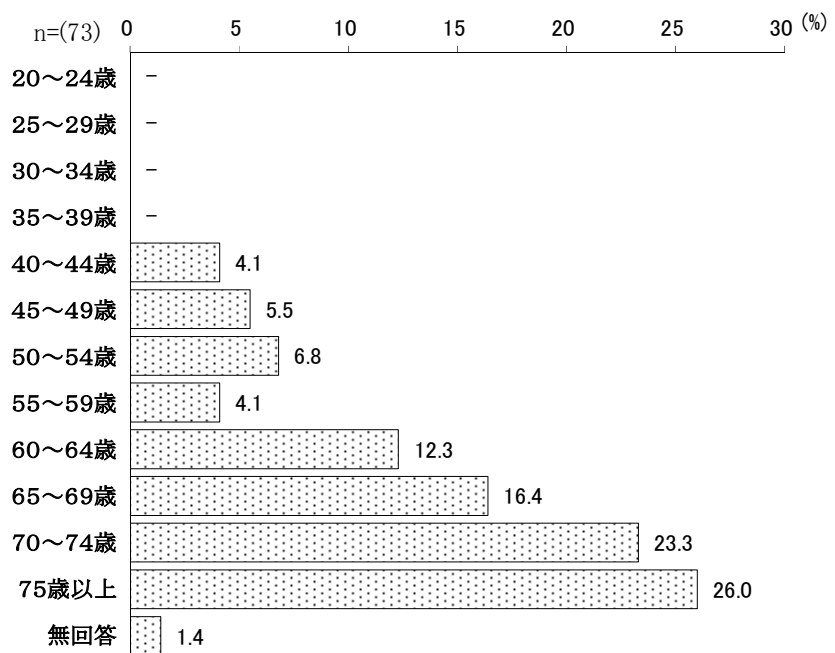
(1) 性別・年齢

問19. あなたの性別と年齢について、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○をつけてください。



【性別】

性別は、「男性」が53.4%、「女性」が31.5%となっている。



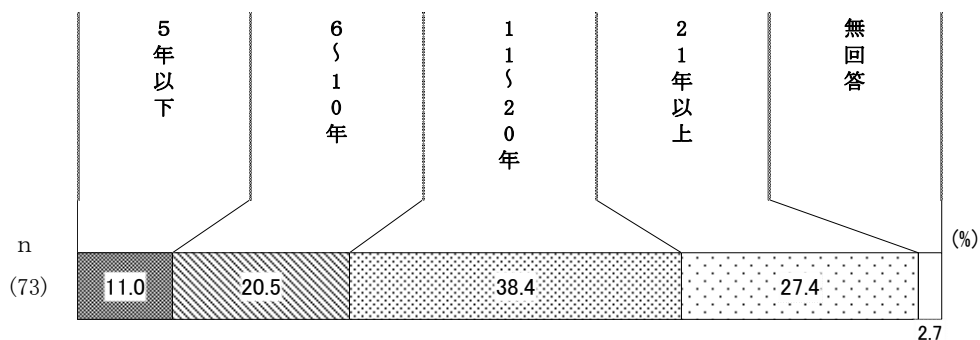
【年齢】

年齢は、「75歳以上」が26.0%で最も高く、次いで「70～74歳」が23.3%、「65～69歳」が16.4%となっている。

「65～69歳」、「70～74歳」、「75歳以上」を合わせると、「65歳以上」は65.7%である。

(2) 団体での活動年数

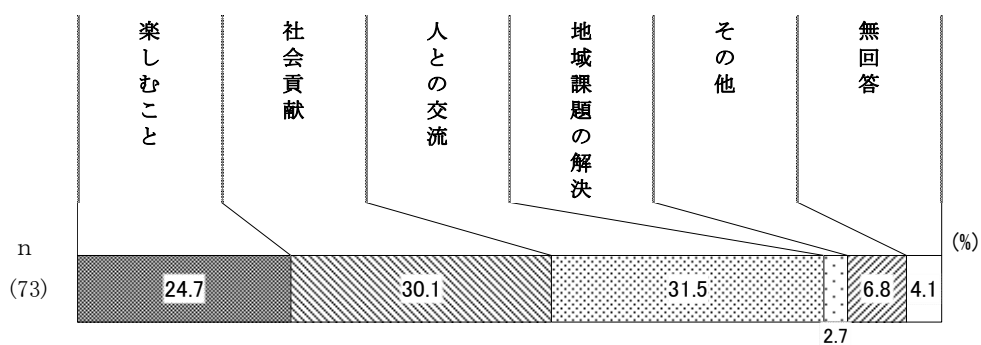
問20. あなたご自身の貴団体での活動年数は、どのくらいですか。



活動年数は、「11～20年」が38.4%で最も高く、次いで「21年以上」が27.4%、「6～10年」が20.5%となっている。

(3) 活動の目的

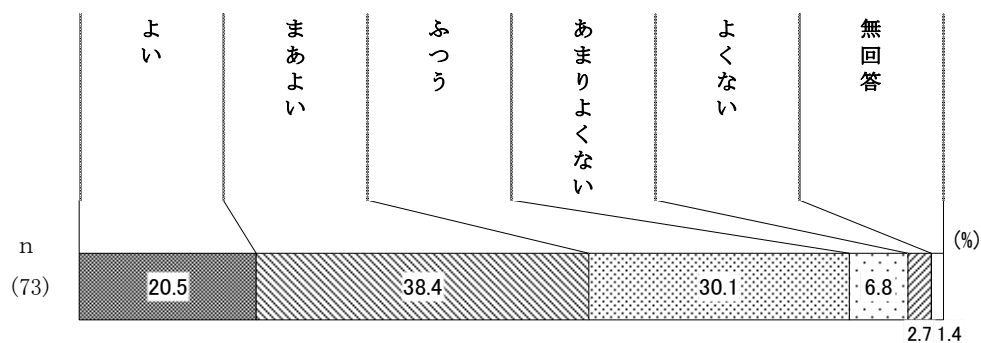
問21. あなたご自身の活動の目的は、どのようなことですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



活動の目的は、「人との交流」が31.5%、「社会貢献」が30.1%とおおむね並んで高く、次いで「楽しむこと」が24.7%となっている。

(4) 現在の健康状態

問22. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



現在の健康状態は、「よい」(20.5%)と「まあよい」(38.4%)を合わせて《よい》が58.9%と高く、「ふつう」は30.1%となっている。一方、「あまりよくない」(6.8%)と「よくない」(2.7%)を合わせた《よくない》は9.5%である。

第3章 自由回答

記入内容は、明らかな誤字・脱字等と思われる個所を修正し、基本的にアンケートの自由記入欄への記入内容をそのまま再現しています。

■ 一般

習志野市の保健サービス等に関するご意見やご要望などがございましたら、ご記入ください。

○健康診査・各種検診について (42件)

- ・人間ドックのメニューに大腸がん内視も含め安価で提供して欲しい。
- ・胃がん検診ははじめから内視鏡検査に補助を出して欲しい。バリウムを飲んでも意味がない。風疹、インフルエンザ予防接種、全額補助して欲しい。
- ・一年間の健康診断の結果をまとめて、こんな病気が発見されましたなど、公表すると良いと思います。
- ・胃の内視鏡検査、人間ドックの補助、お願いします。
- ・今、風疹が流行していますが、習志野市は30代~40代の男性の予防注射を早く無料でして下さい。
- ・医院（病院）が少ない。病院ではなく、がん検診や大腸がん検診を無料で受けられる場所まで距離がかかりすぎる。一ヶ所、分かりやすい場所にして欲しい。
- ・がん検診等は、もっと診てくれる病院を増やして欲しい。小児科、内科の病院を増やして欲しい。
- ・健康診断等、時間が取られるものではなく、簡易的にでも気軽に健康チェックできる何かがあると良いです。
- ・健康診断の結果、自分が気が付かない事なども相談にのって頂いて、健康あつての老後生活とありがたく感じました。
- ・健康診断の日程をもっと充実させて頂きたい。仕事を持っていると、日程で受けられないことが多い。小企業の会社で、健診がないこともある。この調査が生かされないのなら、税の無駄使いで終わってしまう！
- ・健診等、健康に関することは、個人の選択を優先して欲しい。強制はおかしいと思う。選択させて欲しい。
- ・検診に行きたいが、日時、どんな内容なのか、結果がいつくるのか、全く情報がなく、行かない。
- ・健診を無料で実施して欲しい。
- ・骨密度が測れるような、気軽に行ける健康フェアを頻繁に、休日に開いて欲しい。
- ・今後は年一回の健診をしっかり受けていこうと思います。
- ・市が実施する健診に替えて人間ドックを利用する場合、市の助成する医療機関を市内の医療機関に限定することなく、もう少し地域を拡大してもらいたいです。
- ・市が保健サービスに注力して取り組んでいる事に無関心な自分がいる。反省すべき点と気付きました。
- ・市の健康診査に骨密度を加えて頂ければと思います。
- ・市の健康診断に胸のレントゲン写真と眼科の検査を加えて欲しい。
- ・市の健康診断の案内が来ても、受診方法や費用についての記載が不親切で分かりにくく、いつも使わなくなってしまうので、もっと分かりやすくして欲しい。

第3章 自由回答

- ・市の健康診断はとても良いと思います。
- ・市の健康診断は無料にして欲しい。以前は無料でした。基礎検診はもう少し細部まで行って欲しい。
- ・市の健康診断も実施場所を何回も広報等に掲示して下さり、とてもありがたく思います。年々歳を重ね、歩いて行ける場所で、色々な催し物が行われるのがとても嬉しいです。
- ・市の検診の項目がもっとあったら嬉しい。ピロリ菌や風疹の抗体等。胃がん検診が5年に1回になったのも残念。助かっていたので。
- ・市の健診の予約が取りにくいこと。子どもの緊急外来がないこと。例えば、ぜんそくは、検見川浜の海浜病院か八千代の東京女子医科大学病院を言われた。市内に大きい病院がない。
- ・市の検診を受診する手続きが、もっと簡単だと良いと思う。
- ・力を入れていると思いました。健やかに生活できて、人生が楽しくなるように、市でも指導して下さい。
- ・中高年の健康診断は実施されていますが、20代の健康診断は実施されているのでしょうか？
- ・土・日でも受診できる健診を増やして欲しいです。
- ・習志野市の指定健診の結果、津田沼中央総合病院の内科に通院するようになっていきますし、ピロリ菌、内視鏡検査も先日、受けています。それなのに「再度のお知らせ」等が送られてきます。連携していないのでしょうか？市役所のネットワークのあり方が心配です。ちなみに内科では毎回、採血・採尿・問診・触診等を受けています。眼科、消化器科も定期的に受診しています。
- ・何年から健康診断を受けていないので、無料で受けられる場所があるなら受けたいです。また、インフルエンザの予防接種も1,000円台で受けられる場所があれば受けたいです。
- ・人間ドックの割引等で、もっと受けやすくして欲しい。
- ・ネットに合った広報と合わない広報がある。色々な案内が封書で来ると目立つし、必ず見ている。これからも検診等の案内はきちんと封書で欲しいです。
- ・無料の検診がない。そういったサービスを作るべき。
- ・私は胃の全面にポリープがあるので、毎年、市の集団検診を受けています。2年前に受けた時、ちょうど五十肩でしたが、全く手が上がらない訳ではなかったのですが、心配なので検診に行きました。受付の方に「手が上がりづらいので、時間が少しかかるかもしれません」とお話ししたところ、技師の方に話を下さったのですが、「そういう人は来ない方がいい」と面と向かってハッキリと言われ、ビックリしました。全く手が上がらないなら行きません！少し時間がかかっただけです。市のがん検診は40歳～ですよね。そういう方もいるのではないのでしょうか？「そういう人は来ない方がいい」という言葉はあまりに酷く、今でも忘れられません。もう少し配慮して頂けたらと思います。
- ・薬、検診等の健康支援情報をありがたく思います。自分の健康状態を知る機会が与えられ、感謝しております。
- ・健康診断等、市からの案内が定期的に届くので、大変ありがたく思います。子どもからお年寄りまで、安心して暮らせるよう、質の良い行政をこれからもよろしくお願い致します。
- ・健康手帳を便利に利用していたが、廃止されてしまい、毎年の健康診断及びがん検診等の結果の整理に非常に困ります。健康手帳の復活を希望します。
- ・検便のご案内で受診し、初期大腸がんが見つかり、摘出し、元気になっています。感謝です。
- ・保健サービスは利用できる人とできない人で差があり、不公平感があります。がん検診も複合検診の日程が指定できなかつたり、せつかくの土日の検診にもお年寄りの方が多く、時間がかかりかかると、行きづらかつたり、また、土日検診でわざわざ受けた結果を平日に聞きに来るように言われたりと、働いていて、平日受診しづらい人には利用しづらいです。

- ・市の胃がん検診、バリウムか胃カメラのいずれか選択制にして欲しい。
- ・市のがん検診で、胃がん検診に有料でも胃カメラを取り入れて欲しいです。

○医療について（11件）

- ・色々、市が保健サービスに取り組んでいただけることを知りませんでした。ありがとうございます。
- ・大人、子どもの歯について。歯並びの悪さは健康を害する、悪影響と言われています。なのに歯科矯正には多額のお金が必要で、とてもじゃないけど支払えません。保険治療と同じように治療できないもののでしょうか。補助金制度や保険内診療ができるようにして欲しいです。宜しくお願いします！
- ・健康に不安があるから、医療機関を受診したにも関わらず、悲しい思いをしたことが再度あります。話を聞いてくれなかったり、医療費の節約を言われたりしました。
- ・小児科が少ない。
- ・住んでいる地域に限るかもしれませんが、医療施設に偏りがあるように思います。また夜間に相談できる場所も少ないです。
- ・小さい子どもがいるため、医療機関にかかることが多いです。医療費の負担がもう少し減るといいと思います。
- ・乳腺外科の病院が少なく、船橋市、市川市等、周辺の市でも受診できるようにして欲しい。範囲が広がれば、仕事帰りに受診できる女性が増えると思う。がん検診の“お知らせ”が少ない。告知を増やして欲しい。調査結果はホームページとあるが、パソコンのない人のことも考えて欲しい。
- ・放射線チェックは止めずに発信して欲しい。特に小・中学校、公園。
- ・夜間救急の対応が悪すぎる。
- ・夜間診療は継続して下さい。これまで住んだどの町にもなかった制度であり、安心できます。
- ・インフルエンザやその他、現在任意の予防接種の助成をお願いします。

○障害者・高齢者・子育ての支援について（17件）

- ・公共の老人ホーム、ケアセンター等の入居数の増加。これからの高齢者増加のため。
- ・高齢者が増加していく現状、介護業界に問題が多すぎる。収入が少ない、人手が少ない、仕事内容がハードすぎる。介護の仕事内容に収入がマッチしていない。
- ・高齢者に対して、がん検診や人間ドック、インフルエンザ等、補助が受けられ、習志野市の取り組みをありがたく思っています。
- ・心を病んだ人に対して、いつでも同じ場所で話を聞いてくれる場所が欲しい。65歳以上の人が多いこの頃、病気になる前の何か手立てはないのでしょうか？
- ・今年始めに要支援1でお世話になりましたが、大変親切でよくして頂き、大変助かりました。
- ・最近マンション内での孤独死の話を度々聞く。一人暮らしの高齢者が増加していることもあるだろうが、悲しい現実だと思う。何かカバー、フォローできる体制はとれないものなのだろうか？
- ・主人を介助していますが、習志野市の介護保険等でデイサービス、訪問看護を受けさせて頂いて本当に感謝しております。ありがとうございます。
- ・障害福祉課の開いている時間を少しでも増やして欲しい。手続きのために、パートを休まないといけないから。

第3章 自由回答

- ・習志野市に在住の兄が半身不随でケアセンターにお世話になっており、兄嫁は大腸がんの手術をし、気落ちして兄の世話ができず、センターに1ヶ月入所させて頂いています。有料老人ホームに兄を入れ、義姉さんは家売って、自分も有料老人ホームに入る算段をしています。子どもはいないので、未来が描けずに困っております。このようなことも市に相談することは可能なかしら。妹として手助けができないのが残念です。
- ・母の認知症介護に疲れています。介護されている人だけでなく、介護している人にマッサージ、タクシー無料などのサービスが欲しい。高齢者が生き生き暮らせる町。高齢者パス、電車・バスの無料等、お金がなくても行動できるような対策を取り、健康的な生活を促して欲しい。
- ・日々健康には十分気を遣い生活しているが、年々身体の衰えを感じています。年寄りにもう少し、都内や神奈川にあるようなバスの無料化等のサービスを検討して欲しい。
- ・福祉センターの方で「てんとう虫体操」「喜楽会」等、参加させて頂いています。高齢者のお風呂とか、香澄に住んで、市でやって頂いている保健サービスで助かっています。
- ・他の市町村に比べ、高齢者に対し、バスの運賃、交通費の補助が少ない感じがします。特に自動車免許返納。テレビ及び市の広報により交通事故が多いとのこと。自分もそうだと思って返納しましたが、何ら特典もなく、残念に思っています。
- ・補助金やケアマネの質の向上など、介護サービスに力を入れて欲しい。また、小・中学校にエアコンを入れて下さい！
- ・今年（平成30年）の5月に東京の目黒から引っ越して来ました。前と比べ、楽しく暮らしています。車椅子なので、バリアフリーのトイレがどこのスーパーにもあり、とても快適です。
- ・地域によって一人暮らしのお弁当配布しているようですが、全員、傘寿（80歳）頃から品物が届くことが嬉しいのではないかなと思います。元気がでるのでは。
- ・老人ではなく、子ども・子育てに市税を多く投入すべき。

○相談機関・情報の提供について（14件）

- ・今の状況が分からないのですが、もっと関心の持てるようになりたいですし、もう少し、情報が得られる機会があればいいなと思います。平日休みや、独身、帰宅時間が遅かったり、生活時間が不規則だったりすると、なかなか触れ合えないので、その対策を相互でできたらいいなあとと思います。
- ・結果をHPに掲載するのであれば、HPのどこに掲載されているのか分かるようにすべき。広報誌等で公表し、HPの「この場所」に掲載したことを知らせるなど。
- ・心の相談窓口が身近に欲しい。
- ・市民が心身共に健やかに生活できるように、市としてサポートをお願い致します。
- ・情報の市民への伝え方について、IT、SNSの活用を進めて、周知の促進をして頂きたい。今後、引きこもり老人が増えると言われているので、対策・方針があれば適宜広報して欲しい。
- ・情報が少なすぎる。
- ・どのように保健サービスをしているのか分からない。
- ・習志野市の保健サービスは、概ね充実していると思います。感謝しています。人間サイズの街なので、良いなと感じています。
- ・保健サービス等の具体的な内容がよく分からない。誰でも分かるように案内して欲しい。
- ・保健サービスに関しての情報が、どのようになされているのか分からない。新聞を取っていないし、広報も見ないので。内容の冊子等で情報が分かると嬉しいです。高齢者向けに文字も大きくして欲しいです。

- ・サービスの内容等がよく分かりません。もっとアピールして下さい。分かりやすいと助かります。
- ・自分が市の情報をあまり集めていないのも悪いですが、駅や病院等にももっとパンフレット等があったらいいと思います。関係者の皆様、いつも市民のことを考えてお仕事して下さい、ありがとうございます。
- ・どんな行政サービスがあるか分かりません。あらゆる人に知らしめることは難しいことは分かっています。より分かりやすく単純化するように改善頂けたら幸いです。
- ・保健サービスを利用したことがないため、習志野市のサービスが優れているのかどうか判断ができません。受けられるサービス一覧表とかはあるのでしょうか？まずは広報誌等で年1回程度、掲載してもらえればありがたいです。既に実施している場合はすみません。

○分煙、禁煙、歩きタバコ等について（12件）

- ・受動喫煙対策に力を入れて欲しい。路上喫煙がまだまだある。幼児が遊ぶ公園でも喫煙している大人がいる。
- ・歩きタバコをやめるようなポスター等を設置して欲しいです。家にいても、歩きタバコの煙が部屋の中に入ってきて、とても嫌な気分になります。今のこの世の中で、まだ歩きタバコをする人のレベルの低さに落胆します。
- ・禁煙対策を強化してもらいたい。歩きタバコや定められた所で喫煙していても、完全に分煙できているとは言い難く、受動喫煙が不可避な所が数多くある。奏の杜によって外部の人間が流入して、人口が増え続けている今、改めて対策をしてもらいたい。
- ・近所の人の吸うタバコの煙に悩んでいるが、誰にも言えない。どこに訴えればよいのか分からない。
- ・京成津田沼駅の近くにあるタバコ屋さんの喫煙所が歩道に面しており、沢山の人がタバコを吸っている。息を止めて急ぎ足で歩いても、タバコの煙から逃げられない！何とかして欲しい。
- ・子どもや乳児の多い地域なので、路上喫煙を完全になくして欲しいです。
- ・受動喫煙防止に尽力して下さい。公園で結構吸っている人がいます。
- ・津田沼駅周辺等で「歩きタバコ」が目につく。千代田区のように罰則付きの条例を制定して欲しい。健康を掲げるなら、まずは「タバコのないまちづくり」ではないか？
- ・歩道、遊歩道の禁煙徹底。
- ・都内にはある「禁煙エリア」がないので設けて欲しい。
- ・分煙を進めるとしても、スペースを撤去されたんじゃ、道端で吸って、捨てていく人が増え、キレイなまちづくりも進まないと感じる。
- ・京成津田沼駅前・バス停付近で、よくタバコを吸っているおじさんを何人も見つけます。受動喫煙で騒がれている中、そういう事を平気でしている人と同じ町に住んでいることが恥ずかしいと思う。年配の人は、現代のルールにうといと思うが、とても迷惑に感じます。他人の健康にも関する事なので、もう少し習志野市として、取り締まって欲しいと思います。お願いします。

○アンケートについて（9件）

- ・アンケートの内容が多くて、色々と知らない事が多かった。
- ・このアンケートが経費の無駄だと思う。ネットのアンケートにすれば、郵送料や集計の経費を減らすことができると思う。市の広報に載せれば、回答数も増えるのでは？我が家はよく無作為のアンケートに選ばれるが、本当に無作為なのか？

第3章 自由回答

- ・このアンケートを見て、市が色々な施策をしていることを初めて知りました。もっと積極的に情報を宣伝して、市民に伝えるのが良いと思う。今後の活動について市が市民を誘導するようになれるのが理想的と考える。例えば「〇月〇日、～があるので、△△に行きましょう」とか。
- ・この調査結果が全てと思わないで欲しい。
- ・今回こちらの調査を進める中で、習志野市の取り組みについて、私自身が知らない事が多々ある事に気付かされました。もっと広報、その他の文章に真剣に目を通し、内容を理解する必要があると感じています。
- ・市の取り組みに全く関係ありませんが、このアンケートに答えていて感じたのは「ポケモンGO」って健康の取り組みにつながるなと思いました。ゲーム感覚で外に出て、顔見知りができ、会話して、たくさん歩いて、年齢・性別、土・日・祝・平日関係なくて、っていいなあと思いました。
- ・習志野市には越して来たばかりなので、今回の回答は、市政への理解が不足したものになってしまい、申し訳なく思います。今後より一層、習志野市に親しんでいきたいと思っています。
- ・なぜこのアンケートはマークシートやインターネットの方式ではないのですか。集計に時間も人件費もかかりすぎます。こういうところから税金の無駄をなくすべきだと思います。
- ・インターネットで回答できる・短時間で回答できるようにすれば、もっと回答率が上がると思う。

○まちづくり・公園の整備等について（10件）

- ・健康に過ごせるまちづくりを推進して頂きたい。
- ・公園が少ない。
- ・公園で子ども達がボール遊び等ができない。どこで遊べばいいのか。花火等もできない。健康とは心身の育成から始めるべきでは？森林公園に緑は多いが、池の中の動物がいなくなった。池が藻だらけ。バランスが悪すぎ。環境が悪くなった。
- ・子どもが遊べる公園、児童館、放課後ルーム（無料のもの）がもっとできて欲しい。子ども達が気軽に遊べて、集まれる場所がない。
- ・子どもの医療費無償化、小学校のトイレ洋式化促進、スクールバスの整備。
- ・子どもの健康促進に、より力を入れて欲しい。運動場の整備やスポーツ施設の整備。
- ・自転車や歩行者等、車を使わない人でも移動しやすく、快適に暮らせるまちづくりをお願いしたい。現状は歩道が狭かったり、駅周辺の駐輪場が非常に少ないなど、問題があると思う。
- ・近くの公園はサッカーが禁止されており、休日に公園に行ったところ、野球をしている人達から「野球をしているから、サッカーはしてはいけない」と言われ、子どもが泣いて帰って来たことがあります。公園は公共の施設だと思うのですが。ちょっとがっかりしたのと、せっかく沢山の公園があるのに、遊びを規制されているので、ゲームを持って集まっているのを見たりすると、外なのにと感じてしまいます。
- ・歳をとっても安心して暮らせる町を希望します。
- ・習志野市は小さな市で、東京都等と比べるとやはり遅れている面が多くあるように思います。市の財政も潤ってきたと思うし、奏の杜、タワーマンション等で街も発展し、これから増々潤うと思います。東京都を一つのモデルに、更なる改革と発展を目指して下さい。

○計画について（7件）

- ・「習志野市健康なまちづくり条例」はじめて知りました。今後もPR活動宜しく願います。
- ・加齢により極度に視力が衰え、新聞が読めず廃止したため、市の情報等が減少し、全く分からない。広域の放送等で迷子だけでなく、市の取り組みなど流して欲しい。
- ・今後とも一層の健康に関するPR、市のリーダーシップに期待します。
- ・市内にある畑等の緑や、公園等の空間がなくなっていると感じます。少し前までは畑があつという間に住宅地に、など。健康なまちづくりには、単なる医療サービス以外に、このような余裕を感じる、落ち着く空間が大切なので、都市開発計画に反映して欲しい。
- ・引っ越して2年、まだ行政のサービス等には分からないことがあります。健康まちづくりが身近ではなかったです。
- ・谷津・奏の杜近辺に人も増えたとし、市営ジムができないかなと、常日頃思っている。主人は会社の帰りに違う市のジムへ行っている。これでは、健康なまちづくりとしての役割が・・・。
- ・将来の少子高齢化と人口減少に備える、社会保障のレベルを維持できる長期視野に立った財政運営に資する行政をお願いしたい。

○歩道の整備等について（5件）

- ・気軽に病院へ行ける自動運転車の導入が始まれば良いと思う。そんなに遠い未来ではないのでは？
- ・現在、祖父母と同居しているが、JR駅から徒歩15分弱の場所に住宅があり、今後、高齢になる上で、バス等利用できないため、どんどん家から外出しづらくなるのではないかと心配になる。アンケートにあるような、健康な生活を送るためにも、コミュニティバス路線をもっと整備して欲しい。
- ・奏の杜周辺は比較的道も広く、子連れでも歩きやすいと思いますが、それでも一部信号等がなく、気になる部分があります。そこが気にならなくなれば、子連れでももっと歩きやすくなるのになと思いました。
- ・他市より習志野市は住み良いですし、道路・公園等の大木も道路のでこぼこも整備され、自転車でも倒れることもなくなり、細かい所にも目が行き届いているようで、職員の方々に感謝しております。常々思っておりました。宮本市長様、頑張り過ぎないで下さいませ。
- ・道路の整備を加速して下さい。緊急時、災害時の備えになるはず。

○健康に関する講習会や講座の企画・実施（4件）

- ・子どもが遊ぶ場所がない。運動できない。小学校を開放して欲しい。
- ・てんとうむし体操を習い、筋力をつけたい。パソコンができないので、どこで教えて頂けるのか知りたい。
- ・昔の「いきいき体操」のような筋力をつける体操を普及させて欲しい。
- ・メタボ、ロコモ予防のための食事、運動方法などの講習会や運動教室を実施して欲しい。筋力トレーニング講習があれば、ぜひ参加したい。

○スポーツ施設・体育館等について（3件）

- ・スポーツジムを増やして欲しい。
- ・体操教室等できる施設が少なくなり、地域の人達のコミュニティもなくなっていくようなので、将来が不安だ。相談もできて、皆と会える場所を提供して欲しい！

第3章 自由回答

- ・人生100年時代、そのためには健康寿命を延ばすことが一番。気軽に安く利用できる施設の充実を期待します。

○サークル・イベント等について（2件）

- ・勤労会館の無料施設をなくした分、東部体育館の利用料を下げるなど検討して頂きたい。千葉市こてはしの施設は200円と利用しやすい。マラソン道路をジョギングしますが、段差はしょうがないにしても暗い所は安心・安全上、明るくして欲しい。スポーツをやりたいが、情報をオープンにして欲しい。スポーツサークルを盛り上げて欲しい。若い人が入りやすく、参加したい。
- ・健康づくりのためのサークル活動を助成して欲しい。仕事終わりでも参加できる平日19時以降のものがあると良い。隔週でもいいので、相談窓口も含めて市役所を土・日に開けて欲しい。

○ごみ・環境等について（1件）

- ・家の前で犬の散歩をしている人が毎日10人以上いるが、フンの始末をしない人が必ずいます。

○その他（19件）

- ・意欲低下、地方公務の怠惰が見られすぎ。
- ・色々知らない事ばかりでした。今後、健康対策等、気を配って役に立てたいと思います。
- ・インターネットを見れば分かると思うが、本にまとめて住民に配るという案も良い。しっかりとしたまちづくりをお願いします。
- ・格差のないように、見落としのないように、誰もがサービスを受けられるよう望みます。
- ・現金を支給して下さい。それが個人一人一人に合ったにつながる。みんなでとかは意味ない。
- ・健康で長生きイコール幸福と考える意見があるが、本当にそうでしょうか。幸福は人それぞれ違うと思う。身体的な幸福より、精神的、内的な幸福度を高める福祉がこれからは必要と私は思います。寝たきりで長生きしたとしても私は幸福とは思いません。
- ・サービスに何があるかを周知して欲しい。
- ・昨年（平成29年）9月に習志野市に引っ越し、地元の方達との関わりがあまりなく、情報を得られず適確に回答できず。職場で意識的にコミュニケーションを図り、高めていきたいです。
- ・出張所を増やして欲しいです。
- ・生涯学習やスポーツ等の交流が低下しているように感じる。以前のような文教住宅都市に戻して欲しい。
- ・高い税金ばかり徴取され、子どももいない世帯には、何の見返りもないので、それがストレスです。このような郵送費用や紙等も税金を使っていますよね。無駄の何ものでもないと思います。税金を無駄に使わないで下さい。
- ・担当者が常に変わるので信用しない。相談したくないし、自分の意見を押し通す方がいたので、保健のサービス業ではない。
- ・どんな行政サービスがあるか分かりません。あらゆる人に知らしめることは難しいことは分かっています。より分かりやすく単純化するように改善頂けたら幸いです。
- ・部活動を行っている者へは良いが、部活動をやっていない者や途中で辞めてしまった者への学校等の対応が悪く思う。直接、自殺などに繋がってもおかしくない事が、実は裏である事を、市はもっと見て行く必要があると思う。良い事も沢山あるが、その分、悪い事もあるということを理解すべきであると思う。

- ・子どもが保育園に入れない。受験が必要な私立等の小学校の校区外であり、高いレベルの教育を目指せないのが不満です。
- ・保健サービス等に関する事だけではありませんが、新聞をやめてから、広報誌を手にするのがなくなりました。駅や店等では置かれていますが、タイムリーで手にするのが少なくなりました。
- ・保健だ健康だというなら、小・中学校に早急にクーラーでも入れて、子ども達の健康を考えた方がいいです。一昔前なら気候も違ったから良いものを。役所を立派にするなら、それに沿うような立派な市になってもらいたいものです。
- ・若いのでサービス等の意見はまだ分からず。50歳～60歳以上になったら分かると思う。
- ・分からない事、知らない事が多すぎるのは、自分が悪いのか？

■ 親子

習志野市の保健サービス等に関するご意見やご要望などがございましたら、ご記入ください。

○医療について（5件）

- ・子供が休日にケガをした時、医療機関を探しにくいと思った。夜間の急病診療についてのアナウンスは、健診等でされていたが、休日診療についてはなかった。夜間の診療所の開所時間もそれほど長くないので、それ以外の場合にどうすればよいかをもっと積極的に知らせて欲しいです。
- ・3才児などの子供の集団検診は、保育所に通っている場合は免除して欲しい。
- ・子供の医療費の無償化。
- ・急病診療所に行くのに車がないので不便です。奏の杜は人口が多いので、近くに欲しい。
- ・夜間、子供を診てくれる病院が八千代医療センターしかなくて困ります。

○相談機関・情報の提供について（5件）

- ・親のことで介護保険の相談をしたが、平日のみの対応は相談しにくいので、時間帯、休日対応など考えて欲しい。
- ・マンションに転入してきましたが、今回、ここに書かれていることで、知らないこともたくさんありました。そういった人達にも、行っていることが伝わるような手段をとって欲しいと思います。
- ・子供2人が小さいうえ、実家が遠く、助けてくれる人もおらず、旦那も仕事が忙しく大変な時が多々あったり、子育てに不安を感じていた時もありましたが、習志野市役所の保健師の〇〇様が、普段より、お電話を下さったり、不安や悩み事を聞いて下さったり、アドバイスを頂いたりして、すごく助かっていますし、心強いです。いつも感謝しています。〇〇様のようなステキな市民の心の拠り所になるような保健師さんが習志野市内、千葉県内、日本全体で増えることを願っています。
- ・あまり自分から情報を探す機会がないので、イベント情報や運動おすすすめスポット、気軽に相談できる所等、保育所や学校のおたより、ポスター等であると、もう少し参加できたりする気がします。
- ・0才児の時は、1年を通して保健師さんにアドバイスを頂いており、おかげさまで今では元気に過ごしております。産後は特に1人目だったので、どんなに小さなことでもありがたく、ずっと忘れずに育てていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

○保育園・幼稚園について（5件）

- ・子供が健康であるためにも、充実した保育園の確保をお願いします。市外の認可外しか入れない状態は、自治体として管理できていないと思います。
- ・保育園や幼稚園の案内が不親切。情報が少なすぎ。
- ・病児保育施設が乏しいので、江戸川区のような、インターネットで空き状況をチェック、予約できるレベルに充実させて欲しい。
- ・ママの休暇のためにも、一時保育をもっと充実させて欲しい。

- ・4、5才児の公立幼稚園の枠がかなり空いているが、3才児の枠が凄く少なく落選した。今後、3才児は無償化となるが、一部の運が良い人のみ無償というのは、どうだろうと思う。

○公園・広場等について（5件）

- ・近所に藤崎保育所があります。その隣の児童公園には毎日ゴミが捨てられています。毎朝、有志の方が拾って、きれいにされているにも関わらずです。夕方遊びに来る子供達が、当たり前のようにゴミを落としているのを見た子もいます。ゴミ箱がない環境にも問題があるようですが、まずは、若い世代にゴミを外に落とすことが異常であることをPRの項目に増やされてはいかがでしょうか。
- ・公園、特に砂場に屋根（日陰）が欲しい。また、子育てについてなどのこういったアンケートを定期的に行って欲しい。
- ・子供に体を動かした遊びを、と思う時、休日に近隣市町のアンデルセン公園や花島公園へよく行きます。市内にももう少し立派な児童用遊具のある公園があれば嬉しいです。マラソン道路が広くて、安心感があり、この町に愛着を感じるポイントとなっています。
- ・子供が遊べる広場や公園が少ないので、是非整備して頂きたいです。また、小学校までの通学がとても遠く、道も交通量が多く、夕方は暗いので、低学年の子供は非常に心配です（藤崎小学校の学区です）。事件が起きてからでは遅いので、もし可能であればスクールバスでの登校を検討して頂きたいです。その他は習志野市は、とても子育てしやすい市だと感じて感謝しております。
- ・公園のトイレを明るく、きれいに保って欲しい。子供と気軽に行けないので。

○健康診査・予防接種について（2件）

- ・人間ドックをもっと安く、身近なものにして欲しい。
- ・乳がん検診に行きたいが、子供を預けるため主人の仕事の休みとなかなか合わず、ずっと行けない。検診中に託児サービスがあれば、気軽に行けるのと思います。

○その他（8件）

- ・子育てに関する事業は、利用しやすく、またこどもセンターや周りのお母さん達からの情報が分かりやすく、保健サービスが利用しやすいです。アンケートに答えていく中で、自分自身や夫の生活は子供達の健康に比べると、意識していることが少なく、どちらかという生活に回すために犠牲にしている部分さえあるのでは、と感じました。もちろん、これからを担う子供達の健康も大切ですが、子育てをする大人自身が、運動やリフレッシュを図れる場や機会・サービスがあるとありがたいと思います。今は、千葉市の施設や民間の施設を利用していることが多いです。
- ・スポーツジム助成金を創設して下さい。病気にならない体づくりによって、医療費の低減のみならず、活動的な方が増え、経済効果も高いように思います。交通量が多いのに、細い道を減らしていただきたい。歩きや自転車で行動することが、危険行為に似た状態を解消して頂きたい。マイナンバーカードと母子手帳の情報をリンクできないでしょうか。
- ・市内の小中学校に早急にエアコンを設備して欲しい。子供の健康を守るための条例づくりをお願いしたいです。また、感染面からも和式トイレはとても不潔です。災害時も避難所となる学校のトイレですので、早急にこちらも全て水洗トイレにして頂きたいです。市役所ばかり新しくしても、市民は満足しません。本当に安心して長く暮らせる市にするためには、新しい箱物の設備はもう不要です。今ある学校等の設備を見直し、手を入れて頂きたいです。

第3章 自由回答

- ・2才未満の子供がおります。これから、いっぱい外で遊ぶようになり、小学校・中学校に通うことになってくると思うので、周りの環境や学校設備等、非常に興味深く見ていきたいと思えます。奏の杜では、小学校の不足、エアコン未設置など、問題がたくさんあるかと思いますが、引き続き、善処頂きますよう、お願い致します。
- ・もっと子育て世帯や子供に優しい町にするべきだと思います。一部の駅前しか優しくない。きちんと将来のことを考えて作っている町なのか不安になります。習志野市全体をきちんと見直すべき。
- ・東習志野7丁目～8丁目は暗すぎます。子供を乗せて、自転車を安心して乗れません。自動車道はきれいにしています。歩行道はでこぼこです。照明も少なく、夜は何も見えません。
- ・谷津、奏の杜地区は、特に住みやすく、大好きです。市役所の方もいつも親切にして下さり、ありがたいです。
- ・きらっこルームやほっぺを利用させてもらっている。子供も喜んでいるので大変助かっている。

■事業者

その他、健康なまちづくりに関するご意見・ご要望、貴事業者で実施されている取組みなどがありましたらご記入ください。

- ・アンケート＋ヒアリング調査があってもいいのではないのでしょうか。実態がよく把握できると考えます。
- ・いつまでも元気で生活ができるように介護予防事業（元気応援歌）、子供達と高齢者の方々の繋がりをと考え多世代交流（ふらっと食事会）を実施しています。地域の繋がりをもっと強く、元気いっぱいな生活をできるようにしていきたいと考えています。
- ・健康なまちづくりとありますが、公民館などをなくすことなど、お年寄りが出掛けて、集まる場所をなくしてしまっているということに、お気づきでしょうか？お子さんからお年寄りまで、もっと利用できるコミュニティセンターのようなものを充実させれば、おのずと皆さん、健康的な生活ができるのではないのでしょうか？もっと市民の声に耳を傾けては？事業者にも協力もいいますが、限界があります。
- ・公園等にぶらさがり、背伸びなど運動できる物があると、自然に動くようになる。マラソン道路の歩道に今、設置してある物が公園でも楽しめたらいいと思う。今、公園では危ないから、ブランコもと外され、遊ぶ物がない。子供達はどこで遊ぶのという公園が多い。
- ・高齢化の中で消費税の増税をする。カードを使用すれば〇%削減するなど、高齢者はカードの使用、インターネットの使用、情報の確認などは苦手だと感じている。日本流の消費をできる市を目指して下さい。
- ・これまで、このテーマに関する関心・興味が低かったと思います。このアンケートを通して、意識していきたいと思うようになりました。
- ・市民の皆様や消費者の方々の「健康なまちづくり」へ対するニーズを調べることは、時間的に難しいです。なので、その部分をより明確に捉えられる情報提供を市に頑張ってもらいたいです。まちづくりが本業の実績につながるとは考えておりませんが、健やかなまちの創出のお手伝いはさせて頂きたいので、是非ご尽力下さいますようお願い致します。
- ・健康づくり推進に向けたポイント制度導入に関して、市が実施した場合に、それに参加するというのであれば、地域の活性化につながるのではと感じました。習志野市に根差した事務所を目標に、ゆくゆくは地域の方に休憩所としても使ってもらえたらというような話も出ておりましたので、皆様の交流の場としても開放していけたらと考えております。
- ・特に取組みということではないのですが、通りがかりのお年寄りやお体の不自由な方が、休み処として気軽に寄ってくれます。
- ・夫婦2人で営んでいる個人商店なので、答えづらい問題が多い。また、協力できることも限られている。

■ 市民活動団体

その他、健康なまちづくりに関するご意見・ご要望、貴団体で実施されている取組みなどがありましたらご記入ください。

- ・行政間の情報の共有化の強化。
- ・行政の職員が地域活動に協力、理解をされておられますか。
- ・元気だから市民活動をするのではなく、市民活動をすることで、元気になるように思います。
- ・健康づくりの基本は、各自の自覚にあると思います。正しい理解のレベルを市民全体で向上させるための情報の提供（啓蒙）に、市の貢献を期待します。社会福祉事業との関係は、どうなっているのでしょうか？市民のサークル活動が、自由に多彩にできることが大切だと思いますが、公民館の統合ではなく、分散の形の方が有効だと考えます。
- ・健康なまちづくりに市として注力することに大賛成です。そのPRは、ペーパーでして頂きたい。高齢で、情報は印刷物から得ることが多いので。
- ・健康優先の食品選択、食生活の推進をするべく、講演・学習・映画上映会・展示会。ごみ、食品ロス削減の声かけ。廃棄物の活用。高齢者施設でのリネン交換のボランティア。他市市民と連携して、安全な社会づくりを模索中。
- ・かもめ公園の使用条件として、ボール遊びの禁止表示を外して欲しい。現実には子供達は、サッカー、野球、キャッチボールを他の公園利用者（小さい子供の砂遊び、ブランコ、すべり台等）とうまく調整して遊んでいる。
- ・公共施設に市民が無償で使える健康カフェ。血圧計、体重計、水・お湯・お茶の給水機が利用でき、人との交流ができる。
- ・公民館や体育館等、市民が集う場所を増やす様をお願いしたい。
- ・公民館をもっと自由に使用できるようにして欲しい。市民であれば、使用できる権利がなければおかしいと思う。どのサークルよりも安い値段を提示しているのに、講師という理由で使用不可とされている。ほとんどボランティアのような形なのに、なぜでしょうか。納得いきません。
- ・社会貢献したいのはやまやまです。しかし、年齢的に無理と言わねばなりません。私達は経済的に自立した活動をしています。せめて活動を通じて、自分の健康維持を合言葉に、福祉や介護のお世話にならないよう努めています。問題は、活動場所の確保です。役所の規定は理解していますが、それ故、確保が課題なのです。
- ・高齢者のスポーツ団体が、気軽に使用できる会場がない。市の公園を利用しているが、使用許可書を毎月取りに行っている。毎月から3ヶ月に1回とか、半年に1回で済むような施策をして欲しい。毎月週1回で申請、100%許可されている。
- ・スポーツを通じて初心者等の参加を募り、健康づくりに貢献したい。
- ・田中真太郎市議会議長が「これからの時代、公共施設のシェアが必要だ。老朽化した運動施設、新たな施設を整備するより、近隣の千葉、船橋の施設を利用するのが望ましい」と発言していた大会があった。習志野で活動する意味が無い。健康促進・維持のためにも、地元で活動できる環境作りを諦めないで欲しい。
- ・同年齢の集団ではなく、異年齢の集団生活を心掛けています。
- ・ボランティアや児童・幼児等向けの遊びで活動しようとしても、公民館等の場所が少なすぎる。費用がかかり、子供の活動の場合、安くするか、無償も考えて欲しい。子供が少なくなっているので、活動するのが大変。地域の理解も少ない。

- ・まずは一人でも多くの方が、少しでも長く自分の足で歩けることが、健康の大きな要素だと思っています。歩きたくなる、歩きやすいまちづくりをして欲しい。
- ・もっともっと清潔で美しい我が街の実現に向け、意識の向上と実践を前向きに推し進めることを希望する。
- ・野球場、サッカー場、国際プールはあるのに陸上競技場、武道館がない。シンボルとなる総合体育館・武道館が欲しい。

付録 調査票

習志野市 健康意識調査(一般)

ご協力をお願い

皆様には、日ごろから市政にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

本市では、平成 27 年に「(通称)習志野市健康なまちづくり条例」に基づく「健康なまちづくりの推進に関する基本的な計画」である「健康なまち習志野計画」を策定し、「全ての市民が生涯にわたっていきいきと安心して幸せな生活ができる健康なまちづくり」を総合目標として、各種施策を推進しています。

この度、平成 31 年度に計画期間が終了することから、現在、次期計画の策定を進めています。

そこで、次期計画の策定における基礎資料とするべく、市民の皆様の健康観や、お子さんや保護者の方の健康づくり、生活習慣、個人の健康に影響を与える社会環境に関する状況や意識、健康格差の要因に関連すること等を把握するため、健康意識調査を実施することとしました。

この調査は、20 歳以上の方 2,000 人を市内全域から無作為に選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成 30 年 11 月 習志野市長 宮本 泰介

1. 回答にあたっては封筒ラベルの宛名のご本人についてお答え頂きますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、一緒に回答されてもかまいません。
2. 調査は、無記名方式で行い、個人が特定されない形で統計的に処理しますので、ご協力いただいた皆さんにご迷惑をおかけすることは一切ありません。また、調査結果を他の目的に使用することはありません。
3. 鉛筆、ボールペン、万年筆などのいずれをご使用されても結構です。
4. なるべく全ての質問にご回答ください。どうしても答えたくない質問がある場合は、飛ばして次の質問にお進みいただいてもかまいません。

(問合せ先) 習志野市役所 健康福祉部 健康支援課 企画係

電話:047-451-1151(代表) 内線316

FAX:047-451-4822

E メール: kenkosien@city.narashino.lg.jp

お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに

平成30年11月27日(火) までにご投函ください。

1. あなた(回答者)ご自身について

問1. あなたの性別と年齢について、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○をつけてください。

- 【性別】 1. 男性 2. 女性 3. 男性女性以外の性
- 【年齢】 1. 20～24歳 2. 25～29歳 3. 30～34歳 4. 35～39歳
5. 40～44歳 6. 45～49歳 7. 50～54歳 8. 55～59歳
9. 60～64歳 10. 65～69歳 11. 70～74歳 12. 75歳以上

問2. あなたの職業について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 会社員(役員含む) 2. 自営業 3. 公務員 4. 派遣・パート・アルバイト
5. 専業主婦(夫) 6. 学生 7. 無職 8. その他()

問3. あなたが加入している医療保険について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 国民健康保険 2. 後期高齢者医療保険 3. その他(社保・共済・協会けんぽ等)

問4. 現在お住まいの地区名について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 茜浜 2. 秋津 3. 泉町 4. 大久保 5. 香澄
6. 鷺沼 7. 鷺沼台 8. 芝園 9. 新栄 10. 袖ヶ浦
11. 津田沼 12. 花咲 13. 東習志野 14. 藤崎 15. 実籾
16. 実籾本郷 17. 本大久保 18. 屋敷 19. 谷津 20. 谷津町
21. 奏の杜

問5. あなたを中心として見た時、現在一緒に住んでいる(生活している)家族構成は、どのようになっていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 夫婦と未婚の子
4. ひとり親と未婚の子 5. 夫婦二世帯(親夫婦と子夫婦) 6. ひとり親と子夫婦
7. 三世帯世帯 8. その他の世帯()

問6. あなたと生計を共にしている世帯の人数は、何人ですか。

あなたを含めて 人

問7. 現在の暮らし向きについて、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 家計にゆとりがあり、全く心配していない 2. 家計にあまりゆとりはないが、それほど心配はない
3. 家計にゆとりがなく、やや心配である 4. 家計が苦しく、非常に心配である

問8. あなたの最終卒業学校(中途退学の場合は、その前の学校)について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 義務教育修了 2. 高校・旧制中 3. 専門学校 4. 短大・高専
5. 大学 6. 大学院 7. その他()

問9. 問6の世帯全員の昨年1年間の税引前の合計収入額(年金・手当等を含みます)について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|-----------------------|-------------------|---------------------|
| 1. 100万円未満 | 2. 100万円～150万円未満 | 3. 150万円～200万円未満 |
| 4. 200万円～250万円未満 | 5. 250万円～300万円未満 | 6. 300万円～400万円未満 |
| 7. 400万円～500万円未満 | 8. 500万円～600万円未満 | 9. 600万円～700万円未満 |
| 10. 700万円～800万円未満 | 11. 800万円～900万円未満 | 12. 900万円～1,000万円未満 |
| 13. 1,000万円～1,200万円未満 | 14. 1,200万円以上 | |

問10. あなたの身長・体重はどのくらいですか。(数字を記入してください)

現在の身長は . cm くらい 体重は . kg くらい

問11. あなたの体重は、適正体重だと思いますか。

1. 思う 2. 思わない

2. からだの健康に関する意識について

健康状態等について

問12. 現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。

1. ある → 問12-1へ 2. ない → 問13へ

問12-1. 問12. で「1.」を選んだ方におききます。影響があるものとしてあてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

1. 日常生活動作(起床、衣服着脱、食事、入浴など)
2. 外出(時間や作業量などが制限される)
3. 仕事、家事、学業(時間や作業量などが制限される)
4. 運動(スポーツなど)
5. その他()

問13. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. よい 2. まあよい 3. ふつう 4. あまりよくない 5. よくない

問14. あなたは過去1年間に、健診等(健康診査、がん検診及び人間ドック)を受けたことがありますか。

1. ある → 問14-1、問14-2へ
2. ない → 問14-3へ

問14-1. 問14で「1.」を選んだ方におききます。どのような機会に健診等を受けましたか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

1. 市が実施したがん検診、健康診査等(国民健康保険特定健康診査、後期高齢者健康診査)
2. 勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した健診
3. 学校が実施した健診
4. 人間ドック(上記1～3以外の健診で行うもの)
5. その他()

問14-2. 問14で「1.」を選んだ方におききします。健診等の結果をその後の生活に活かしていますか。(例:食事に気を付ける・歩くようにする等)

- 1. 活かしている
- 2. 活かしていない

問14-3. 問14で「2.」を選んだ方におききします。健診等を受けていない理由について、あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- 1. 知らなかったから
- 2. 時間が取れなかったから
- 3. 場所が遠いから
- 4. 費用がかかるから
- 5. 検査等(採血、胃カメラ等)に不安があるから
- 6. その時、医療機関に入通院していたから
- 7. 毎年受ける必要性を感じないから
- 8. 健康状態に自信があり、必要性を感じないから
- 9. 心配な時はいつでも医療機関を受診できるから
- 10. 結果が不安なため、受けたくないから
- 11. めんどうだから
- 12. かかりつけ医が市外だから
- 13. その他()

↓

どのような条件がそろえばあなたは健診等を受けますか。

()

問15. あなたは、過去1年間に、下記の5つのがん検診を受けましたか。それぞれの検診についてお答えください。また、受診した検診ごとに、どのような機会に受診したのかお答えください。

<p>胃がん検診(バリウムによるレントゲン撮影や内視鏡検査、胃がんリスク検診(ピロリ菌検査)など)</p> <p>1. 受けなかった 2. 受けた</p>	<p>どのような機会に検診を受けましたか。 あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。</p> <p>1. 市が実施した検診 2. 勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診 3. その他</p>
<p>肺がん検診(肺のレントゲン撮影や喀痰(喀痰)検査など)</p> <p>1. 受けなかった 2. 受けた</p>	<p>どのような機会に検診を受けましたか。 あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。</p> <p>1. 市が実施した検診 2. 勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診 3. その他</p>
<p>大腸がん検診(便潜血反応検査(検便)など)</p> <p>1. 受けなかった 2. 受けた</p>	<p>どのような機会に検診を受けましたか。 あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。</p> <p>1. 市が実施した検診 2. 勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診 3. その他</p>

20歳以上の女性の方は続けてお答えください。

問15-1. あなたは過去2年間に、下記のがん検診を受けましたか。それぞれの検診についてお答えください。また、受診した検診ごとに、どのような機会に受診したのかお答えください。

<p>子宮がん(子宮頸がん)検診(子宮の細胞診検査など)</p> <p>1. 受けなかった 2. 受けた</p>	<p>どのような機会に検診を受けましたか。 あてはまるものを<u>全て</u>選んで番号に○をつけてください。</p> <p>1. 市が実施した検診 2. 勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診 3. その他</p>
<p>乳がん検診(マンモグラフィ撮影や乳房超音波(エコー)検査など)</p> <p>1. 受けなかった 2. 受けた</p>	<p>どのような機会に検診を受けましたか。 あてはまるものを<u>全て</u>選んで番号に○をつけてください。</p> <p>1. 市が実施した検診 2. 勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診 3. その他</p>

問16. 体調が悪い時、通える距離に受診・相談ができる、かかりつけ医がありますか。

1. ある 2. ない

問17. 薬に関する相談ができる、かかりつけ薬局がありますか。

1. ある 2. ない

問18. CKD(慢性腎臓病)という病気を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. どんな病気か知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない

CKD(慢性腎臓病)とは、慢性的に経過する腎臓の病気のことをいいます。腎炎、糖尿病性腎症、慢性糸球体腎炎、腎硬化症などが含まれます。

問19. メタボリックシンドロームを知っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 内容まで知っている 2. 言葉だけ知っている 3. 知らない

問20. 普段のあなたの健康に関する行動について、次のア～への項目であてはまるものを、それぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。

項目	実行している	ほぼ実行している	ときどき実行している	あまり実行していない	実行していない
ア. 自分に合った健康づくりを行っていますか	1	2	3	4	5
イ. 普段なるべく歩くようにしていますか	1	2	3	4	5
ウ. 歯やお口の健康を意識した生活を送っていますか	1	2	3	4	5
エ. 家族や友人等と食事をとるようにしていますか	1	2	3	4	5
オ. 心にゆとりのある生活を送っていますか	1	2	3	4	5
カ. 楽しい人間関係づくりを行っていますか	1	2	3	4	5
キ. 規則正しい生活を送っていますか	1	2	3	4	5
ク. 健康に関する情報を入手していますか	1	2	3	4	5
ケ. 自分を大切に生きていますか	1	2	3	4	5
コ. ボランティア活動に参加していますか	1	2	3	4	5
サ. 地域や地区の活動に参加していますか	1	2	3	4	5
シ. ごみのマナー(分別など)を守っていますか	1	2	3	4	5
ス. 交通ルールやマナーを守っていますか	1	2	3	4	5
セ. 自分以外の人にやさしく接していますか	1	2	3	4	5
ソ. 自分から周りの人にあいさつをしていますか	1	2	3	4	5
タ. 家族や友人等とふれあう時間や機会をつくっていますか	1	2	3	4	5
チ. 家族や友人等と一緒に健康づくりを行っていますか	1	2	3	4	5

身体活動・運動について

問21. 日頃から日常生活の中で、健康の維持・増進のために、意識的に身体を動かしていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|---------------------|---|--------|
| 1. いつもしている | } | 問21-1へ |
| 2. 時々している | | |
| 3. 以前はしていたが現在はしていない | } | 問21-2へ |
| 4. まったくしていない | | |

問21-1. 問21で「1. または2.」を選んだ方におききます。では、どのように身体を動かしていますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 通勤・通学・買い物等でよく歩くようにしている | 2. 公民館等のサークル等に通っている |
| 3. 個人でスポーツ施設等に通っている | 4. テレビ体操等、自宅でできる体操をしている |
| 5. ジョギング・ウォーキングをしている | 6. 病院や施設でリハビリに通っている |
| 7. その他() | |

問21-2. 問21で「3. または4.」を選んだ方におききます。身体を動かすことができる条件として、あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

1. 時間があればできる
2. 公民館等で入りたいサークルがあればできる
3. 近くにスポーツ施設があればできる
4. 夜でも歩ける等、環境が整備されていればできる
5. 仲間がいればできる
6. 運動の具体的な方法を教えてもらえばできる
7. 身体機能に応じたリハビリの方法について教えてもらえればできる
8. その他()
9. 特に身体を動かそうとは思わない

問22. ロコモティブシンドロームという言葉と、その意味を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 言葉も意味もよく知っている
2. 言葉も知っていたし、意味も大体知っている
3. 言葉は知っていたが、意味はあまり知らない
4. 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない
5. 言葉も意味も知らない

.....
 ロコモティブシンドロームとは、運動器の障害による要介護の状態や要介護リスクの高い状態を表す新しい言葉で、「運動器症候群」ともいいます。

問23. 習志野市オリジナルの「てんとうむし(転倒無視)体操」を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 内容まで知っている
2. 言葉だけ知っている
3. 知らない

栄養・食生活について

問24. あなたは食育に関心がありますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 関心がある
2. どちらかといえばある
3. 関心がない
4. わからない

.....
 食育とは、心身の健康と豊かな人間形成のために食に関する知識や食を選択する力を身につけ、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。

問25. 「食事バランスガイド」「三食食品群」等何かを参考にして食生活を送っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. いつも参考にしている
2. ときどき参考にしている
3. ほとんど参考にしていない
4. 知らない

問26. 外食や食品を購入する時に「栄養成分表示」を参考にしていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. いつも参考にしている
2. ときどき参考にしている
3. ほとんど参考にしていない
4. 栄養成分表示を知らない

.....
 栄養成分表示とは、エネルギー、たんぱく質、脂質、炭水化物、塩分などの表示です。

問27. 普段、朝食をとっていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. 週6～7日とっている
- 2. 週4～5日とっている
- 3. 週2～3日とっている
- 4. ほとんどとっていない

問28. バランスのとれた食事(主食・主菜・副菜を組み合わせた食事)を、1日2回以上とっていますか。

あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. 週6～7日とっている
- 2. 週4～5日とっている
- 3. 週2～3日とっている
- 4. ほとんどとっていない

主食:米、パン、めん類などの穀類
副菜:野菜、きのこ、いも、海藻料理など
主菜:魚、肉、卵、大豆料理など



喫煙について

問29. この1か月間に自分以外の人が吸っていたたばこの煙に接した経験(受動喫煙)がありましたか。次のア～オの場所について、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

項目	ほぼ毎日 あった	週に数回 程度あった	週に1回程度 あった	月に1回程度 あった	全くなかった
ア. 職場	1	2	3	4	5
イ. 家庭	1	2	3	4	5
ウ. 飲食店	1	2	3	4	5
エ. 歩道	1	2	3	4	5
オ. 公園	1	2	3	4	5

問30. これまでにたばこを吸ったことがありますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. 過去合計 100 本以上、または 6 か月以上吸っている(吸っていた)
 - 2. 吸っている(吸ったことはある)が、過去合計 100 本未満で 6 か月未満である
 - 3. まったく吸ったことがない
- } 問30-1へ
- 問31へ

問30-1. 問30で「1. または2.」を選んだ方におききます。現在(この1か月間)、たばこを吸っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. 毎日吸う
 - 2. ときどき吸っている
 - 3. 今は(この1か月間)吸っていない
- } 問30-2へ
- 問31へ

問30-2. 問30-1で「1. または2.」を選んだ方におききます。たばこをやめたいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. やめたい
 - 2. 本数を減らしたい
 - 3. やめたくない
 - 4. わからない
- } 問30-3へ
- } 問31へ

問30-3. 問30-2で「1. または2.」を選んだ方におききます。禁煙指導を受けたいと思いますか。

- 1. 受けたい
- 2. 受けたくない

問31. COPD(シー・オー・ピー・ディー)という病気を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. どんな病気がよく知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない

COPD とは、セキやタン、息切れが主な症状で、「慢性気管支炎」と「肺気腫」のどちらか、または両方によって肺への空気の流れが悪くなる病気で、慢性閉塞性肺疾患ともいいます。

問32. 他人の吸うたばこの煙が、たばこを吸わない人の身体に与える影響についてどう思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 健康に影響がある 2. 健康に悪いが、それほど大きな影響ではない
3. 健康に影響はない 4. わからない

問33. 分煙について、どう思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 積極的に進めるべき 2. できる範囲で進めるべき 3. あまり進めなくてよい 4. どちらでもよい

分煙とは、たばこを吸う場所をしっかりと分け、たばこを吸わない人が煙を吸い込むことがないようにすることです。

問34. あなたの周囲では分煙が進んでいると思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 進んでいる 2. 一部進んでいる 3. あまり進んでいない 4. わからない

飲酒について

問35. どのくらいの頻度でお酒(清酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲みますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|---|--------|
| 1. 毎日 | } | 問35-1へ |
| 2. 週5~6日 | | |
| 3. 週3~4日 | | |
| 4. 週1~2日 | | |
| 5. 月1~3日 | } | 問36へ |
| 6. やめた(1年以上やめている) | | |
| 7. ほとんど飲まない(飲めない) | | |

問35-1. 問35で「1. から5. 」を選んだ方におききます。お酒を飲む時は 1 日あたり、清酒に換算してどれくらいの量を飲みますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 1合(180ml)未満 2. 1合以上2合(360ml)未満 3. 2合以上3合(540ml)未満
4. 3合以上4合(720ml)未満 5. 4合以上5合(990ml)未満 6. 5合(990ml)以上

清酒 1 合(180ml)は、次の量にほぼ相当します。
ビール・発泡酒中瓶 1 本(約 500ml)、焼酎 20 度(135ml)、焼酎 25 度(110ml)、焼酎 35 度(80ml)、
酎ハイ 7 度(350ml)、ウイスキーダブル 1 杯(60ml)、ワイン 2 杯(240ml)

3. 歯の健康に関する意識について

問36. この1年間に歯科医院等で、歯科医に診てもらったことはありますか。

- 1. 診てもらった → 問36-1へ
- 2. 診てもらわなかった → 問36-2へ

問36-1. 問36で「1.」を選んだ方におききます。診てもらった目的は何ですか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- 1. 定期健診
- 2. 歯石・歯の汚れをとるため
- 3. 痛み等の自覚症状があった
- 4. 歯みがき指導を受けるため
- 5. その他()

問36-2. 問36で「2.」を選んだ方におききます。診てもらわなかった理由は何ですか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- 1. 忙しかった
- 2. どの歯科医院に行ってもよいのかわからなかった
- 3. 痛み等の症状がないから、受診の必要はないと思った
- 4. 痛み等の自覚症状があるが、受診の必要を感じない
- 5. その他()

問37. あなたは、ものを噛んで食べる時、どのような状態ですか。あてはまるものを 1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. なんでも噛んで食べることができる
 - 2. 噛めない食べ物が少しある
 - 3. 噛めない食べ物が多い
 - 4. 噛んで食べることができない → 問38へ
- } 問37-1へ

問37-1. 問37で「1. から3.」を選んだ方におききます。あなたは、ふだんゆっくりよく噛んで食べていますか。あてはまるものを 1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. ゆっくりよく噛んで食べている
- 2. どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている
- 3. どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べていない
- 4. ゆっくりよく噛んで食べていない

問38. かかりつけの歯科医院がありますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. 市内にある
- 2. 市外にある
- 3. ない

問39. 歯ブラシ以外に、歯間ブラシやデンタルフロス(糸ようじ)を使っていますか。あてはまるものを 1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. 毎日使っている
- 2. 時々使っている
- 3. 使っていない
- 4. 歯間ブラシやデンタルフロスを知らない

問49. これまで自殺対策に関する啓発物を見たことがありますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|------------|---------------------|---------------------|
| 1. ポスター | 2. パンフレット | 3. 広報誌 |
| 4. インターネット | 5. 電光掲示板・のぼり・看板・横断幕 | 6. ティッシュ等のキャンペーングッズ |
| 7. その他() | | 8. 見たことがない |

問50. 自殺対策に関する講演会や講習会に参加したことがありますか。

1. 参加したことがある 2. 参加したことはない

問51. 自殺対策に関するPR活動は必要だと思いますか。

1. 必要だと思う 2. 必要だと思わない

うつ病に関する意識について

問52. うつ病は誰もがかかる可能性のある病気であること知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

問53. うつ病は、生活苦や失業、人間関係、病気など、様々なストレスと関係あることを知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

問54. うつ病は、薬の治療とともに、ゆっくり休養することが必要であることを知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

次の症状を「うつ病のサイン」といいます。

【自分で感じる症状】憂うつ、気分が重い、何をしても楽しくない、何にも興味がわかない、疲れているのに眠れない、一日中ねむい、いつもよりかなり早く目覚める、イライラして何かにせき立てられるようで落ち着かない、悪いことをしたように感じて自分を責める、自分には価値がないと感じる、思考力が落ちる、死にたくなる

【周囲からみてわかる症状】表情が暗い、涙もろくなった、反応が遅い、落ち着かない、飲酒量が増える

【体に出る症状】食欲がない、体がだるい、疲れやすい、性欲がない、頭痛や肩こり、動悸、胃の不快感、便秘がち

問55. もし仮に、あなたが、家族等の身近な人の「うつ病のサイン」に気がついたとき、医療機関へ相談することを勧めますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 勧める → 問56へ 2. 勧めない → 問55-1へ 3. わからない → 問56へ

問55-1. 問55で「2.」を選んだ方におききます。その理由は何ですか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. お金がかかることは避けたい | 2. 精神的な悩みを話すことに抵抗がある |
| 3. 診療科がわからない | 4. 医療機関の場所がわからない |
| 5. どのような治療かわからず不安 | 6. 恥ずかしい |
| 7. 面倒だ | 8. その他() |

問59. 毎日眠れていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 眠れている
2. 眠れていない(寝つきが悪い、途中で何度か目が覚める、睡眠時間が足りない等)
3. わからない

問60. 生きがい・やりがいを持っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 持っている
2. 持っていない
3. わからない

問61. あなたとあなたがお住まいの地域の人たちとのつながりは、強い方だと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 強い方だと思う
2. そう思わない
3. わからない

問62. 今までに死にたいと追いつめるほど悩んだことがありますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. ある
2. ない
3. 答えたくない、わからない

問63. 悩みを抱えたときやストレスを感じたときに誰かに相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. そう感じる
2. そう感じない
3. わからない

問64. 悩みごとや困ったことがあったとき相談する人がいますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. いる → 問64-1へ
2. いない → 問65へ
3. わからない → 問65へ

問64-1. 問64で「1.」を選んだ方におききます。どなたに相談しますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

1. 家族
2. 親戚
3. 友人
4. 近所の人
5. 職場の同僚や上司や部下
6. 病院
7. 相談窓口
8. その他()

問65. この1か月に、次のア～カの項目についてどのように感じましたか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。

項目	いつもある	たいていある	ときどきある	少しだけある	まったくない
ア. 神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
イ. 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
ウ. そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
エ. 気分が落ち込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
オ. 何をやるにも骨折りだと感じましたか	1	2	3	4	5
カ. 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

5. 健康なまちづくりにつながる社会環境の整備について

問66. あなたは「健康とは何か」と聞かれたら、どのように答えますか。あなたの考えにあうものを、全て選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|----------------------------------|------------------------|----------|
| 1. 幸福なこと | 2. 心身ともに健やかなこと | } 問66-1へ |
| 3. 仕事ができること | 4. 生きがいの条件 | |
| 5. 健康を意識しないこと | 6. 病気でないこと | |
| 7. 快食・快眠・快便 | 8. 身体が丈夫で元気がよく、調子がよいこと | |
| 9. 心も体も人間関係もうまくいっていること | 10. 家庭円満であること | |
| 11. 規則正しい生活ができること | 12. 長生きできること | |
| 13. 人を愛することができること | 14. 前向きに生きられること | |
| 15. その他 例:お酒がおいしく飲めること、など
() | | |

問66-1. 問66で番号を複数選んだ方におききます。その中で、あなたの考えに最も近い番号を1つ選んで記入してください。

番

問67. 健康づくりの総合計画「健康なまち習志野」をご存じでしたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 内容も知っている 2. 名前だけは知っている 3. 知らない

問68. 市では、平成25年4月1日から(通称)健康なまちづくり条例を施行しましたが、ご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 条例が施行されたことも、条例の内容も知っている
2. 条例が施行されたことは知っているが、条例の内容は知らない
3. 条例が施行されたことも、条例の内容も知らない

問69. これからの健康なまちづくりには、保健や福祉など健康に直接関係する分野の他にも、様々な分野の施策が健康なまちづくりにも影響しているという視点が重要であるとされています。あなたは、このような考え方をご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

.....
 例:例えば、都市整備分野が歩きやすい道路の整備をすることで、市民の外出する機会が増加し、適度な運動につながることや、雇用が安定することで、精神・身体的健康が高まることなど。

1. 知っていた 2. 知っていたが、詳しくは知らなかった
3. 知らなかった 4. その他()

問70. 所得や雇用形態、居住形態などを原因として、個人の健康状態に差が生じること、いわゆる「健康格差」という言葉をご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 知っていた 2. 知っていたが、詳しくは知らなかった
3. 知らなかった 4. その他()

問71. あなたと、あなたがお住まいの地域の人たちとのつながりは、強い方だと思えますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 強い方だと思う
2. どちらかといえば強い方だと思う
3. どちらかといえば弱い方だと思う
4. 弱い方だと思う
5. わからない

問72. お住まいの地域周辺に関する現状の満足度について、お考えに近いものを、それぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。

項目	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足
ア. 子どもがのびのび育つまち	1	2	3	4	5
イ. 歳をとっても安心して暮らせるまち	1	2	3	4	5
ウ. 障がいをもった人が生活しやすいまち	1	2	3	4	5
エ. 生涯を通して学習・スポーツができるまち	1	2	3	4	5
オ. 健康をテーマとしたまちづくりが行われているまち	1	2	3	4	5
カ. 夢や生きがいを持って暮らせるまち	1	2	3	4	5
キ. ごみが落ちていないまち	1	2	3	4	5
ク. 水や空気がきれいなまち	1	2	3	4	5
ケ. 四季折々の自然の風景を楽しめるまち	1	2	3	4	5
コ. 犯罪や交通事故の少ないまち	1	2	3	4	5
サ. ふるさと意識が持てるまち	1	2	3	4	5
シ. 地域や地区で協力、助け合いができるまち	1	2	3	4	5
ス. 気軽にあいさつができ、交流ができるまち	1	2	3	4	5
セ. 子育てしやすいまち	1	2	3	4	5
ソ. 教育の充実したまち	1	2	3	4	5

問73. 日頃、健康に関する情報を何から得ていますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

1. テレビ
2. 本・雑誌
3. 新聞
4. 広報紙
5. ラジオ
6. インターネット(パソコン・携帯)
7. 友人・知人
8. 医療機関
9. 薬局
10. 市役所(市の保健師・栄養士・歯科衛生士など)
11. その他()

6. 保健サービス等に関するご意見やご要望について

○習志野市の保健サービス等に関するご意見やご要望などがございましたら、ご記入ください。

<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
--

以上で、健康に関する意識調査は終わりです。ご協力いただき、ありがとうございました。

このアンケート用紙を同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに平成30年11月27日(火) までにご投函ください。なお、今回の調査結果は、ホームページ等で公開する予定です。

習志野市 健康意識調査(親子)

ご協力のお願い

皆様には、日ごろから市政にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

本市では、平成 27 年に「(通称)習志野市健康なまちづくり条例」に基づく「健康なまちづくりの推進に関する基本的な計画」である「健康なまち習志野計画」を策定し、「全ての市民が生涯にわたっていきいきと安心して幸せな生活ができる健康なまちづくり」を総合目標として、各種施策を推進しています。

この度、平成 31 年度に計画期間が終了することから、現在、次期計画の策定を進めています。

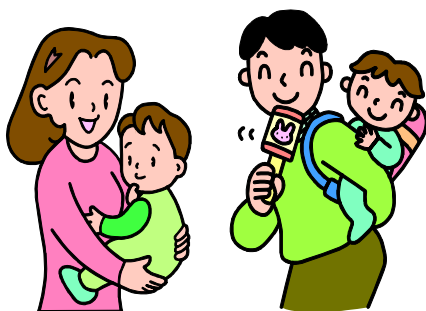
そこで、次期計画の策定における基礎資料とするべく、市民の皆様の健康観や、お子さんや保護者の方の健康づくり、生活習慣、個人の健康に影響を与える社会環境に関する状況や意識、健康格差の要因に関連すること等を把握するため、健康意識調査を実施することとしました。

この調査は、11 月に1歳6か月児健康診査並びに3歳児健康診査を受診するお子さんの保護者の方、約 300 人を選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成 30 年 11 月 習志野市長 宮本 泰介

1. 調査は、無記名方式で行い、個人が特定されない形で統計的に処理しますので、ご協力いただいた皆様にご迷惑をおかけすることは一切ありません。また、調査結果を他の目的に使用することはありません。
2. 鉛筆、ボールペン、万年筆などのいずれをご使用されても結構です。
3. なるべく全ての質問にご回答ください。どうしても答えたくない質問がある場合は、飛ばして次の質問にお進みいただいてもかまいません。



(問合せ先) 習志野市役所 健康福祉部 健康支援課 企画係

電話:047-451-1151(代表) 内線 316

FAX:047-451-4822

E メール:kenkosien@city.narashino.lg.jp

お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに

平成30年11月27日(火) までにご投函ください。

ご記入にあたって【設問への回答・回答者・対象となるお子さんについて】

●この調査票は、今回健診の対象になっているお子さんの保護者がご記入ください。

- ・問1～問13までは、今回健診の対象になっているお子さんについて回答してください。
- ・問14～問23までは、すべてのお子さんについて回答してください。
- ・問24～問53までは、保護者ご自身の状況、お考えを回答してください。

※問1～問13までは、今回健診の対象になっているお子さんについてお答えください。

1. 妊娠・出産・産後について

問1. お子さんは何人目ですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 1人目 2. 2人目 3. 3人目 4. 4人目以上

問2. 妊娠中、定期的に妊婦健診を受けましたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 受けた → 問3へ
2. 受けなかったことがあった
3. まったく受けなかった } 問2-1へ

問2-1. 問2で「2. または3.」を選んだ方におききます。妊婦健診を受けなかった理由としてあてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

1. 必要ないと思ったから 2. 産婦人科が身近なところになかったから
3. 忙しくて行けなかったから 4. 体調が悪く、すでに病院にかかっていたから
5. 経済的な理由で行けなかったから 6. 出産をためらっていたから
7. その他()

問3. 妊婦健診時、医師や助産師などから日常生活の指導を受けたことがありますか。

1. ある 2. ない

問4. 妊娠中、特に気をつけたことは何ですか。あてはまるものを3つ以内で選んで番号に○をつけてください。

1. 栄養に気をつけた 2. 運動をこころがけた 3. 医師の指示を守った
4. 体重増加に気をつけた 5. たばこをやめた 6. アルコールをやめた
7. 歯の手入れをこころがけた 8. 無理しないようにした 9. その他()
10. 特にない

問5. 妊娠中は朝食をとっていましたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 週6～7日食べた 2. 週4～5日食べた
3. 週2～3日食べた 4. ほとんど食べなかった

問6. 妊娠していることがわかったときの気持ちで、最もあてはまるものを 1 つ選んで番号に○をつけてください。

1. 嬉しかった 2. まあまあ嬉しかった 3. あまり嬉しくなかった
4. 嬉しくなかった 5. その他()

問7. マタニティマークを利用したことがありますか

1. ある 2. ない



問8. 妊娠中に悩みや不安がありましたか。

1. あった → 問8-1 2. なかった → 問9へ

問8-1. 問8で「1.」を選んだ方におききます。妊娠中に、悩みや不安を相談する人や手段がありましたか。

1. いた(あった) → 問8-2へ 2. いなかった(なかった) → 問9へ

問8-2. 問8-1で「1.」を選んだ方におききます。相談相手や手段として、あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

1. 夫・パートナー 2. 実父母 3. 義父母
4. 兄弟姉妹 5. 友人・知人 6. 隣人
7. かかりつけ医 8. 保健師 9. 助産師
10. インターネット(パソコン・携帯)のホームページや掲示板
11. その他()

問9. はじめて、お子さんと対面したときの気持ちで、最もあてはまるものを 1 つ選んで番号に○をつけてください。

1. 嬉しかった 2. まあまあ嬉しかった 3. あまり嬉しくなかった 4. 嬉しくなかった

問10. 今回の妊娠・出産について満足していますか。あてはまるものを 1 つ選んで番号に○をつけてください。

1. はい 2. どちらともいえない 3. いいえ

問11. 産後1か月までの時期に協力してくれた人はいましたか。

1. いた → 問11-1へ 2. いなかった → 問12へ

問11-1. 問11で「1.」を選んだ方におききます。協力してくれた人を全て選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|------------------|------------|-----------|
| 1. 夫・パートナー | 2. 実父母 | 3. 義父母 |
| 4. 兄弟姉妹 | 5. 友人・知人 | 6. 隣人 |
| 7. ファミリーサポートセンター | 8. 民間ヘルパー等 | 9. その他() |

問12. 妊娠中から産後3か月くらいの中に、気分が沈んだり、涙もろくなったり、何もする気になれないということがありましたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|------------|---|--------|
| 1. あった | } | 問12-1へ |
| 2. ときどきあった | | |
| 3. あまりなかった | } | 問13へ |
| 4. なかった | | |

問12-1. 問12で「1. または2.」を選んだ方におききます。あてはまる時期を全て選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 妊娠中 | 2. 出産～産後3か月くらい |
| 3. 産後1年くらい | 4. 現在も続いている |

問13. 今回の健診対象のお子さんは、習志野市で母子健康手帳をもらいましたか。

- | | | | |
|-------|--------|--------|----------|
| 1. はい | → 問14へ | 2. いいえ | → 問13-1へ |
|-------|--------|--------|----------|

問13-1. 問13で「2.」を選んだ方におききます。転入された時期について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。(2.を選んだ方は、()に数字をご記入ください)

- | | | |
|--------|-------------|---------|
| 1. 妊娠中 | 2. 生後()か月頃 | 3. 1歳過ぎ |
|--------|-------------|---------|

※問14～問23は、ご家庭のすべてのお子さんの育児についてお答えください。

2. 事故防止について

問14. 子どもを車に乗せる時に、チャイルドシートを使用していますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|-----------|------------|---------|
| 1. 使用している | 2. 使用していない | 3. 車はない |
|-----------|------------|---------|

問15. 風呂場のドアを子どもが自分で開けることができないよう工夫をしていますか。

- | | |
|---------|----------|
| 1. している | 2. していない |
|---------|----------|

3. 育児に関することについて

問16. 育児について相談する人や手段はありますか。

1. いる(ある) → 問16-1へ 2. いない(ない) → 問17へ

問16-1. 問16で「1.」を選んだ方におききます。相談する人や手段を全て選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|---------------------------------|----------|--------|
| 1. 夫・パートナー | 2. 実父母 | 3. 義父母 |
| 4. 兄弟姉妹 | 5. 友人・知人 | 6. 隣人 |
| 7. かかりつけ医 | 8. 保健師 | 9. 助産師 |
| 10. 保育士・幼稚園、こども園の先生 | | |
| 11. インターネット(パソコン・携帯)のホームページや掲示板 | | |
| 12. その他() | | |

問17. あなたからみて夫やパートナーは、家事や育児にどのような形でかかわっていますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|----------|
| 1. 子どもを入浴させる | } 問17-1へ |
| 2. 子どもを着替え(おむつ交換を含む)させる | |
| 3. 子どもと一緒に遊ぶ | |
| 4. 保育所、幼稚園、こども園等の送迎をする | |
| 5. 洗濯をする | |
| 6. 食事の準備・後片付けをする | |
| 7. 買い物をする | |
| 8. 掃除をする | |
| 9. 妻の話を聞いたり相談にのる | |
| 10. 妻に感謝の言葉やねぎらいの言葉をかける | |
| 11. 妻の気分転換の時間を作る | |
| 12. その他() | |
| 13. 何もしない | |
14. 夫・パートナーはいない → 問18へ

問17-1. 問17で「14.」以外を選んだ方におききます。夫やパートナーの協力の仕方に満足していますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|------------|---------------|---------------|
| 1. 満足している | 2. まあまあ満足している | 3. あまり満足していない |
| 4. 満足していない | 5. わからない | |

問18. 今のあなたの気持ちについて、あてはまるものをそれぞれ 1 つずつ選んで番号に○をつけてください。

項目	はい	うしろ	でもないうしろ
ア. 子どもがかわいいと感じる	1	2	3
イ. 育児は楽しいと感じる	1	2	3
ウ. 子育てに自信がもてない	1	2	3
エ. 普段の生活の中でイライラする	1	2	3
オ. 「子どもを虐待してしまった」と感じるときがある	1	2	3
カ. 子どもと一緒に自分も成長していると感じる	1	2	3
キ. 自分の自由な時間が欲しい	1	2	3
ク. 家計のやりくりが大変である	1	2	3
ケ. 子育てはいろいろな人とコミュニケーションが大切であると感じる	1	2	3

4. 医療機関等について

問19. 小児科のかかりつけ医がありますか。

1. ある → 問19-1、問19-2へ 2. ない → 問19-3へ

問19-1. 問19で「1.」を選んだ方におききます。かかりつけ医のいる医療機関はどこにありますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 習志野市 2. 八千代市 3. 船橋市 4. 千葉市 5. その他()

問19-2. 問19で「1.」を選んだ方におききます。かかりつけ医を受診することで悩みや不安は解消していますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 解消している 2. だいたい解消している 3. あまり解消していない 4. 解消していない

問19-3. 問19で「2.」を選んだ方におききます。小児科のかかりつけ医を持っていない理由で、最もあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 小児科ではないが、かかりつけ医があるから
 2. 子どもが丈夫で病気にならないから
 3. 近くに適当な病院・医院がないから
 4. 必要に応じてかかる病院・医院を決めればよいから
 5. かかりつけ医を持つ理由がよくわからないから
 6. その他()

問20. 薬に関する相談ができる、かかりつけ薬局がありますか。

1. ある 2. ない

問21. 習志野市急病診療所(診療時間:毎日20時~23時)を知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

問22. お子さんが、休日や夜間に医療機関を受診したことがありますか。

1. ある → 問22-1へ 2. ない → 問23へ

問22-1. 問22で「1.」を選んだ方におききます。休日や夜間に一番最近に受診した医療機関として、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|--|-------------------------------|
| 1. 習志野市急病診療所 | 2. 習志野市内の医療機関(1. 習志野市急病診療所以外) |
| 3. 八千代市急病診療所 | 4. 八千代市の医療機関 |
| 5. 船橋市急病診療所 | 6. 船橋市の医療機関 |
| 7. 千葉市急病診療所 | 8. 千葉市の医療機関 |
| 9. その他() | |

5. 市のサービスについて

問23. 次の事業を利用したことがありますか。1 または 2 に○をつけてください。「2」を選んだ方は、利用しなかった理由としてあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

時期	事業	ある	ない	理由	
妊娠中	母子健康手帳交付	1	2	1 必要なかった 3 知らなかった	2 習志野市に住んでいなかった 4 その他()
出生	新生児訪問	1	2	1 必要なかった 3 知らなかった	2 習志野市に住んでいなかった 4 その他()
	母子保健推進員の訪問	1	2	1 必要なかった 3 知らなかった	2 習志野市に住んでいなかった 4 その他()
	乳児健康診査(3~6か月児)	1	2	1 必要なかった 3 知らなかった	2 習志野市に住んでいなかった 4 その他()
	4か月児健康相談	1	2	1 必要なかった 3 知らなかった	2 習志野市に住んでいなかった 4 その他()
	離乳食教室	1	2	1 必要なかった 3 知らなかった	2 習志野市に住んでいなかった 4 その他()
	10か月児相談	1	2	1 必要なかった 3 知らなかった	2 習志野市に住んでいなかった 4 その他()
	乳児健康診査(9~11か月児)	1	2	1 必要なかった 3 知らなかった	2 習志野市に住んでいなかった 4 その他()
1歳	歯みがき教室	1	2	1 必要なかった 3 知らなかった	2 習志野市に住んでいなかった 4 その他()
	1歳6か月児健康診査	1	2	1 必要なかった 3 知らなかった	2 習志野市に住んでいなかった 4 その他()
	幼児相談(心理相談員、保健師による相談)	1	2	1 必要なかった 3 知らなかった	2 習志野市に住んでいなかった 4 その他()
	発達相談(小児科医の相談)	1	2	1 必要なかった 3 知らなかった	2 習志野市に住んでいなかった 4 その他()
3歳	3歳児健康診査	1	2	1 必要なかった 3 知らなかった	2 習志野市に住んでいなかった 4 その他()

※問24～問53までは、保護者ご自身の状況、お考えを回答してください。

問24. 市のサービスについての情報を知りたいとき、どこで調べますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------|---------------|
| 1. 広報習志野 | 2. 市のホームページ | 3. すこやか子育てガイド |
| 4. 友人・知人に聞く | 5. 保健師に聞く | 6. その他() |

問25. 市の保健師、栄養士、歯科衛生士等に、個別で健康や育児の相談ができることを知っていますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

6. あなた(回答者)ご自身について

問26. あなたの年齢をおきかしてください。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20～24歳 | 3. 25～29歳 | 4. 30～34歳 |
| 5. 35～39歳 | 6. 40～44歳 | 7. 45～49歳 | 8. 50歳以上 |

問27. あなたの職業について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|---------|--------|
| 1. 会社員(役員含む) | 2. 自営業 | 3. 公務員 |
| 4. 派遣・パート・アルバイト | 5. 専業主婦 | 6. 学生 |
| 7. その他() | | |

問28. 現在お住まいの地区名について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|----------|----------|--------|---------|
| 1. 茜浜 | 2. 秋津 | 3. 泉町 | 4. 大久保 | 5. 香澄 |
| 6. 鷺沼 | 7. 鷺沼台 | 8. 芝園 | 9. 新栄 | 10. 袖ヶ浦 |
| 11. 津田沼 | 12. 花咲 | 13. 東習志野 | 14. 藤崎 | 15. 実籾 |
| 16. 実籾本郷 | 17. 本大久保 | 18. 屋敷 | 19. 谷津 | 20. 谷津町 |
| 21. 奏の杜 | | | | |

問29. あなたと生計を共にしている世帯の人数は、何人ですか。

あなたを含めて 人

問30. あなたを中心として見た時、現在一緒に住んでいる(生活している)家族構成は、どのようになっていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|----------------|------------|------------------|
| 1. あなたと配偶者と子ども | 2. あなたと子ども | 3. あなたと配偶者と子どもと親 |
| 4. あなたと子どもと親 | 5. その他() | |

問31. 問29の世帯全体の昨年1年間の税引前の合計収入額(年金・手当等を含みます)について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|-----------------------|-------------------|---------------------|
| 1. 100万円未満 | 2. 100万円～150万円未満 | 3. 150万円～200万円未満 |
| 4. 200万円～250万円未満 | 5. 250万円～300万円未満 | 6. 300万円～400万円未満 |
| 7. 400万円～500万円未満 | 8. 500万円～600万円未満 | 9. 600万円～700万円未満 |
| 10. 700万円～800万円未満 | 11. 800万円～900万円未満 | 12. 900万円～1,000万円未満 |
| 13. 1,000万円～1,200万円未満 | 14. 1,200万円以上 | |

問32. 現在の暮らし向きについて、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 家計にゆとりがあり、全く心配していない
2. 家計にあまりゆとりはないが、それほど心配はない
3. 家計にゆとりがなく、やや心配である
4. 家計が苦しく、非常に心配である

問33. あなたの現在の健康状態はいかがですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. よい
2. まあよい
3. ふつう
4. あまりよくない
5. よくない

問34. あなたは食育に関心がありますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 関心がある
2. どちらかといえばある
3. 関心がない
4. わからない

食育とは、心身の健康と豊かな人間形成のために食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。

問35. 「食事バランスガイド」「三食食品群」等何かを参考にして食生活を送っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. いつも参考にしている
2. ときどき参考にしている
3. ほとんど参考にしていない
4. 知らない

問36. 外食や食品を購入する時に栄養成分表示を参考にしていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. いつも参考にしている
2. ときどき参考にしている
3. ほとんど参考にしていない
4. 栄養成分表示を知らない

栄養成分表示とは、エネルギー、たんぱく質、脂質、炭水化物、塩分などの表示です。

問37. 普段、朝食をとっていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 週6～7日とっている
2. 週4～5日とっている
3. 週2～3日とっている
4. ほとんどとっていない

問38. バランスのとれた食事(主食・主菜・副菜を組み合わせた食事)を、1日2回以上とっていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 週6～7日とっている
2. 週4～5日とっている
3. 週2～3日とっている
4. ほとんどとっていない

主食: 米、パン、めん類などの穀類
副菜: 野菜、きのこ、いも、海藻料理など
主菜: 魚、肉、卵、大豆料理など



問39. 日頃から日常生活の中で、健康の維持・増進のために、意識的に身体を動かしていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. いつもしている
2. 時々している
3. 以前はしていたが、現在はしていない
4. まったくしていない

問40. あなたのご家庭の喫煙の状況は、次のうちどれですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 誰も吸わない 2. 吸っているが、分煙している 3. 吸っており、特に分煙していない

分煙とは、たばこを吸う場所をしっかりと分け、たばこを吸わない人が煙を吸い込むことがないようにすることです。

問41. この1年間に歯科医院等で、歯科医に診てもらったことはありますか。

1. 診てもらった → 問41-1へ
2. 診てもらわなかった → 問41-2へ

問41-1. 問41で「1.」を選んだ方におききます。診てもらった目的は何ですか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

1. 定期健診 2. 歯石・歯の汚れをとるため 3. 痛み等の自覚症状があった
4. 歯みがき指導を受けるため 5. その他()

問41-2. 問41で「2.」を選んだ方におききます。診てもらわなかった理由は何ですか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

1. 忙しかった
2. どの歯科医院に行ってもよいのかわからなかった
3. 痛み等の症状がないから、受診の必要はないと思った
4. 痛み等の自覚症状があるが、受診の必要を感じない
5. その他()

問42. あなたは、ものを噛んで食べる時、どのような状態ですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. なんでも噛んで食べることができる
2. 噛めない食べ物が少しある
3. 噛めない食べ物が多い
4. 噛んで食べることができない → 問43へ
- } 問42-1へ

問42-1. 問42で「1. から3.」を選んだ方におききます。あなたは、ふだんゆっくりよく噛んで食べていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. ゆっくりよく噛んで食べている
2. どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている
3. どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べていない
4. ゆっくりよく噛んで食べていない

問43. かかりつけの歯科医院がありますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 市内にある 2. 市外にある 3. ない

問44. 歯ブラシ以外に、歯間ブラシやデンタルフロス(糸ようじ)を使っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 毎日使っている 2. 時々使っている
3. 使っていない 4. 歯間ブラシやデンタルフロスを知らない

問45. 普段のあなたの健康に関する行動について、次のア～への項目であてはまるものを、それぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。

項目	実行している	ほぼ実行している	ときどき実行している	あまり実行していない	実行していない
ア. 自分に合った健康づくりを行っていますか	1	2	3	4	5
イ. 健康づくりのために運動を行っていますか	1	2	3	4	5
ウ. 普段なるべく歩くようにしていますか	1	2	3	4	5
エ. 歯やお口の健康を意識した生活を送っていますか	1	2	3	4	5
オ. 家族や友人等と食事をとるようにしていますか	1	2	3	4	5
カ. 心にゆとりのある生活を送っていますか	1	2	3	4	5
キ. 楽しい人間関係づくりを行っていますか	1	2	3	4	5
ク. 規則正しい生活を送っていますか	1	2	3	4	5
ケ. 健康に関する情報を入手していますか	1	2	3	4	5
コ. 自分を大切に生きていますか	1	2	3	4	5
サ. ボランティア活動に参加していますか	1	2	3	4	5
シ. 地域や地区の活動に参加していますか	1	2	3	4	5
ス. ごみのマナー(分別など)を守っていますか	1	2	3	4	5
セ. 交通ルールやマナーを守っていますか	1	2	3	4	5
ソ. 定期的にがん検診を受けていますか	1	2	3	4	5
タ. 自分以外の人にやさしく接していますか	1	2	3	4	5
チ. 自分から周りの人にあいさつをしていますか	1	2	3	4	5
ツ. 家族や友人等とふれあう時間や機会をつくっていますか	1	2	3	4	5
テ. 家族や友人等と一緒に健康づくりを行っていますか	1	2	3	4	5

7. 健康なまちづくりにつながる社会環境の整備について

問46. あなたは「健康とは何か」と聞かれたら、どのように答えますか。あなたの考えにあうものを、全て選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|----------------------------------|------------------------|----------|
| 1. 幸福なこと | 2. 心身ともに健やかなこと | } 問46-1へ |
| 3. 仕事ができること | 4. 生きがいの条件 | |
| 5. 健康を意識しないこと | 6. 病気でないこと | |
| 7. 快食・快眠・快便 | 8. 身体が丈夫で元気がよく、調子がよいこと | |
| 9. 心も体も人間関係もうまくいっていること | 10. 家庭円満であること | |
| 11. 規則正しい生活ができること | 12. 長生きできること | |
| 13. 人を愛することができること | 14. 前向きに生きられること | |
| 15. その他 例:お酒がおいしく飲めること、など
() | | |

問46-1. 問46で番号を複数選んだ方におききます。その中で、あなたの考えに最も近い番号を1つ選んで記入してください。

番

問47. 健康づくりの総合計画「健康なまち習志野」をご存じでしたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 内容まで知っている 2. 名前だけは知っている 3. 知らない

問48. 市では、平成25年4月1日から(通称)健康なまちづくり条例を施行しましたが、ご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 条例が施行されたことも、条例の内容も知っている
2. 条例が施行されたことは知っているが、条例の内容は知らない
3. 条例が施行されたことも、条例の内容も知らない

問49. これからの健康なまちづくりには、保健や福祉など健康に直接関係する分野の他にも、様々な分野の施策が健康なまちづくりにも影響しているという視点が重要であるとされています。あなたは、このような考え方をご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

.....
例えば、都市整備分野が歩きやすい道路の整備をすることで、市民の外出する機会が増加し、適度な運動につながることや、雇用が安定することで、精神・身体的健康が高まることなど。
.....

1. 知っていた 2. 知っていたが、詳しくは知らなかった
3. 知らなかった 4. その他()

問50. 所得や雇用形態、居住形態などを原因として、個人の健康状態に差が生じること、いわゆる「健康格差」という言葉をご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 知っていた 2. 知っていたが、詳しくは知らなかった
3. 知らなかった 4. その他()

問51. あなたとあなたがお住まいの地域の人たちとのつながりは、強い方だと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 強い方だと思う 2. どちらかといえば強い方だと思う
3. どちらかといえば弱い方だと思う 4. 弱い方だと思う
5. わからない

問52. 趣味や楽しみにしていることがありますか。該当するものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. ある 2. あるが今はできない 3. ない

問53. お住まいの地域周辺に関する現状の満足度について、お考えに近いものを、それぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。

項目	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足
ア. 子どもがのびのび育つまち	1	2	3	4	5
イ. 歳をとっても安心して暮らせるまち	1	2	3	4	5
ウ. 障がいをもった人が生活しやすいまち	1	2	3	4	5
エ. 生涯を通して学習・スポーツができるまち	1	2	3	4	5
オ. 健康をテーマとしたまちづくりが行われているまち	1	2	3	4	5
カ. 夢や生きがいを持って暮らせるまち	1	2	3	4	5
キ. ごみが落ちていないまち	1	2	3	4	5
ク. 水や空気がきれいなまち	1	2	3	4	5
ケ. 四季折々の自然の風景を楽しめるまち	1	2	3	4	5
コ. 犯罪や交通事故の少ないまち	1	2	3	4	5
サ. ふるさと意識が持てるまち	1	2	3	4	5
シ. 地域や地区で協力、助け合いができるまち	1	2	3	4	5
ス. 気軽にあいさつができ、交流ができるまち	1	2	3	4	5
セ. 子育てしやすいまち	1	2	3	4	5
ソ. 教育の充実したまち	1	2	3	4	5

8. 保健サービス等に関するご意見やご要望について

○習志野市の保健サービス等に関するご意見やご要望などがございましたら、ご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

以上で、健康に関する意識調査は終わりです。ご協力いただき、ありがとうございました。
このアンケート用紙を同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに平成30年11月27日(火)
までにご投函ください。なお、今回の調査結果は、ホームページ等で公開する予定です。

～事業者の皆様へ～

健康意識調査へのご協力のお願い

事業者の皆様には、日頃より市政にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、本市では、全ての市民が生涯にわたっていきいきと安心して幸せな生活ができる健康なまちづくりを目指した「(通称)習志野市健康なまちづくり条例」を、平成25年4月1日から施行し、市・市民・市民活動団体・事業者・健康づくり関係者が連携協働して健康なまちづくりを推進していくこととしております。

また、平成27年に(通称)習志野市健康なまちづくり条例に基づく「健康なまちづくりの推進に関する基本的な計画」である「健康なまち習志野計画」を策定し、「全ての市民が生涯にわたっていきいきと安心して幸せな生活ができる健康なまちづくり」を総合目標として、各種施策を推進しています。

この度、平成31年度に計画期間が終了することから、次期計画を策定するための基礎資料とすべく、健康について事業者の皆様が感じていることやご意見等を把握するため、健康意識調査を実施することとしました。

お忙しいところ、大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 30 年 11 月 習志野市長 宮本 泰介

ご記入にあたって

1. この健康意識調査は、習志野商工会議所の会員事業者500社を無作為に抽出してお願いしております。
2. 調査は無記名方式です。事業者名やご住所を書いていただく必要はありません。
3. 回答内容は統計的に処理しますので、事業者名などが特定されることはありません。また、調査結果を他の目的に使用することはありません。
4. 鉛筆、ボールペン、万年筆などのいずれをご使用されても結構です。
5. ご記入後、回答もれが無いかが確認の上、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに平成30年11月27日(火)までに ご投函ください。

(問合せ先) 習志野市役所 健康福祉部 健康支援課 企画係
電話:047-451-1151(代表) 内線316
FAX:047-451-4822
Eメール:kenkosien@city.narashino.lg.jp

1. 貴事業者について

問1. 貴事業者の主たる業種について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|-------------|-----------|--------------|
| 1. 農業・林業 | 2. 鉱業 | 3. 建設業 | 4. 製造業 |
| 5. 情報通信業 | 6. 運輸業 | 7. 卸売・小売業 | 8. 金融・保険業 |
| 9. 不動産業 | 10. 飲食店、宿泊業 | 11. 医療、福祉 | 12. 教育、学習支援業 |
| 13. サービス業 | 14. その他() | | |

問2. 貴事業者の従業員(非正規含む全ての従業員)の人数について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|----------------|-----------------|------------------|
| 1. 5人未満 | 2. 5人以上～10人未満 | 3. 10人以上～20人未満 |
| 4. 20人以上～50人未満 | 5. 50人以上～100人未満 | 6. 100人以上～500人未満 |
| 7. 500人以上 | | |

問3. 貴事業者の従業員(非正規含む全ての従業員)の平均年齢について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20歳～29歳 | 3. 30歳～39歳 | 4. 40歳～49歳 |
| 5. 50歳～59歳 | 6. 60歳～69歳 | 7. 70歳以上 | |

問4. 最近1年間の業況はいかがですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|---------|-----------|---------|
| 1. 黒字基調 | 2. 収支ほぼ均衡 | 3. 赤字基調 |
|---------|-----------|---------|

問5. 貴事業者の主な販売先について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 国内の一般消費者に売上高の50%超を依存
- 国内の株式非公開企業に売上高の50%超を依存
- 国内の株式公開企業に売上高の50%超を依存
- 国内の官公庁・公的機関に売上高の50%超を依存
- 海外に売上高の50%超を依存
- 上記の1～5以外

問6. 貴事業者の所在地について、あてはまる地区を1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|----------|----------|--------|---------|
| 1. 茜浜 | 2. 秋津 | 3. 泉町 | 4. 大久保 | 5. 香澄 |
| 6. 鷺沼 | 7. 鷺沼台 | 8. 芝園 | 9. 新栄 | 10. 袖ヶ浦 |
| 11. 津田沼 | 12. 花咲 | 13. 東習志野 | 14. 藤崎 | 15. 実籾 |
| 16. 実籾本郷 | 17. 本大久保 | 18. 屋敷 | 19. 谷津 | 20. 谷津町 |
| 21. 奏の杜 | | | | |

問11. 従業員のからだの健康づくりを貴事業者が進めていく上で、どのようなことが課題であると考えていますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 従業員の健康状態の把握 | 2. 従業員の家族の健康状態の把握 |
| 3. 健康教育を実施する態勢の整備 | 4. 健康相談を実施する態勢の整備 |
| 5. 休憩室など休息できる場所の整備 | 6. 受動喫煙を防止するための対策 |
| 7. 時間外労働の削減 | 8. その他() |
| 9. 特に課題はない | |

4. 心の健康に関する意識について

(問12~14では従業員などの心の健康についておうかがいします)

問12. 貴事業者では、従業員などの心の健康について、どのような考えをお持ちですか。あてはまるものを、それぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。

項目	そう思う	そう思う どちらかといえば	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
ア. 従業員の心の健康管理は重要である	1	2	3	4
イ. 従業員の心が健康であることは、労働生産性やサービスの向上、事業リスクの軽減につながる	1	2	3	4
ウ. 従業員の心が健康であることは、医療費の伸びを抑制することにつながる	1	2	3	4
エ. 従業員の心の健康づくりに取り組むことは、従業員満足度の向上、優秀な人材の定着・新規雇用につながる	1	2	3	4
オ. 従業員の心が健康であることは、家庭や地域などの人々にも良い影響を及ぼす	1	2	3	4
カ. 従業員の心の健康状態を把握できている	1	2	3	4
キ. 従業員の家族の心が健康であることは重要である	1	2	3	4
ク. 従業員の家族の心の健康状態を把握できている	1	2	3	4
ケ. 心の健康が良好な従業員が年々多くなっている	1	2	3	4
コ. 従業員の心の健康づくりを、従業員個人の責任だけにしていない	1	2	3	4
サ. 従業員の心の健康づくりには職場環境の影響が大きい	1	2	3	4
シ. 良好な職場環境の整備には、職場の人間関係の影響が大きい	1	2	3	4
ス. 仕事上の裁量の自由と決定権(コントロール度)が高い従業員はストレスが低い	1	2	3	4
セ. 仕事上の努力に見合った報酬(賃金、昇進、個人の尊重)は従業員のストレスを低くする	1	2	3	4
ソ. 従業員の心の健康づくりに積極的に取り組んでいる	1	2	3	4
タ. 従業員の心の健康づくりに関するノウハウがある	1	2	3	4

問13. 従業員の心の健康状態について、総じてどのように感じていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 全ての従業員が良好である | 2. 良好な従業員の方が多い |
| 3. 良好な従業員と良好でない従業員が同じくらい | 4. 良好な従業員の方が少ない |
| 5. 良好な従業員はほとんどいない | 6. その他() |
| 7. わからない | |

問14. 従業員の心の健康づくりを進めていく上で、どのようなことが課題であると考えていますか。
あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 従業員の健康状態の把握 | 2. 従業員の家族の健康状態の把握 |
| 3. 健康教育を実施する態勢の整備 | 4. 健康相談を実施する態勢の整備 |
| 5. 従業員間のコミュニケーションの向上 | 6. 有給休暇を取得しやすい職場環境 |
| 7. 時間外労働の削減 | 8. その他() |
| 9. 特に課題はない | |

5. 健康づくりへの取組みについて

問15. 健康対策を行うスタッフを、配置していますか。

1. いる → 問15-1へ 2. いない → 問16へ

問15-1. 問15で「1.」を選ばれた方におききます。健康対策を行うスタッフの職種は、
何ですか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| 1. 産業医 | 2. 医師 | 3. 衛生管理者等 |
| 4. 保健師・看護師 | 5. カウンセラー | 6. その他() |

問16. 貴事業者が日常行っている、従業員の健康づくりへの取組み状況はいかがですか。また、
行っていない場合、今後は取組みたいと思いますか。お考えに近いものを、それぞれ1つ
ずつ選んで番号に○をつけてください。

項目	実施している		実施していない	
	いつも	時々	し今後 たい	難今 しいも
ア. 良好な人間関係づくり(例: 従業員の親睦を図るための懇親会やスポーツ大会、従業員が相互に感謝の気持ちを示しあう「ありがとうカード」の導入など)	1	2	3	4
イ. 従業員の定期的な健康診断の実施	1	2	3	4
ウ. 従業員の定期的な健康診断受診状況の把握	1	2	3	4
エ. 従業員の家族(被扶養者)の定期的な健康診断の実施	1	2	3	4
オ. 従業員の家族(被扶養者)の定期的な健康診断受診状況の把握	1	2	3	4
カ. 従業員を対象とした研修や講演といった健康教育の実施	1	2	3	4
キ. 従業員が気軽に健康相談を受けられる体制づくり	1	2	3	4
ク. 千葉産業保健推進連絡事務所等、産業保健の促進に関する相談、セミナー、情報提供を行う機関の活用	1	2	3	4
ケ. 年次有給休暇を取得しやすい職場環境の整備	1	2	3	4
コ. ノー残業デーの設定など、時間外労働の削減	1	2	3	4
サ. 従業員の禁煙支援	1	2	3	4
シ. 事業所内禁煙など、受動喫煙を防止するための対策	1	2	3	4
ス. 事業所内や周辺のゴミ拾いなど、従業員の心の安らぎにつながる美化活動	1	2	3	4
セ. 屋上や壁面の緑のカーテンなど、従業員の心の安らぎにつながる緑化活動	1	2	3	4

6. 健康なまちづくりの推進に関する地域社会との協働について

問17. 貴事業者には、社是・社訓・経営理念がありますか。

1. ある → 問17-1、問17-2へ 2. ない → 問18へ

問17-1. 問17で「1.」を選ばれた方におききます。社是・社訓・経営理念を貴事業者の経営へ反映していますか。あてはまるものを、全て選んで番号に○をつけてください。

1. 社是等は観念的・精神的なものであり、実際の経営には反映していない
2. 自社のパンフレット・ホームページ等で社是等を公表している
3. 個々の活動方針や経営計画に具体的に織り込んでいないが、社是等の精神に則って事業を行っている
4. 社是等に基づいて、生産・販売、環境保護・管理、品質管理等に関する各種の活動方針を立てている
5. 社是等に基づいて、年度間の、あるいは中・長期的な経営計画を策定している

問17-2. 問17で「1.」を選ばれた方におききます。社是・社訓・経営理念に含まれる項目について、あてはまるものを、全て選んで番号に○をつけてください。

1. 法令を順守し、倫理的行動をとること
2. 人体に有害な製・商品、サービスを提供しないこと
3. 収益をあげること
4. 新たな技術や知識を生み出すこと
5. 地球環境の保護に貢献すること
6. 人権を尊重・保護すること
7. 貴事業者が所在する地域社会への参画、発展に寄与すること
8. 寄付やボランティア、芸術・文化への支援活動等を通じて、社会に貢献すること
9. 雇用を創出すること
10. より良い製・商品、サービスを提供すること
11. 健康・社会・環境に配慮した製・商品、サービスを提供すること
12. その他()

問18. 「企業の社会的責任(CSR)」という用語をご存知ですか。あてはまるものを 1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 見聞きしたことがあり、内容についても詳しく知っている
2. 見聞きしたことがあり、内容については大まかに知っている
3. 見聞きしたことはあるが、内容についてはあまり知らない
4. 知らなかった

「企業の社会的責任(CSR)」(CSR はCorporate Social Responsibility)の略)

「法令順守に基づいた事業活動により収益を確保することにとどまらず、(地球)環境の保全や(地域)社会とそのメンバー(例:従業員)への貢献とのバランスにも配慮すること等も企業が負うべき責任であるとの考え」、あるいは「そうした考えに基づく活動・取り組み」

問19. 貴事業者にとって、「企業の社会的責任(CSR)」に含まれると考えられる項目について、あてはまるものを、全て選んで番号に○をつけてください。

1. 法令を順守し、倫理的行動をとること
2. 人体に有害な製・商品、サービスを提供しないこと
3. 収益をあげること
4. 新たな技術や知識を生み出すこと
5. 地球環境の保護に貢献すること
6. 人権を尊重・保護すること
7. 貴事業者が所在する地域社会への参画、発展に寄与すること
8. 寄付やボランティア、芸術・文化への支援活動等を通じて、社会に貢献すること
9. 雇用を創出すること
10. より良い製・商品、サービスを提供すること
11. 健康・社会・環境に配慮した製・商品、サービスを提供すること
12. その他()

問20. 貴事業者では本業に関連することも含め、地域社会への参画、発展のための取り組みを行っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------------|---|--------------|
| 1. 十分行っている | } | 問20-1、問20-2へ |
| 2. ある程度行っている | | |
| 3. あまり行っていない | } | 問20-3へ |
| 4. 全く行っていない | | |

問20-1. 問20 で、「1. または2. 」を選ばれた方におききます。

貴事業者が地域社会への参画、発展のために行っていることについて、その内容をご記入ください。

.....

.....

問20-2. 問20 で、「1. または2. 」を選ばれた方におききます。

貴事業者が地域社会への参画、発展のために取り組む目的は何ですか。
あてはまるもの全てを選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|-------------------|
| 1. 自社の知名度・イメージの向上 | 2. 地域経済の活性化 |
| 3. 良好なコミュニティの形成 | 4. 地域への愛着心・誇りを高める |
| 5. 人脈の形成 | |
| 6. 地域内で生活する人の健康づくりの推進と、そのための社会環境の整備 | |
| 7. 自然環境の保全 | 8. 地域内の人材の育成 |
| 9. 新事業の開拓 | 10. 地域内の社会的課題の解決 |
| 11. 歴史・文化的資源の保存・保全 | 12. その他() |

問20-3. 問20で、「3. または 4. 」を選ばれた方におききます。

**「地域社会への参画、発展のための取り組み」を行っていない理由について、
あてはまるもの全てを選んで番号に○をつけてください。**

1. 人手が足りない
2. コストの増加が予想される
3. 「企業の社会的責任(CSR)」という概念を知らなかった
4. 資金が不足している
5. 自社の事業には取り組むメリットがない
6. 周りの企業や競争相手も取り組んでいない
7. 取り組むメリットが分からない
8. 販売先・納入先から期待・要請されていない
9. 官公庁・公的機関から期待・要請されていない
10. 消費者から期待・要請されていない
11. 取引金融機関等から期待・要請されていない
12. その他()

問21. 次にあげる支援策は、「地域社会への参画、発展のための取り組み」を推進する上でどの程度必要ですか。あてはまるものを、それぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。

	①必要	②やや必要	③あまり必要ではない	④必要ではない
【記入例】	①	2	3	4
ア. 様々な取り組みを行うと利用できる減税措置	1	2	3	4
イ. 様々な取り組みに対する補助金	1	2	3	4
ウ. 官公庁・公的機関、経済団体等からの情報提供（取り組み方やそのヒント等）	1	2	3	4
エ. 官公庁・公的機関、経済団体等による表彰制度と表彰を通じた企業のPR	1	2	3	4
オ. 積極的に取り組んでいる企業をメディアで紹介・PRすること	1	2	3	4
カ. 販売先から価格面等、取引上の優遇を受けられること	1	2	3	4
キ. 「企業の社会的責任(CSR)」についての「第三者認証」	1	2	3	4

問22. 貴事業者の事業やCSRにおいて、次の関係者との連携・協働の状況はいかがですか。
あてはまるものを、それぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。

関係者	①必要性を感じる	②必要性を感じない	①協働している	②協働していない
【記入例】	①	2	1	②
ア. 消費者	1	2	1	2
イ. NPO・NGO	1	2	1	2
ウ. 地域社会	1	2	1	2
エ. 市役所	1	2	1	2

問23. 貴事業者以外の関係者が、健康なまちづくりに向けた取組みを協働して行いたいと希望した場合、貴事業者ではどのようなことができますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

1. 関係者から出された意見や要望に対する検討・反映
2. 技術や知識など貴事業者が強みとしているものの提供・貢献
3. 市内に存在する様々な課題解決に向けた相談や協議への参加(課題の大小、形を問わず)
4. 市民に情報を行き渡らせるための協力
5. 協働の相手として認識されやすいよう、本業の内容や強みをわかりやすく紹介・公表する
6. イベントへの協力
7. その他()
8. 今のところ協力できることはない

問24. 地域や市が実施する健康づくりのイベントで、貴事業者が協力できるものとして、どのようなものがありますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. ウォーキングなどの際の休憩場所 | 2. 公園や緑地の清掃・美化活動 |
| 3. 道路の清掃・美化活動 | 4. 植樹・緑化活動 |
| 5. 健康セミナーや健康講座への参加 | 6. ポスターの掲示やチラシの配布 |
| 7. その他() | 8. 今のところ協力できることはない |

7. 健康づくりにつながる社会環境の整備について

問25. あなたは「健康とは何か」と聞かれたら、どのように答えますか。あなたの考えにあうものを、全て選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1. 幸福なこと | 2. 心身ともに健やかなこと |
| 3. 仕事ができること | 4. 生きがいの条件 |
| 5. 健康を意識しないこと | 6. 病気でないこと |
| 7. 快食・快眠・快便 | 8. 身体が丈夫で元気がよく、調子がよいこと |
| 9. 心も体も人間関係もうまくいっていること | 10. 家庭円満であること |
| 11. 規則正しい生活ができること | 12. 長生きできること |
| 13. 人を愛することができること | 14. 前向きに生きられること |
| 15. その他 例:お酒がおいしく飲めること、など | |
- ()

問25-1

問25-1. 問25で番号を複数選んだ方におききます。その中で、あなたの考えに最も近い番号を1つ選んで記入してください。

番

問26. これからの健康なまちづくりには、保健や福祉など健康に直接関係する分野の他にも、様々な分野の施策が健康なまちづくりにも影響しているという視点が重要であるとされています。

このような考え方をご存知でしたか。あてはまるものを 1つ選んで番号に○をつけてください。

.....
例えば、都市整備分野が歩きやすい道路の整備をすることで、市民の外出する機会が増加し、
適度な運動につながることや、雇用が安定することで、精神・身体的健康が高まることなど。
.....

- | | |
|-----------|----------------------|
| 1. 知っていた | 2. 知っていたが、詳しくは知らなかった |
| 3. 知らなかった | 4. その他() |

問27. 所得や雇用形態、居住形態などを原因として、個人の健康状態に差が生じること、いわゆる「健康格差」という言葉をご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------|----------------------|
| 1. 知っていた | 2. 知っていたが、詳しくは知らなかった |
| 3. 知らなかった | 4. その他() |

問28. 貴事業者の地域周辺に関する現状の満足度について、お考えに近いものを、それぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。

項目	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足
ア. 子どもがのびのび育つまち	1	2	3	4	5
イ. 歳をとっても安心して暮らせるまち	1	2	3	4	5
ウ. 障害をもった人が生活しやすいまち	1	2	3	4	5
エ. 生涯を通して学習・スポーツができるまち	1	2	3	4	5
オ. 健康をテーマとしたまちづくりが行われているまち	1	2	3	4	5
カ. 夢や生きがいを持って暮らせるまち	1	2	3	4	5
キ. ごみが落ちていないまち	1	2	3	4	5
ク. 水や空気がきれいなまち	1	2	3	4	5
ケ. 四季折々の自然の風景を楽しめるまち	1	2	3	4	5
コ. 犯罪や交通事故の少ないまち	1	2	3	4	5
サ. ふるさと意識が持てるまち	1	2	3	4	5
シ. 地域や地区で協力、助け合いができるまち	1	2	3	4	5
ス. 気軽にあいさつができ、交流ができるまち	1	2	3	4	5
セ. 子育てしやすいまち	1	2	3	4	5
ソ. 教育の充実したまち	1	2	3	4	5

8. これからの市の取組みについて

問29. 従業員の健康づくりの推進に関する情報として、どのような情報をお知りになりたいですか。
あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 市が実施している健康づくりに関する施策(がん検診・健康講座・健康相談など)
2. 健康に関する用語など一般的な知識(メタボリックシンドロームなど)
3. 健康に関する動向(平均寿命・がん検診受診率など)
4. 健康づくりに関するイベント(ウォーキング・スポーツ大会など)
5. 健康づくりに関する活動を行っている市民活動団体
6. 体育館や運動場など、市内で運動ができる施設
7. 事業者が行っている健康づくりに関する取組み事例
8. 医療施設
9. その他()
10. 特にない

問30. 健康なまちづくりに関するPR・啓発について、どのような情報提供の方法であれば、伝わりやすいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 市の広報紙「広報習志野」への掲載 | 2. 市のホームページの健康情報の充実 |
| 3. テレビ広報「なるほど習志野」の活用 | 4. You Tubeなどインターネットでの配信 |
| 5. 公共施設・駅などでのポスターの掲示 | 6. 商工会議所会報「商工習志野」への掲載 |
| 7. 商工会議所会議・会合での説明 | 8. 健康なまちづくりイベントなどの開催 |
| 9. 啓発のためのパンフレットなどの配布 | 10. その他() |

問31. より多くの事業者健康なまちづくりに関する取組みを推進していただくため、貴事業者では、どのような市の支援があれば取組みやすいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 健康なまちづくりに取組んでいる事業者の、取組み事例等に関する情報の提供
2. 健康なまちづくりに取組んでいる事業者の、市広報紙や市ホームページでの公表
3. 健康なまちづくりに取組んでいる事業者への、融資や入札における優遇制度
4. 健康なまちづくりに取組んでいる事業者を、認定・認証する制度
5. その他()

問32. 健康づくりを推進するための取組みとして、健康づくりに取組んだ市民にポイントを付与し、ポイントに応じて店舗や施設でサービスを受けられたり、健康に関する商品と引き換えたりすることができる制度を実施している自治体があります。市がこの制度を実施した場合、貴事業者に協力できることはありますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

健康づくりの取り組み例：日々の運動や食事などの生活改善、健康講座やスポーツ教室への参加

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 店舗・施設等でのサービスの提供で協力できる | 2. 商品の提供で協力できる |
| 3. その他() | 4. 協力できることはない |

9. ご意見・ご要望など

○その他、健康なまちづくりに関するご意見・ご要望、貴事業者で実施されている取組みなどがありましたらご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

以上で、健康に関する意識調査は終わりです。ご協力いただき、ありがとうございました。このアンケート用紙を同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに平成30年11月27日(火)までにご投函ください。なお、今回の調査結果は、ホームページ等で公開する予定です。

～市民活動団体の皆様へ～

健康意識調査へのご協力のお願い

市民活動団体の皆様には、日頃より市政にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。さて、本市では、全ての市民が生涯にわたっていきいきと安心して幸せな生活ができる健康なまちづくりを目指した「(通称)習志野市健康なまちづくり条例」を、平成25年4月1日から施行し、市・市民・市民活動団体・事業者・健康づくり関係者が連携協働して健康なまちづくりを推進していくこととしております。

また、平成27年に(通称)習志野市健康なまちづくり条例に基づく「健康なまちづくりの推進に関する基本的な計画」である「健康なまち習志野計画」を策定し、「全ての市民が生涯にわたっていきいきと安心して幸せな生活ができる健康なまちづくり」を総合目標として、各種施策を推進しています。

この度、平成31年度に計画期間が終了することから、次期計画を策定するための基礎資料とするべく、健康について市民活動団体の皆様が感じていることやご意見等を把握するため、健康意識調査を実施することとしました。

お忙しいところ、大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 30 年 11 月 習志野市長 宮本 泰介

ご記入にあたって

1. この健康に関する意識調査は、市民活動ハンドブックで紹介されている市民活動団体等の中から、100団体を無作為に抽出してお願いしております。
2. 調査は無記名方式です。市民活動団体名やご住所を書いていただく必要はありません。
3. 回答内容は統計的に処理しますので、市民活動団体名などが特定されることはありません。また、調査結果を他の目的に使用することはありません。
4. 鉛筆、ボールペン、万年筆などのいずれをご使用されても結構です。
5. ご記入後、回答もれが無いかが確認の上、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに平成30年11月27日(火)までに ご投函ください。

(問合せ先) 習志野市役所 健康福祉部 健康支援課 企画係

電話:047-451-1151(代表) 内線316

FAX:047-451-4822

Eメール:kenkosien@city.narashino.lg.jp

1. 貴団体について

問1. 貴団体の主たる活動分野について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|---------------|--------------|---------------|
| 1. 保健・医療 | 2. 福祉 | 3. 社会教育 |
| 4. まちづくり | 5. 観光振興 | 6. 文化・芸術・スポーツ |
| 7. 環境保全 | 8. 災害救援 | 9. 地域安全 |
| 10. 人権擁護・平和推進 | 11. 国際協力 | 12. 男女共同参画 |
| 13. 子どもの健全育成 | 14. 情報化社会の発展 | 15. 科学技術の振興 |
| 16. 経済活動の活性化 | 17. 消費者保護 | 18. その他() |

問2. 貴団体に所属している会員の人数について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|----------------|-----------------|------------------|
| 1. 5人未満 | 2. 5人以上～10人未満 | 3. 10人以上～20人未満 |
| 4. 20人以上～50人未満 | 5. 50人以上～100人未満 | 6. 100人以上～500人未満 |
| 7. 500人以上 | | |

問3. 貴団体に所属している会員で一番多い年齢は、いくつ位の方ですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20歳～29歳 | 3. 30歳～39歳 | 4. 40歳～49歳 |
| 5. 50歳～59歳 | 6. 60歳～69歳 | 7. 70歳以上 | |

問4. 貴団体の活動拠点について、主たる地域を1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|----------|----------|--------|---------|
| 1. 茜浜 | 2. 秋津 | 3. 泉町 | 4. 大久保 | 5. 香澄 |
| 6. 鷺沼 | 7. 鷺沼台 | 8. 芝園 | 9. 新栄 | 10. 袖ヶ浦 |
| 11. 津田沼 | 12. 花咲 | 13. 東習志野 | 14. 藤崎 | 15. 実籾 |
| 16. 実籾本郷 | 17. 本大久保 | 18. 屋敷 | 19. 谷津 | 20. 谷津町 |
| 21. 奏の杜 | 22. 市外 | | | |

2. 「健康なまち習志野」計画、(通称)健康なまちづくり条例等の認知度について

問5. 健康づくりの総合計画「健康なまち習志野」をご存じでしたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. 内容まで知っている | 2. 名前だけは知っている | 3. 知らない |
|--------------|---------------|---------|

問6. 市では、平成25年4月1日から(通称)健康なまちづくり条例を施行しましたが、ご存知でしたか。該当するものを、1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 条例が施行されたことも、条例の内容も知っている
2. 条例が施行されたことは知っているが、条例の内容は知らない
3. 条例が施行されたことも、条例の内容も知らない

3. 健康づくりにつながる社会環境の整備について

問7. あなたは「健康とは何か」と聞かれたら、どのように答えますか。あなたの考えにあうものを、全て選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|------------------------|
| 1. 幸福なこと | 2. 心身ともに健やかなこと |
| 3. 仕事ができること | 4. 生きがいの条件 |
| 5. 健康を意識しないこと | 6. 病気でないこと |
| 7. 快食・快眠・快便 | 8. 身体が丈夫で元気がよく、調子がよいこと |
| 9. 心も体も人間関係もうまくいっていること | 10. 家庭円満であること |
| 11. 規則正しい生活ができること | 12. 長生きできること |
| 13. 人を愛することができること | 14. 前向きに生きられること |
| 15. その他 例: お酒がおいしく飲めること、など
() | |

問7-1へ

問7-1. 問7で番号を複数選んだ方におききます。その中で、あなたの考えに最も近い番号を1つ選んで記入してください。

番

問8. これからの健康なまちづくりには、保健や福祉など健康に直接関係する分野の他にも、様々な分野の施策が健康なまちづくりにも影響しているという視点が重要であるとされています。あなたは、このような考え方をご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

例えば、都市整備分野が歩きやすい道路の整備をすることで、市民の外出する機会が増加し、適度な運動につながることや、雇用が安定することで、精神・身体的健康が高まることなど。

- | | |
|-----------|----------------------|
| 1. 知っていた | 2. 知っていたが、詳しくは知らなかった |
| 3. 知らなかった | 4. その他() |

問9. 所得や雇用形態、居住形態などを原因として、個人の健康状態に差が生じること、いわゆる「健康格差」という言葉をご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------|----------------------|
| 1. 知っていた | 2. 知っていたが、詳しくは知らなかった |
| 3. 知らなかった | 4. その他() |

問10. 市民活動団体で活動することは、自己効力感を高めたり、人と人とのつながりが生まれ、良好な人間関係の形成へと発展し、健康づくりにも効果的であることが期待されます。市民活動団体で活動していて、ご自身の健康づくりにつながっていると感じられていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | | |
|----------|------------|--------------|-----------|
| 1. 感じている | 2. やや感じている | 3. あまり感じていない | 4. 感じていない |
|----------|------------|--------------|-----------|

自己効力感とは、自己に対する信頼感や有能感のことです。

問11. 貴団体への参加者の増加を目指し、地域の方々に参加の声掛けなどを行ったりしていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 頻繁に行っている 2. 時々行っている 3. 必要だが行っていない
4. 必要がないので行っていない 5. その他()

問12. 貴団体の活動を継続していく上で、課題となっていることはどういったことですか。あてはまるものを3つ選んで番号に○をつけてください。

1. 参加者が多すぎる 2. 参加者が年々減少している
3. 参加者の高齢化が進んでいる 4. 活動を担う新しい人材がいない
5. 活動場所を確保することが難しい 6. 資金不足
7. その他() 8. 特に課題はない

問13. 問4. でご回答いただいた、貴団体の活動拠点がある主たる地域周辺に関する現状の満足度について、お考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。

項目	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足
ア. 子どもがのびのび育つまち	1	2	3	4	5
イ. 歳をとっても安心して暮らせるまち	1	2	3	4	5
ウ. 障がいをもった人が生活しやすいまち	1	2	3	4	5
エ. 生涯を通して学習・スポーツができるまち	1	2	3	4	5
オ. 健康をテーマとしたまちづくりが行われているまち	1	2	3	4	5
カ. 夢や生きがいを持って暮らせるまち	1	2	3	4	5
キ. ごみが落ちていないまち	1	2	3	4	5
ク. 水や空気がきれいなまち	1	2	3	4	5
ケ. 四季折々の自然の風景を楽しめるまち	1	2	3	4	5
コ. 犯罪や交通事故の少ないまち	1	2	3	4	5
サ. ふるさと意識が持てるまち	1	2	3	4	5
シ. 地域や地区で協力、助け合いができるまち	1	2	3	4	5
ス. 気軽にあいさつができ、交流ができるまち	1	2	3	4	5
セ. 子育てしやすいまち	1	2	3	4	5
ソ. 教育の充実したまち	1	2	3	4	5

問14. 地域や市が実施する健康なまちづくりのイベントで、貴団体が協力できるものとして、どのようなものがありますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 公園や緑地の清掃・美化活動 | 2. 道路の清掃・美化活動 |
| 3. 植樹・緑化活動 | 4. 健康セミナーや健康講座への参加 |
| 5. 会員へのチラシの配布 | 6. その他() |
| 7. 今のところ協力できることはない | |

問15. 貴団体の会員の健康状態について、総じてどのように感じていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 全ての会員が良好である | 2. 全てではないが良好な会員の方が多い |
| 3. 良好な会員と良好でない会員が同じくらい | 4. 良好な会員の方が少ない |
| 5. 良好な会員はほとんどいない | 6. その他() |
| 7. わからない | |

4. これからの市の取組みについて

問16. 健康づくりの推進に関する情報として、どのような情報をお知りになりたいですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 市が実施している健康づくりに関する施策(がん検診・健康講座・健康相談など)
2. 健康に関する用語など一般的な知識(メタボリックシンドロームなど)
3. 健康に関する動向(平均寿命・がん検診受診率など)
4. 健康づくりに関するイベント(ウォーキング・スポーツ大会など)
5. 健康づくりに関する活動を行っている市民活動団体
6. 公民館や体育館、運動場など、市内で活動ができる施設
7. 医療施設
8. その他()
9. 特にない

問17. 健康づくりに関するPR・啓発について、どのような情報提供の方法であれば、伝わりやすいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 市の広報紙「広報習志野」への掲載 | 2. 市のホームページの健康情報の充実 |
| 3. テレビ広報「なるほど習志野」の活用 | 4. You Tubeなどインターネットでの配信 |
| 5. 公共施設・駅などでのポスターの掲示 | 6. 健康づくりイベントなどの開催 |
| 7. 啓発のためのパンフレットなどの配布 | 8. その他() |

問18. 健康づくりを推進するための取組みとして、健康づくりに取組んだ市民にポイントを付与し、ポイントに応じて店舗や施設でサービスを受けられたり、健康に関する商品と引き換えたりすることができる制度を実施している自治体があります。

市がこの制度を実施した場合、貴団体が活動を継続する動機付けになるとと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

健康づくりの取組み例: 日々の運動や食事などの生活改善、健康講座やスポーツ教室への参加

- | | | |
|-------|---------|----------|
| 1. なる | 2. ならない | 3. わからない |
|-------|---------|----------|

5. あなた(回答者)ご自身について

問19. あなたの性別と年齢について、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○をつけてください。

- 【性別】 1. 男性 2. 女性 3. 男性女性以外の性
- 【年齢】 1. 20～24 歳 2. 25～29 歳 3. 30～34 歳 4. 35～39 歳
5. 40～44 歳 6. 45～49 歳 7. 50～54 歳 8. 55～59 歳
9. 60～64 歳 10. 65～69 歳 11. 70～74 歳 12. 75 歳以上

問20. あなたご自身の貴団体での活動年数は、どのくらいですか。

	年目
--	----

問21. あなたご自身の活動の目的は、どのようなことですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 楽しむこと 2. 社会貢献 3. 人との交流
4. 地域課題の解決 5. その他()

問22. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. よい 2. まあよい 3. ふつう 4. あまりよくない 5. よくない

6. ご意見・ご要望など

○その他、健康なまちづくりに関するご意見・ご要望、貴団体で実施されている取組みなどがありましたらご記入ください。

.....

以上で、健康に関する意識調査は終わりです。ご協力いただき、ありがとうございました。
このアンケート用紙を同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに平成30年11月27日(火)までにご投函ください。

なお、今回の調査結果は、ホームページ等で公開する予定です。

習志野市 健康意識調査
報告書

平成31年3月

習志野市役所 健康福祉部 健康支援課 企画係
TEL 047-451-1151 (代表) 内線316
FAX 047-451-4822
Eメール kenkosien@city.narashino.lg.jp

この報告書は再生紙を使用しています。